

FYPH-BUTHXF





この使用説明書について

この使用説明書では、次の方法で知りたいことを簡単に探し出すことができます。

目次から Q

撮影、再生、メニューなど、項目別に探し出すことができます。

目的別かんたん検索から Q

使いたい機能や知りたい機能を、簡単に探すことができます。 機能名がわからなくても大丈夫です。

索引から Q

さまざまな項目を五十音順の一覧から探すことができます。 機能名や用語がわかっているときに便利です。

警告メッセージ から

液晶モニターやファインダーなどに表示されている警告メッセージから、今のカメラの状 態を知ることができます。

故障かな?と思ったらから

カメラの動作がおかしいときに、原因を調べるのに役立ちます。

▲安全上のご注意

安全にカメラをお使いいただくために守っていただきたい内容が記載されていま す。カメラをお使いになる前に必ずお読みください。詳しくは印xii~xvをご覧く ださい。

ヘルプ機能

このカメラにはヘルプ機能が付いています。メニュー操作時などに、液晶モニターでその項目の意 味などを調べることができます。詳しくは四19をご覧ください。

表記について

- SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、およびSDXCメモリーカードを「SDカード」と表記 しています。
- ご購入時に設定されている機能やメニューの設定状態を「初期設定」と表記しています。
- この使用説明書では、カメラの設定が初期設定であることを前提に操作の説明を行っています。

「見て聞くマニュアル」デジチューター

インターネット上でD7000の操作方法を、動画や作例写真を交えながら説明しています。下記ア ドレスのホームページをご覧ください。

http://www.nikondigitutor.com/

 \rightarrow $\square 343 \sim 348$

 $\square 337 \sim 342$

□ 362~367

→ □iv~xi

□ ii~iii

D7000

目的別かんたん検索	i
目次	□□iv
🙀 お使いになる前に	[]
♪ かんたんな撮影と再生	□□35
□ 液晶モニターを見ながら撮影する(ライブビュー撮影)	□□49
■ 動画の撮影と再生	□□5
R P、S、A、Mモードで撮影する	□□67
※ ユーザーセッティングモードU1、U2を使う	□□77
🖳 レリーズモード	□□79
◆ ■質モード、画像サイズ、スロット2の機能	□□89
□ フォーカス	□ 95
ISO ISO感度	□□105
◎ 測光・露出	□□109
↓ ホワイトバランス	口125
🖾 画像処理	🖽 141
5 フラッシュ撮影	□155
▲ 撮影の便利な機能	□□165
▶ 画像の再生	□□179
🛷 パソコン、 プリンター、 テレビとの接続	□197
■ メニューガイド	215
資料	□□301

目的別かんたん検索

N

撮る	m
🕄 撮り方を選ぶ	
とにかく簡単に撮影する (🌄)	35
風景、人物など、撮影シーンに合わせて撮影する	41
シャッタースピードを決めて撮影する(S)	70
絞り値を決めて撮影する (A)	71
長時間露出で撮影する (M) 一花火や星空を撮影する一	72、74
液晶モニターを見ながら撮影する	49
動画を撮影する	57
シャッターのきり方(レリーズモード)	
単写(1コマ撮影)と連写(連続撮影)を切り換える	7、79
セルフタイマーやリモコンを使って撮影する	82、84
撮影時の動作音を小さくして撮影する	7、79
・ ピント(フォーカス)	
ピントの合わせ方を選ぶ	95
ピントを合わせる位置を選ぶ	99
💽 画質・サイズ	
大きくプリントする画像を撮影する	80.02
撮影できるコマ数を増やす	89、92
🔇 明るさ(露出)	
画像を明るく/暗くする	113
白とびや黒つぶれの少ない画像を撮影する	151
⑦ フラッシュ	
フラッシュが自動的に光るようにする	156
フラッシュを光らせずに撮影する	35、156
瞳が赤くならないようにする	156

見	る	
C	再生	
	撮影した画像をカメラで見る	47、179
	画像の情報を詳しく表示する	181
	画像をスライドショーにして見る	222
	画像をテレビで見る	211
	画像を誤って削除しないようにする(プロテクト)	192
C	削除	'
	不要な画像を削除する	48、193



三山 1 3 3	\square
撮影した画像のサイズ、色、明るさなどを変更する	276
フラッシュで瞳が赤くなった画像を補正する	280
RAW画像をJPEG画像に変換する	287
2コマのRAW画像を1コマに合成する	284
写真を絵画のような画像にする	292、293
動画の必要な部分を残す	64



操作する

. .

1

栗作する	
メニューの操作方法	19
メニューに表示される言語を変更する	266
コマンドダイヤルの操作方法	13
液晶モニターやファインダー内の表示がすぐに消えないようにする	238
ファインダーをはっきりと見えるようにする	33
ファインダー撮影中やライブビュー表示中に構図用格子線を 表示する	53、239
カメラが水平かどうかを確認する(水準器を表示する)	273
内蔵時計の日付と時刻を設定する	28、265
SDカードを初期化(フォーマット)する	31
最初(ご購入時)の設定に戻す	223、230
ヘルプを表示する	19

J	パソコン/プリンター	Ē
	パソコンに画像を転送する	197
	プリンターで画像を印刷する	201
	日付を入れて印刷する	204、207



使えるSDカード	359
使えるレンズ	301
使える外付けフラッシュ(スピードライト)	308
使えるアクセサリー(ACアダプター、USBケーブルなど)	314
使えるパソコン用ソフトウェア	316
付属品のアイピースキャップの用途	83
カメラを掃除する	318
カメラを点検や修理に出す	370

-

目 次

目的別かんたん検索	ii
安全上のご注意	xii
ご確認ください	xvi

お使いになる前に

35

はじめに	1
各部の名称と機能	
カメラ本体	
撮影モードダイヤル	6
レリーズモードダイヤル	7
表示パネル	8
ファインダー	
インフォ画面	
コマンドダイヤル	
液晶モニターカバー BM-11 の取り付け、取り外し方	
メニューの操作方法	
メニュー項目の設定	
撮影前の準備	22
バッテリーを充電する	
カメラにバッテリーを入れる	
レンズを取り付ける	
日付と時刻を設定する	
SD カードを入れる	
SD カードを初期化(フォーマット)する	
ファインダーを見やすくする(視度調節)	

かんたんな撮影と再生

🖀 (オート) または 🕄 (発光禁止オート) で撮影する	
―カメラまかせの簡単撮影	35
ステップ1:電源を ON にする	35
ステップ2:撮影モードを 🖀 または 🕲 にする	36
ステップ 3:カメラを構える	37
ステップ4:ピントを合わせる	38
ステップ 5:撮影する	38
シーンに合わせて撮影する一簡単操作でより美しく	41
え(ポートレート)	42
◢ (風景)	42
셯 (こどもスナップ)	42

� (スポーツ)	. 42
♥ (クローズアップ)	. 43
☑ (夜景ポートレート)	. 43
⊾(夜景)	. 43
溪 (パーティー)	. 43
훩 (海・雪)	. 44
🚔 (夕焼け)	. 44
當(トワイライト)	44
₩ (ペット)	. 44
 	45
♀ (桜)	. 45
€(紅葉)	45
11(料理)	. 45
	46
圖 (ハイキー)	. 46
₪ (ローキー)	46
撮影した画像を確認する	47
画像を削除する	. 48

液晶モニターを見ながら撮影する(ライブビュー撮影) 49

ライブビュー撮影する

動画の撮影と再生

動画を撮影する	. 57
動画の設定	. 61
動画を再生する	. 63
動画を編集する	. 64
動画の必要な部分を残す	. 64
動画の1フレームを JPEG 画像として保存する	. 66

P、S、A、M モードで撮影する

撮影モード P、S、A、M を使う	67
P:プログラムオートでの撮影方法	69
S :シャッター優先オートでの撮影方法	70
A: 絞り優先オートでの撮影方法	71
M:マニュアルでの撮影方法	72
長時間露出で撮影する	74

67

1 コマ撮影や連続撮影、静音撮影など、レリーズモードを変更する	79
連続撮影する(CH/CL)	80
セルフタイマーを使って撮影する(心)	82
別売のリモコンを使って撮影する (■)	
ミラーアップして撮影する	
画質モード、画像サイズ、スロット2の機能	89
画像サイズを変更する	
2 枚の SD カードに記録する(スロット 2 の機能)	
フォーカス	95
 ピントを自動で合わせて撮影する(オートフォーカス)	
AF モードを変更する	
AF エリアモードを変更する	
フォーカスポイントを自分で選ぶ	
ピントを固定して撮影する(フォーカスロック)	100
ピントを手動で合わせる(マニュアルフォーカス)	102
ISO 感度	105
 ISO 感度を設定する	
感度自動制御機能を使う	107
測光・露出	109
明るさを測る方法を設定する(測光モード)	109
露出を固定して撮影する(AE ロック)	111
画像の明るさを調整する(露出補正)	113
露出や調光、ホワイトバランス、アクティブ D- ライティングを変えなが	6
撮影する(オートブラケティング撮影)	115
ホワイトバランス	125
ホワイトバランスを変更する	125
ホワイトバランスを微調整する	127
色温度を指定してホワイトバランスを設定する(色温度設定)	130

ユーザーセッティングモード U1、U2 を使う

77

79

レリーズモード

1コマ撮影や連続撮影、静音撮影など、レリーズモードを変更する	79
連続撮影する(CH/CL)	80
セルフタイマーを使って撮影する(心)	82
別売のリモコンを使って撮影する (■)	84
ミラーアップして撮影する	87

画質

ピントを自動で合わせて撮影する(オートフォーカス)	
AF モードを変更する	
AF エリアモードを変更する	
フォーカスポイントを自分で選ぶ	
ピントを固定して撮影する(フォーカスロック)	100
ピントを手動で合わせる (マニュアルフォーカス)	102

ISC

ISO 感度を設定する	105
感度自動制御機能を使う	107

測

明るさを測る方法を設定する(測光モード)	109
露出を固定して撮影する(AE ロック)	111
画像の明るさを調整する (露出補正)	113
露出や調光、ホワイトバランス、アクティブ D- ライティングを変えながら	
撮影する(オートブラケティング撮影)	115

木!

v	i	

(プリセットマニュアル)	131
--------------	-----

画像処理

141

155

165

画像の仕上がりを簡単に設定したり、思い通りに調整する	
(ピクチャーコントロール)	141
カスタムピクチャーコントロールを登録する	146
白とびや黒つぶれを抑えて撮影する(アクティブ D- ライティング)	151
画像の色空間を設定する(色空間)	153

フラッシュ撮影

内蔵フラッシュを使う	155
調光量を補正して撮影する(調光補正)	160
調光量を固定して撮影する(FVロック)	161

撮影の便利な機能

基本的な機能を初期設定に戻す(ツーボタンリセット)	165
1つの画像に重ねて写し込む(多重露出撮影)	166
設定した間隔で撮影する(インターバルタイマー撮影)	170
非 CPU レンズを使う(レンズ情報手動設定)	175
GPS 情報を画像に記録する	178

画像の再生

179

197

画像を1コマずつ再生する(1コマ表示モード)	179
画像情報を表示する	181
複数の画像を一覧表示する(サムネイル表示モード)	188
撮影した日付ごとに画像を表示する(カレンダー表示モード)	189
画像を拡大表示する	191
画像を保護する (プロテクト)	192
画像を削除する	193

パソコン、プリンター、テレビとの接続

画像をパソコンに転送する	197
カメラとパソコンを接続する前に	197
USB 接続でパソコンに画像を転送する	198
ワイヤレストランスミッター WT-4 を使って	
無線でパソコンに画像を転送する	200

画像をプリンターで印刷する(ダイレクトプリント)	201
カメラとプリンターを接続する	202
1 コマだけプリントする	203
複数の画像をプリントする	205
プリントしたい画像を指定する(プリント指定)	209
画像をテレビで見る	211
AV ケーブルを使ってテレビと接続する	211
HDMI ケーブルを使ってハイビジョンテレビと接続する	213
HDMI 機器との接続時の設定を変更する	214

メニューガイド

● 再生メニュー:再生で使える便利な機能	
再生フォルダー設定	
非表示設定	
再生画面設定	217
画像コピー	217
撮影直後の画像確認	220
削除後の次再生画像	220
縱位置自動回転	221
スライドショー	222
✿ 撮影メニュー:撮影で使える便利な機能	223
撮影メニューのリセット	223
記録フォルダー設定	224
ファイル名設定	226
自動ゆがみ補正	226
長秒時ノイズ低減	227
高感度ノイズ低減	227
🖉 カスタムメニュー:撮影に関するさらに詳細な設定	228
🛚:カスタムメニューのリセット	230
a:オートフォーカス	230
a1:AF-C モード時の優先	230
a2:AF-S モード時の優先	231
a3:AF ロックオン	231
a4:フォーカスポイント照明	231
a5:フォーカスポイント循環選択	232
a6:AF 点数切り換え	232
a7:内蔵 AF 補助光の照射設定	233
a8:ライブビュー / 動画撮影時の AF	234
b:露出・測光	234
b1:ISO 感度設定ステップ幅	234

b2:露出設定ステップ幅	
b3:露出補正簡易設定	
b4:中央部重点測光範囲	
b5:基準露出レベルの調節	
c: AE ロック・タイマー	
c1:半押し AE ロック	
c2:半押しタイマー	
c3:セルフタイマー	
c4:液晶モニターのパワーオフ時間	
c5:リモコン待機時間	
d:撮影・記録・表示	
d1:電子音設定	
d2:格子線の表示	
d3:ISO 感度表示と簡易設定	
d4:ファインダー内警告表示	
d5:インフォ画面のガイド表示	
d6:低速連続撮影速度	
d7:連続撮影コマ数	
d8:連番モード	
d9:インフォ画面の表示設定	243
d10:イルミネーター点灯	
d11:露出ディレーモード	243
d12:フラッシュ使用推奨表示	
d13:MB-D11 電池設定	
d14:電池の使用順序	
e:フラッシュ・BKT 撮影	
e1:フラッシュ撮影同調速度	
e2:フラッシュ時シャッタースピード制限	
e3:内蔵フラッシュ発光	248
e4:モデリング発光	253
e5:オートブラケティングのセット	
e6:BKT の順序	
f:操作	254
f1: 🔆 スイッチの機能	254
f2:OK ボタンの機能(撮影モード)	254
f3:Fn ボタンの機能	
f4:プレビューボタンの機能	
f5:AE/AF ロックボタンの機能	
f6:コマンドダイヤルの設定	258
f7:ボタンのホールド設定	

f8:カードなし時レリーズ	261
f9:インジケーター表示の+ / -方向	261
f10:MB-D11の 日 ボタンの機能	
ਊ セットアップメニュー:カメラを使いやすくする基本設定	263
- カードの初期化(フォーマット)	264
液晶モニターの明るさ	264
ビデオ出力	264
フリッカー低減	265
地域と日時	265
言語 (Language)	266
画像コメント	266
縦横位置情報の記録	267
イメージダストオフデータ取得	268
電池チェック	270
著作権情報	271
カメラ設定の保存と読み込み	272
水準器表示	273
AF 微調節	273
Eye-Fi 送信機能	275
ファームウェアバージョン	275
☑ 画像編集メニュー:撮影した画像に行う編集機能	276
D- ライティング	279
赤目補正	280
トリミング	281
モノトーン	282
フィルター効果	283
カラーカスタマイズ	284
画像合成	284
RAW 現像(パソコンを使わずに RAW 画像を JPEG 画像に変換する)	287
リサイズ	288
簡単レタッチ	290
傾き補正	291
ゆがみ補正	291
魚眼効果	292
塗り絵	292
カラースケッチ	293
アオリ効果	294
ミニチュア効果	295
編集前後の画像表示	296

· 思マイメニュー / 冒 最近設定した項目	297
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	297
訇 最近設定した項目∶最近設定したメニューをたどる	300

資料

使用できるレンズ	
使用できるスピードライト (別売フラッシュ)	
使用できるアクセサリー	
カメラとパワーコネクター、AC アダプターの接続方法	
カメラのお手入れについて	
保管について	
クリーニングについて	
ローパスフィルターを自動で掃除する	
(イメージセンサークリーニング)	319
ローパスフィルターをブロアーで掃除する	321
カメラとバッテリーの取り扱い上のご注意	323
カメラの取り扱い上のご注意	
バッテリーの取り扱いについて	325
撮影モード別:設定できる機能一覧	326
初期設定一覧	332
撮影モード P (プログラムオート)のプログラム線図	336
故障かな?と思ったら	337
表示関連	337
撮影関連(全撮影モード共通)	
撮影関連(撮影モード P、S、A、M)	340
再生関連	341
その他	
警告メッセージ	
主な仕様	
推奨 SD カード	359
記録可能コマ数と連続撮影可能コマ数	
撮影可能コマ数(電池寿命)について	
索引	
アフターサービスについて	

安全上のご注意

お使いになる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。この「安全上の ご注意」は、製品を安全に正しく使用し、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止 するために重要な内容を記載しています。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られ るところに必ず保管してください。

表示と意味は、次のようになっています。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定 される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例 ▲ △ 記号は、注意(警告を含む)を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。 ③ 記号は、禁止の行為(してはいけないこと)を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。 € ● 記号は、行為を強制すること(必ずすること)を告げるものです。図の中や近くに具体的

● 記号は、行為を強制すること(必ずすること)を告げるものです。図の中や近くに具体的 な強制内容(左図の場合はプラグをコンセントから抜く)が描かれています。

▲ 警告 (カメラとレンズについて)

	分解禁止	分解したり修理や改造をしないこと 感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。
8	接触禁止 すぐに修理依頼を	落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと 感電したり、破損部でケガをする原因となります。 バッテリー、電源を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
C O	バッテリーを取る すぐに修理依頼を	熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、すみやかにバッテリーを取り出すこと そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。 バッテリーを取り出す際、やけどに充分注意してください。 バッテリーを抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
\bigcirc	水かけ禁止	水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと 発火したり感電の原因となります。
\bigcirc	使用禁止	引火・爆発のおそれのある場所では使用しないこと プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災 の原因となります。

	⚠️警告 (カメラとレンズについて)
● 使用禁止	レンズまたはカメラで直接太陽や強い光を見ないこと 失明や視力障害の原因となります。
☆ 発光禁止	車の運転者等に向けてフラッシュを発光しないこと 事故の原因となります。
○ 発光禁止	フラッシュを人の目に近づけて発光しないこと 視力障害の原因となります。 特に乳幼児を撮影するときは1m以上離れてください。
保管注意	幼児の口に入る小さな付属品は、幼児の手の届かないところに置くこと 幼児の飲み込みの原因となります。 万一飲み込んだときは直ちに医師にご相談ください。
<u>▲</u> 警告	ストラップが首に巻き付かないようにすること 特に幼児・児童の首にストラップをかけないこと。 首に巻き付いて窒息の原因となります。
● 使用禁止	ACアダプター使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと 感電の原因となります。 雷が鳴り止むまで機器から離れてください。
	指定のバッテリーまたは専用ACアダプターを使用すること 指定以外のものを使用すると、火災や感電の原因となります。
	⚠ 注意 (カメラとレンズについて)
感電注意	ぬれた手でさわらないこと 感電の原因になることがあります。
全國	製品は幼児の手の届かない所に置くこと ケガの原因になることがあります。
使用注意	逆光撮影では、太陽を画角から充分にずらすこと 太陽光がカメラ内部で焦点を結び、火災の原因になることがあります。画角から太陽をわ ずかに外しても火災の原因になることがあります。
全部	使用しないときは、レンズにキャップを付けるか、太陽光のあたらない所に保管すること 太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。
移動注意	三脚にカメラやレンズを取り付けたまま移動しないこと 転倒したりぶつけたりして、ケガの原因となることがあります。
使用注意	航空機内で使うときは、離着陸時に電源をOFFにすること 病院で使うときは病院の指示に従うこと 本機器が出す電磁波などにより、航空機の計器や医療機器に影響を与えるおそれがあります。
バッテリーを取る ブラグを抜く	長期間使用しないときは電源(バッテリーやACアダプター)を外すこと バッテリーの液もれにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。 ACアダプターをご使用の際には、ACアダプターを取り外し、その後電源プラグをコンセ
	ントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

	⚠ 注意 (カメラとレンズについて)
	布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと 熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。
○ 放置禁止	窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないこと 内部の部品に悪影響を与え、火災の原因になることがあります。
	付属のCD-ROMを音楽用CDプレーヤーで使用しないこと 機器に損傷を与えたり大きな音がして聴力に悪影響を及ぼすことがあります。
	⚠️ 危険 (専用リチウムイオン充電池について)
	バッテリーを火に入れたり、加熱しないこと 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
分解禁止	バッテリーをショート、分解しないこと 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
企業	専用の充電器を使用すること 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
全國	ネックレス、ヘアピンなどの金属製のものと一緒に持ち運んだり、保管しないこと ショートして液もれ、発熱、破裂の原因となります。 持ち運ぶときは端子カバーをつけてください。
● 使用禁止	Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL15に対応していない機器には使用しないこと 液もれ、発熱、破裂の原因となります。 Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL15は、D7000に対応しています。
危険	バッテリーからもれた液が目に入ったときはすぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。
	⚠️ 警告 (専用リチウムイオン充電池について)
人 保管注意	バッテリーは幼児の手の届かない所に置くこと 幼児の飲み込みの原因となります。 万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。
🔊 水かけ禁止	水につけたり、ぬらさないこと 液もれ、発熱の原因となります。
<u> 警告</u>	変色・変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは、使用しないこと 液もれ、発熱・破裂の原因となります。
<u> </u>	充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しないときには、充電をやめること 液もれ、発熱・破裂の原因となります。
<u> </u>	バッテリーをリサイクルするときや、やむなく廃棄するときはテーブなどで接点部を絶縁すること 他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。ニコンサービス機関やリサ イクル協力店にご持参くださるか、お住まいの自治体の規則に従って廃棄してください。
	バッテリーからもれた液が皮膚や衣服に付いたときはすぐにきれいな水で洗うこと そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

⚠️注意 (専用リチウムイオン充電池について)	
バッテリーに強い衝撃を与えたり、投げたりしないこと	

液もれ、発熱、破裂の原因となることがあります。

	⚠ 警告 (チャージャーについて)
分解禁止	分解したり修理や改造をしないこと 感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。
 接触禁止 すぐに修理依頼を	落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと 感電したり、破損部でケガをする原因となります。 電源プラグをコンセントから抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
 プラグを抜く すぐに修理依頼を 	熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかに電源ブラグをコンセントから抜くこと そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。 電源ブラグをコンセントから抜く際、やけどに充分注意してください。ニコンサービス機 関に修理を依頼してください。
🔊 水かけ禁止	水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと 発火したり感電の原因となります。
● 使用禁止	引火・爆発のおそれのある場所では使用しないこと プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災 の原因となります。
<u> </u>	電源プラグの金属部やその周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布で拭き取ること そのまま使用すると火災の原因になります。
● 使用禁止	雷が鳴り出したら電源プラグに触れないこと 感電の原因となります。 雷が鳴り止むまで機器から離れてください。
☆ ☆	電源コードを傷つけたり加工したりしないこと また、重いものを載せたり、加熱したり、引っ張ったり、無理に曲げたりしないこと 電源コードが破損し、火災、感電の原因となります。
感電注意	ぬれた手で電源ブラグをコンセントから抜き差ししないこと 感電の原因になることがあります。
♦	チャージャーを海外旅行者用電子式変圧器(トラベルコンバーター)やDC/ACインバー ターなどの電源に接続して使わないこと 発熱、故障、火災の原因となります。
	⚠ 注意 (チャージャーについて)
《 感電注意	ぬれた手でさわらないこと 感電の原因になることがあります。
放置注意	製品は幼児の手の届かないところに置くこと ケガの原因になることがあります。
	布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと 熱がこもりケースが変形し、火災の原因となることがあります。

<u>ご確認ください</u>

●保証書について

この製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店 からお客様へ直接お渡しすることになっています。必ず「ご購入年月日」「ご購入店」が記入された保証 書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにならないと、ご購入1年以内の保証修理が受けられ ないことになります。お受け取りにならなかった場合は、ただちに購入店にご請求ください。

●カスタマー登録

下記のホームページからカスタマー登録ができます。

https://reg.nikon-image.com/

付属の「登録のご案内」に記載されている登録コードをご用意ください。

●カスタマーサポート

下記アドレスのホームページで、サポート情報をご案内しています。

http://www.nikon-image.com/support/

●大切な撮影の前には試し撮りを

大切な撮影(結婚式や海外旅行など)の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能することを事 前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害(撮影に要した諸費用および利益喪失等に 関する損害等)についての補償はご容赦願います。

●本製品を安心してお使いいただくために

本製品は、当社製のアクセサリー(レンズ、スピードライト、バッテリー、チャージャー、ACアダプター など)に適合するように作られておりますので、当社製品との組み合せでお使いください。

 Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL15には、ニコン純正品であることを示すホロ グラムシールが貼られています。

kon Nikon Nik kon Nikon Nik pä<u>i</u>N uoäiN uo kon Nikon Nik

- ・模倣品のバッテリーをお使いになると、カメラの充分な性能が発揮できないほか、バッ テリーの異常な発熱や液もれ、破裂、発火などの原因となります。
- 他社製品や模倣品と組み合わせてお使いになると、事故・故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

●使用説明書について

- この使用説明書の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- 仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご承知ください。
- 使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 使用説明書の内容が破損などによって判読できなくなったときは、下記のホームページから使用説明書のPDFファイルをダウンロードできます。

http://www.nikon-image.com/support/manual/

ニコンサービス機関で新しい使用説明書を購入することもできます(有料)。

●著作権についてのご注意

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権上、権利者に無断で使うこと ができません。なお、実演や興業、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を 制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の対象となっている画像は、著作権法 の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

●カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意

SDカード内のデータはカメラやパソコンで初期化または削除しただけでは、完全には削除されません。 譲渡/廃棄した後に市販のデータ修復ソフトなどを使ってデータが復元され、重要なデータが流出してし まう可能性があります。SDカード内のデータはお客様の責任において管理してください。 SDカードを譲渡/廃棄する際は、市販のデータ削除専用ソフトなどを使ってデータを完全に削除するか、 初期化後にSDカードがいっぱいになるまで、空や地面などの画像で置き換えることをおすすめします。 なお、プリセットマニュアルの画像(ロ131)も、同様に別の画像で置き換えてから譲渡/廃棄してくだ さい。SDカードを物理的に破壊して廃棄する場合は、周囲の状況やけがなどに充分ご注意ください。

● 電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

● AVC Patent Portfolio Licenseに関するお知らせ

本製品は、お客様が個人使用かつ非営利目的で次の行為を行うために使用される場合に限り、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされているものです。

(i)AVC規格に従い動画をエンコードすること(以下、エンコードしたものをAVCビデオといいます) (ii)個人利用かつ非営利目的の消費者によりエンコードされたAVCビデオ、またはAVCビデオを供給する

ことについてライセンスを受けている供給者から入手したAVCビデオをデコードすること 上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許諾されていません。 詳細情報につきましては、MPEG LA, LLCから取得することができます。 <u>http://www.mpegla.com</u>をご参照ください。

お使いになる前に

はじめに

ニコンデジタルー眼レフカメラをお買い上げくださいまして、誠にありがとうございま す。お使いになる前に、この使用説明書をよくお読みになり、内容を充分に理解してか ら正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られると ころに必ず保管し、撮影を楽しむためにお役立てください。

<u>本文中のマークについて</u>

この使用説明書は、次の記号を使用しています。必要な情報を探すときにご活用ください。



カメラを使用する前に注意していただきたいことや守っていただきたいことを記載して います。

カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。

● 使用説明書上で関連情報が記載されているページです。

▶ アクセサリーについてのご注意

このカメラには、ニコン製のアクセサリーをお使いいただくことをおすすめします。他社製アクセサ リーは、カメラの故障や不具合の原因となることがあります。他社製アクセサリー使用によるカメラ の不具合については、保証の対象となりませんので、ご了承ください。なお、このカメラに使用でき る別売アクセサリーについての最新情報は、最新のカタログや当社のホームページなどでご確認くだ さい(ロxvi)。

🚺 カメラなどの点検サービスについて

カメラは精密機械ですので、1~2年に1度は定期点検を、3~5年に1度はオーバーホールされること をおすすめします(有料)。

- •特に業務用にお使いの場合は、早めに点検整備を受けてください。
- より安心してご愛用いただけるよう、お使いのレンズや別売スピードライトなども併せて点検依頼されることをおすすめします。

各部の名称と機能

<u>カメラ本体</u>



1	レリーズモードダイヤル7、79	8	シャッターボタン	38
2	撮影モードダイヤル6	9	🛙 露出補正ボタン	113
3	ストラップ取り付け部(吊り金具)		ツーボタンリセットボタン	165
4	レリーズモードダイヤルロックボタン7、79	10	▶ 創光モードボタン	110
5	フラッシュ取り付け部		闷晒 フォーマットボタン	31
	(アクセサリーシュー)	11	ストラップ取り付け部(吊り金具)	
6	アクセサリーシューカバー	12	→ 距離基準マーク	
7	電源スイッチ2	13	表示パネル	8





	内蔵フラッシュ155
2	\$ フラッシュモードボタン155
	160 調光補正ボタン160
3	BKT オートブラケティングボタン
4	リモコン受光部(前面)85
5	レンズ着脱指標26
6	内蔵マイク58、61
7	レンズ取り外しボタン27
8	端子カバー198、202、211、213
9	アクセサリーターミナル/
	外部マイク入力端子カバー58、61、316

10	AFモードボタン	98
11	フォーカスモードセレクトダイヤル95、1	02
12	露出計連動レバー	350
13	ミラー87、3	321
14	USB端子	
	パソコンと接続する1	98
	プリンターと接続する2	202
15	オーディオビデオ出力端子	211
16	HDMIミニ端子2	213
17	アクセサリーターミナル	316
18	外部マイク入力端子58、	61

<u>カメラ本体 (つづき)</u>

	Niko	n		—9		
	1					
	2			—10		
	3		SP/AN			
			0000			
	4					
	5					
	6			—11		
	7	8				
			5 55 F			
			S. S. Free)B		
	12-			000		
1_	AF補助光ランプ233	7_	MB-D11用接点カバー			.314
	セルフタイマーランプ82	8	パワーコネクターカバー	·		317
	赤目軽減ランプ157	9	レンズ信号接点			
2	サブコマンドダイヤル258	10	レンズマウント		26、	103
3	Fn ファンクションボタン162、177、255	11	三脚ネジ穴			
4	プレビューボタン	12	ボディーキャップ		26、	316
5	バッテリー室カバー24					
6	バッテリー室開閉ノブ					

▶ マイク、スピーカーについてのご注意

マイクやスピーカーに磁気カードなどの磁気製品を近づけると、記録内容が壊れることがあります。マ イクやスピーカーに磁気製品を近づけないでください。



1	ファインダー接眼窓	33
2	接眼目当て	83
3	● 削除ボタン	
	撮影した画像を削除する	48
	再生中の画像を削除する	193
	啼��� フォーマットボタン	31
4	● 再生ボタン47、	179
5	液晶モニター	
	撮影時の設定を確認する	10
	ライブビューで撮影する	49
	撮影した画像を確認する	47
	画像を1コマずつ再生する	.179
6	MENU メニューボタン19、	215
7	?‰ ヘルプ/プロテクトボタン19、	192
	WBホワイトバランスボタン 126、129、	130
8	९ख़ 縮小/サムネイルボタン188、	189
	ISO ISO感度ボタン	.105

9	🔍 拡大ボタン		. 191
	QUAL 画質モード/画像サイズボタン	89	、92
	ツーボタンリセットボタン		. 165
10	視度調節ダイヤル		33
11	✿ AE/AFロックボタン	100、	257
12	スピーカー		63
13	メインコマンドダイヤル		. 258
14	ライブビュースイッチ	49	、57
15	動画撮影ボタン		58
16	マルチセレクター		20
17	SDカードカバー		29
18		20、	254
19	リモコン受光部 (背面)		85
20	フォーカスポイントロックレバー		99
21	SDカードアクセスランプ	29	、38
22	📠 インフォボタン		10

*

撮影モードダイヤル

撮影モードダイヤルを回すと、次の各モードに切り換 えられます。

撮影モードダイヤル



*

P、S、A、Mモード



撮影モードダイヤルをU1またはU2に合わせるだけで、登録した撮影モードや撮影時の設定で撮影できます。

🖉 使用レンズについて

A、M以外の撮影モードで撮影するときは、CPUレンズ(□302)をお使いください。非CPUレンズ (□304)装着時は、シャッターはきれません。

<u>レリーズモードダイヤル</u>

レリーズモードダイヤルロックボタンを押しながら、 レリーズモードダイヤルを回すと、レリーズモードを 切り換えられます(ロ79)。

レリーズモードダイヤル ロックボタン



ダイヤル

レリーズモード	内容
1コマ撮影	シャッターボタンを全押しするたびに1コマずつ 撮影します。
低速連続撮影	シャッターボタンを全押ししている間、約1~5 コマ/秒で低速連続撮影します。
高速連続撮影	シャッターボタンを全押ししている間、約6コマ/ 秒で高速連続撮影します。
静音撮影	1コマ撮影に比べて静かに撮影できます。
セルフタイマー撮影	セルフタイマー撮影ができます。
リモコン撮影	リモコン撮影ができます。
ミラーアップ撮影	ミラーアップ撮影ができます。

*

表示パネル (説明のため、全ての表示を点灯させています)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 9 1 2	10 11 11 11 12 13 14 15 16 17 18 19 11 11 12 13 14 15 16 30 16 17 18 19 11 11 11 13 14 15 16 17 18 19 11 <th>3 4 5 7 8 9 10 11 11 12 13 14 15</th> <th>MB-D11のバッテリー使用マーク245、314 バッテリー残量表示 35 フラッシュモード 156 画像サイズ 92 画質モード 89 ホワイトバランス微調整設定マーク 129 ホワイトバランスで調整設定マーク 129 ホワイトバランスモード 126 絞り込み段数マーク 67、304 絞り込み段数 67、304 加したアティング補正ステップ 116 WBブラケティング補正ステップ 120 インターバルタイマー撮影コマ数 172 非CPUレンズ開放絞り値 177 PC接続中マーク 200 プログラムシフトマーク 69 SDカードマーク 30、93 SO感度マーク 105 感度白動料()細設空マーク 105</th>	3 4 5 7 8 9 10 11 11 12 13 14 15	MB-D11のバッテリー使用マーク245、314 バッテリー残量表示 35 フラッシュモード 156 画像サイズ 92 画質モード 89 ホワイトバランス微調整設定マーク 129 ホワイトバランスで調整設定マーク 129 ホワイトバランスモード 126 絞り込み段数マーク 67、304 絞り込み段数 67、304 加したアティング補正ステップ 116 WBブラケティング補正ステップ 120 インターバルタイマー撮影コマ数 172 非CPUレンズ開放絞り値 177 PC接続中マーク 200 プログラムシフトマーク 69 SDカードマーク 30、93 SO感度マーク 105 感度白動料()細設空マーク 105
	データ番号	15 16	ISO感度マーク



24	インターバルタイマー設定マーク	. 172
25	多重露出マーク	. 167
26	オートブラケティングマーク	. 115
	WBブラケティングマーク	. 119
	ADLブラケティングマーク	. 122
27	ブラケティングバーグラフ115、119、	122
28	GPS通信マーク	. 178
29	測光モード	. 109
30	記録可能コマ数	36
	連続撮影可能コマ数81、	360
	PCカメラモード表示	. 200
	ISO感度	. 105
	ホワイトバランスプリセットマニュアル	
	データ取得モード表示	. 132
	アクティブD-ライティング度合い表示	
		255
	手動設定レンズNo	.177
	HDMI-CEC接続中マーク	.214
_		



1	構図用格子線239	15	レディーライト	
	(カスタムメニュー d2[格子線の表示]を	16	FVロックマーク	
	[する] に設定している場合のみ表示されます)	17	フラッシュシンクロマーク	
2	フォーカスポイント表示	18	絞り込み段数マーク	67、304
	AFエリアモード表示97	19	インジケーター	
3	AFエリアフレーム33、37		露出	
4	バッテリー警告表示*		露出補正	
5	白黒マーク*		水準器	
б	カードなしマーク*240	20	調光補正マーク	
7	ピント表示	21	露出補正マーク	
8	AEロックマーク 111	22	感度自動制御設定マーク	
9	シャッタースピード	23	記録可能コマ数	
	AFモード95		連続撮影可能コマ数	38、81、360
10	絞り値71、72		ISO感度	
	絞り込み段数67、304		ホワイトバランスプリセットマ	マニュアル
11	バッテリー警告表示35		データ取得モード表示	
12	オートブラケティングマーク		露出補正値	
	WBブラケティングマーク119		調光補正量	
	ADLブラケティングマーク122		アクティブD-ライティング度	合い表示
13	ISO感度マーク105			152、255
14	1000コマ以上補助表示36		AFエリアモード	
* 1	hスタムメニュー d4「 ファインダー内警告表示	1 で非	- 表示にできます(□1240)。	

▶ ファインダーについてのご注意

カメラにバッテリーが入っていない、またはバッテリー残量がない状態では、ファインダー内が暗く なります。充電したバッテリーを入れると明るくなります。

▶ 高温、低温下での液晶表示について

表示パネルやファインダーの液晶表示は、高温・低温下で色の濃さが変わったり、低温下で応答速度 が多少遅くなることがありますが、常温時には正常に戻ります。 **インフォ画面**(説明のため、全ての表示を点灯させています) ■ボタンを押すと、液晶モニターに「インフォ画面」が表示さ れます。シャッタースピードや絞り値、記録可能コマ数、AFエ リアモードなど、撮影に関する情報や設定の確認ができます。



. 「 ボタン

2 20 19 14	12 3 4 56 7
1	撮影モード35、41、67
2	プログラムシフトマーク69
3	フラッシュシンクロマーク
4	シャッタースピード70、72
	露出補正値113
	調光補正量160
	ブラケティング撮影コマ数…116、119、122
	非CPUレンズ焦点距離177
-	ホワイ トハフンス色温度
<u>с</u>	ホリイトハフン人色温度表示
0	絞り込み段数マーク
_ /	桜り旭/ 、/2 絞り込み段数
_	NKりたのFX或0/、304 オートブラケティング補正ステップ 116
	WRブラケティング補正ステップ 120
	非CPIII/ンズ開放絞り値 177

ð	インシケーター	
	露出	73
	露出補正	
	オートブラケティング	115
	WBブラケティング	119
9	オートエリアAF設定マーク	
	フォーカスポイント表示	
	AFエリアモード表示	
	3D-トラッキング設定マーク	
10	ISO感度マーク	105
	感度自動制御設定マーク	107
11	1000コマ以上補助表示	
12	記録可能コマ数	
	手動設定レンズNo	177
13	Fnボタンの機能表示	
14	AE/AFロックボタンの機能表示	
15	ピクチャーコントロールマーク	
16	長秒時ノイズ低減マーク	
17	自動ゆがみ補正	
18	ホワイトバランスモード	
	ホワイトバランス微調整設定マーク	
19	画質モード	
	スロット2の機能	
20	画像サイズ	
21	フラッシュモード	



22	電子音マーク239
23	多重露出マーク167
24	オートブラケティングマーク
	WBブラケティングマーク119
	ADLブラケティングマーク122
25	ADLブラケティング度合い表示 152
26	インターバルタイマー設定マーク172
27	カメラのバッテリー残量表示

5L 8*

⊒ 5 fps

AF-A

180 7

35

ODEON

34

Brit

33

MB-D11のバッテリー植別表示	245
MB-D11のバッテリー残量表示	
GPS通信マーク	
測光モード	
プレビューボタンの機能表示	
色空間マーク	
アクティブD-ライティングマーク	
高感度ノイズ低減マーク	
動画の画質	61
AFモード	
著作権情報設定マーク	
時刻未設定マーク	28、343
画像コメント入力設定マーク	
レリーズモード	79
連続撮影速度	81
Eye-Fi通信マーク	
FVロックマーク	
調光補正マーク	
┃露出補正マーク	
	MB-DTIのバッテリー種別表示 MB-DTIのバッテリー残量表示 GPS通信マーク ブレビューボタンの機能表示 色空間マーク アクティブD-ライティングマーク 高感度ノイズ低減マーク 動画の画質 AFモード 著作権情報設定マーク 時刻末設定マーク 時刻末設定マーク 連続撮影速度 連続撮影速度 Eye-Fi通信マーク FVロックマーク 調光補正マーク 露出補正マーク 露出補正マーク

🛿 インフォ画面を消灯するには

- シャッターボタンを半押しする
- インフォ画面の表示中に、

 「「ホタンを2回押す」

操作を行わないまま約10秒経過したときも、インフォ画面は消灯します。

🖉 関連ページ

44

43·

42 41

40

39

38

37-

36-

• 液晶モニターの点灯時間を変更する → 🖉 c4 [液晶モニターのパワーオフ時間] (□238)

• インフォ画面の表示を手動で白黒反転する → 🖉 d9 [インフォ画面の表示設定] (□ 243)

■撮影時の設定を変更する

インフォ画面を表示中にもう一度Imボタンを押すと、表示されている撮影時の設定を変更できるようになります。

マルチセレクターで項目を選んで
 ・ボタンを押すと、設定したいメニュー項目へ直接ジャンプします。







•インフォ画面からジャンプできるメニュー項目は次の通りです。

1 動画の画質61	6 Fn7
2 高感度ノイズ低減	7 AE/
3 アクティブD-ライティング 152	8 ピク
4 色空間153	9 長利
5 プレビューボタンの機能	10 自重

5	Fnボタンの機能	255
7	AE/AFロックボタンの機能	257
3	ピクチャーコントロール	141
)	長秒時ノイズ低減	227
0	自動ゆがみ補正	226

🖉 インフォ画面のガイド表示

選択しているメニュー項目名を表示します。カスタムメニュー d5 [**インフォ画面のガイド表示**] (皿240)では、ガイドを表示させないようにできます。

N

<u>コマンドダイヤル</u>

コマンドダイヤル(メインコマンドダイヤル・サブコマンドダイヤル)を単体で回す か、次のボタンを押しながら回すと、いろいろな機能が簡単に設定できます。



N.

■シーンモード

シーンモード(撮影モードが **SCENE**のとき: **四41**) ៣ កោម ឆា ឆា ចោ 液晶モニター 撮影モード メインコマンド ダイヤル SCENE ■■
画質モード、
画像サイズ 画質モードの設定(□89) (%) (%) ╋ (523)NORM QUAL (♥) メインコマンド 表示パネル ダイヤル ボタン 画像サイズの設定(□92) (%)-6 + ſĒ (523)NORM QUAL (♥) 表示パネル サブコマンド ダイヤル ボタン ■オートフォーカスに関する設定 AFモードの設定(**□**96)

AFモードボタン

AFエリアモードの設定 (□ 98)



メインコマンド

ダイヤル

表示パネル

■ISO感度に関する設定

ISO感度の設定(□105)



■露出に関する設定



露出補正量の設定(撮影モー ドが**P、S、A**または**M**のとき: \Box 113)



オートブラケティングの 補正ステップの設定(撮影 モードが**P**、**S**、**A**または**M**の とき: 四116)

モードが**P、S、A**または**M**の

とき:四116)



サブコマンド

ダイヤル



表示パネル

10 BKT

■ホワイトバランスに関する設定



7000

BKTボタン
■フラッシュ撮影に関する設定

フラッシュモードの設定 (ロ**156**)



サブコマンド ダイヤル

第一
 第二
 <li

調光補正量の設定(撮影モードがP、S、AまたはMのとき: □160)



*

表示パネル

<u>液晶モニターカバー BM-11の取り付け、取り外し方</u>

液晶モニターカバーを取り付けるには、液晶モニターの上にあ る溝にカバーの上部をはめ込み(①)、カバーの透明な部分が液 晶モニターと重なるように置き、カチッと音がするまで上から 軽く押してください(②)。





カバーを取り外すときは、カメラをしっかりと支え、右図のようにカバーの下からゆっくりと外してください。



メニューの操作方法

撮影や再生、カメラの基本的な設定をするときは、主にメニュー MENUボタンを使います。

MENUボタンを押すと、液晶モニターに次のようなメニュー画面 (例:セットアップメニュー)を表示します。



*

WENU

6

(iii) (iii)

メニュー項目の設定

メニューの操作には、マルチセレクターと®ボタンを使います。



■メニュー項目の設定方法

- 1 メニュー画面を表示する MENUボタン • MENUボタンを押します。 (?~~) 0 (9 Nikon 2 メニューのタブを選ぶ カードの初期化(フォーマット) ● < を押して、タブのアイコンを黄色く表示します。 **シッティングのリセット** 晶モニターの明ろさ ジャンサークリーニング オ出カ
- 3 メニューを切り換える
 - ▲または▼を押して、メニューのタブを切り換えます。





►	サエクーユ	
	削除	ŭ
11	再生フォルダー設定	D7000
Ű	非表示設定	~
1	再生画面設定	
8	画像コピー	
尼	撮影直後の画像確認	0FF
	削除後の次再生画像	
?	縦位置自動回転	0FF
_		

またい

- 4 選んだメニューに入る
 - ●を押して、選んだメニューに入ります。



5 メニュー項目を選ぶ

▲または▼で項目を選びます。



6 設定内容を表示する

7 設定内容を選ぶ

• ▲または▼で設定内容を選びます。

8 決定する

・ ※ボタンを押して決定します。



再生 メニュ

最影直後の画像確認

する しない

▶ 撮影直後の画像確認

するしない

- メニュー操作をキャンセル(中止)するには、MENUボタンを 押してください。
- 撮影モードやカメラの状態によって、設定できないメニュー項目があります。この場合、その項目はグレーで表示されて選べません。
- ● ボタンの代わりに ▶ を押しても決定できますが、画像の削除やSDカードの初期化 などの重要な設定項目については、 ● ボタンしか使えないことがあります。
- •メニュー画面から撮影に戻るには、シャッターボタンを半押し(四39)してください。

撮影前の準備

<u>バッテリーを充電する</u>

付属のLi-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL15は、お使いになる前に付属のバッテ リーチャージャー MH-25でフル充電してください。使い切ったバッテリー1個を充電 するには約2時間35分かかります。

- チャージャーと電源コード(または電源プラグ(直付け型))を接続する
 - •電源コードを使う場合は、電源コードのACプラグをACプラ グ差込口に差し込みます。ACプラグは回転させずに図の位 置でお使いください。
 - 電源プラグ(直付け型)を使う場合は、チャージャーのAC プラグ差し込み口に付属の電源プラグ(直付け型)を差し込 みます(①)。その後、電源プラグ(直付け型)回転ロック を矢印の方向にスライドさせながら(②)、電源プラグ(直 付け型)を90°回転させ、しっかりと固定させます(③)。





電源プラグ(直付け型) 回転ロック



- 2 バッテリーの端子カバーを取り外す
- **3** バッテリーをチャージャーにセットする
 - バッテリーをチャージャーの中に描かれている図に合わせて 取り付けます。



*

4 電源プラグをコンセントに差し込む

- •「CHARGE」ランプが点滅し、充電が始まります。
- 充電が完了すると、「CHARGE」ランプが点滅から点灯に変わります。



*

5 充電が完了したら、電源プラグをコンセントから抜き、バッテリーを取り 外す

▼ チャージャーの「CHARGE」ランプが速く(1秒間に8回)点滅する場合

- バッテリーのセットミス:電源プラグをコンセントから抜いて、バッテリーを取り外し、チャージャー にセットし直してください。
- ・指定温度外での使用:チャージャーを指定温度範囲内(0~40℃)でお使いください。
 上記の処置をしても不具合が続く場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜いて、充電を中止してください。販売店またはニコンサービス機関にチャージャーおよびバッテリーをお持ちください。

🖉 付属の電源コードと電源プラグ(直付け型)についてのご注意

付属の電源コードおよび電源プラグ(直付け型)は、バッテリーチャージャー MH-25以外の機器に接続しないでください。この電源コードおよび電源プラグ(直付け型)は、日本国内専用(AC 100V対応)です。海外でお使いになる場合は、別売の専用コードが必要です。別売の電源コードについては、ニコンサービス機関にお問い合わせください。また、オンラインショップ(ニコンダイレクト) http://shop.nikon-image.com/でもお求めいただけます。

🖉 電源プラグ(直付け型)について

- 電源プラグ(直付け型)の付属の有無は、ご購入いただいた国によって異なります。
- 電源プラグ(直付け型)をチャージャーから取り外すときは、取り付けたときと逆の手順で行ってください。

<u>カメラにバッテリーを入れる</u>

- 1 カメラの電源をOFFにする
- バッテリー室カバー開閉ノブを矢印の方向に押して
 (①)、カメラ底面のバッテリー室カバーを開ける(②)
- 3 充電したバッテリーを入れる
 ・右図のように、正しい向きで入れてください。

- オレンジ色のバッテリーロックレバーをバッテリー側面で押しながら、バッテリーを奥まで入れると、バッテリーロックレバーがバッテリーに掛かり、バッテリーがロックされます。
- 4 バッテリー室カバーを閉じる

🖉 バッテリーを取り出すときは

電源をOFFにしてから、バッテリー室カバーを開けてください。バッテ リーロックレバーを矢印の方向に押すと、バッテリーが少し飛び出します ので、引き抜いて取り出してください。

🔽 バッテリーを出し入れするときは

バッテリーをカメラに入れたり、カメラから取り出したりするときは、必ずカメラの電源をOFFにし てください。





バッテリーロック







2

▶ バッテリーとチャージャーの使用上のご注意

- ・お使いになる前に、必ず「安全上のご注意」(□□xii~xv)、「カメラとバッテリーの取り扱い上のご注意」(□□323~325)をお読みになり、記載事項をお守りください。
- バッテリーは0~40℃の範囲を超える場所ではお使いにならないでください。バッテリーの性能が劣化したり、故障の原因となります。周囲の温度が5~35℃の室内で充電してください。バッテリーの温度が0℃以下、60℃以上のときは、充電をしません。
- ・バッテリーの温度が0~15℃、45~60℃のときは、充電できる容量が少なくなる、または充電時間が長くなることがあります。
- ・一般的な電池特性として、周囲の温度が下がるにつれ、バッテリーに充電できる容量は少なくなります。新品のバッテリーでも、約5℃以下の低温で充電した場合、セットアップメニューの[電池チェック](□270)で劣化度が「1」と表示されることがありますが、約20℃以上で再充電すると劣化度の表示は「0」に戻ります。
- 一般的な電池特性として、周囲の温度が下がるにつれ、使用できるバッテリー容量は少なくなります。このカメラでは、温度変化に対して使用できる容量も的確にバッテリー残量として表示します。
 そのため、充分に充電したバッテリーでも、充電したときよりも温度が低くなると、充電直後から残量が減り始めた表示になることがあります。
- 充分に充電したにもかかわらず、室温での使用状態でバッテリーの使用時間が極端に短くなってきた 場合は、バッテリーの寿命です。新しいリチャージャブルバッテリー EN-EL15をお求めください。
- カメラの使用直後など、バッテリー内部の温度が高くなっている場合は、温度が下がるのを待ってから充電してください。バッテリー内部の温度が高い状態では、充電ができなかったり、または不完全な充電になるばかりでなく、バッテリーの性能が劣化する原因になります。
- 充電中にチャージャーをゆすったり、充電中のバッテリーに触れたりすると、振動や静電気の影響により、きわめてまれではありますが、未充電にもかかわらず充電完了表示になる場合があります。このような場合にはバッテリーを取り外し、再度セットして充電を再開してください。
- しばらく使わない場合は、カメラでバッテリーを使い切った状態で涼しいところで保管してください。
 周囲の温度が15~25℃くらいの乾燥したところをおすすめします。暑いところや極端に寒いところ
 は避けてください。
- 使用後のバッテリーは、半年以内に充電するようおすすめします。長期間保管する場合は、半年に一回程度充電した後、カメラでバッテリーを使い切ってから涼しいところで保管してください。
- 使用しないときは、必ずバッテリーをカメラやチャージャーから取り外してください。付けたままにしておくと、電源が切れていても微少電流が流れていますので、過放電になり使えなくなるおそれがあります。
- チャージャーの端子をショートさせないでください。発熱、破損の原因となります。
- バッテリーをカメラやチャージャーから取り外しておくときは、ショートを防止するため、付属の端 子カバーを取り付けてください。
- チャージャーを使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- バッテリーチャージャー MH-25に対応していないバッテリーは、バッテリーチャージャー MH-25で 充電しないでください。

🖉 Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL15 について

付属のLi-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL15をお使いの場合、セットアップメニューの [**電池** チェック] でより詳しいバッテリー残量や、直前の充電からの合計撮影回数、バッテリーの劣化度を 表示することができます(ロ270)。 **N**.

<u>レンズを取り付ける</u>

レンズを取り付けるときは、カメラ内部にほこりなどが入らないようにご注意ください。 この使用説明書では、AF-S DX NIKKOR 18-105mm f/3.5-5.6G ED VRのレンズを使用し て、説明しています。各部名称は次の通りです。



- 1 カメラの電源をOFFにする
- レンズの裏ぶたとカメラのボ ディーキャップを外す





2

- レンズとカメラの着脱指標を合わせ(①)、矢印の方向にレンズを回す(②)
 - カチッと音がするまでレンズを回します。このとき、レンズ取り外しボタンは押さないでください。
 - A-M切り換えスイッチまたはフォーカスモード切り換えス イッチのあるレンズを使用する場合は、A(オートフォー カス)またはM/A(マニュアル優先オートフォーカス)に 合わせてください。



■手ブレ補正機能(VR)を使う

AF-S DX NIKKOR 18-105mm f/3.5-5.6G ED VRには、手ブレ補 正機能 (VR) があります。

このレンズでは、シャッタースピードで約3段分*の手ブレを補 正します。パンニング(流し撮り)にも対応しています。

- ※当社測定条件によります。また、手ブレ補正効果は、撮影者や撮影条件に よって異なります。
- 手ブレ補正機能を使うときは、手ブレ補正スイッチをONにしてください。
- シャッターボタンを半押しすると、手ブレを補正します。この ときファインダー内の画像のブレも補正するため、ピント合わ せが容易で、構図が決めやすくなります。
- 手ブレ補正スイッチをOFFにすると、手ブレを補正しません。



カメラの電源をOFFにしてから、カメラ前面のレンズ取り外しボタンを押 しながら(①)、レンズを矢印の方向にいっぱいまで回し(②)、引き抜い てください。



 レンズを取り外した後は、カメラのボディーキャップとレンズの裏ぶた をそれぞれ取り付けてください。

✔ 絞りリングのあるCPUレンズについてのご注意

絞りリングのあるCPUレンズ(ロ302)を取り付ける場合は、最小絞り(最大値)にして、ロックし てください。

▶ 手ブレ補正使用時のご注意

- シャッターボタンを半押し後、ファインダー像が安定してから撮影することをおすすめします。
- パンニング(流し撮り)でカメラの向きを大きく変えた場合、流した方向の手ブレ補正は機能しません。例えば、流し撮りで横方向にパンニングすると、縦方向の手ブレだけが補正され、流し撮りができます。
- 手ブレ補正の原理上、シャッターをきるとファインダー像がわずかに動くことがありますが、異常で はありません。
- 手ブレ補正が行われている間にカメラの電源をOFFにしたり、レンズを取り外したりしないでください(その状態でレンズを振るとカタカタと音がすることがありますが、故障ではありません。カメラの電源をもう一度ONにすれば、音は消えます)。
- 内蔵フラッシュ充電中には、手ブレを補正しません。
- 三脚を使用するときは、手ブレ補正スイッチをOFFにしてください。ただし、三脚を使っても雲台を固定しないときや、一脚を使用するときには、手ブレ補正スイッチをONにすることをおすすめします。

*

日付と時刻を設定する

ご購入後、初めて電源をONにすると、カメラの内蔵時計の日付と時刻を設定する画面 が表示されます。日時の設定が完了するまで、撮影や他の設定はできません。

1 カメラの電源をONにする

2 日付と時刻を合わせる

*

- マルチセレクターの▲または▼を押して、選択中の項目の数値を合わせます。
- ●を押して、次の項目に移動します。
 ◆を押すと
 元の項目に戻ります。

3 設定を完了する

● ●ボタンを押して日付と時刻の設定を完了します。

🖉 セットアップメニュー [地域と日時]

設定した日付と時刻は、セットアップメニュー [地域と日時](凹265)の [日時の設定] で変更でき ます。[地域と日時] では、日時の他に、[現在地の設定](現在地のタイムゾーン)、[日付の表示順]、 [夏時間の設定] を設定できます。

🖉 時計用電池について

カメラの内蔵時計は、バッテリーとは別の時計用電池で作動します。カメラにバッテリーを入れるか、 別売のパワーコネクター EP-5BとACアダプター EH-5aを接続すると(ロ314)、時計用電池が充電さ れます。フル充電するには約2日間かかります。充電すると、約3カ月の間時計を動かすことができま す。表示パネルに MICHI が点滅した場合は、内蔵時計の設定が初期化されているため、撮影日時が正し く記録されません。もう一度日時設定してください。

🖉 カメラ内蔵の時計について

カメラの内蔵時計は、一般的な時計(腕時計など)ほど精度は良くありません。定期的に日時設定し てください。

🖉 GPSによる日時合わせ(🕮 178)

GPS機器(四178)との接続時には、GPS機器が取得した日時の情報でカメラの内蔵時計を合わせます。





<u>SDカードを入れる</u>

このカメラは、スロット1とスロット2のSDカードスロットを装備しており、2枚のSD カードを使用することができます。

SDカードは付属していないため、別途お買い求めください(凹359)。

1 カメラの電源をOFFにする

2 SDカードカバーを開ける

SDカードカバーは、矢印の方向にスライドさせて(①)、開きます(②)。

3 SDカードを入れる

- SDカードを1枚だけ使用するときは、スロット1に入れてく ださい(ロ30)。
- 右図のように正しい向きで、カチッと音がするまで挿入して ください。
- 向きを間違えて挿入すると、カメラおよびSDカードが破損 するおそれがあります。正しい方向で挿入しているか、必ず ご確認ください。
- •SDカードが正しく挿入されると、SDカードアクセスランプ が数秒間点灯します。

4 SDカードカバーを閉める

- SDカードカバーを閉めて(①)、スライドさせてください(②)。
- このカメラに他の機器で使ったSDカードを初めて入れたときは、SDカードを初期化してください(□31)。

🖉 SDカードを取り出すときは

SDカードカバーを開ける前に、SDカードアクセスランプの消灯を確認して、電源をOFFにしてください。SDカードカバーを開けて、SDカードを奥に押し込むと(①)、カードが押し出されるので、引き抜いて取り出してください(②)。

✓ SDカードを出し入れするときは

SDカードをカメラに入れたり、カメラから取り出したりするときは、必ずカメラの電源をOFFにしてください。



SDカード アクセスランプ



*



✓ SDカードを2枚使用する場合

- スロット1とスロット2の両方にSDカードを入れると、スロット1から 優先的に記録し、空き容量がなくなったら、記録先をスロット2に変更 します([スロット2の機能](□93)が初期設定の[順次記録]のと き)。撮影で主に使いたいSDカードは、スロット1に入れてください。
- 表示パネルとインフォ画面には、使用中のスロットが右図のように表示 されます(例:スロット1とスロット2の両方にSDカードが入っている 場合)。
- SDカードの残量がなくなった場合やSDカードがロックされている場合 など、何らかのエラーが発生しているときは、エラーが発生しているSD カードのアイコンが点滅します(ロ343)。



*

<u>SDカードを初期化(フォーマット)する</u>

他の機器で使ったSDカードを初めて入れたときは、必ずこのカメラで初期化してから お使いください。SDカードを初期化すると、カード内のデータは全て削除されます。 必要な画像がある場合は、初期化する前にパソコンなどに保存してください(^{Q197})。

1 カメラの電源をONにする

2 2つの 『 ボタンを 同時に 押す

- ・赤色の[∞] マークがついた 面ボタンと ズネタンを 同時に2秒以上押します。
- 表示パネルとファインダー内表示に**For**(フォーマット)という文字が点滅します。
- SDカードが2枚入っている場合は、表示パネルで点滅している側のSDカードを初期化します。Forが点滅しているときにメインコマンドダイヤルを回すと、初期化するスロットを切り換えられます。
- Forが点滅状態のまま約6秒経過すると、初期化はキャンセルされます。
 ■ボタン(
 ●ボタンと
 ●ボタン)以外のボタンを押したときも、初期化をキャンセルします。



⋒ボタン ₩ポタン

3 Forが点滅している間に、もう一度2つのmmボタンを同時に押す

- •初期化が始まります。初期化中は、電源をOFFにしたり、バッテリーやSDカードを取り出したりしないでください。
- 初期化が完了すると、表示パネルとファインダー内表示の記録可能コマ数表示部にこれから撮影できるコマ数が表示されます。

▼ SDカード取り扱い上のご注意

- カメラにSDカードが2枚入っているときに初期化する場合は、スロット1(四30)のSDカードマー クが先に点滅します。
- カメラの使用後はSDカードが熱くなっていることがあります。取り出しの際はご注意ください。
- SD カードの初期化中や画像の記録または削除中、パソコンとの通信時などには、次の操作をしない でください。記録されているデータの破損やSDカードの故障の原因となります。
- SDカードの着脱をしないでください
- カメラの電源をOFFにしないでください
- バッテリーを取り出さないでください
- ACアダプターを抜かないでください
- 端子部に手や金属で触れないでください。
- SDカードに無理な力を加えないでください。破損のおそれがあります。
- 曲げたり、落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- •熱、水分、直射日光を避けてください。

🖉 SDカードの書き込み禁止スイッチについて

- SD カードには、書き込み禁止スイッチが付いています。このス イッチを「LOCK」の位置にすると、データの書き込みや削除が 禁止され、カード内の画像を保護できます。
- 「LOCK」したSDカードをカメラに入れてシャッターをきろうと すると、警告メッセージが表示され、撮影できません。撮影時 や、画像を削除するときは「IOCK」を解除してください。

🖉 SDカードが入っていないときの表示について

SDカードが入っていないときは、表示パネルとファインダー内表示の記 録可能コマ数表示部に[- [-]マークが、ファインダースクリーンにはカー ドなしマークが表示されます。電源をOFFにしても、バッテリー残量が あるときは、表示パネルとファインダースクリーンの表示が点灯します。

書き込み禁止 スイッチ





125 F5.6

🖉 関連ページ

メニュー操作でSDカードを初期化する → ¥ [カードの初期化 (フォーマット)] (□264)

*

<u>ファインダーを見やすくする(視度調節)</u>

撮影する前に、ファインダー内がはっきり見えるように調節してください。

1 レンズキャップを取り外し、カメラの電源をONにする

2 視度調節ダイヤルを回して調節する

- ファインダーをのぞきながら視度調節ダイヤルを 回し、AFエリアフレームが最もはっきり見えるように調節してください。
- 爪や指先で目を傷つけないようにご注意ください。



N.



AFエリアフレーム

🖉 視度調節しても被写体がはっきり見えない場合は

- AFモード (ロ95) を**AF-S**、AFエリアモード (ロ97) をシングルポイントAFに設定します。次に、 中央のフォーカスポイントを選んで、コントラストの高い被写体にオートフォーカスでピントを合わ せます。その状態で被写体が最もはっきり見えるように調節してください。
- 視度調節ダイヤルの範囲を超える補正が必要な場合は、別売の接眼補助レンズをお使いになることをおすすめします(ロ315)。

*

かんたんな撮影と再生

☆ (オート)または②(発光禁止オート)で撮影する→カメラまかせの簡単撮影

撮影モード習は、シャッターボタンを押すだけの簡単な操作で、さまざまな状況での撮影を楽しむことができます。暗いときや逆光のときなど、自動的にフラッシュが光ります。撮影モード③は、フラッシュを光らせずに撮影したい場合に使用します。次のステップ1~5の手順で撮影してください。

<u>ステップ1:電源をONにする</u>

ファインダー

1 カメラの電源をONにする

- レンズキャップを外してください。
- •電源をONにすると、表示パネルとファインダー内の表示が点灯します。

2 バッテリーの残量を確認する

表示パネル

d **////**

 表示パネルまたはファインダー内のバッテリー残量表示を 確認します。



125 FS.6

	\bigcirc
意味	
残量は充分に残っています。	
残量が減り始めました。	

- 14		
	-	残量は残りわずかです。予備のバッテリーを準備するか、バッ テリーを充電してください。
4	4	バッテリーが消耗して撮影できません。バッテリーを交換する
(点滅)	(点滅)	か、バッテリーを充電してください。

・別売のパワーコネクター EP-5BとACアダプター EH-5aを使用した場合、バッテリーの残量表示が消え、インフォ画面には型アイコン(□317)が表示されます。

3 SDカードの残量を確認する

表示パネルまたはファインダー内表示で記録可能コマ数(これから撮影できるコマ数)を確認します。カメラにSDカードが2枚入っている場合、スロット1(□30)の記録可能コマ数が表示されます。



- 記録可能コマ数が1000コマ以上あるときは「K」マークが点灯します。「K」は1000倍を意味しており、たとえば1260コマ撮影できるときは、右のように表示されます。
- 記録可能コマ数がゼロの場合、表示パネルとファインダー内表示のシャッタースピード表示部にFull(Full)が、記録可能コマ数表示部にごが点滅します。このとき、残量のないメモリーカードのアイコンも点滅します。不要な画像を削除するか(ロ193)、別のSDカードに交換してください。

<u>ステップ2:撮影モードを留または少にする</u>

カメラ上面の撮影モードダイヤルを留または③ に合わせる

 フラッシュが禁止されている場所での撮影や、内蔵フ ラッシュを光らせずに撮影したいときなどは、③に合 わせてください。フラッシュを使わないことで、被写 体を自然な感じに表現します。



・
発光禁止オートモード



000

撮影モードダイヤル

☆オートモード

🖉 イメージセンサークリーニングについて

カメラの電源をON/OFFするたびに、撮像素子の前面にあるローパスフィルターを振動させてゴミを ふるい落とすイメージセンサークリーニングが作動します(ロ320)。

<u>ステップ3:カメラを構える</u>

1 カメラを構える

撮影するときは、カメラをしっかりと構えます。

- ・脇を軽く締め、右手でカメラのグリップを包み込むようにしっかりと持ち、左手でレンズを支えます。
- 片足を少し前に踏み出すと、上半身が安定します。
- 人物などを縦位置で撮影する場合は、カメラを縦位置に構えます。
- ●暗いときに撮影モード
 ・で撮影する場合、手ブレしやすいので三脚の使用をおすすめします。

2 構図を決める

- •ファインダーをのぞいて、構図を決めてください。
- 被写体をAFエリアフレーム内に配置します。

🖉 ズームレンズの使い方

被写体を大きく写したいときはズームリングを望遠側(焦点距離目 盛の大きい数値側)に、広い範囲を写したいときはズームリングを 広角側(焦点距離目盛の小さい数値側)に回してください。

✓ AF-S DX NIKKOR 18-105mm f/3.5-5.6G ED VRについて(□355) ズーミングにより、開放F値が最大1^{1/3}段変化します。ただし、露出を決める際に、F値の変化量はカ メラが自動的に補正しますので考慮する必要はありません。





広角側

望溒側



<u> ステップ4:ピントを合わせる</u>

シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる

- シャッターボタンを軽く押す(半押しする)
 と、被写体に自動的にピントが合います。
- ピントが合った位置には、フォーカスポイントが表示されます。
- 暗い場所などでは、AF補助光が光ったり内 蔵フラッシュが上がることがあります。



可能コマ数

2 ファインダー内のピント表示(●)を 確認する

・ピントが合うと、ファインダー内のピント表示(●)が点灯します。

ファインダ・	ー内ピント表示	意味
•	(点灯)	被写体にピントが合っています。
►	(点灯)	目的の被写体よりも手前にピントが合っています。
	◀ (点灯)	目的の被写体よりも後方にピントが合っています。
•	◀ (点滅)	オートフォーカスでのピント合わせができません。

- シャッターボタンを押している間、続けて撮影できるコマ数(連続撮影可能コマ数) がファインダー内に表示されます。連続撮影可能コマ数の先頭には、「●」(□81)が 付きます。
- ・ピント合わせができない場合は、「オートフォーカスの苦手な被写体について」
 (□101)をご覧ください。

<u>ステップ5:撮影する</u>

シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深 く押し込んで(全押しして)、撮影する

- •シャッターがきれ、画像がSDカードに記録されます。
- SDカードアクセスランプが点灯している間は、画像を記録しています。SDカードやバッテリーを取り出したり、
 ACアダプター(別売)を取り外さないでください。



🖉 シャッターボタンの半押し

シャッターボタンは、2段階に押し込むようになっています。まず、シャッターボタンを軽く抵抗を感じるところまで押して、そのまま指を止めることを、「シャッターボタンを半押しする」といいます。次に、そのまま深く押し込む(これを「シャッターボタンを全押しする」といいます)と、シャッターがきれます。



🖉 半押しタイマーについて

このカメラには、バッテリーの消耗を抑えるための「半押しタイマー」という機能があります。半押 しタイマーは、シャッターボタンを半押しするとオンになり、何も操作が行われないまま約6秒経過す ると、オフになります。半押しタイマーがオフになると、表示パネルのシャッタースピード、絞り値 表示とファインダー内の全ての表示が消灯します。もう一度シャッターボタンを半押しすると、半押 しタイマーがオンになり、元の状態に戻ります。半押しタイマーの作動時間は、カスタムメニュー c2 [**半押しタイマー**](¹²36)で変更できます。



源をONにすると点灯します。

表示パネル

-

🖉 内蔵フラッシュについて

撮影モード**習**では、被写体が暗い場合や逆光の場合に、シャッターボタン を半押しすると自動的に内蔵フラッシュが上がります。

ファインダー内によ(レディーライト)が点灯しているときは、シャッター ボタンを全押しすると、内蔵フラッシュが発光します。内蔵フラッシュが 上がっている状態でよが点灯していないときは、フラッシュが充電中のた め、撮影できません。

内蔵フラッシュを使わないときは、フラッシュを収納しておいてください。 内蔵フラッシュを収納するときは、カチッと音がするまで手で軽く押し下 げてください。







シーンに合わせて撮影する一簡単操作でより美しく

撮影するシーンが決まっているときは、シーンに合わせて撮影モードを 選ぶだけで、美しく撮影できます。

撮影モードを選ぶ以外は、₩と同じ操作で撮影できます。



■シーンモードの設定方法

シーンモードは、撮影モードダイヤルをSCENEに合わせた後、メインコマンドダイヤルを回して設定します。メインコマンドダイヤルを回すと、液晶モニターが点灯します。



メインコマン ダイヤル ☞ ◇▥☞ ඐ 圖 圖 13 液晶モニター

🏧 N 🖙 A 🛛 SRGB 🖾 🎯

次のシーンモードから設定できます。

ポート レート	風景	こども スナップ	スポーツ	クローズ アップ	夜景ポート レート	夜景
Ž		.	Ŷ	*	*	∎ E
パーティー	海・雪	夕焼け	トワイ ライト	ペット	キャンドル ライト	桜
- 100	~ ~ /		•	-		-
X] /8			**	9	Q
紅葉	》 8 料理	逆 シルエット	∴	♥♥ □-+-	0	Ģ

-1-

■各シーンモードの特徴 え(ポートレート)



人物を美しく撮影したいときに使います。人物 の肌をなめらかで自然な感じに仕上げます。

被写体と背景が離れているときや、望遠レンズを使って撮影したときは、背景がぼけて立体感のある画像になります。

鉴 (こどもスナップ)



子供の撮影に向いています。肌の色を美しく表 現すると同時に、服装や背景も鮮やかに仕上げ ます。 ▲(風景)



自然の風景や街並みを、色鮮やかに撮影したい ときに使います。

- 内蔵フラッシュとAF補助光ランプは光りません。
- 暗いところでは手ブレしやすいので、三脚の 使用をおすすめします。





運動会などスポーツ写真の撮影に向いていま す。動きのある被写体の一瞬の動きを鮮明にと らえ、躍動感のある画像に仕上げます。

- 内蔵フラッシュとAF補助光ランプは光りません。
- 連続撮影する場合は、レリーズモードを連写にします(ロ7、79、80)。

🕏 (クローズアップ)



草花や昆虫などの小さな被写体に近づき、大き く写したいときに使います。

- マイクロレンズを使用すると、より被写体に 近づいて撮影することができます。
- 手ブレしやすいので、三脚の使用をおすすめします。

🖬(夜景)



夜景の撮影に適しています。ノイズや不自然な 発色を抑え、外灯やネオンなどの光を鮮やかに して夜景の雰囲気を表現します。

- 内蔵フラッシュとAF補助光ランプは光りません。
- 手ブレしやすいので、三脚の使用をおすすめします。

▶ (夜景ポートレート)



タ景や夜景をバックに、人物を撮影したいとき に使います。人物と背景の両方を美しく表現し ます。

手ブレしやすいので、三脚の使用をおすすめします。

🐹 (パーティー)



パーティーなどでの撮影に適しています。パー ティー会場の光の雰囲気も表現します。



• AF補助光ランプは光りません。

ます。

せん。

使用をおすすめします。

• 内蔵フラッシュとAF補助光ランプは光りま

暗いところでは手ブレしやすいので、三脚の

(キャンドルライト)



キャンドルライトでの撮影に適しています。

- 内蔵フラッシュは光りません。
- ・暗いところでは手ブレしやすいので、三脚の 使用をおすすめします。





紅葉の撮影に適しています。紅葉の赤色や黄色 を鮮やかに表現します。

- 内蔵フラッシュは光りません。
- 暗いところでは手ブレしやすいので、三脚の 使用をおすすめします。

3 (桜)



桜、花畑などの花がたくさん咲いている風景の 撮影に適しています。

- 内蔵フラッシュは光りません。
- 暗いところでは手ブレしやすいので、三脚の 使用をおすすめします。

♥ (料理)



料理の撮影に適しています。料理を鮮やかに表 現します。

 暗いところでは手ブレしやすいので、三脚の 使用をおすすめします。内蔵フラッシュも使 用できます(ロ155)。





-1-

背景が明るいシーンで、被写体を意図的にシル エットで表現します。

- 内蔵フラッシュは光りません。
- 暗いところでは手ブレしやすいので、三脚の 使用をおすすめします。

[□ (□−≠−)



全体的に暗めの被写体の撮影に適しています。 画像全体を意図的に暗いトーンで表現します。 深く落ち着き、ハイライト部分が引き立った雰 囲気になります。

- 内蔵フラッシュは光りません。
- 暗いところでは手ブレしやすいので、三脚の 使用をおすすめします。

🕅 (ハイキー)



全体的に明るめの被写体の撮影に適していま す。画像全体を意図的に明るいトーンで表現し ます。光に満ちた華やいだ雰囲気になります。

• 内蔵フラッシュは光りません。

撮影した画像を確認する

1 トボタンを押す

- 撮影した画像をカメラ背面の液晶モニターに表 示します。
- ●表示中の画像がどちらのスロットのSDカード に入っているかは、画像の左下のSDカード マークで確認できます。
- 2 マルチセレクターの◀または▶を押して他 の画像を確認する
 - ▲または▼を押すたびに、撮影情報の表示が切り 替わります(□181)。
 - 撮影に戻るには、シャッターボタンを半押しして ください。

/ 撮影直後の画像確認について

再生メニューの「撮影直後の画像確認](□220)を「する]に設定すると、▶ボタンを押さなくて も、撮影した画像を自動的に液晶モニターに表示します。

🖉 関連ページ

画像を表示するスロットを切り換える→「SDカードスロットの切り換えについて」(□180)









▶ボタン

<u>画像を削除する</u>

表示中の画像を削除します。削除した画像は元には戻せないのでご注意ください。

1 削除したい画像を表示する

 ●ボタンを押して液晶モニターに画像を表示 してから、マルチセレクターの◀または▶で 削除したい画像を選びます。

2 画像を削除する

- ・ 面ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。もう一度面ボタンを押すと、表示中の画像を削除して、再生画面に戻ります。
- 削除する画像がどちらのスロットのSDカード に入っているかは、画像の左下のSDカード マークで確認できます。
- ●削除確認画面で、
 ●ボタンを押すと、
 ●協会の
 ●ボタンを押すと、
 ●協会の
 ●協会の
 ●「協会の
 ●「協会の</

▼ 再生メニュー [削除] 再生メニューの [削除] (□194) では、次の操作ができます。 ・ 複数の画像を選択して削除

- 同じ日付の画像をまとめて削除
- 再生フォルダー内の全画像を一括して削除

また、SDカードを2枚使っているときは、全画像を削除するSDカードスロットを指定できます。







ライブビュー撮影する

1 ライブビュースイッチを回す

ミラーアップしてライブビューを開始します。ファインダー
 内が暗くなり、液晶モニターに被写体が表示されます。※





※説明のため、全ての表示を点灯させています。

① 撮影モード		撮影モードダイヤルで選択中の撮影モードを表示します。	四35、
			41、67
(2 動画記録禁止マーク	動画が撮影できない状態のとき表示します。	四59
(③ 音声記録マーク	動画撮影時の音声設定を表示します。	四61
4	ライブビュー	ライブビューが自動的に終了する30秒前から、ライブ	四54、
	^シ 残り時間	ビュー残り時間のカウントダウンを表示します。	60
(⑤ AFモード	ライブビュー撮影時のAFモードを表示します。	四50
(⑥ AFエリアモード	ライブビュー撮影時のAFエリアモードを表示します。	四50
		枠内の被写体にピントが合います。フォーカスポイントの	mr.1
\bigcirc	<i>り フォーハス</i> ホイノト	形状は、選んだAFエリアモード(ロ50)により異なります。	4121
(動画記録残り時間	動画撮影時に、SDカードに記録できる残り時間を表示します。	囗58
(動画の画質	動画を記録するときの画質や画像サイズの設定を表示します。	四61
		ライブビュー撮影時に?///ボタンを押すと表示します。?///	
10	、明るさ	ボタンを押しながらマルチセレクターの▲または▼を押し	
	^ש インジケーター	て、液晶モニターの明るさを調整できます。ここで設定した	
		液晶モニターの明るさは、撮影した画像には反映されません。	

Lv

2 ライブビュー撮影時のAFモードを設定する

 フォーカスモードセレクト ダイヤルをAFに設定し、AF モードボタンを押しながら メインコマンドダイヤルを 回すと、ライブビュー時の AFモードを設定できます。 フォーカスモード セレクトダイヤル



 AF-S
 シングル AFサーボ
 静止している被写体の撮影に適しています。シャッターボタンを半 押しすると、ピントが合った時点でフォーカスがロックされます。

 AF-F
 常時AFサーボ
 動いている被写体の撮影に適しています。シャッターボタンを半 押しするまで、カメラは被写体の動きに合わせてピントを合わせ 続けます。半押しすると、ピントが合った時点でフォーカスが ロックされます。

フォーカスモードセレクトダイヤルをMに設定してマニュアルフォーカスで撮影する場合は、手順6に進んでください。マニュアルフォーカスでのピント合わせについては
ロ55をご覧ください。

3 ライブビュー撮影時のAFエリアモードを設定する

 AFモードボタンを押しなが らサブコマンドダイヤルを 回すと、ライブビュー時の AFエリアモードを設定でき ます。





(<u>@</u>]	顔認識AF	記念写真など、人物の顔(正面)にピントを合わせたい場合 に適しています。
C J WIDE	ワイドエリアAF	風景などを手持ちで撮影する場合に適しています。フォーカ スポイントは任意の位置に移動できます。
[[]] Norm	ノーマルエリアAF	画面の任意の位置にピンポイントでピントを合わせたい場合 に適しています。三脚の使用をおすすめします。
Ð	ターゲット追尾AF	指定した被写体に追尾させてフォーカスポイントを動かした い場合に適しています。

4 フォーカスポイントを被写体に重ねる

- AFエリアモードが (顔認識AF)の場合は、カメラが人物の顔(正面)を自動的に認識し、フォーカスポイントが黄色の二重枠に変わります。複数の顔を認識した場合(最大35人まで)は、カメラが最も近いと判断した人物の顔を二重枠で表示します。このとき、マルチセレクターを操作して二重枠を移動し、他の顔を選ぶこともできます。途中で顔が横を向くなどしてカメラが顔を見失うと、枠が消えます。
- ・
 記(ワイドエリアAF)または
 はは
 は、マルチセレクターを
 操作して、
 フォーカスポイントをピントを
 合わせる
 被写体の
 位
 置に移動させます。
 ・
 ・
 ボタンを
 押すと、フォー
 カスポイントは
 中央に移動します。
 ・
- ・ (ターゲット追尾AF)の場合は、フォーカスポイントを被写体に重ねてのボタンを押すと、被写体の追尾を開始し、被写体の動きに合わせてフォーカスポイントが移動します。もう一度のボタンを押すと、追尾を終了します。



フォーカスポイント



フォーカスポイント



フォーカスポイント

- AFエリアモードが (顔認識 AF)の場合、半押しすると、 二重枠で囲まれた人物の顔にピントを合わせます。
- ・
 記(ワイドエリアAF)または
 は
 없(ノーマルエリアAF)の場合、
 合、
 半押しすると、
 表示しているフォーカスポイントでピントを合わせます。
- •シャッターボタンを半押しすると、ピントが合った時点でフォーカスがロックされます。
- AE/AFロックボタンを押し続けている間、露出を固定(AEロック)できます。
- 半押し時のフォーカスポイントは、オートフォーカス作動中は緑色で点滅し、ピント が合うと緑色で点灯します。ピントが合わないと赤色で点滅します。
- 6 シャッターボタンを全押しして撮影する
 - 撮影時は液晶モニターが消灯します。
- 7 ライブビュースイッチを回してライブビューを終了 する

💋 ライブビュー撮影時の露出について

- ファインダー撮影時とライブビュー撮影時では、シーンによっては、露出が異なる場合があります。
 ライブビュー撮影時は、ライブビュー表示に適した測光を行うため、液晶モニターに表示された明る さに近い露出で撮影されます。
- ・撮影モードP、S、A、Mの場合、図ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すと、露出補正の設定ができます(±5段の範囲)(□113)。ただし、画面で露出を確認できるのは±3段の範囲に限られます。

(Lv)






🖉 ライブビュー /動画撮影中の情報表示について



 ・撮影メニュー「動画の設定」の「動画の画質」で、解像度が640×424ピクセル以外の場合(□61) は、動画情報、情報表示なし、格子線表示、水準器表示時に、動画が記録される範囲を示すガイドが 表示されます(動画情報表示時には、記録されない部分が薄暗く表示されます)。

🖉 フリッカー低減について

蛍光灯や水銀灯などの光源下では、ライブビュー表示中や動画の撮影時に画面にちらつきや横縞が生じることがあります。この現象を「フリッカー現象」といいます。セットアップメニューの[フリッカー低減]を、カメラをお使いになる地域の電源周波数に合わせて、[50Hz]または[60Hz]に設定してください。詳しくは、□265をご覧ください。

🖉 HDMI接続時の撮影について

- HDMI対応機器との接続時には、液晶モニターが消灯し、代わり に接続した機器のモニターに被写体が表示されます。HDMI出力 時の撮影画面の表示は、右のようになります。
- HDMI-CEC対応機器との接続時にライブビュー撮影を行うには、 セットアップメニューの[HDMI]の[機器制御]を[しない] に設定してください(□214)。

🖉 カスタムメニュー a8 [ライブビュー /動画撮影時のAF]

ライブビュー /動画撮影時のAFモードとAFエリアモードは、メニュー操 作でも設定できます(印234)。





✓ ターゲット追尾AFについてのご注意

次のような場合は、追尾動作が正常に行われないことがありますので、ご注意ください。

- 被写体の色が周囲の色と似ている場合
- 被写体の動きが速すぎる場合
- 被写体と背景の両方が暗すぎる/明るすぎる場合
- 被写体が小さすぎる場合
- 被写体の大きさが著しく変わる場合
- 被写体や背景の明るさや色などが著しく変わる場合
- 被写体が画面から外れた場合

▶ ライブビュー撮影時のご注意

- ライブビュー表示中は、液晶モニターの表示に次のような現象が発生することがありますが、実際に 記録される画像に影響はありません。
 - 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、画面にちらつきや横縞が見える
 - 電車や自動車など、高速で画面を横切る被写体が歪んで表示される
 - カメラを左右に動かした場合、画面全体が歪んで見える
 - カメラを動かした場合、照明などの明るい部分に残像が発生する
 - 輝点が発生する

Lv

- レンズを取り外すと、ライブビュー撮影は終了します。
- 長時間ライブビューで撮影すると、カメラ内部の温度が上昇することがあるため、ノイズ(ざらつき、むら、輝点)が発生する場合があります。撮影時以外は、ライブビューを終了してください。
- 次のような場合は、高温によるカメラへの損傷を抑えるために、ライブビューの開始を制限したり自動的に終了したりすることがあります。
 - 撮影時の気温が高い場合
 - ライブビュー撮影や動画撮影を長時間行った場合
 - 連写(連続撮影)を行った直後など

警告が表示されライブビューを開始できない場合は、カメラ内部の温度が下がるまでライブビューを 一時休止してください。このとき、カメラボディー表面が熱くなることがありますが故障ではありま せん。

- 適正露出に影響を与える接眼部からの逆入射光を防ぐため、シャッターボタンを押す前に付属のアイ ピースキャップDK-5を取り付けてください(ロ83)。
- ライブビュー表示中は、太陽など強い光源にカメラを向けないでください。内部の部品が破損するお それがあります。

▶ ライブビュー残り時間のカウントダウンについて

- 自動的にライブビューを終了する30秒前から、液晶モニターの左上にカウントダウンを表示します (ロ49)。
 - [液晶モニターのパワーオフ時間]の[ライブビュー表示](ロ238)の設定により終了する場合 は、終了30秒前から黒字で表示し、終了5秒前から赤字で表示します。
 - カメラ内部の温度上昇により終了する場合は、終了30秒前から赤字で表示します。撮影条件によっては、ライブビュー開始後すぐにカウントダウンが始まることがあります。
- 画像再生時はカウントダウンを表示しませんが、カウントダウン時間でライブビューを自動的に終了します。

▶ ライブビュー撮影時のオートフォーカスについてのご注意

- ライブビュー撮影時のオートフォーカスは、通常のオートフォーカスより、ピント合わせに時間がか かります。また、次の被写体はピントが合わない場合がありますので、ご注意ください。
 - 画面の長辺側と平行な線の被写体
 - 明暗差の少ない被写体
 - フォーカスポイント内の被写体の輝度が著しく異なる場合
 - イルミネーション、夜景などの点光源や、ネオンなど明るさが変化する被写体
 - 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、画面にちらつきや横縞が見える場合
 - クロスフィルターなど、特殊なフィルターを使用した場合
 - フォーカスポイントに対して被写体が小さい場合
 - 連続した繰り返しパターンの被写体(ビルの窓やブラインドなど)
 - 動く被写体
- •オートフォーカス作動中は、画面の明るさが変わることがあります。
- フォーカスポイントが緑色に点滅しているとき(オートフォーカス作動中)は、シャッターはきれません。ただし、赤色に点滅しているとき(ピントがあっていないとカメラが判断したとき)でもシャッターはきれます。
- ピントが合わなくてもピント表示(緑枠)が点灯する場合があります。
- AF-S 以外のレンズやテレコンバーターを使用した撮影では、充分なピント精度が出ない場合があります。

🖉 マニュアルフォーカスで撮影するときのピント合わせについて

フォーカスモードセレクトダイヤルをMに合わせて、マニュアルフォーカス(ロ102)で撮影するときは、次の方法で被写体にピントを合わせます。

- レンズのフォーカスリングを回して、被写体にピントを合わせます。
- ♥ボタンを押すと、被写体が拡大表示され、ピントの状態を細部まで確認 できます(最大約7.7倍)。
 - ♥ボタンを押すごとに拡大率が上がり、♥■ボタンを押すごとに拡大率が下がります。
 - 拡大表示中は、画面の右下に構図のどの部分を拡大しているかを表すナ ビゲーションウィンドウ(グレーの枠)が表示されます。
 - ライブビュー撮影時のAFエリアモードが 緑(ワイドエリアAF)または 緑 (ノーマルエリアAF)の場合、拡大表示中にマルチセレクターを操作する と、画面をスクロールさせて見たい部分に移動できます。



(HEN)

6

(150)

Lv

喇

動画の撮影と再生

動画を撮影する

音声付きの動画を撮影できます。ステレオミニプラグを装備した市販のマイクを外部マ イク入力端子に接続すると、ステレオ録音もできます。

1 ライブビュースイッチを回す

- ミラーアップしてライブビューを開始します。ファインダー 内が暗くなり、液晶モニターに被写体が表示されます。
- ・撮影モードがAまたはMの場合は、ライブビューを開始する前に絞り値を設定できます(□271、72)。

2 ライブビュー撮影時のAFモードを設定する

- ライブビュー撮影時のAFモードの設定方法については、「ライ ブビュー撮影する」の手順2(ロ50)をご覧ください。
- 3 ライブビュー撮影時のAFエリアモードを設定する
 - ライブビュー撮影時のAFエリアモードの設定方法については、 「ライブビュー撮影する」の手順3(ロ50)をご覧ください。
- 4 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる

●動画撮影を開始する前に、「ライブビュー撮影する」の手順4と5
 (□51、52)と同じ手順で被写体にピントを合わせます。



ライブビュースイッチ

minim

AF-S RE A CNORM





5 動画撮影ボタンを押して、撮影を始める

- カメラボディー前面にある内蔵マイク(□3)で音声を記録します(モノラル録音)。録画中は、マイクを指でふさがないようにしてください。
- オートフォーカスでの撮影時は、シャッターボタンを半押し すると、ピントが合った時点でフォーカスがロックされます。
- AE/AFロックボタンを押し続けている間、露出を固定(AE ロック)できます。
- ・撮影モードP、S、A、Mの場合、図ボタンを押しながらメイン コマンドダイヤルを回すと、1/3段ステップで±3段の範囲で 露出補正ができます(□113)。
- 録画中は録画中マークが液晶モニターに表示されます。SD カードに記録できる残り時間の目安も液晶モニターで確認で きます。



動画撮影ボタン





残り時間

6 もう一度動画撮影ボタンを押して、撮影を終了する

✓ 動画撮影中の静止画撮影について

動画撮影中にシャッターがきれるまでシャッターボタンを全押しし続けると、動画撮影を終了して静 止画撮影し、ライブビュー表示に戻ります。

🖉 市販のマイクを使った録音について

このカメラは、内蔵マイクを装備していますが、市販のマイクを外部マイク入力端子に接続すると、動 画撮影中にオートフォーカスでピント合わせをしたときやVRレンズを装着してVR(手ブレ補正)機能 をONにしたときに生じるレンズの動作音が録音されるのを軽減できます。ステレオミニプラグ (φ3.5mm)を装備したマイクを使うと、ステレオ録音もできます。

🖉 フリッカー低減について

蛍光灯や水銀灯などの光源下では、ライブビュー表示中や動画の撮影時に画面にちらつきや横縞が生じることがあります。この現象を「フリッカー現象」といいます。セットアップメニューの[フリッカー低減]を、カメラをお使いになる地域の電源周波数に合わせて、[50Hz]または[60Hz]に設定してください。詳しくは、□265をご覧ください。

🖉 関連ページ

AE/AFロックボタンを押し続けなくてもAEロック状態を維持できるようにする→ Ø f5 [AE/AFロッ クボタンの機能] (□257)

🖉 動画撮影について

- ●使用しているSDカードの書き込み速度によっては、最長記録時間に満たないで撮影が自動的に終了 する場合があります(□359)。
- 動画撮影時は、AFエリアモードが 🕲 (顔認識AF)の場合に認識できる人数が少なくなります。
- 🐼 (動画記録禁止)マーク(🖽 49)が表示されているときは、動画撮影できません。
- 1つの動画ファイルで記録可能な最大ファイルサイズは4GBです。
- 動画撮影時は、カメラがシャッタースピードやISO感度を決めます(「動画のマニュアル設定」が「する」のときに撮影モードをMにすると、自分で設定したシャッタースピードとISO感度で動画撮影できます(口62))。
- ・
 絞りの設定によっては画像が明るくなりすぎたり、暗くなりすぎたりする場合があります。動画撮影の開始前にライブビュー画面で被写体の明るさを確認し、明るすぎたり暗すぎたりするときは一度ライブビューを終了し、
 絞りの調整を行ってください。
- 被写体の明るさによっては、露出補正の効果が反映されないことがあります。また、「動画のマニュ アル設定」が「する」で、撮影モードがMの場合は、露出補正できません(凹62)。
- ライブビューを開始する前に [ビクチャーコントロール] (□141) または [色空間] (□153) を 設定すると、設定したピクチャーコントロールと色空間で動画撮影できます。

▶ 動画撮影時のご注意

- 動画撮影中の液晶モニターの表示に、次のような現象が発生する場合があります。これらの現象は撮影した動画にも記録されます。
 - 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、画面にちらつきや横縞が発生する
 - 電車や自動車など、高速で画面を横切る被写体が歪む
 - カメラを左右に動かした場合、画面全体が歪む
 - カメラを動かした場合、照明などの明るい部分に残像が発生する
 - ジャギー、偽色、モアレ、輝点が発生する
 - 周囲でスピードライトやフラッシュなどが発光された場合、画面の上部や下部が明るくなったり、 明るい横帯が発生する
- •次のような場合は、動画撮影は自動的に終了します。
 - 最長記録時間に達した場合
 - SDカードの残量がなくなった場合
 - レンズを取り外した場合
 - 撮影モードを切り換えた場合
- 長時間ライブビューで撮影すると、カメラ内部の温度が上昇することがあるため、ノイズ(ざらつき、むら、輝点)が発生する場合があります。撮影時以外は、ライブビューを終了してください。
- 次のような場合は、高温によるカメラへの損傷を抑えるために、カメラは自動的に動画撮影を終了することがあります。
 - 撮影時の気温が高い場合
 - ライブビュー撮影や動画撮影を長時間行った場合
 - 連写(連続撮影)を行った直後など
 - 警告が表示されライブビューまたは動画撮影を開始できない場合は、カメラ内部の温度が下がるまで ライブビューおよび動画撮影を一時休止してください。このとき、カメラボディー表面が熱くなるこ とがありますが故障ではありません。
- 動画撮影時、太陽など強い光源にカメラを向けないでください。内部の部品が破損するおそれがあります。
- 次のような場合は、レンズの動作音が録音されることがあります。
 - オートフォーカス作動中
 - VRレンズ使用時にVR(手ブレ補正)をONにした場合

▶ ライブビュー残り時間のカウントダウンについて

- 自動的に動画撮影を終了する30秒前から、液晶モニターの左上にカウントダウンを表示します(ロ49)。
- 撮影条件によっては、動画撮影を開始後すぐにカウントダウンが始まることがあります。
- 動画記録中にカウントダウンが始まった場合は、液晶モニターの右上に表示されている動画残り記録
 時間にかかわらず、ライブビュー残り時間のカウントダウン時間で動画撮影を自動的に終了します。

動画の設定

撮影メニューの [**動画の設定**] では、動画を記録するときの画質、音声、記録先、動画のマニュアル設定を設定できます。

■動画の画質

動画を記録するときの画質を設定します。セットアップメニューの[ビデオ出力] (¹¹264)の設定によって、表示される項目が異なります。

[ビデオ出力]が [NTSC]の場合:

動画の画質※				解像度	コマ数/秒	最長記録時間
1080 22	1920×1080	24fps	高画質/標準	1920×1080ピクセル	23.976コマ/秒	
720 ED	1280×720	30fps	高画質/標準	1280×720ピクセル	29.97コマ/秒	20分
720 2	1280×720	24fps	高画質/標準	1280×720ピクセル	23.976コマ/秒	2075
424 ED	640×424	30fps	高画質/標準	640×424ピクセル	29.97コマ/秒	

[ビデオ出力]が[PAL]の場合:

動画の画質※				解像度	コマ数/秒	最長記録時間
1080 22	1920×1080	24fps	高画質/標準	1920×1080ピクセル	23.976コマ/秒	
720 🕰	1280×720	25fps	高画質/標準	1280×720ピクセル	25コマ/秒	20公
720 2	1280×720	24fps	高画質/標準	1280×720ピクセル	23.976コマ/秒	20)]
424 PE	640×424	25fps	高画質/標準	640×424ピクセル	25コマ/秒	

※ [動画の画質] が高画質の場合は、アイコンに★が表示されます。

■最音設定

内蔵マイクまたは市販のマイクの感度の程度を設定します。

↓ ≣A	マイク感度 オート(A)		
⊎ ∎3	マイク感度 高(3)	設定した咸度で録音します	
⊎ ≣2	マイク感度 中(2)		
⊎∎1	マイク感度 低(1)		
8	録音しない	音声は記録しません。	

🖉 音声が記録されていない動画の表示について

撮影メニュー [動画の設定]の [録音設定]を [録音しない] にして撮影 した動画の場合、1コマ表示モード時と再生中に図(音声なしマーク)が 表示されます。



惈

■動画記録先

SDカードを2枚使用している場合に動画を記録するスロットを 設定します。

- それぞれのカードで動画を記録できる残り時間が表示されます。
- 選んだ動画記録先のSDカードの残量がなくなると、撮影は自動的に終了します。

■動画のマニュアル設定(撮影モードMのみ)

[する]を選ぶと、撮影モードがMの場合に、動画撮影中に自分でシャッタースピードとISO感度を変えられます。

シャッタースピードは、1/8000~1/30秒の範囲で、ISO感度は、ISO 100~Hi 2の範囲で設定できます。撮影メニューの





[ISO感度設定]の[感度自動制御](四107)が[する]の場合も、自動的に感度を 変更しません。設定したISO感度(四105)で撮影します。

• 露出補正はできません。

■動画の設定の変更方法

- 1 撮影メニューの [動画の設定] を選ぶ
 - MENUボタンを押して、撮影メニューの「動 画の設定」を選んでマルチセレクターの▶を 押します。



2 動画の設定項目を選ぶ

• [動画の画質]、[録音設定]、[動画記録先]、[動画 のマニュアル設定] のうちいずれかを選んでマル チセレクターの▶を押すと、設定画面が表示され ます。



3 設定したい項目を選ぶ

・ Wボタンを押して設定します。



動画を再生する

1コマ表示モード(CL179)で**県**マークが表示されている画像が動画です。 ®ボタンを 押すと動画を再生します。



■動画再生中の操作方法

一時停止する		マルチセレクターの▼を押すと、一時停止します。
再生を再開する		ー時停止中または早送り/巻き戻し中に ∞ボタンを押すと、動 画再生を再開します。
巻き戻しする/ 早送りする		 動画の再生中に ◀ を押すと巻き戻し、 ▶を押すと早送りします。同じ方向のボタンを押すごとに、巻き戻し/早送りの速度が2倍、4倍、8倍、16倍に切り替わります。 ◀ ボタンを押し続けると、最初のコマに移動し、▶ ボタンを押し続けると、最後のコマに移動します。
コマ戻しする/ コマ送りする		 一時停止中に または を押し続けると、連続でコマ戻し/コマ送りします。
音量を調節する	⊕ / q∎	♥を押すと音量が大きくなり、♥■を押すと小さくなります。
動画を編集する	?/о-п	ー時停止中に ?/ ~ ボタンを押すと、「動画編集」画面を表示しま す(口64)。
再生終了		▲または▶ボタンを押すと1コマ表示モードに戻ります。
撮影に戻る		シャッターボタンを半押しすると液晶モニターが消灯し、すぐ に撮影できます。
メニューに移る	MENU	メニューが表示されます(口215)。

惈

動画を編集する

撮影した動画を編集できます。

始点の設定	選択したフレームを含む後の部分を残します。
終点の設定	選択したフレームを含む前の部分を残します。
選択フレームの保存	選択した1フレームを切り出して、JPEG画像として保存します。

<u>動画の必要な部分を残す</u>

- 1 編集したい動画を表示する
 - ●ボタンを押して液晶モニターに画像を表示してから、マルチセレクターの
 ■で編集したい動画を選びます。

■ボタン



[\mathcal{m}01m30s/10m30s

- 2 編集したい部分で動画を一時停止する
 - ボタンを押すと、動画が再生されます。再生中に
 に▼を押すと、一時停止します。
- 3 ?/~ ボタンを押す
 - **?/~**ボタンを押すと、[動画編集] 画面が表示されます。



- **4** [始点の設定] または [終点の設定] を 選ぶ
 - [始点の設定]を選んで ◎ ボタンを押すと、選択したフレームを含む後の部分だけを残せます。
 - [終点の設定]を選んで®ボタンを押すと、選択 したフレームを含む前の部分だけを残せます。



🖉 動画編集を開始する前に

動画を編集するときは、バッテリー切れを防ぐため、充分に充電されたバッテリーをお使いください。

5 始点または終点を決める

▲を押して、始点または終点を決定します。



6 動画ファイルを作成する

• [はい] を選んで ※ボタンを押すと、編集前の動 画とは別に、新しい動画として保存します。



編集した動画には、1コマ表示時に認が表示されます。

▶ 動画編集時のご注意

- SDカードに充分な空き容量がない場合、動画編集できません。
- [始点の設定] と [終点の設定] では、2秒未満の動画は編集できません。また、手順5で始点または 終点を決めるときに、動画ファイルを作成できない位置では、再生時間の表示が赤色に変わって警告 します。
- 動画の前後両方を削除するには、まず動画編集で前の部分を削除します。次に、前の部分を削除した 動画の後ろの部分を削除してください。

🖉 🖻(先頭フレーム)アイコンと🕙(最終フレーム)アイコンについて

動画の再生時、先頭フレームにはIDアイコンが、最終フレームにはIDアイコンが画面右上に表示されます。



🖉 画像編集メニュー [動画編集]

動画編集は、メニュー操作でも行えます(凹276)。

D	画像編集メニュー	
•	傾き補正	1
11	ゆがみ補正	••
Ű	魚眼効果	0
1	塗り絵	58
0	カラースケッチ	5
12	アオリ効果	11
	ミニチュア効果	1
?	動画編集	Ę.

<u>動画の1フレームをJPEG画像として保存する</u>

1 編集したい部分で動画を一時停止する

- 2 ?/~ ボタンを押す

します。

• **?/~**ボタンを押すと、 [動画編集] 画面が表示されます。



?‰ボタン

- 3 [選択フレームの保存]を選ぶ • [選択フレームの保存]を選んで、@ボタンを押
- - •▲を押して、切り出すフレームを決定します。



XI 始点の設定 IX 終点の設定 A 選択フレームの保存 OK

動画編集

同キャンセル

[\$\mathbf{m}\$01m30s/10m30s]

(OK)

5 JPEG画像を作成する

- [はい] を選んで (1)ボタンを押すと、JPEGの画像 として保存します。
- ●作成したJPEG画像には、1コマ表示時に聞が表示 されます。



🖉 [選択フレームの保存] で作成した画像について

- [選択フレームの保存] で動画から作成したJPEG画像に対して、画像編集することはできません。
- 動画から作成したJPEG画像の場合、再生時の画像情報で表示されない項目があります。

P、S、A、Mモードで撮影する

撮影モードP、S、A、Mを使う

撮影モードP、S、A、Mでは、撮影の意図に応じて、シャッタースピードと絞りのそれぞれを自分で設定したり、カメラまかせにしたりすることができます。



D	プログラムオート	シャッターチャンスを逃したくないスナップ撮影などに使いま
r	(□169)	す。シャッタースピードと絞りの両方をカメラが自動制御します。
C	シャッター優先オート	被写体の動きを強調して撮影したいときなどに使います。シャッ
2	(□170)	タースピードを自分で設定し、絞りはカメラが自動制御します。
٨	絞り優先オート	背景のぼかし方を調節して撮影したいときなどに使います。絞り
A	(□171)	を自分で設定し、シャッタースピードはカメラが自動制御します。
Μ	→ → → ル . (m → →)	シャッタースピードと絞りの両方を自分で設定します。長時間露
		光(バルブ、タイム)撮影も、このモードで行います。

▶ 使用レンズについてのご注意

- CPUレンズ(Gタイプレンズを除く)の絞りリング(口 302)は、必ず最小絞り(一番大きい数値) にセットしてください。
- 非CPUレンズをお使いの場合は、撮影モードAまたはMで撮影してください(その他のモードでは シャッターがきれません)。絞りの設定や確認はレンズの絞りリングで行って撮影してください。詳 しくは「使用できるレンズ」(皿301)をご覧ください。

🖉 非CPUレンズを取り付けた場合

非CPUレンズ(四303)を装着してセットアップメニューの[**レンズ情 報手動設定**](四175)でレンズの開放絞り値(開放F値)を設定した場 合は、表示パネルとファインダー内表示に絞り値が表示されます。絞り 値の設定は、レンズの絞りリングで行ってください。この場合、絞りリ ングによる中間絞りの設定は可能ですが、表示は1段単位になります。

• 開放絞り値を設定しない場合は、表示パネルとファインダー内の絞り値 表示が開放からの絞り段数表示(*A***F**、開放絞りは*A***FC**)となりますの で、絞り値の設定と確認は、レンズの絞りリングで行ってください。



🖉 露出について

シャッタースピードと絞り値を調整して、画像を意図した明るさ(露出)で撮影することを、「露出を 合わせる」といいます。同じ露出の画像でも、シャッタースピードと絞り値の組み合わせによって、撮 影される画像の流動感や背景のぼかし具合などが変わってきます。



68

<u>P:プログラムオートでの撮影方法</u>

被写体の明るさに応じて、露出が適正になるようにカメラがシャッタースピードと絞り 値を自動的に決定します。シャッターチャンスを逃したくないスナップなど幅広い撮影 に適しています。

1 撮影モードダイヤルをPに合わせる

2 構図を決め、ピントを合わせて撮影する

🖉 プログラムシフト

撮影モードPで半押しタイマーがオンのときにメインコマンドダイヤルを 回すと、露出を一定にしたままシャッタースピードと絞り値の組み合わせ を変えることができます。これを「プログラムシフト」といいます。プロ グラムシフト中は表示パネルに 🖥 マークが点灯します。

- ・背景をぼかしたい(絞り値を小さくしたい)場合や動きの速い被写体を 撮影したい(速いシャッタースピードにしたい)場合にはメインコマン ドダイヤルを右に回してください。
- 近くから遠くまでピントの合った写真を撮影したい(絞り値を大きくしたい)場合や被写体の動きを強調したい(遅いシャッタースピードにしたい)場合にはメインコマンドダイヤルを左に回してください。
- プログラムシフトを解除するには、プログラムシフトマーク が消灯するまでメインコマンドダイヤルを回してください。電源をOFFにしたときや、他の撮影モードに切り換えたときも、プログラムシフトは解除されます。





🖉 関連ページ

- プログラム線図 → 「撮影モード**P**(プログラムオート)のプログラム線図」(□1336)
- 半押しタイマー→「半押しタイマーについて」(□39)

<u>S:シャッター優先オートでの撮影方法</u>

シャッタースピードを自分で決めると、露出が適正になるようにカメラが自動的に絞り 値を決定します。動きの速い被写体の撮影や、遅いシャッタースピードで被写体の動き を強調する撮影に適しています。



速いシャッタースピードのとき シャッタースピード:1/1600秒

撮影モードダイヤルをSに合わせる



遅いシャッタースピードのとき シャッタースピード:1/6秒



- 2 半押しタイマーがオンのときに、 メインコマンドダイヤルで好みの シャッタースピードを設定する
 - シャッタースピードは1/8000
 (8000) ~30秒(30'')、x 250に 設定できます。



メインコマンド ダイヤル

- - 表示パネル

3 構図を決め、ピントを合わせて撮影する

表示パネルでも」とと・・が点滅したときは→「警告メッセージ」(□344)

1

<u>A: 絞り優先オートでの撮影方法</u>

絞り値を自分で決めると、露出が適正になるようにカメラが自動的にシャッタースピードを決定します。絞りを開く(絞り値を小さくする)と、背景をぼかしてメインとなる 被写体を浮き立たせた写真を撮影できます(例:ポートレート写真)。絞りを絞り込む (絞り値を大きくする)と、近くから遠くまでピントのあった写真を撮影できます(例: 風景写真)。



絞りを開いたとき 絞り値:F2.8

撮影モードダイヤルをAに合わせる



絞りを絞り込んだとき 絞り値:F36



2 半押しタイマーがオンのときに、
 サブコマンドダイヤルで好みの絞り値を設定する

1

設定できる最小絞り、開放絞りはレンズによって異なります。



3 構図を決め、ピントを合わせて撮影する

🖉 被写界深度のプレビュー

プレビューボタンを押し続けると、レンズの絞り羽根が絞り込まれます。 この状態でファインダーをのぞくと、そのときの絞り値のおおよその被写 界深度(ピントの合う前後の範囲)が確認できます。内蔵フラッシュ、別 売のニコンクリエイティブライティングシステム(四309)対応スピード ライト使用時は、モデリング発光をします。モデリング発光をしないよう にするには、カスタムメニュー e4 [モデリング発光]を [しない] に設 定してください(四253)。



M:マニュアルでの撮影方法

シャッタースピードと絞りの両方を自分で決定します。花火や星空などを長時間露光 (バルブ撮影、タイム撮影、^{CD}74)で撮影する場合にはこの撮影モードを使います。



2 半押しタイマーがオンのときに、ファインダー内表示の露出インジケー ターを確認しながら、シャッタースピードと絞り値を設定する



- メインコマンドダイヤルを回すと、シャッタースピード表示が変化します。設定した いシャッタースピード(1/8000(8000)~30秒(30'')およびbuib、x 250) に合わせてください。
- サブコマンドダイヤルを回すと、絞り値が変化します。設定できる最小絞り値、開放 F値はレンズの種類によって異なります。
- 3 構図を決め、ピントを合わせて撮影する

🖉 AFマイクロレンズ装着時の露出倍数について

AFマイクロレンズをカメラに装着して、外部露出計の測光値を参考に絞り値をサブコマンドダイヤル でセットする場合、露出倍数を考慮する必要はありません。レンズの絞りリングでセットする場合だ け、露出倍数を考慮した補正が必要になります。

🖉 露出インジケーターについて

撮影モードがMのときの適正露出との差が、ファインダー内表示に表示されます。この「露出インジ ケーター」の見方は次の通りです(表示内容はカスタムメニュー b2 [**露出設定ステップ幅**](^[1]234) の設定によって変化します)。

ファインダー内表示	内容
+	適正露出
+⁰ (1/3段アンダー)	インジケーターが-側に振れているときは画像が適正露出よりも暗いこ とを意味しています。
+ 0 ∢inini (2段以トオーバー)	インジケーターが+側に振れているときは画像が適正露出よりも明るい ことを意味しています。

- 被写体が明るすぎ、または暗すぎてカメラの測光範囲を超えた場合は、露出インジケーターが点滅します。
- ・適正な露出が得られない場合、★ またはしのが表示パネルとファインダー内表示に表示され、適正露 出との差が露出インジケーターに表示されます。
- 長時間露光(バルブ、タイム)撮影時(ロ74)は、露出インジケーターは表示されません。

💋 インジケーター表示の+/-方向を変更するには

カスタムメニュー f9 [**インジケーター表示の+/-方向**](ロ261)では、ファインダー内表示および インフォ画面での露出、露出補正、オートブラケティングのインジケーターの+と-方向を入れ換え ることができます。

+0-	+•iiiiiîiiiii•	インジケーターの+側を左に、-側を右に表示します。
-0+	-	インジケーターの-側を左に、+側を右に表示します。

長時間露出で撮影する

長時間露出撮影には、バルブ撮影とタイム撮影の2種類があります。花火や夜景、天体 写真の撮影や、自動車のライトの流れを表現したいときなどに使います。長時間露出撮 影には、手ブレを抑えるために三脚や別売のリモコンML-L3(四316)、リモートコー ドMC-DC2(四316)が必要です。



シャッタースピードを35秒、 絞り値をF25にして撮影した場合の画像

バルブ撮影 シャッターボタンを押し続けている間シャッターが開いたままになり、シャッター ボタンを放すとシャッターが閉じます。

タイム撮影リモコンの送信ボタンを一度押すとシャッターが開いたままになり、もう一度押す
とシャッターが閉じます。このカメラでタイム撮影をするには、別売のリモコン
ML-L3(□316)が必要です。

1 三脚などを使ってカメラを固定する

2 撮影モードダイヤルをMに合わせる





- 3 半押しタイマーがオンのときに、 メインコマンドダイヤルを回して、 シャッタースピードをbuibleに 設定する
 - タイム撮影の場合は、シャッタース ピードをちょくちにしてからレリーズ モード(□179)を■ (リモコン撮影) にしてください。シャッタースピードの表示が・・に変わります。



メインコマンド

ダイヤル



4 ピントを合わせて、長時間露出撮影を開始する

バルブ撮影:

- シャッターボタンを全押しして、長時間露出撮影を開始します。シャッターボタンは 押し続けてください。
- 手ブレを抑えるために、別売のリモートコードを使用することをおすすめします。リ モートコードを使用する場合は、リモートコードのシャッターボタンを全押ししてく ださい。

タイム撮影:

• リモコンの送信ボタンを押すと、シャッターが開き、長時間露出撮影を開始します。

5 長時間露出撮影を終了する

バルブ撮影:

シャッターボタンを放すと、長時間露出撮影は終了します。

タイム撮影:

 リモコンの送信ボタンをもう一度押すと、長時間露出撮影を終了します。ただし、 シャッターが開いてから30分経つと自動的に閉じます。

🖉 長時間露出について

- 露光時間が長くなると、画像にノイズ(ざらつき、むら)が発生することがあります。このノイズ (ざらつき、むら)は、あらかじめ撮影メニューの[長秒時ノイズ低減](ロ227)を [する]にして おくことで低減できます。
- 撮影中のバッテリー切れを防ぐため、充分に充電されたバッテリー EN-EL15、または別売のパワーコネクター EP-58とACアダプター EH-5aを組み合わせてお使いになることをおすすめします。

75

ユーザーセッティングモード U1、U2を使う

U1、U2にユーザーセッティングを登録する

よく使う機能(ユーザーセッティング)を、あらかじめ撮影モードダイヤル**U1**と**U2**に登録すると、撮影モードダイヤルを切り換えるだけで、登録したユーザーセッティングの内容で撮影できます。

ユーザーセッティングを登録する

1 登録したい撮影モードを選ぶ

2 登録したい撮影機能を設定する

- ユーザーセッティングモードU1、U2には、次の撮影機能を登録できます。
 - [記録フォルダー設定]、[ファイル名設定]、[カスタムピクチャーコントロール]、 [多重露出]、[インターバルタイマー撮影] 以外の撮影メニュー項目(ロ223)
 - カスタムメニュー項目(凹228)
 - シャッタースピード(撮影モードS、M)、絞り値(撮影モードA、M)、プログラム シフト(撮影モードP)、露出補正、調光補正、フラッシュモード、フォーカスポイ ント、測光モード、AFモード(ライブビュー/動画撮影時を除く)、AFエリアモー ド(ライブビュー/動画撮影時を除く)、オートブラケティング
- **3** セットアップメニューの [ユーザー セッティングの登録] を選ぶ
 - MENUボタンを押して、セットアップメニューの[ユーザーセッティングの登録]を選んでマルチセレクターの▶を押します。



撮影モードダイヤル

<u>}}})p}</u> 54

5

4 設定を登録したいユーザーセッティング モードを選ぶ

- [**U1**] または [**U2**] のいずれかを選んで、▶を押 します。
- 5 ユーザーセッティングを登録する
 - ▲または▼で、[はい]を選んで@ボタンを押す と、選んだユーザーセッティングモードに現在の 設定内容が登録されます。
- 6 登録したユーザーセッティングで撮影する
 - 撮影モードダイヤルをU1またはU2に合わせると、
 登録したユーザーセッティングの内容で撮影できます。

登録したユーザーセッティングをリセットする

- **1** セットアップメニューの [ユーザー セッティングのリセット] を選ぶ
 - MENUボタンを押して、セットアップメニューの[ユーザーセッティングのリセット]を選んでマルチセレクターの▶を押します。
- **2** リセットしたいユーザーセッティング モードを選ぶ
 - [U1] または [U2] のいずれかを選んで、▶を押 します。
- 3 ユーザーセッティングをリセットする
 - ▲または▼で、[はい]を選んで@ボタンを押す と、選んだユーザーセッティングモードに登録さ れた設定内容が、初期設定(撮影モードP)に戻 ります。

MENUボタン











レリーズモード

1コマ撮影や連続撮影、静音撮影など、 レリーズモードを変更する

レリーズモードダイヤルロックボタンを押しながら、レリーズ モードダイヤルを回すと(ロ7)、シャッターをきる(レリーズ する)ときの動作を設定できます。



	レリーズモード	内容
S	1コマ撮影	シャッターボタンを全押しするたびに1コマずつ撮影します。
CL	低速連続撮影	シャッターボタンを全押ししている間、約1~5コマ/秒*1(0081)で連
		「~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~
Сн	高谏連続撮影	シャッターボタンを全押ししている間、約6コマ/秒*2(0181)で連続撮
C 11		影できます。動きのある被写体などに使用すると便利です(□180)。
		1コマ撮影時より静かに撮影したい場合に適しています。
		静音撮影では、シャッターボタンを全押ししている間はミラーダウンしま
		せん。シャッターボタンを半押し状態に戻すとミラーダウンするため、ミ
Q	静音撮影	ラーダウン音のタイミングを遅らせることができます。また、ミラーダウ
		ンする音も1コマ撮影に比べ静かです。
		静音撮影時には、カスタムメニュー d1 [電子音設定](ロ239)の設定に
		かかわらず、電子音は鳴りません。
*	セルフタイマー	シャッターボタンを全押しするとセルフタイマーが作動し、約10秒後に
0	撮影	シャッターがきれます。記念撮影などに便利です(〇82)。
		リモコンの送信ボタンを押して撮影します(凹84)。別売のリモコン
•11	リモコノ掫彰	(ML-L3) が必要です。
		カメラ本体のミラーアップを行い、撮影時にミラーアップの振動によるブ
Mup	ミフーアップ 撮影	レを防ぐことができます(凹87)。超望遠撮影時や接写撮影時に効果的で
		す。

- ※1 カスタムメニュー d6 [低速連続撮影速度] (□241) で設定した連続撮影速度になります。低速連続 撮影速度は、AFモードがAF-C、撮影モードSまたはM、1/250秒以上の高速シャッタースピード、電 源がEN-EL15で、その他が初期設定のときの値です。
- ※2 高速連続撮影速度は、AFモードが **AF-C**、撮影モード**S**または **M**、1/250 秒以上の高速シャッタース ピード、電源がEN-EL15で、その他が初期設定のときの値です。

79

連続撮影する (Сн/СL)

レリーズモードを**CH**(高速連続撮影)または**CL**(低速連続撮影)にすると、シャッター ボタンを全押ししている間、連続撮影できます。

- 1 レリーズモードダイヤルをCHまたはCLに合わせる
 - レリーズモードダイヤルロックボタンを押しなが
 ら、レリーズモードダイヤルをCHまたはCLに合わせます。





- シャッターボタンを全押ししている間、連続撮影ができます。
- •CH時は、最大6コマ/秒で連続撮影します(□81)。
- CL時は、カスタムメニュー d6 [低速連続撮影速度]
 (□241)で設定した速度で連続撮影できます(□81)。

🖉 連続撮影速度について

バッテリー残量が減ると、連続撮影速度が遅くなることがあります。

🖉 連続撮影可能コマ数について

- シャッターボタンを半押しすると、連続撮影可能コマ数が、表示パネルとファインダー内に表示されます。右図の場合、最低28コマ続けて撮影できることを示しています。
- 連続撮影は最大100コマまでできます。ただし、「
 「
 「
 この
 」と表示された
 とき、連続撮影速度が低下します。
- 表示される連続撮影可能コマ数は、おおよその目安です。撮影条件によって増減することがあります。

🖉 連続撮影時の記録について

- SDカードの性能や撮影条件によっては、数十秒から1分間程度SDカードアクセスランプが点灯します。SDカードアクセスランプの点灯中にカメラからSDカードを取り出さないでください。データが 消失するだけでなく、カメラとSDカードに不具合が生じるおそれがあります。
- SDカードアクセスランプ点灯中に電源をOFFにすると、撮影された全ての画像がSDカードに記録されてから電源が切れます。
- 連続撮影時にバッテリーの残量がなくなった場合は、撮影は行わず、撮影済みの画像データがSDカードに記録されて終了します。

🖉 関連ページ

- 連続撮影時に撮影コマ数を制限する → 🖉 d7 [連続撮影コマ数] (□241)
- •「記録可能コマ数と連続撮影可能コマ数」(四360)



セルフタイマーを使って撮影する (🔅)

セルフタイマーによる撮影は記念写真など、撮影者自身もいっしょに写りたいときなど に便利です。セルフタイマー撮影時は、三脚などを使ってカメラを固定してください。

- レリーズモードダイヤルを
 セルフタイマー撮影)に合わせる
 - レリーズモードダイヤルロックボタンを押しなが
 ら、
 ごに合わせます。



2 構図を決め、ピントを合わせる

AFモードがAF-Sでピントが合っていないときなど、カメラのシャッターがきれない状態ではセルフタイマーは作動しません。

▶ セルフタイマー撮影を開始する

 シャッターボタンを全押しすると、セルフタイマー ランプが約8秒間点滅後、約2秒間点灯して合計で 約10秒後にシャッターがきれます。





• レリーズモードダイヤルを他のモードに切り換えると、セルフタイマーは解除されます。

🖉 セルフタイマー撮影時のフラッシュについて

- ・撮影モードP、S、A、M、竹でフラッシュを使って撮影したいときは、撮影を開始する前になボタンを 押して内蔵フラッシュを上げ、ファインダー内のな(フラッシュアイコン)が点灯するまでお待ちく ださい(□155)。セルフタイマーの作動中にフラッシュを上げると、撮影は中止されます。
- 内蔵フラッシュが発光するときは、カスタムメニューc3 [セルフタイマー]の[撮影コマ数](ロ237) を1コマ以上に設定していても、連続撮影はできません。

🚺 ファインダーから顔を離して撮影するときは

ファインダーから顔を離して撮影するときは、ファインダーから入った光が適正露出や画像に影響を 与えることを防ぐため、付属のアイピースキャップDK-5を取り付けることをおすすめします。

アイピースキャップは、接眼目当てDK-21を取り 接眼目当てDK-21 アイピースキャップDK-5 外し(①)、右図のように取り付けます(②)。接 眼目当てを取り外すときは、カメラをしっかりと 支えてください。



🖉 シャッタースピードがぬいとぬにセットされている場合について

撮影モードがMで、シャッタースピードがらしとらにセットされている場合は、シャッタースピードが 約1/4秒でシャッターがきれます。

🖉 関連ページ

• セルフタイマーの作動時間、撮影コマ数、撮影間隔を設定する → 🖉 c3 [セルフタイマー](□237)

セルフタイマー撮影時の電子音を設定する → Ø d1 [電子音設定] (□239)

別売のリモコンを使って撮影する (■)

別売のリモコンML-L3 (口316)を使って、カメラから離れた場所からシャッターをきることができます。記念写真など自分も一緒に写りたいときや、シャッターボタンを押すときの手ブレを軽減したいときなどにお使いください。リモコン撮影時は、三脚などを使ってカメラを固定してください。

1 リモコンモードを設定する

- MENUボタンを押して、撮影メニューの[J
 モコンモード設定]を選んでマルチセレク ターの▶を押します。
- 設定したいリモコンモードを選んで®ボタンを押します。

MENUボタン



ā 2s	2秒リモコン	リモコンの送信ボタンを押すと、2秒後にシャッターがきれます。
	瞬時リモコン	リモコンの送信ボタンを押すと、すぐにシャッターがきれます。
â Mup	ミラーアップ リモコン	リモコンの送信ボタンを押すと、ミラーアップします。もう一度リ モコンの送信ボタンを押すと、撮影できます。撮影時にミラーアッ プの振動によるブレを防ぐことができます。

- 2 レリーズモードダイヤルを■■(リモコン撮影)に合わせる
 - レリーズモードダイヤルロックボタンを押しなが
 ら、■に合わせます。



ダイヤル

3 構図を決める

- リモコン使用時にオートフォーカスでピントを合わせるときは、ここでカメラのシャッターボタンを半押しすると、あらかじめピントを合わせておくことができます
 (このとき全押ししても、シャッターはきれません)。
- 撮影を開始する前にピント合わせを行ってください。

▶ リモコンをはじめてお使いになるときのご注意

リモコンにはさんである透明の絶縁シートを引き抜いてください。

4 リモコンの送信ボタンを押す

•5 m以内の距離から、リモコン送信部をカメラのリモコン受 光部に向け、送信ボタンを押してください(リモコン受光部 は、カメラ前面と背面の2カ所にあります、□□3、5)。



5 撮影する

- 2秒リモコンモードではセルフタイマーランプが約2秒間点灯してからシャッターがきれます。
- 瞬時リモコンモードではすぐにシャッターがきれ、撮影後にセルフタイマーランプが 一瞬点灯します。
- ミラーアップリモコンモードの場合、リモコンの送信ボタンを1回押すと、ミラー アップします。もう一度送信ボタンを押すと、シャッターがきれ、撮影後にセルフタ イマーランプが一瞬点灯します。
- •2秒リモコンモードと瞬時リモコンモードでの撮影時のフォーカス動作は、ファイン ダー撮影時のAFモード(ロ95)の設定によって、次のように異なります。
 - AF-A AF-S
 ピントが合ってから約2秒後、または瞬時にシャッターがきれます。ピントが合 わない場合は、待機状態に戻ります。ただし、すでにピントが合っているときは ピント合わせを行わず、シャッターがきれます。

 AF-C
 ピント合わせは行わず、リモコンの送信ボタンを押してから約2秒後、または瞬 時にシャッターがきれます。
- ライブビュー撮影時は、ピントが合ってから約2秒後、または瞬時にシャッターがきれます。ただし、ピントが合わなくてもシャッターはきれます。
- ミラーアップリモコンモードでの撮影時は、オートフォーカスと測光は行いません。

🖉 ミラーアップリモコンモードについて

- ミラーアップ中は、ファインダーで構図を確認できません。
- リモコンの送信ボタンを1回押してミラーアップした後約30秒経過すると、自動的にシャッターがきれます。

🖉 リモコン撮影の解除について

リモコンの待機状態を解除するには、他のレリーズモードに切り換えてください。

믜

▶ リモコン撮影時のフラッシュについて

- ・内蔵フラッシュが発光する撮影モード(□155、P、S、A、M、¶を除く)では、リモコンの受信待機 状態になるとフラッシュの充電が始まり、充電完了後にリモコンの送信ボタンを押すと、必要に応じ て内蔵フラッシュが自動的に上がり発光します。フラッシュの充電中にリモコンの送信ボタンを押し ても、カメラは反応しません。しばらく待ってから送信ボタンを押してください。
- 撮影モードP、S、A、M、竹でフラッシュを使って撮影したいときは、撮影を開始する前になボタンを 押して内蔵フラッシュを上げ、ファインダー内表示のなが点灯するまでお待ちください(□155)。 リモコンの送信ボタンを押した後にフラッシュを上げると、リモコンの撮影は中止されます。
- 瞬時リモコンモード、ミラーアップリモコンモードの場合、赤目軽減発光(ロ157)を組み合わせた フラッシュモードでは、赤目軽減ランプが約1秒間点灯してからシャッターがきれます。2秒リモコ ンモードの場合、セルフタイマーランプが約2秒間点灯した後、赤目軽減のために赤目軽減ランプが 約1秒間点灯してからシャッターがきれます。

🖉 関連ページ

- リモコン撮影の受信待機時間を変更する → 🖉 c5 [リモコン待機時間] (□238)
- リモコン撮影時の電子音を設定する → 🔗 d1 [電子音設定] (□239)
- 付属のアイピースキャップを使う →「ファインダーから顔を離して撮影するときは」(□83)

ミラーアップして撮影する

ミラーアップ撮影すると、撮影時にミラーアップの振動によるブレを防ぐことができます。

- レリーズモードダイヤルをMup(ミラー アップ撮影)に合わせる
 - レリーズモードダイヤルロックボタンを押しなが
 ら、MUPに合わせます。



ダイヤル



半押ししてピントを合わせた後、シャッターボタンを全押しすると、ミラーアップします。

3 撮影する

- •もう一度シャッターボタンを全押しすると、撮影できます。
- •ブレを防ぐため、シャッターボタンは静かに押してください。
- 撮影が終了すると、ミラーダウンします。

▶ ミラーアップ中のご注意

- •ファインダーで構図を確認できません。
- オートフォーカスと測光は使えません。

🖉 ミラーアップ撮影について

- 三脚の利用をおすすめします。
- ミラーアップ撮影時には、別売のリモートコード(四316)を使うと効果的です。
- リモコンを使ってミラーアップ撮影する方法については、「別売のリモコンを使って撮影する(■)」
 (□84)をご覧ください。
- ミラーアップ開始後約30秒経過すると、自動的にシャッターがきれます。



⊒

▣
画質モード、画像サイズ、 スロット2の機能

画質モードを変更する

画像を記録する際の画質モードを選びます。

画質モード		ファイル形式	内容		
RAW		NEF	撮像素子の生データ(RAW形式)を記録します。撮影時に設定 したホワイトバランスやコントラストなどを、パソコン上で変 更できます。		
FINE	高个		画像データを約1/4に圧縮して記録します(サイズ優先時)。		
NORMAL	画質	JPEG	画像データを約1/8に圧縮して記録します(サイズ優先時)。		
BASIC	↓ 低		画像データを約1/16に圧縮して記録します(サイズ優先時)。		
RAW+F	INE		RAWとJPEG (FINE) の2種類の画像を同時に記録します。		
RAW+ NORMAL		NEF + JPEG	RAWとJPEG(NORMAL)の2種類の画像を同時に記録します。		
RAW+BASIC			RAWとJPEG (BASIC) の2種類の画像を同時に記録します。		

■■ 画質モードの 設定方法

QUAL(⁽⁺)ボタンを押しながら、メインコマンドダイヤルを回す

画質モードは、表示パネルに 表示されます。



🖉 RAW画像について

- 画質モードで RAW を選んだ場合、画像サイズは設定できません。RAW で保存した画像を付属の ViewNX 2や別売のCapture NX 2(ロ316)などで表示すると、画像サイズはLと同じになります。
- 現像には画像編集メニューの [RAW現像] (□ 287)、または付属のソフトウェアViewNX 2や別売のCapture NX 2を使います。
- ViewNX 2は付属のViewNX 2 CD-ROMを使ってインストールできます。

✓ RAW画像とJPEG画像の同時記録について

- ・画質モード [RAW+FINE]、[RAW+NORMAL]、[RAW+BASIC] で撮影したとき、カメラでは JPEG画像のみを再生します。SDカードを1枚使用している場合、JPEG画像と同時記録されたRAW 画像はパソコンでのみ再生できます。
- SDカードを1枚使用している場合や、SDカードを2枚使用していても [スロット2の機能] (□93) が [順次記録] の場合、RAW画像と同時記録されたJPEG画像をカメラ上で削除すると、RAW画像 も削除されます。
- [スロット2の機能](ロ93)を[RAW+JPEG分割記録]に設定してSDカードを2枚使用している場合、RAW画像がスロット1に、JPEG画像がスロット2に記録されます(ロ93)。RAW画像と同時記録されたJPEG画像をカメラ上で削除しても、RAW画像は削除されません。

🖉 [画質モード] について

画質モードは撮影メニュー(□223)でも設定できます。



🖉 関連ページ

「記録可能コマ数と連続撮影可能コマ数」(□360)

■JPEG画像の圧縮方式を選ぶ

MENUボタンを押して、撮影メニュー [**JPEG圧縮**] を選んで、画質モードがJPEG (FINE)、 JPEG (NORMAL)、JPEG (BASIC)の画像を記録するときの圧縮方式を設定します。

🟭 サイズ優先	ファイルサイズがほぼ一定になるように圧縮します。
▲ 画質優先	画質の劣化を抑えて圧縮します。画像によってファイルサイズは異なります。

■RAW画像の圧縮方式を選ぶ

MENUボタンを押して、撮影メニュー [RAW記録] で [記録方式] を選んで、RAW画像の記録時の圧縮方式を設定します。

ONĪ	ロスレス 圧縮RAW	可逆圧縮します(データを完全に復元できます)。非圧縮時のファイルサイズに対して、約60~80%に圧縮して記録します。
ON王)	圧縮RAW	非可逆圧縮します(テーダは完全には復元できません)。非圧縮時のノアイ
		ルサイ人に对して、約45~60%に圧縮して記録します。

■ RAW画像の記録ビット数を選ぶ

MENUボタンを押して、撮影メニュー [RAW記録] で [記録ビットモード] を選んで、 RAW画像の記録ビット数を設定します。

12-bit 12ビット記録	RAW画像を12ビットで記録します。
1/	RAW画像を14ビットで記録します。[12ビット記録] の場合よりもさらに
	豊かな階調表現になります。画像のファイルサイズは大きくなります。

(#

画像サイズを変更する

画像サイズは、次の3種類から選べます。プリントしたい大きさなどに合わせて設定してください。

画像サイズ		画像ファイルの大きさ	プリント時の大きさ* (出力解像度300dpiの場合)
L	た	4928×3264ピクセル	約41.7×27.6cm
м	サイズ	3696×2448ピクセル	約31.3×20.7cm
S	小	2464×1632ピクセル	約20.9×13.8cm

※ピクセル数÷出力解像度(dpi) ×2.54 cmで計算しています。

■■画像サイズの設定方法

QUAL (⁽⁺) ボタンを押しながら、サブコマンドダイヤルを回す

画像サイズは、表示パネルに 表示されます。





2枚のSDカードに記録する (スロット2の機能)

MENUボタンを押して、撮影メニュー [**スロット2の機能**]を選ぶと、2つあるSDカード スロットの両方を使って画像を記録するときのスロット2の機能を設定できます。

□▶□ 順次記録	スロット1から優先的に記録し、空き容量がなくなったら、記録先をス ロット2に変更します。
📋+📋 バックアップ記録	バックアップ用として同じ画像をスロット1、スロット2に記録します。
^ĸ 遡• ^[]] RAW+JPEG分割 記録	 「画質モード」が [RAW + FINE]、[RAW + NORMAL]、または [RAW + BASIC]の場合、スロット1にRAW画像、スロット2にJPEG 画像を記録します。 その他の画質モードの場合は、同じ画像をスロット1とスロット2の両 方に記録します。

✓ [バックアップ記録] と [RAW+JPEG分割記録] について

- 表示パネルとファインダー内表示の記録可能コマ数には、記録可能コマ数が少ないスロットのコマ数 を表示します。
- どちらか一方のスロットの空き容量がなくなると、シャッターがきれなくなります。

🖉 動画を記録するスロットについて

撮影メニュー [動画の設定]の [動画記録先] で、記録するスロットを設定できます(凹62)。

(#



ピントを自動で合わせて撮影する (オートフォーカス)

フォーカスモードセレクトダイヤルをAFに合わせる と、オートフォーカスになります。ここでは、ファイ ンダーを見ながら撮影するときの、オートフォーカス でのピントの合わせ方について説明しています。

フォーカスモード セレクトダイヤル



AFモードを変更する

オートフォーカスでのピントの合わせ方を選びます。

AF-A	AF サーボモード 自動切り換え	被写体が静止しているときは AF-S 、動いているときは AF-C に自動 的に切り替わります。
AF-S	シングル AFサーボ	静止している被写体の撮影に適しています。シャッターボタンを半 押しすると、ピントが合った時点でフォーカスがロックされます。ピ ントが合っていないときはシャッターはきれません。 •初期設定はピントが合うとシャッターがきれるフォーカス優先 モードです(ロ231)。
AF-C	コンティニュアス AFサーボ	ファインダー内のピント表示(●)がいったん点灯してもフォーカ スロックはされず、シャッターをきるまでピントを合わせ続ける モードです。スポーツなど動きのある被写体の撮影に適しています。 シャッターボタンの半押しを続けると、被写体が動いている場合に は予測駆動フォーカス(□96)に切り替わり、被写体の動きに合わ せてピントを追い続けます。 •初期設定ではピントの状態に関係なく、いつでもシャッターがきれる レリーズ優先モードです(□230)。

■AFモードの変更方法

AFモードボタンを押しながら、メインコマン ドダイヤルを回す

AFモードは、表示パネルとファインダー内表示に表示されます。



AFモードボタン メインコマンド ダイヤル



 $\square \! \geqslant \! 0$

🖉 予測駆動フォーカスについて

ファインダー撮影時のAFモードがAF-Cのときや、AF-Aに設定していて自動的にAF-Cに切り替わったときは、シャッターボタンの半押し時に被写体が近づいてきたり遠ざかっていくのをカメラが認識すると、自動的に予測駆動フォーカスに切り替わります。予測駆動フォーカスが作動すると、シャッターがきれる時点での到達位置を予測しながらピントを合わせ続けます。

🖉 関連ページ

- AF-Cをフォーカス優先モードにする → 🖉 a1 [AF-Cモード時の優先] (□230)
- AF-Sをレリーズ優先モードにする → Ø a2 [AF-Sモード時の優先] (□231)
- ライブビュー/動画撮影時のAFモードを設定する →「ライブビュー撮影時のAFモードを設定する」 (□50)

<u>AFエリアモードを変更する</u>

オートフォーカスでピントを合わせるフォーカスポイントをカメラがどのように選択 するかを設定します。

AFエリアモード	内容			
シングルポイント AF	フォーカスポイントを自分で選べます(ロ99)。選んだフォーカスポイント だけを使ってピント合わせをします。静止している被写体の撮影に適してい ます。			
ダイナミックAF・ 9点	AFモードのAF-AまたはAF-C(ロ95)との組み合わせで、撮影者が選た1つのフォーカスポイントから被写体が一時的に外れても、周辺のフォスポイントからのピント情報を利用してピントを合わせます。			
ダイナミックAF・ 21点	 ダイナミックAF・9点:構図を決めて撮影するときや、被写体の動く方が予測でき、フォーカスポイントで被写体を捉えやすい撮影に適していす(例:陸上競技やモータースポーツ)。 ダイナミックAF・21点:動きがランダルで予測しにくい神空体の提影に 			
ダイナミックAF・ 39点	しています(例:フィールドスポーツ)。 • ダイナミックAF・39点:被写体の動きが速く、選択したフォーカスポイン トで被写体を捉えにくい場合の撮影に適しています(例:野鳥撮影)。			
3D-トラッキング	AFモードのAF-AまたはAF-C (□95) との組み合わせで、39点全てのフォー カスポイントを使って被写体を追尾する3D-トラッキングになります。選ん だフォーカスポイントで被写体にピントを合わせると、シャッターボタンを 半押ししている間は被写体の動きに合わせて、フォーカスポイントを自動的 に切り換えて被写体にピントを合わせ続けます。左右に動く被写体を自由な 構図で撮影するのに適しています(例:テニス)。 ・カメラが途中で被写体を見失ってしまった場合は、いったんシャッターボ タンを放して、もう一度被写体にフォーカスポイントを合わせてください。			
	カメラが自動的に全てのフォーカスポイントから被			
オートエリアAF	写体を判別してピントを合わせます。また、Gタイ プまたはDタイプのレンズ(四302)を使用してい るときは、人物と背景を自動的に判別して、主要被 写体にピントが合う精度が高くなります。 • AFモードがAF-Sのときは、ピントが合ったフォー			
	カスポイント全てを約1秒間表示します。AF-CまたはAF-Aに設定していて 自動的にAF-Cに切り替わったときは、ピントが合ったフォーカスポイント全 てを一瞬表示してから、主に使用するフォーカスポイント1点を表示します。			

■ AFエリアモードの変更方法

AFモードボタンを押しながら、サブコマンド ダイヤルを回す

AFエリアモードは、表示パネル、ファインダーに表 示されます。







🖉 AFエリアモードの表示について

表示パネルおよびファインダー内表示の各AFエリアモードの表示は次のようになります。

AFエリアモード	表示パネル	ファインダー 内表示	AFエリアモード	表示パネル	ファインダー 内表示
シングルポイント AF	(\cdot)	5	ダイナミックAF・ 39点*		639
ダイナミックAF・ 9点*		d 9	3D-トラッキング		Зd
ダイナミックAF・ 21点*		d2 (オートエリアAF		Ruto

※実際にファインダーに表示されるフォーカスポイントは1点のみです。 ピント情報として利用する周辺のフォーカスポイントの数を選択できます。

🖉 3D-トラッキングについて

3D-トラッキングでは、半押ししていったんピントが合った時点で、選択したフォーカスポイント周辺の色を記憶します。そのため、被写体の色が周囲の色と似ていたり、半押し開始時の被写体が小さいと、うまく動作しない場合があります。

🖉 マニュアルフォーカス時のAFエリアモードについて

AFエリアモードは自動的にシングルポイントAFになります。

🖉 関連ページ

- AFロックオンを解除する → 🖉 a3 [AFロックオン] (□231)
- ライブビュー/動画撮影時のAFエリアモードを設定する → 「ライブビュー撮影時のAFエリアモード を設定する」(□50)

<u>フォーカスポイントを自分で選ぶ</u>

このカメラには、39カ所のフォーカスポイントがあります。フォーカスポイントを自分 で選ぶことで、構図を自由に変えられます。

- フォーカスポイントロックレバーのロック を解除する
 - フォーカスポイントロックレバーを回して・に合わせ、ロックを解除すると、マルチセレクターでフォーカスポイントを選べるようになります。



フォーカスポイント ロックレバー

- 2 半押しタイマーがオンのときに、ファイン ダーをのぞきながらマルチセレクターを
 ▲▼◀▶または斜め方向に押してフォーカ スポイントを選ぶ
 - ファインダー内で、フォーカスポイントが移動します。

 - フォーカスポイントロックレバーをLの位置に回す と、フォーカスポイントをロック(固定)します。

▼ オートエリアAFモードについて

AFエリアモードがオートエリアAFの場合、フォーカスポイントをカメラが自動的に選択するため、自 分ではフォーカスポイントを選べません。

🖉 関連ページ

- フォーカスポイントの点灯に関する設定を変更する → 🖉 a4 [フォーカスポイント照明] (□231)
- フォーカスポイントの選択を循環方式にする → 🖉 a5 [フォーカスポイント循環選択](□232)
- マルチセレクターで選べるフォーカスポイントの数を変える → 🖉 a6 [AF点数切り換え] (□232)
- 感ボタンを押したときの機能を変更する → Ø f2 [OKボタンの機能(撮影モード)] (□254)

D

ピントを合わせたい被写体がいずれのフォーカスポイントにも入らないときや、オート フォーカスが苦手な被写体(凹101)を撮影するときには、次の手順でピントを固定 (フォーカスロック)して撮影してください。

フォーカスロックを行う前に、AFエリアモード(ロ97)をオートエリアAF以外に設定 することをおすすめします。

1 ピントを合わせたい被写体にフォーカスポイントを重ねる

- 被写体にフォーカスポイントを重ねて、シャッ ターボタンを半押しします。
- ・ピントが合うと、ファインダー内のピント表示
 (●) が点灯します。

2 ピントを固定する

AFモード (□ 95) がAF-AまたはAF-Cのとき

シャッターボタンを半押ししたまま、AE/AFロックボタンを 押すと、ピントと露出が固定されます。

 シャッターボタンから指を放しても、AE/AFロックボタン を押している間はピントと露出(AEロック: □111)が固 定され、ファインダー内表示にAE-Lマークが点灯します。

AFモードがAF-Sのとき

シャッターボタンを半押ししている間は、ピントが固定されます。AE/AFロックボタン でフォーカスロックとAEロックを行うこともできます。

🖉 シャッターボタンの半押しで露出を固定するには

カスタムメニュー c1 [**半押しAEロック**]を [**する**] に設定すると、シャッターボタンの半押しで露出 を固定できます(口236)。







3 フォーカスロックを行ったままで構図を変え、 シャッターボタンを全押しして撮影する

・被写体との距離は変えないでください。フォーカスロック後に被写体との距離が変化した場合は、いったんフォーカスロックを解除し、ピントを合わせ直してください。



💋 ピントを固定したまま繰り返し撮影したいときは

- シャッターボタンの半押しでフォーカスロックした場合は、シャッターをきった後、シャッターボタンを半押しの状態に戻し、そのままもう一度シャッターボタンを全押ししてください。
- AE/AFロックボタンでフォーカスロックを行った場合は、AE/AFロックボタンを押したままもう一度 シャッターボタンを全押ししてください。

🖉 関連ページ

AE/AFロックボタンを押したときの機能を変更する → 🖉 f5 [AE/AFロックボタンの機能](□257)

🖉 オートフォーカスの苦手な被写体について

次のような被写体では、オートフォーカスによるピント合わせができず、シャッターがきれないことや、ピントが合わなくてもピント表示(●)が点灯し、シャッターがきれることがあります。このような場合は、マニュアルフォーカス(□102)でピントを合わせるか、フォーカスロック(□100)を利用してください。



ピントを手動で合わせる (マニュアルフォーカス)

使用するレンズの種類によって、ピントを手動(マニュアル)で合わせるときの設定が 異なります。各レンズでのマニュアルフォーカスの設定は次の通りです。

- AF-Sレンズを使用している場合:レンズのフォーカスモード切り換えスイッチをMに してください。
- AFレンズを使用している場合:カメラのフォーカス モードセレクトダイヤルをMにしてください。レン ズにフォーカスモード切り換えスイッチがある場合 は、レンズ側のフォーカスモードもMにしてください。
- マニュアルフォーカスレンズを使用する場合:カメ ラのフォーカスモードセレクトダイヤルをMにして ください。

ピントは、レンズのフォーカスリングを回して、ファ インダー内のメインの被写体がはっきり見えるよう に合わせます。



フォーカスモード セレクトダイヤル

AF M

✔ AFレンズでマニュアルフォーカスをする場合のご注意

AFレンズでマニュアルフォーカスをする場合は、必ずカメラのフォーカスモードセレクトダイヤルを Mにしてください。フォーカスモードセレクトダイヤルがAFのままマニュアルフォーカスをすると、故 障の原因になります。

🖉 AF-S DX NIKKOR 18-105mm f/3.5-5.6G ED VRについて(🕮 355)

レンズのA-M切り換えスイッチをMにするだけでマニュアルフォーカスができます。

フォーカスエイドによるピント合わせ

開放F値がF5.6以上の明るいレンズ(絞りの最も小さい数値が F5.6以下のレンズ)を使ってマニュアルフォーカスで撮影する ときは、ファインダー内のピント表示(●)でピントが合って いるかどうかを確認できます。ピントが合っているかどうかの 基準となるフォーカスポイントは39カ所から選べます。

- ピントが合うとピント表示(●)が表示されます(□38)。
- オートフォーカスの苦手な被写体(□101)では、ピントが合っていなくてもピント表示(●)が点灯することがありますので、ファインダースクリーンの像でピントが合っていることを確認してください。



🖉 距離基準マークについて



IS **ISO感度**

ISO感度を設定する

暗い場所で撮影するときは、シャッタースピードが遅くなり手ブレしやすくなりますが、ISO感度を標準(ISO 100相当)よりも高くすれば、シャッタースピードが速くなり、手ブレしにくくなります。

設定できるISO感度は、撮影モードによって異なります。

P、S、A、M以外	AUTO、100~6400、Hi 0.3~Hi 2
P、S、A、M	100~6400、Hi 0.3~Hi 2

• [AUTO] ではカメラが自動的にISO感度を決めます。

 高感度(Hi 0.3~Hi 2)で撮影した画像には、ノイズ(ざらつき、むら、すじ)が特に 発生しやすくなります。

■ISO感度の設定方法

ISO (Q■) ボタンを押しながら、メインコマ ンドダイヤルを回す

ISO感度は、表示パネル、ファインダー内表示に表示 されます。



ボタン



ISO





表示パネル

*1*25 ₣5.5 [®] ¦oo) ファインダー内表示



🖉 ISO感度とは

フィルムカメラで使うフィルムのISO感度に相当します。一般的に、ISO感度を高くするほど、より高 速のシャッタースピードで撮影できます(同じ被写体を同じ絞り値で撮影する場合)。このため、暗い 場所での撮影や動いている被写体の撮影などに効果的ですが、一方で、撮影した画像が多少ざらつく 場合があります。

✔ ISO感度についてのご注意

[ISO感度]を[AUTO]にしてから撮影モードをP、S、A、Mのいずれかに切り換えた場合は、以前に 設定したISO感度に戻ります。

🖉 関連ページ

 ISO感度の設定ステップ幅を変更する → Ø b1 [ISO感度設定ステップ幅](□234)

• 高感度撮影時のノイズを低減する → **□** [高感度ノイズ低減] (□227)

感度自動制御機能を使う

感度自動制御機能は、設定したISO感度で適正露出が得られない場合に、カメラが自動 的にISO感度を変更する機能です。

■感度自動制御の設定方法

- 撮影メニューの [ISO感度設定] で
 [感度自動制御] を選ぶ
 - MENUボタンを押して、撮影メニューの [ISO 感度設定] で [感度自動制御] を選んでマル チセレクターの▶を押します。

MENUボタン



2 [する] を選ぶ

- 〔する〕を選んで
 ● ボタンを押すと、カメラが自動的にISO感度を変更するようになります。フラッシュ撮影時も、フラッシュの光量が適正となるように感度自動制御が機能します。

ISO感度設定
感度自動制御

• [しない] を選ぶと、[ISO感度] で設定したISO感 度に固定されます。

3 感度の制御方法を設定する

• カメラが感度を自動的に制御する方法を選びます。



制御上限感度	ISO感度が高くなると、低いときに比べて多少ざらついた画像になることが あります。感度自動制御で、ISO感度が高くなり過ぎないように上限感度 (200~Hi 2)を設定できます。ISO感度の下限は100になります。
低速限界設定	撮影モードPまたはAで感度自動制御が働き始めるシャッタースピード (1/4000~1秒)を設定できます。ここで選択したシャッタースピードでは 露出不足となる場合に、ISO感度を自動的に変更します。ただし、ISO感度 を上欄の[制御上限感度]まで上げても露出不足になる場合は、適正露出 を得るために、低速限界設定よりもさらにシャッタースピードが低速にな ります。

・ Wボタンを押して設定します。

ISO

[感度自動制御]を [する] にすると、表示パネルとファイン ダー内表示に、右のように表示されます。ISO-AUTO表示が点 灯している場合は、[ISO感度]で設定した感度で撮影されま す。感度が自動制御されるとISO-AUTO表示が点滅します。自 動制御で設定された感度は、インフォ画面で確認できます (□10)。





🖉 感度自動制御についてのご注意

- ISO 感度が高くなると、多少ざらついた画像になることがあります。
- [ISO感度] で設定したISO感度よりも、[制御上限感度] で設定したISO感度が低い場合、[制御上限 感度] で設定したISO感度が優先されます。
- フラッシュ撮影時は、[低速限界設定] で設定したシャッタースピードよりも、カスタムメニュー e1 [フラッシュ撮影同調速度] (ロ246) で設定したシャッタースピードが優先されます。
- 内蔵フラッシュ撮影時または別売スピードライトSB-900、SB-800、SB-700、SB-600、SB-400の装着時にフラッシュモードをスローシンクロに設定していても、背景の明るさがより適正となるように感度自動制御が機能して感度が自動的に上がり、シャッタースピードが低速にならないことがあります。

測光・露出

明るさを測る方法を設定する (測光モード)

撮影モードP、S、A、Mのみ

適正な露出を得るためにカメラが被写体の明るさを測る方法(測光モード)を設定します。

• P、S、A、M以外の撮影モードの場合、それぞれの撮影シーンに適した測光モードが自動的に選ばれます。

、 マルチパターン 測光	ほとんどの撮影状況に対応できる測光モードです。画面の広い領域を測光して、 被写体の輝度(明るさ)分布、色、距離や構図などさまざまな情報を瞬時に分 析するため、見た目に近い画像が得られます。
● 中央部重点 測光*	 画面の中央部分を重点的に測光します。画面中央にメインの被写体を大きく配置して撮影する場合などに適しています。 露出倍数のかかるフィルターをお使いになるときは、中央部重点測光をおすすめします。 測光範囲はカスタムメニュー b4 [中央部重点測光範囲](ロ235)で変更できますが、非CPUレンズ使用時は常にφ8mm相当となります。
・ スポット 測光*	フォーカスポイントに重なる \$\phi_3.5mm 相当(全画面の約2.5%)の部分だけを 測光します。逆光時や被写体の明暗差が激しいときなど、狭い範囲での露出を 基準にして撮影したい場合に適しています。 • 測光エリアは、フォーカスポイントに連動します。ただし、ファインダー撮 影時のAFエリアモード(\$\pm 97)がオートエリアAFのときや、非CPUレンズ 使用時は、中央のフォーカスポイントに相当する部分を測光します。

※非CPUレンズ使用時は、セットアップメニューの [**レンズ情報手動設定**](^{CD}175)で焦点距離と開放 絞り値を設定すると、測光の精度が向上します。

■測光モードの設定方法

➡ボタンを押しながら、メインコマンドダイヤルを回す

測光モードは、表示パネルに 表示されます。







S ボタン

メインコマンド ダイヤル 表示パネル

🖉 マルチパターン測光とレンズの組み合わせについて

測光モードが図のときの測光方式は、レンズの種類によって変わります。

- CPUレンズ
 - 「3D-RGBマルチパターン測光II」:GまたはDタイプのCPUレンズ使用時の測光方式です。距離情報を利用して測光します。
 - 「RGBマルチパターン測光II」:GまたはDタイプ以外のCPUレンズ使用時の測光方式です。距離情報は利用しません。
- 非CPUレンズ
 - セットアップメニューの [**レンズ情報手動設定**](□175)でレンズ情報を設定すると、「RGBマル チパターン測光」という測光方式になります。レンズ情報を設定しない場合は、中央部重点測光に なります。

🖉 関連ページ

- 中央部重点測光の測光範囲を変更する → 🖉 b4 [中央部重点測光範囲] (□235)
- 測光モードごとに適正露出の基準を決める → 🖉 b5 [基準露出レベルの調節] (□236)

露出を固定して撮影する (AEロック)

AE ロック撮影とは、被写体の特定の部分を測光して露出を決め、そのまま構図を変え て撮影する方法です。露出を合わせたい部分とその周囲とで、極端に明るさが異なる場 合などに効果的です。

- 図(マルチパターン測光)では、充分な効果が得られないため、おすすめできません。なお、撮影モード 図、③、またはシーンモードの場合もAEロックは作動しますが、図(マルチパターン測光)での撮影となるため、おすすめできません。
- 2 露出を合わせたい部分にフォーカスポイントを重ね てシャッターボタンを半押ししたまま、AE/AF ロックボタンを押して、露出を固定する
 - AE/AFロックボタンを押している間は、測光モードに応じた部分の露出で固定(ロック)され、構図を変えても露出は変わりません。
 - •ファインダー内表示にAE-Lマークが点灯します。
 - オートフォーカス撮影時は、フォーカスロックも同時に行われますので、ピント表示(●)の点灯も確認してください。



AE/AFロックボタン



3 AE/AFロックボタンを押したまま、構図を 決めて撮影する



🖉 測光エリアについて

- スポット測光で、測光エリアとフォーカスポイントが連動する場合(ロ109)は、選択しているフォーカスポイントの露出が記憶されます。
- 中央部重点測光に設定した場合は、ファインダー中央部を重点的に測光した露出が記憶されます。

0

🖉 AEロック中のカメラ操作について

AE/AFロックボタンを押している間も以下の操作ができます。

撮影モード	操作	
Р	プログラムシフト (叩69)	
S	シャッタースピードの変更	
Α	絞り値の変更	

• 表示パネルやファインダー内表示には、変更後のシャッタースピード、絞り値が表示されます。

• AEロック中は、測光モードは変更できません。

🖉 関連ページ

- シャッターボタンの半押しでAEロックできるようにする → Ø c1 [半押しAEロック](□236)
- AE/AFロックボタンに別の機能を割り当てる → Ø f5 [AE/AFロックボタンの機能] (□257)

画像の明るさを調整する (露出補正)

撮影モードP、S、A、Mのみ

露出補正とは、カメラが制御する適正露出値を意図的に変えることです。画像全体を明 るくしたり、暗くしたいときなどに使います。露出補正を行うときは、測光モード (□109)を៌ (中央部重点測光)または ● (スポット測光)にすると効果的です。



-1段補正

露出補正なし

+1段補正

■露出補正の設定方法

国ボタンを押しながら、メインコマンドダイヤルを回す

- 露出補正値は、表示パネルに表示されます。
- 露出補正は、1/3段ステップで±5段の 範囲で設定できます。



■ボタン

 +0.3	

メインコマンドダイヤル 表示パネル

• 図ボタンを押すと、表示パネルとファインダー内表示で設定した補正量を確認できます。



 ・補正量を設定すると、表示パネルとファインダー内表示に露 出補正マーク

 □が表示されます。また、撮影モードP、S、A では、ファインダー内表示に露出補正インジケーターが表示 され、[0]が点滅します。



- ・被写体を明るくしたいときは+側に、暗くしたいときは-側に補正するのが基本です。
- •露出補正を解除するには、補正量を0.0 にしてください。カメラの電源をOFF にして も、補正量の設定は解除されません。

0

✓ 撮影モードMでの露出補正について

撮影モードがMのときは、インジケーター表示が変わるだけで、設定したシャッタースピードと絞り値 は変わりません。

🖉 フラッシュ使用時の露出補正

フラッシュ使用時に露出補正を行った場合は、背景露出とフラッシュの発光量の両方に補正が行われます。

🖉 関連ページ

- 露出補正のステップ幅を変更する → Ø b2 [露出設定ステップ幅](□234)
- 図ボタンを使わずに露出補正する → 🔗 b3 [露出補正簡易設定](□235)
- 露出補正値を変えながら撮影する→「AEブラケティング、フラッシュブラケティングの撮影方法」(□115)

露出や調光、ホワイトバランス、 アクティブD-ライティングを変えながら 撮影する (ォートブラケティング撮影) 撮影モードP. S. A. Mのみ

明るさ(露出)、フラッシュの発光量、ホワイトバランス、アクティブD-ライティング (ADL)の設定をカメラが自動的に変えながら撮影します。画像の明るさやフラッシュ の発光量の調整が難しい場合や複数の光源が混在していてホワイトバランスを決めに くい場合の撮影に効果的です。

■ AEブラケティング、フラッシュブラケティングの撮影方法

露出値(AE)とフラッシュの発光量を変えながら撮影します。

- **1** [AE・フラッシュブラケティング] を 選ぶ
 - MENUボタンを押して、カスタムメニュー e5
 [オートブラケティングのセット] で [AE・ フラッシュブラケティング] を選んで®ボ タンを押します。
 - [AEブラケティング]、[フラッシュブラケ ティング]を選んだ場合も操作は同じです。

MENUボタン





 $\mathbf{\bullet}$

🖉 AEブラケティング、フラッシュブラケティングについて

[AE・フラッシュブラケティング] では、AE ブラケティングとフラッシュブラケティングを同時に行います。AE ブラケティングだけを行いたいときは [AE ブラケティング] を、フラッシュブラケティン グだけを行いたいときは [フラッシュブラケティング] を選びます。

2 撮影コマ数(2コマまたは3コマ)を設定する

•BKT ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すと、表示パネルの撮影コマ数 とブラケティングバーグラフの表示が変化します。設定したい撮影コマ数に合わせて ください。



 表示パネルに図マークが、ファインダー 内表示にBKTが点灯します。



• 設定した撮影コマ数により、ブラケティングの内容が次のように異なります。

撮影コマ数	ブラケティング バーグラフ	ブラケティングの内容
35	÷∢∎⊳−	「補正なし」→「-側に補正」→「+側に補正」の順に3コマ撮影
+25	÷∢∎	「補正なし」→「+側に補正」の順に2コマ撮影
28		「補正なし」→「-側に補正」の順に2コマ撮影

🔂 補正ステップ(0.3段~2段)を設定する

• BKT ボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを回すと、表示パネルの補正ステップ 表示が変化します。設定したい補正ステップに合わせてください。





4 撮影する

• 設定した撮影コマ数を撮影してください。



- •シャッタースピードと絞り値は補正された値が表示されます。
- 表示パネルのブラケティングバーグラフから、基準露出のコマを撮影すると■が、マイナス側のコマを撮影すると▶ が、プラス側のコマを撮影すると ↓ 4 が消えます。



 ● AEブラケティングと露出補正(□113)を同時に設定すると、両方の補正値が加算 されたAEブラケティング撮影が行えます。±4段を超えるAEブラケティング撮影を 行うときに便利です。

🖉 関連ページ

• オートブラケティングの補正ステップ幅を変更する → 🖉 b2 [露出設定ステップ幅](□234)

• オートブラケティングの撮影順を変更する → Øe6 [BKTの順序](□253)

🖉 AEブラケティング、フラッシュブラケティング撮影をやめるには

BKTボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回して、表示パネルのブラケティングバーグラフを消してください(BDPアイコンが消灯します)。

AE・フラッシュブラケティング、AEブラケティング、フラッシュブラケティング撮影について

- レリーズモード(四79)をCLまたはCHにセットして連続撮影する場合、シャッターボタンを押し 続けるとセットしたコマ数の撮影が終了した時点でいったん停止します。シャッターボタンを押し直 すと次の連続撮影が可能になります。
- セルフタイマー撮影時(四82)には、シャッターボタンを全押しすると、カスタムメニューc3 [セルフタイマー]の[撮影コマ数](四237)で設定した撮影コマ数に関わらず、四116の手順2で設定した撮影コマ数が1コマずつ撮影されます。
- 撮影中に電源をOFFにしても、再びONにすれば撮影を再開できます。
- 撮影中にSDカードの残量がなくなっても、残量のあるSDカードに交換すれば残りを撮影できます。

🖉 AEブラケティング

AEブラケティングでは、撮影モードによって補正される内容(シャッタースピード、絞り値)が異な ります。

撮影モード	変化する内容	
Р	シャッタースピードと絞り値*1	
S	絞り値*1	
A	シャッタースピード*1	
М	シャッタースピード*2	

| ※1撮影メニュー [ISO 感度設定]の「感度自動制御」(□107)が「する]のときは、シャッタース ピードや絞り値が制御範囲を超えると、自動的にISO感度が変化します。

※2撮影メニュー [ISO 感度設定]の [感度自動制御] (□107)が [する] のときは、まず ISO 感度 を変化させて基準となる露出を適正露出に近づけてから、オートブラケティングでシャッタース ピードを変化させます。

■WBブラケティングの撮影方法

ホワイトバランスの色温度を変えながら撮影します。ホワイトバランスについての説明は、¹²⁵をご覧ください。



2 撮影コマ数(2コマまたは3コマ)を設定する

•BKT ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すと、表示パネルの撮影コマ数 とブラケティングバーグラフの表示が変化します。設定したい撮影コマ数に合わせて ください。



表示パネルに
 ・
 ・
 ま示に
 ・
 アーク
 ・
 、
 に
 ・
 BKT
 が
 点
 灯
 します
 ・

125 F5.6	BKT	IF 58]
ファインダー		, 表示

Ø

☑ WBブラケティングの制限について

WBブラケティングは、RAWを含む画質モードでは使用できません。

3 補正ステップを設定する

• BKT ボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを回すと、表示パネルの補正ステップ 表示が変化します。設定したい補正ステップに合わせてください。





- •補正ステップは、1(1段)、2(2段)、3(3段)から選ぶことができます。
- ホワイトバランス補正ステップの1段は、約5ミレッドに相当します。A方向に数が大きくなるごとにアンバーが強くなります。B方向に数が大きくなるごとにブルーが強くなります(ロ128)。
- •補正ステップが1のときの撮影コマ数と撮影順序は次の表の通りです。

表示パネ	ル	ブラケティングバーグラフ	撮影コマ数	補正ステップ	撮影順序
62F	1	÷∢∎	2	B方向1段	0/B1
828	1	∎⊳÷	2	A方向1段	0/A1
35	1	÷∢∎⊳÷	3	各方向1段	0/A1/B1

4 撮影する

- シャッターボタンを1回全押しすると、設定した全ての コマ数の画像が記録されます。
- ホワイトバランスを微調整にしていた場合は、微調整に WBブラケティングの補正ステップが加算されます。
- WBブラケティングの撮影コマ数が記録可能コマ数より 多い場合、表示パネルおよびファインダー内表示の記録 可能コマ数表示が点滅し、シャッターがきれません。新 しいSDカードに交換すると撮影できます。





🖉 WBブラケティング撮影をやめるには

BKTボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回して、表示パネルのブラケティングバーグラフを消してください(magairアイコンが消灯します)。

✓ WBブラケティング撮影について

- WBブラケティングでは、色温度(A(アンバー)からB(ブルー)への横方向)の補正のみを行います(ロ127)。G(グリーン)からM(マゼンタ)への縦方向の補正は行いません。
- 撮影中に電源をOFFにした場合、全てのコマの記録が終了してから電源が切れます。
- ・セルフタイマー撮影時(□282)には、シャッターボタンを全押しすると、カスタムメニュー c3 [セルフタイマー]の[撮影コマ数](□237)で設定した撮影コマ数に関わらず、□119の手順2で設定した撮影コマ数が全て記録されます。

🖉 関連ページ

「ミレッド (MIRED) について」 (□128)

■ADLブラケティングの撮影方法

アクティブD-ライティングの効果の度合いを変えながら撮影します。アクティブD-ラ イティングについての説明は、CD151をご覧ください。





2 撮影コマ数(2コマまたは3コマ)を設定する

•BKTボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すと、表示パネルの撮影コマ数 とブラケティングバーグラフの表示が変化します。設定したい撮影コマ数に合わせて ください。



 表示パネルに
図図マークが、ファイン ダー内表示に
BKTが
点灯します。



• 設定した撮影コマ数により、ブラケティングの内容が次のように異なります。

撮影コマ数	ブラケティング バーグラフ	ブラケティングの内容
25		[しない] → (撮影メニュー [アクティブD-ライティング] で設定されている効果の度合い) *の順に撮影
35	∎⊳÷	[しない] → [標準] → [強め] の順に撮影

※撮影メニュー [アクティブD-ライティング] で [しない] が選ばれている場合は、[オート] で 撮影します。

3 撮影する

- 設定した撮影コマ数を撮影してください。
- 撮影するたびに、表示パネルのブラケティングバーグラフから、■(「補正なし」)→▶(「補正あり」)(撮影コマ数が2コマの場合)または■(「補正なし」)→▶(「標準」)→+
 (「強め」)(撮影コマ数が3コマの場合)の順に消えます。







🖉 ADLブラケティング撮影をやめるには

BKTボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回して、表示パネルのブラケティングバーグラフを消してください(MMMM アイコンが消灯します)。

🖉 ADLブラケティング撮影について

- レリーズモード(凹79)をCLまたはCHにセットして連続撮影する場合、シャッターボタンを押し続けるとセットしたコマ数の撮影が終了した時点でいったん停止します。シャッターボタンを押し直すと次の連続撮影が可能になります。
- セルフタイマー撮影時(四82)には、シャッターボタンを全押しすると、カスタムメニューc3 [セルフタイマー]の[撮影コマ数](四237)で設定した撮影コマ数に関わらず、四122の手順2で設定した撮影コマ数が1コマずつ撮影されます。
- 撮影中に電源をOFFにしても、もう一度ONにすれば撮影を再開できます。
- 撮影中にSDカードの残量がなくなっても、残量のあるSDカードに交換すれば残りを撮影できます。

 $\mathbf{\overline{\mathbf{S}}}$
ホワイトバランス

ホワイトバランスを変更する 撮影モードP. S. A. Mのみ

光源に合わせて、画像が見た目に近い色で撮影されるようにすることを「ホワイトバランスを合わせる」といいます。初期設定のAUTO(オート)でほとんどの光源に対応できますが、撮影した画像が思い通りの色にならないときは、天候や光源に合わせてホワイトバランスを変更してください。

• P、S、A、M以外の撮影モードの場合、それぞれの撮影シーンに適したホワイトバラン スが自動的に選ばれます。

木!	フイトバランス	設定される 色温度	内容	
AUTO オート			AUTO(オート)で充分な効果を得るには、GまたはDタイプレ	
	AUTO1 標準	約3500~	ンズをお使いになることをおすすめします。内蔵フラッシュ	
	AUTO2	8000K*	または別売のスピードライトの使用時は、フラッシュ発光時	
	電球色を残す		の条件に応じて適したホワイトバランスに調整されます。	
♣	電球	約3000K※	白熱電球下での撮影に適しています。	
	蛍光灯	—	蛍光灯など、次の7種類の光源を使った撮影に適しています。	
	ナトリウム灯	<u>終わつ700K※</u>	野球場、体育館などのナトリウム灯の混合光を使った撮影に	
	混合光	#JZ700K*	適しています。	
	電球色蛍光灯	約3000K※	電球色蛍光灯下での撮影に適しています。	
	温白色蛍光灯	約3700K※	温白色蛍光灯下での撮影に適しています。	
	白色蛍光灯	約4200K※	白色蛍光灯下での撮影に適しています。	
	昼白色蛍光灯	約5000K※	昼白色蛍光灯下での撮影に適しています。	
	昼光色蛍光灯	約6500K※	昼光色蛍光灯下での撮影に適しています。	
	高色温度の 水銀灯	約7200K*	高色温度の水銀灯などを使った撮影に適しています。	
潫	晴天	約5200K※	晴天の屋外での撮影に適しています。	
4	フニッシュ	約E400K※	内蔵フラッシュや別売のスピードライトを使って撮影する場	
*	/////	#JJ400K*	合に適しています。	
2	曇天	約6000K※	曇り空の屋外での撮影に適しています。	
\$ 77.	晴天日陰	約8000K※	晴天の日陰での撮影に適しています。	
К	色温度設定	約2500~ 10000K	●温度を直接指定できます(□130)。	
PRE	プリセット マニュアル	_	撮影者が被写体や光源を基準にホワイトバランスを合わせた り、SDカード内の画像と同じホワイトバランスで撮影したり できます(ロ131)。	

※微調整が0の場合の値です。

μB

■ ホワイトバランスの設定方法

WB(?/~)ボタンを押しながら、メインコマンドダイヤルを回す

 ホワイトバランスは、 表示パネルに表示されます。







WB(**?/~**) ボタン

メインコマンド ダイヤル

表示ノ	パネル
	V 1 / P

🖉 [ホワイトバランス] について

ホワイトバランスは撮影メニュー(口223)でも設定できます。

▶ 撮影メニュー	
🗖 ホワイトバランス	AUTO1
ピクチャーコントロール	⊡SD
ちんちょう しんしょう しょうしん しんしょう しんしょ しんしょ	
自動ゆがみ補正	0FF
◎ 色空間	SRGB
¹ ☆ アクティブDーライティング	0FF
長秒時ノイズ低減	0FF
🛙 高感度ノイズ低減	NORM .

🖉 AUTO (オート) について

AUTO(オート)の場合は、撮影メニューで[AUTO1標準]と[AUTO2電球色を残す]から選べます。 [AUTO2電球色を残す]を選ぶと、電球色の光源下で撮影した際に暖かみのある画像の仕上がりになります。

🖉 👾 (蛍光灯) について

※(蛍光灯)の場合は、撮影メニュー(□223)で蛍光灯の種類を選べます。

🔽 スタジオ用大型ストロボを使用する場合

スタジオ用大型ストロボを使用する場合は、AUTO(オート)に設定していても適正なホワイトバラン スが得られない場合があります。その場合は、🗲(フラッシュ)モードにして微調整を行うか、プリ セットマニュアルをお使いください。

🖉 色温度について

光の色には、赤みを帯びたものや青みを帯びたものがあり、人間の主観で光の色を表すと、見る人によって 微妙に異なります。そこで、光の色を絶対温度(K:ケルビン)という客観的な数字で表したのが色温度で す。色温度が低くなるほど赤みを帯びた光色になり、色温度が高くなるほど青みを帯びた光色になります。



ホワイトバランスを微調整する 撮影モードP、S、A、Mのみ

ホワイトバランスは、さらに微調整できます。

■撮影メニューの [ホワイトバランス] で設定する場合

1 設定したいホワイトバランスを選ぶ

- MENUボタンを押して、撮影メニューの [ホワ イトバランス] で設定したいホワイトバラン スを選びます。
- ホワイトバランスを選んでマルチセレクターの
 の▶を押すと、微調整画面が表示されます。

MENUボタン



- [オート] の場合は、[AUTO1 標準] または [AUTO2 電球色を残す] を選んで▶を 押すと、微調整画面が表示されます。
- [**蛍光灯**]の場合は、該当する蛍光灯の種類を選んで▶を押すと、微調整画面が表示 されます。
- [色温度設定]の場合は、該当する色温度を選んで▶を押すと、微調整画面が表示されます。
- •[プリセットマニュアル]の場合は、該当するプリセットマニュアルデータを設定すると(ロ138)、微調整画面が表示されます。

2 微調整値を設定する

 マルチセレクターを操作すると、A(アンバー)、 B(ブルー)、G(グリーン)、M(マゼンタ)の
 4方向で、各方向6段まで微調整できます。設定した座標上の色に画像を補正します。



• 座標とホワイトバランスの効果の関係は次の図のようになります。



- A (アンバー)、B (ブルー)方向は、色温度の高さを微調整できます。1段は約5ミレッドに相当します。
- G (グリーン)、M (マゼンタ)方向は、色補正用(CC)フィルターと同じような微調整ができます。

lμB

3 微調整値を決定します

 ● ●ボタンを押して微調整値を決定すると、撮影メニューに 戻ります。







🖉 [色温度設定] での微調整について

ホワイトバランスが [**色温度設定**] の場合は、色温度を確認しながら微調 整できます。



🚺 ホワイトバランスの微調整画面について

ホワイトバランスの微調整画面で表示されている色は、色温度方向の目安の色を表しています。微調 整画面で設定しても、設定したそのままの色の画像にはならない場合があります。たとえば、ホワイ トバランスを条(電球)に設定してB(ブルー)方向に微調整しても、青色が強い画像にはなりません。

🖉 ミレッド(MIRED)について

色温度の逆数を百万(10⁶)倍したものです。色温度は、同じ色温度差でも、色温度の低い場合では色の変化が大きく、色温度の高い場合では、色の変化が小さくなります。たとえば同じ1000ケルビンの 違いでも6000ケルビン付近での変化は比較的小さく、3000ケルビン付近では1000ケルビンの違いで 光色が大きく変わります。ミレッドは、その変化幅をほぼ同じに表現する尺度であり、色温度変換フィ ルターの単位としても利用されます。

例) 色温度の差(K:ケルビン):ミレッドの差(M:ミレッド)
 4000K-3000K=1000K:83 M
 7000K-6000K=1000K:24 M

🖉 関連ページ

ホワイトバランスを変えながら撮影する → ② e5 [オートブラケティングのセット](□253) → 「WBブラケティングの撮影方法|(□119)

■ ホワイトバランスボタンとサブコマンドダイヤルで設定する場合

WB (?/~) ボタンを押しながら、サブコマンドダイヤルを回す

 現在選択中のホワイトバラン スの微調整量は、表示パネル に表示されます。



- WB (?//m) ボタンとサブコマンドダイヤルで微調整する場合は、A (アンバー) から B (ブルー) への横軸の方向のみ設定できます (ロ127)。
- •各方向6段まで微調整できます。1段は約5ミレッドに相当します(□128)。
- サブコマンドダイヤルを左に回すとA(アンバー)方向に、右に回すとB(ブルー)方向に色温度の高さを微調整できます。
- ・ 微調整値を0以外に設定すると、表示パネルにホワイトバランス微調整表示★が点灯します。
- WB (%) ボタンの操作では、 【 (色温度設定)、 PRE (プリセットマニュアル)の ホワイトバランスは微調整できません。撮影メニューで微調整してください (□127)。

色温度を指定してホワイトバランスを設定する

(色温度設定)

撮影モードP、S、A、Mのみ

ホワイトバランスを **【**(色温度設定)にしたときは、ホワイトバランスの色温度を直接数値で指定できます。

■●温度の設定方法

WB(?/m)ボタンを押しながら、サブコマンドダイヤルを回す

 ・色温度は、表示パネルに 表示されます。



ᄱ



基準となる白を測定してホワイトバランスを 設定する(プリセットマニュアル) 撮影モードP、S、A、Mのみ

プリセットマニュアルでは、撮影する照明下で取得したホワイトバランスデータまたは 撮影済みの画像のプリセットマニュアルデータをカメラに保存し、ホワイトバランスを 設定します。カクテル照明(自然光と人工照明とが混ざった室内撮影)や特殊照明下 で、前記のAUTO(オート)や余(電球)などの各設定や、色温度設定では望ましいホ ワイトバランスが得られない場合に便利です。

プリセットマニュアルデータを保存するには、次の方法があります。

プリセットマニュアルデータを	撮影する照明下で白またはグレーの被写体を基準にして撮影
カメラで新規取得して保存する	を行い、撮影データから取得して保存します(凹132)。
撮影済みの画像のホワイトバランス	SDカードにある画像のホワイトバランスデータをコピーして
データをコピーして保存する	保存します (皿136)。

プリセットマニュアルデータは、d-0~d-4の5つの場所に保存できます。また、各プリ セットマニュアルデータにはコメントを添付できます(凹139)。

d-0

カメラで新規取得(口132)したプリセットマニュアルデータ を保存します。新規取得するごとに新しいプリセットマニュア ルデータに上書きされます。



d-1~d-4

プリセットマニュアルデータとして保存します。

• d-0に保存されているプリセットマニュアルデータのコピー(凹135)



 SDカードにある画像のホワイトバランスを コピー(□136)



■プリセットマニュアルデータの新規取得

プリセットマニュアルデータは次の方法で新規取得します。

プリセットマニュアルデータを取得する前に:

- プリセットマニュアルデータを取得する場合は、あらかじめホワイトバランスをセッ トする照明下で、無彩色(白またはグレー)の被写体を用意しておいてください。ス タジオ用大型ストロボにてホワイトバランスをセットする場合は、被写体をグレー(ホ ワイトバランス取得用の18%標準反射板)にすることをおすすめします。
- 無彩色(白またはグレー)の被写体を基準にプリセットマニュアルデータを取得する ときは、カメラが露出を通常よりも1段オーバーになるように自動的に調整します。撮 影モードがMの場合は、露出インジケーターを確認して、適正露出になるよう設定し てください(四73)。

1 WB (?//_w) ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回して、表示 パネルのホワイトバランス表示をPREに合わせる



ダイヤル

2 プリセットマニュアル取得モードにする

•いったんWB(?/m)ボタンから指を放し、再度WB(?/m) ボタンを押し続けると、プリセットマニュアル取得モード になり、表示パネルにP+Eの文字とPREが、ファインダー 内表示に P・Eの文字が、それぞれ約6秒間点滅します。



表示パネル



ファインダー内表示

μB

3 ₽-- {の点滅中に白またはグレーの被写体を撮影する

 撮影時に使う照明の下で、用意した無彩色(白またはグレー)の被写体をファインダーいっぱいにとらえてシャッターボタンを全押しすると、 プリセットマニュアルデータが取得され、d-0に保存されます。



- ピントが合わなくてもシャッターがきれ、プリセットマニュアルデータ が正常に取得されます。
- •シャッターボタンを押しても、SDカードに画像は記録されません。

4 正常にプリセットマニュアルデータが取得されたことを確認する

プリセットマニュアルデータが取得されると、表示パネルにしたのの文字が、ファインダー内表示にしての文字が、それぞれ約6秒間点滅し、プリセットマニュアル取得モードを終了します。

被写体が極端に低輝度または高輝度の場合、カメラがプ

す。この場合、表示パネルとファインダー内表示に

アル取得モード(手順3)に戻ります。

リセットマニュアルデータを取得できないことがありま

∩∩ 「6」の文字が、それぞれ約6秒間点滅します。このと

き、シャッターボタンを半押しするとプリヤットマニュ



ファインダー内表示

5 新規に取得したプリセットマニュアルデータを使用する

 新規に取得したプリセットマニュアルデータを使用するには、WB(?~)ボタンを 押しながらサブコマンドダイヤルを回してd-0を選択します。



μB

▶ プリセットマニュアル取得モードの時間制限について

プリセットマニュアル取得モードは、何も操作しないままカスタムメニュー c2 [**半押しタイマー**] (¹¹236)で設定した時間が過ぎると解除されます。

🖉 プリセットマニュアルデータについて

- 新規に取得したプリセットマニュアルデータは常にd-0に保存され、以前のプリセット値は警告なしに上書きされます。他のプリセットマニュアルデータ(d-1~d-4)を選択している場合、そのままでは新規に取得したプリセットマニュアルデータを使用できません。新規に取得したプリセットマニュアルデータを使用するには、プリセットマニュアルデータとしてd-0を選択してください。
- 取得したプリセットマニュアルデータは、d-1~d-4にコピーできます(凹135)。
- ご購入時のプリセットマニュアルデータd-0~d-4は、晴天モードと同じ色温度5200Kに設定されています。
- 撮影メニューから [ホワイトバランス]の [プリセットマニュアル]を 選ぶと、取得したプリセットマニュアルデータが右のような撮影画像の サムネイルで表示されます。



■ 新規取得したプリセットマニュアルデータ(d-0)をコピーする

d-0に保存されたプリセットマニュアルデータを、選択したプリセットマニュアルデー タの保存場所にコピーできます。

1 撮影メニューの [ホワイトバランス] MENUボタン で [プリセットマニュアル] を選ぶ ホワイトバランス 雷球 . Ô VENU 蛍光灯 ● MENUボタンを押して、撮影メニューの「ホワ Š 晴天 フラッシュ イトバランス] で [プリセットマニュアル] 唐天日险 を選んでマルチセレクターの▶を押します。 島度設定

9■ボタン

WEW

Q

- 2 コピー先を選ぶ
 - マルチセレクターで黄色い枠を移動してd-1
 ~d-4の中からコピー先を選びます。
 - Q■ボタンを押すと設定画面が表示されます。

3 [d-0をコピー] を選ぶ

- [d-0をコピー] を選んで、 ® ボタンを押します。
- d-0のプリセットマニュアルデータにコメント (四139)がある場合、コメントもコピーされます。



ホワイトバランス

Ô

μB

■撮影済み画像のホワイトバランスデータをコピーする

選択したプリセットマニュアルデータの保存場所に、SDカード内の画像で使用された ホワイトバランスを、プリセットマニュアルデータとしてコピーできます。

- 撮影メニューの [ホワイトバランス] で [プリセットマニュアル] を選ぶ(□135)
 - [プリセットマニュアル]を選んでマルチセレク ターの▶を押します。
- 2 コピー先を選ぶ
 - マルチセレクターで黄色い枠を移動してd-1 ~d-4の中からコピー先を選びます。
 - Q■ボタンを押すと設定画面が表示されます。
 - d-0には、撮影済み画像のホワイトバランス データをコピーすることはできません。
- 3 [使用する画像の選択] を選ぶ
 - [使用する画像の選択] を選んで▶を押すと、SD カード内の画像が一覧表示されます。
- 4 ホワイトバランスデータをコピーしたい画 像を選ぶ
 - マルチセレクターで黄色い枠を移動して画像を選びます。
 - 選んだ画像は、 ペボタンを押している間、拡大して確認できます。
 - BKTボタンを押しながら▲を押すと、[ス ロット/フォルダー指定メニュー] 画面が表 示され、スロットやフォルダーを切り換えら れます(□180)。













((ок



BKTボタン

5 ホワイトバランスデータをコピーする

• ®ボタンを押すとSDカード内の画像のホワイトバランス データがコピーされます。



 ・選択した画像に画像コメント(□266)がある場合、画像コ メントもコピーされます。

🖉 設定画面でのプリセットマニュアルデータの切り換えについて

設定画面で、マルチセレクターの▲を押してプリセットマニュア ルデータ (d-0~d-4) を選び、▶を押すと、プリセットマニュア ルデータが切り替わります。



■プリセットマニュアルデータを設定する

選択したプリセットマニュアルデータを撮影で使用するホワイトバランスに設定します。

9■ボタン

(191)

- 撮影メニューの [ホワイトバランス] で [プリセットマニュアル] を選ぶ(□135)
 - [プリセットマニュアル]を選んでマルチセレク ターの▶を押します。



ホワイトバランス

•

- **2** プリセットマニュアルデータを選ぶ
 - マルチセレクターで黄色い枠を移動して、プリセットマニュアルデータを選びます。
 - Q■ボタンを押すと設定画面が表示されます。
 - ● ボタンを押す代わりに ボタンを押すと、選択されているプリセットマニュアルデータがそのまま設定されて、微調整の画面が表示されます(□127)。
- 3 [設定] を選ぶ
 - [設定] を選んで▶を押すと、微調整の画面が表示されます(□127)。必要に応じて微調整を行い、 (◎ボタンを押して設定します。





☑ プリセットマニュアルデータの選択について

ホワイトバランスをPRE(プリセットマニュアル)に設定している場合は、WB(?~)ボタンを押し ながら、サブコマンドダイヤルを回してプリセットマニュアルデータを選択できます。WB(?~)ボ タンを押している間、選択中のプリセットマニュアルデータ番号が表示パネルに表示されます。



■プリセットマニュアルデータにコメントを入力する

選択したプリセットマニュアルデータにコメント(最大36文字)を入力します。

- 撮影メニューの [ホワイトバランス] で [プリセットマニュアル] を選ぶ(□135)
 - [プリセットマニュアル]を選んでマルチセレク ターの▶を押します。
- ホワイトバランス 電球 : 114 蛍光灯 濊 晴天 フラッシュ 墨王 ок A 晴天日陰 K 色温度設定 プリヤットマニュアル
- **2** プリセットマニュアルデータを選ぶ
 - マルチセレクターで黄色い枠を移動して、プリセットマニュアルデータを選びます。



~

ホワイトバランス プリセットマニュアル

設定

<mark>コメント編集</mark> 使用する画像の選択 d-0をコピー

- 9 ボタンを押すと設定画面が表示されます。
- 3 [コメント編集] を選ぶ
 - [コメント編集]を選んでマルチセレクターの▶
 を押します。

4 コメントを入力する

最大36文字入力できます。コメントの入力方法は、「カスタムピクチャーコントロールを登録する」の手順6をご覧ください(□147)。



WB



画像の仕上がりを簡単に設定したり、 思い通りに調整する (ピクチャーコントロール)

撮影モードP、S、A、Mのみ

「ピクチャーコントロール(Picture Control)システム」とは、対応するカメラまたは ソフトウェアで調整した画像調整の設定を相互に利用できるニコン独自の画作りシス テムです。

<u>ピクチャーコントロールを選ぶ</u>

ピクチャーコントロールには、被写体や撮影シーンに合わせて選ぶことのできる「ピク チャーコントロール」が搭載されています。

• P、S、A、M以外の撮影モードの場合、それぞれの撮影シーンに適したピクチャーコン トロールが自動的に選ばれます。

「「SPD フタンダード	鮮やかでバランスの取れた標準的な画像になります。
	• ほとんどの撮影状況に適しています。
	素材性を重視した自然な画像になります。
	• 撮影した画像を積極的に調整、加工する場合に適しています。
るVI ビビッド	メリハリのある生き生きとした色鮮やかな画像になります。
	• 青、赤、緑など、原色を強調したいときに適しています。
ご 版 モノクローム 白黒やセピアなど、単色の濃淡で表現した画像になります。	
四門 ポートレート 人物の肌が滑らかで自然な画像になります。	
巴LS 風景	自然の風景や街並みが色鮮やかな画像になります。

- **1** 撮影メニューの [ピクチャーコントロール] を選ぶ
 - MENUボタンを押して、撮影メニューの [ピク チャーコントロール] を選んでマルチセレクター の▶を押します。

MENUボタン



- **2** 設定したいピクチャーコントロールを選ぶ
 - ・ Wボタンを押して設定します。



AUTO:

Palen

0E

cD

2 [ピクチャーコントロール] と [カスタムピクチャーコントロール] について

- 撮影メニューで [ピクチャーコントロール] を選ぶと、ピクチャーコントロールを撮影目的や好みに 合わせて調整できます(ロ141)。
- [カスタムピクチャーコントロール] を選ぶと、調整したピクチャーコントロールに名前を付けて登録したり(凹146)、SDカードを使って、同じ機種のカメラやピクチャーコントロールに対応するソフトウェアと共用する(凹149)ことができます。

🖉 撮影中のピクチャーコントロールの確認について

使用しているピクチャーコントロールは、 III ボタンを押すと表示されるインフォ画面で確認できます。



<u>ピクチャーコントロールを調整する</u>

ピクチャーコントロールやカスタムピクチャーコントロール (□146)の設定は、撮影目的や好みに合わせて調整できます。 輪郭強調、コントラスト、色の濃さ(彩度)をバランス良く自 動的に調整できる「クイック調整」や各項目を手動で細かく調 整する「手動調整」ができます。



1 調整したいピクチャーコントロールを選ぶ

・ピクチャーコントロールの一覧画面(□142)で、
 マルチセレクターの▶を押します。



2 ピクチャーコントロールを調整する

- ▲または▼で調整する項目(□144)を選んで、
 ◀または▶で値を設定します。
- [**クイック調整**]を選ぶと、各項目のレベルを自動 的に調整します(ロ144)。
- 面ボタンを押すと初期設定の内容に戻ります。

3 設定する

・ Wボタンを押して設定します。

リスク(*)が表示されます。





■レベル調整の設定項目

クイック調整 ^{※1}		 輪郭強調、コントラスト、色の濃さ(彩度)のレベルを自動的に調整します。[-2]~[+2]の調整ができます。 -側にするとそれぞれのピクチャーコントロールの特徴を抑えた画像になり、+側にするとそれぞれのピクチャーコントロールの特徴を強調した画像になります。たとえば[ビビッド]を選んで+側にクイック調整すると、色の鮮やかさを強調します。 		
	輪郭強調	輪郭の強弱を調整します。[0](輪郭強調しない)~[9] までの手動調整 と、自動で調整する [A](オート)があります。 • 数字が大きいほどくっきりとした画像になり、小さいほどソフトな画像 になります。		
手動調整	コントラスト	画像のコントラストを調整します。[-3] ~ [+3] までの手動調整と、 自動で調整する [A] (オート) があります。 • ー側にすると軟調な画像になり、+側にすると硬調な画像になります。 晴天時の人物撮影や白とびが気になる場合などは-側が、霞んだ遠景の 撮影などには+側が適しています。		
	明るさ	白とびや黒つぶれを抑えながら画像の明るさを調整します。[-1]~[+1] の調整ができます。 • -側にすると暗くなり、+側にすると明るくなります。		
	色の濃さ (彩度) *2	画像の彩度(色の鮮やかさ)を調整します。[-3] ~ [+3] までの手動 調整と、自動で調整する [A] (オート) があります。 • -側にすると鮮やかさが抑えられ、+側にするとより鮮やかになります。		
	色合い (色相) ^{※2}	画像の色合いを調整します。[-3] ~ [+3] までの調整ができます。 • 肌色を基準にした場合、-側にすると赤みが増し、+側にすると黄色み が増します。		
	フィルター 効果 ^{※3}	白黒写真用カラーフィルターを使って撮影したときのような効果が得られます。フィルター効果は [OFF]、[Y]、[O]、[R]、[G] から選べます (CL145)。		
	調色※3	印画紙を調色したときのように、画像全体の色調を調整できます。調色は [B&W]、[Sepia]、[Cyanotype]、[Red]、[Yellow]、[Green]、[Blue Green]、[Blue]、[Purple Blue]、[Red Purple] から選べます(ロ 145)。		

- ※1 [ニュートラル] と [モノクローム] はクイック調整できません。カスタムピクチャーコントロール (□146)の場合も、クイック調整できません。 手動調整した後にクイック調整を行うと、手動調整で設定した値は無効になります。
- ※2 [モノクローム]や[モノクローム]を元にしたカスタムピクチャーコントロールのときは、表示されません。
- ※3 [モノクローム]や[モノクローム]を元にしたカスタムピクチャーコントロールのときのみ表示されます。

!**

▼ [輪郭強調]、[コントラスト]、[色の濃さ(彩度)]の [A](オート) について のご注意

- 同じような状況で撮影しても、被写体の位置や大きさ、露出によって、仕上がり具合は変化します。
- 充分な効果を得るには、GタイプまたはDタイプのレンズをお使いになることをおすすめします。

🚺 ピクチャーコントロール調整時のグリッド表示

- ピクチャーコントロール調整中に e型 ボタンを押している間、調整して いるピクチャーコントロールのコントラストと彩度が座標で表示され、 他のピクチャーコントロールとの関係がわかります。ボタンを放すと、 調整画面に戻ります。
- [モノクローム] の場合、グリッド表示はコントラストのみ表示されま す。
- [コントラスト] または [色の濃さ (彩度)] に [A] (オート) が設定さ れたピクチャーコントロールは、グリッド表示時はアイコンが緑色で表 示されます。また、各軸に平行な上下または左右の線が表示されます。

🖉 ピクチャーコントロール調整時のアンダーバーについて

ピクチャーコントロール調整中に各項目に表示されるアンダーバーは、調 整する前の値を示しています。前回調整した値を参考にして調整するとき に便利です。

🚺 [モノクローム] の [フィルター効果] について

[**フィルター効果**]には、次のような効果があります。

Y	(黄*)	

0(オレンジ※)	などに使います。[Y] → [O] → [R] の順にコントラストが強くなります。
R (赤*)	
G(緑※)	肌の色や唇などを落ち着いた感じに仕上げます。ポートレート撮影などに使います。

コントラストを強調する効果があり、風景撮影で空の明るさを抑えたい場合。

※市販の白黒写真用カラーフィルターの色です。[フィルター効果]で得られる効果は、市販の白黒写 真用力ラーフィルターよりも強くなります。

🚺 [モノクローム] の [調色] について

「調色]の項目(「B&W]以外)を選んでマルチセレクターの▼を押すと、 さらに色の濃淡を7段階から選べます。◀または▶を押して選んでください。

- モノクローム	
	Sint.
2 コントラスト	
┦ 明るさ	
◎ フィルター効果	OFFYORG
Cyanotype, 4	
図 図 図 グリッド の の お	史定 @ リセット







カスタムピクチャーコントロールを登録する

カメラに搭載された「ピクチャーコントロール」は、好みに合わせて調整して、「カス タムピクチャーコントロール」として登録できます。

■カスタムピクチャーコントロールの登録方法



- 1 「カスタムピクチャーコントロール」を
 - ルチヤレクターの▶を押します。
- 2 「編集と登録]を選ぶ
 - 対象を選択〕画面が表示されます。

「編集と登録」を選んで●を押すと、「編集・登録

- **3** 元にするピクチャーコントロールを選ぶ
 - ピクチャーコントロールを選んで●を押すと、編 集画面が表示されます。
 - 録先の選択] 画面が表示されます(手順5へ)。

4 ピクチャーコントロールを調整する

- 項目の内容や調整方法は「ピクチャーコントロー **ル**] と同じです。
- れます。

5 登録先を選択する

● (-1~9 (カスタム1~9)の中から登録先を選びます。







カスタムピクチャーコントロール







6 名前を入力する

- •登録先を選んで▶を押すと、[登録名変更] 画面が表示されます。
- 初期状態では、「(元になったピクチャーコント ロール名)-XX」が名前エリアに入力されていま す。XXには自動的に数値が設定されます。



- •登録名は19文字まで入力できます。文字はカーソル位置に挿入されます。
- ・名前エリアに新しい文字を入力する場合は、マルチセレクターを操作して入力する キーボードエリアの文字上にカーソルを移動させ、∞ボタンを押します。
- 名前エリアのカーソルを左右に移動する場合は、Q■ボタンを押しながらマルチセレクターの
- 名前エリアからあふれた文字は削除されます。
- 名前を1文字削除する場合は、Q型ボタンを押しながら
 または
 を押して削除する
 文字の上にカーソルを移動させ、
 デタンを押します。

7 名前の編集を終了する

- •名前を入力し終えたら**役**ボタンを押します。
- ・
 ペボタンの代わりにMENUボタンを押すと、ピクチャーコントロールを登録せずに撮影
 メニューに戻ります。
- 登録したピクチャーコントロールは、ピクチャーコントロールの一覧画面に表示されます。



🖉 登録名変更について

[カスタムピクチャーコントロール] で [登録名変更] を選ぶと、登録したカスタムピクチャーコントロールの名前を変更できます。

[カスタムピクチャーコントロール] で [削除] を選ぶと、登録したカスタムピクチャーコントロール を削除できます。

🖉 元になったピクチャーコントロールの表示について

カスタムピクチャーコントロールの調整画面では、元になったピクチャー コントロールがアイコンで表示されます。

カスタム1~9を選んだ場合は、元になったピクチャーコントロールと同じ項目が調整できます。

元になった

ピクチャーコントロール

ノッド 図決定 面地

14

SDカードを使ってピクチャーコントロールを 対応ソフトウェアと共用する

付属のViewNX 2や別売のCapture NX 2のピクチャーコントロールユーティリティー (Picture Control Utility) で作成したカスタムピクチャーコントロールを、SDカードか らカメラに読み込んで登録したり、カメラで作成したカスタムピクチャーコントロール をSDカードにコピーすることができます。また、SDカード上の不要なカスタムピク チャーコントロールを削除することもできます。

1 [カスタムピクチャーコントロール] 画面で 「メモリーカードを使用」を選ぶ

 「メモリーカードを使用」を選んでマルチャレク ターの▶を押すと、「メモリーカードを使用] 画 面が表示されます。

2 「カメラに登録]、[メモリーカードから削除] または「メモリーカードにコピー|を選ぶ

[カメラに登録]:

● SDカードにあるカスタムピクチャーコントロール をカメラに登録できます。カメラに登録したいカス

タムピクチャーコントロールと登録先((-1~9(カスタム1~9))を選んで名前を付 けると、選んだカスタムピクチャーコントロールがカメラに登録されます。

[メモリーカードから削除]:

• SDカードにあるカスタムピクチャーコントロール を選んで削除できます。右のような確認画面が表 示されるので、[**はい**]を選んで@ボタンを押す と、選んだカスタムピクチャーコントロールを削 除できます。

[メモリーカードにコピー]:

 カメラにあるカスタムピクチャーコントロールをSDカードにコピーできます。SD カードにコピーしたいカスタムピクチャーコントロールとコピー先(1~99)を選ん で

で
の
ボタンを
押すと、
選んだカスタムピクチャーコントロールが
SDカードにコピー されます。







スタムピクチャーコントロール

編集と登録 登録名変更

メモリーカードを使用

û

🖉 SDカードへのコピー /SDカードからの削除について

- カメラに搭載されているピクチャーコントロール(スタンダード、ニュートラル、ビビッド、モノクローム、ポートレート、風景)は、コピーや削除ができません。
- カメラにSDカード内のカスタムピクチャーコントロールを登録するときや、カメラ内のカスタムピクチャーコントロールをSDカードにコピーするときは、SDカードをスロット1に入れてください。 スロット2に入っているSDカードは認識されません。
- SDカードに保存できるカスタムピクチャーコントロールは、99個までです。

💋 オプションピクチャーコントロールについて

ピクチャーコントロールには、カメラにあらかじめ搭載されているピクチャーコントロールのほかに 「オプションピクチャーコントロール」があります。新しいオプションピクチャーコントロールが用意 された場合、ニコンのホームページからダウンロードしてカメラに登録することができます。

白とびや黒つぶれを抑えて撮影する (アクティブD-ライティング) 撮影モード

撮影モードP、S、A、Mのみ

撮影の前にあらかじめ [**アクティブD-ライティング**]を設定しておくと、ハイライト 部の白とびを抑え、暗部の黒つぶれを軽減する効果があります。見た目のコントラスト に近い画像に仕上がります。暗い室内から外の風景を撮ったり、直射日光の強い海辺な ど明暗差の激しい景色を撮影するのに効果的です。



[[]しない]



アクティブD-ライティン: [**しない**]



アクティブD-ライティング [**昭 A オート**]



アクティブD-ライティング [**昭日強め**]

🖉 アクティブD-ライティング設定時の測光モードについて

<u>アクティブD-ライティングを設定する</u>

1 撮影メニューの [アクティブD-ライティン MENU グ] を選ぶ

 MENUボタンを押して、撮影メニューの[アク ティブD-ライティング]を選んでマルチセレ クターの▶を押します。 MENUボタン



2 効果の度合いを選び、 ®ボタンを押す

• [昭Aオート] に設定すると、撮影シーンに応じ て自動的に効果の度合いを設定します。



▼ アクティブD-ライティングについてのご注意

- アクティブD-ライティングを設定して撮影をするとき、撮影シーンによっては、ノイズ(ざらつき、 むら、すじ)が強調される場合があります。
 - アクティブD-ライティングを設定していても、ISO感度がHi 0.3以上の場合、アクティブD-ライティングは機能しません。
 - ●撮影モードが Mのときは、[暗Aオート]に設定していても [暗N標準]相当の度合いに固定されます。
- 被写体によっては画像に階調とびが発生する場合があります。

▼ 撮影メニュー [アクティブD-ライティング] と画像編集メニュー [D-ライティング] の違い

[アクティブD-ライティング]を設定してから撮影すると、撮影シーンに応じて露出や階調を制御し、 ハイライト部やシャドー部および中間調を適切に調整して画像を記録します。一方、[D-ライティン グ]は、すでに撮影済みの画像に対して、階調を再調整してシャドー部を明るく補正します。

🖉 関連ページ

アクティブD-ライティングの効果の度合いを変えながら撮影する →「ADI ブラケティングの撮影方法」(□122)

画像の色空間を設定する (Acelli)

記録する画像の色空間を指定します。 画像の用途によって、適した色空間を選択できます。

設定		内容
SRGB	sRGB	画像をsRGB色空間で記録します。画像調整などを行わずに再生やプリント する場合に適しています。
Adobe	Adobe RGB	画像をAdobe RGB色空間で記録します。sRGBに比べて色域が広いため、 商業印刷に適しています。

色空間を設定する

- 1 撮影メニューの〔色空間〕を選ぶ
 - MENUボタンを押して、撮影メニューの「色空 間〕を選んでマルチセレクターの▶を押しま す。



	「取扱ンハーユ	
•	ホワイトバランス	AUT01
11	ピクチャーコントロール	⊠SD
÷	カスタムピクチャーコントロール	
	自動ゆがみ補正	0FF
8	色空間	SRGB
悒	アクティブローライティング	0FF
	長秒時ノイズ低減	0FF
?	高感度ノイズ低減	NORM
_		

2 設定したい色空間を選ぶ

> 色空間 SRGB SRGB Adobe Adobe RGB

🖉 色空間についてのご注意

- カラーマネージメント機能を持たないアプリケーションで画像を開く場合、または印刷する場合に は、sRGB色空間をおすすめします。
- Adobe BGB色空間で記録した JPFG画像は、DCFオプション色空間に対応しています。DCFオプション 色空間に対応しているアプリケーションやプリンターの場合、自動的に正しい色空間が設定されます。 DCFオプション色空間に対応していないアプリケーションやプリンターの場合は、Adobe RGB色空間 に設定してください。詳細については、アプリケーションやプリンターの説明書をご覧ください。
- ExifPrint、市販プリンターなどのダイレクトプリント、キオスク端末プリント、およびプリントサー ビスなどでプリントする場合、sRGB色空間をおすすめします。Adobe RGB色空間で記録すると、彩 度が低下する場合があります。

🖉 ViewNX 2またはCapture NX 2をお使いの場合

付属のViewNX 2や別売のCapture NX 2をお使いいただくと、正しい色空間での処理が自動的に行わ れます。

フラッシュ撮影

内蔵フラッシュを使う

このカメラは16mmレンズの画角をカバーする、ガイドナンバー約12(ISO 100・m、20℃)のフラッシュを内蔵しています。暗いところではもちろん、逆光時や被写体の陰影を弱めたいとき、人物の目にキャッチライトを入れたいときなどに、補助光としても使用できます。

■撮影モード習、之、容、心、図、淡、分の場合

1 フラッシュモードを設定する(□156)

 シャッターボタンを半押ししてピントを合わ せてから撮影する

暗いときや逆光のときなど、必要に応じて自動的に内 蔵フラッシュが上がり、発光します*。フラッシュが 不要な場合はフラッシュは上がらず、発光しません。



フラッシュが自動的に上がらないとき、手で無理に上

げないでください。内蔵フラッシュが破損するおそれがあります。

※内蔵フラッシュを発光させたくないときは、フラッシュモードを発光禁止にしてください (□156)。

■撮影モードP、S、A、M、[¶]の場合

- 1 ↓ボタンを押して、内蔵フラッシュを上げる※
- 2 フラッシュモードを設定する(□156)
- 3 シャッターボタンを半押ししてピントを合わ せてから撮影する

※内蔵フラッシュを上げているときは、周囲の明るさなどにか かわらず、フラッシュは常に発光します。発光させないよう にするには、内蔵フラッシュを収納してください。



\$ボタン

■4(フラッシュモード)の設定方法

4ボタンを押しながら、メインコマンドダイヤルを回す

 フラッシュモードは、表示パ ネルに表示されます。







メインコマンド ダイヤル

表示パネル



4



🖉 内蔵フラッシュを収納する

内蔵フラッシュを収納するときは、カチッと音がするまで手で軽く押し下 げます。バッテリーの消耗を防ぐため、使用しないときは常に収納してく ださい。



🖉 フラッシュモード表示について

各フラッシュモードのアイコンの意味は次の通りです。

- AUTO (自動発光):暗いときや逆光のときに、自動的に内蔵フラッシュが上がり、 必要に応じて発光します。
- 赤目軽減発光:人物撮影に適しています。フラッシュが発光する前に、赤目軽減ランプが点灯して、人物の目が赤く写る「赤目現象」を軽減します。
- ③発光禁止:暗いときや逆光のときでも、内蔵フラッシュは発光しません。
- SLOWスローシャッター: 夜景や夕景をバックにした人物撮影などに適しています。 背景をきれいに 写すために、自動的にシャッタースピードが遅くなります。
- REAR後幕発光:通常発光時はシャッターが開くと同時にフラッシュが発光します(先幕発光)が、 後幕発光ではシャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。動いている被写体の後方に流れる 光や軌跡などを表現したい場合などに適しています。



先幕発光



後幕発光

🖉 インフォ画面のフラッシュモード表示について

インフォ画面のフラッシュモードでは、内蔵フラッシュ使用時の発光方式が、次のように表示されま す。内蔵フラッシュの発光方式は、カスタムメニュー e3 [内蔵フラッシュ発光] で設定できます (¹¹²⁴⁸)。

	通常発光	FP発光(□ 247)
i-TTL-BL調光 スタンダードi-TTL調光	¥ TTL	_
マニュアル発光	\$ M	_
リピーティング発光	\$ RPT	_
コマンダーモード	CMD	CMD

🖉 内蔵フラッシュについて

i-TTL モードでは次のような内蔵フラッシュ撮影ができます。

2016分割RGBセンサーによる測光情報をもとに被写体と背景光のバランスを考慮したBL(バランス)調光を行います。シャッターボタンを押すと、内蔵フラッシュがモニター発光を行い、被写体と背景光のバランスを考慮した最適な発光量を決定します。

- i-TTL-BL調光
 ・GまたはDタイプレンズ装着時は、レンズから得られた被写体までの距離情報も利用 して最適な発光量を決定します。
 - 非CPU レンズ装着時は、レンズ情報(開放絞り値、焦点距離)を設定することにより、より精度が向上します(□175)。

スタンダード 背景の明るさは考慮されず、撮影画面が基準露光量となるように調光します。主要被 i-TTL調光 写体のみを強調する場合や、フラッシュ撮影で露出補正する場合に適しています。

• 測光モードがスポット測光に設定されている場合、自動的にスタンダードi-TTL調光になります。

🔽 フラッシュ撮影時のご注意

- 内蔵フラッシュを使って撮影するときは、被写体から0.6m以上離れてください。
- 内蔵フラッシュ撮影が可能なレンズは、焦点距離が 16 mm から 300 mm のレンズです。詳しくは ロ 305 をご覧ください。
- フラッシュの光がさえぎられることがあるので、レンズフードは外してください。また、マクロ付き ズームレンズのマクロ領域ではお使いになれません。
- 内蔵フラッシュ撮影時は、レリーズモードをCLまたはCHに設定しても、連続撮影にはなりません。
- 内蔵フラッシュを連続して使うと、発光部を保護するため、一時的に発光が制限され、シャッターが きれなくなる場合があります。少し時間をおくと再び使えるようになります。
- i-TTLモード時のISO感度連動範囲は、100~6400です。ISO感度を6400よりも高感度に設定した場合には、距離や絞り値によっては適正な発光量にならないことがあります。

🖉 内蔵フラッシュ撮影時のシャッタースピード制限について

内蔵フラッシュ撮影時のシャッタースピード制限は、次のようになります。

₩ P. A. Z. 1/250~1/60₹	₩. 11	1/250~1/125秒	S	1/250~30秒				
≦ , ⋈ , ∀	<u>s</u>	1/250~1秒	М	1/250~30秒、 builb				
•撮影モードP、Aでは、カスタムメニューe1 [フラッシュ撮影同調速度](ロ246)を[1/320秒(オー								
トFP)]に設定すると、内蔵フ	ラッシュ係	使用時でも高速側のシ	ャッタース	ピードが1/320秒までフ				
ラッシュ同調します(囗247)。	また、カフ	スタムメニュー e1 [フ	ラッシュ撮	影同調速度]を〔1/320				
秒 (オートFP)]または[1/25	0秒 (オー	トFP)] に設定してSB	-900、SB-	800、SB-700、SB-600を				
装着した場合は、高速側のシャ	ッタースピ	ードが1/8000秒まで	制御されま	す。				

🖉 内蔵フラッシュの調光範囲(光の届く範囲)と限界絞り値

内蔵フラッシュはISO感度と絞り値によって調光範囲(光の届く範囲)が異なります。下表を参考にし てください。

ISO 感度および絞り値							調光範囲
100	200	400	800	1600	3200	6400	(m)
1.4	2	2.8	4	5.6	8	11	約0.7~8.5
2	2.8	4	5.6	8	11	16	約0.6~6
2.8	4	5.6	8	11	16	22	約0.6~4.2
4	5.6	8	11	16	22	32	約0.6~3
5.6	8	11	16	22	32	-	約0.6~2.1
8	11	16	22	32	-	-	約0.6~1.5
11	16	22	32	-	-	-	約0.6~1.1
16	22	32	-	-	-	-	約0.6~0.8

※内蔵フラッシュで調光できる最短撮影距離は0.6mです。

• 撮影モードPでは、内蔵フラッシュ使用時に下表の絞り値よりも絞りを開くことはできません。

ISO感度と開放側の限界絞り(F)								
100	200	400	800	1600	3200	6400		
2.8	3.5	4	5	5.6	7.1	8		

※制御される絞り値よりも開放絞りが暗い場合は、装着レンズの開放絞りによって制御されます。

🖉 関連ページ

- •「[1/320秒 (オートFP)] 時の調光について」(ロ247)
- フラッシュの調光量を固定して撮影する → 「調光量を固定して撮影する (FV ロック)」(□161)
- 内蔵フラッシュの同調速度を変更する → 🖉 e1 [フラッシュ撮影同調速度] (□246)
- フラッシュ時のシャッタースピードを制限する → ② e2 [フラッシュ時シャッタースピード制限] (□247)
- 内蔵フラッシュの発光方式を変更する → 🖉 e3 [内蔵フラッシュ発光] (□ 248)
- 内蔵フラッシュをコマンダーモードで使用する → 🖉 e3 [内蔵フラッシュ発光] (□ 248)
- 別売スピードライト(フラッシュ)を使って撮影する → 「使用できるスピードライト」(□308)

調光量を補正して撮影する(調光補正)

撮影モードP、S、A、Mのみ

調光補正とは、フラッシュの発光量を意図的に変えることで、背景に対する被写体の明 るさを調整したいときなどに使います。発光量を多くして被写体をより明るく照らした り、発光量を少なくして被写体に光が強く当たりすぎないようにするなど、発光量の微 妙な調整ができます。

■調光補正の設定方法

日2(4)ボタンを押しながら、サブコマンドダイヤルを回す

- 調光露出補正値は、表示パネルに表示されます。
- 調光補正は、1/3段ステップで-3段~+1段の範囲 で設定できます。



- 補正量を設定すると、表示パネルとファインダー内表示に
 22
 (調光補正)マークが表示されます。
- 52 (4)ボタンを押すと、表示パネルとファインダー内表示 で設定した補正量を確認できます。
- 被写体を明るくしたいときは+側に、暗くしたいときは-側に 補正するのが基本です。
- 調光補正を解除するには、補正量を0.0にしてください。カメラの電源をOFF にしても、補正量の設定は解除されません。





福止なし(114(↓) ホタンを押したとき)



+1段補正

🖉 別売スピードライトの調光補正について

- 別売のスピードライトSB-900、SB-800、SB-700、SB-600、SB-400、SB-R200使用時も、調光補正 ができます。SB-900、SB-800、SB-700、SB-600使用時は、スピードライト側でも調光補正ができます。
- カメラ側とスピードライト側で同時に調光補正を行う場合、両方の補正値を加算します。

🖉 関連ページ

- 調光補正のステップ幅を変更する → 🖉 b2 [露出設定ステップ幅](□234)
- 調光補正値を変えながら撮影する → 「AEブラケティング、フラッシュブラケティングの撮影方法」(□115)
調光量を固定して撮影する (FVロック)

フラッシュの調光量をロック(固定)することにより、被写体に調光量を合わせたまま 構図を変えたり、同じ調光量を維持したまま撮影できます。被写体が画面の中央にない 場合など、自由な構図で適切な調光量のフラッシュ撮影が可能です。

FVロック中にカメラのISO感度や絞り値を変更しても、フラッシュの発光量が補正されることによりFVロックは維持されます。

 カスタムメニュー f3 [Fnボタンの機能](□255)を [FV-L] に設定する

2 内蔵フラッシュを上げる

- •撮影モードP、S、A、M、または判で↓ボタンを押すと、内蔵フラッシュが上がり、フ ラッシュの充電が開始します。



E-L (ホールド) F-L フラッシュ発光禁止

3 被写体にピントを合わせる

 発光量を合わせたい被写体を画面の中央でとらえ、 シャッターボタンを半押しして被写体にピントを合 わせます。



4

4 モニター発光を行う

- •ファインダー内表示になが点灯していることを確認し、Fnボ タンを押すと、フラッシュがモニター発光を行い、調光量を 計算します。
- FVロックが行われ、ファインダー内表示に■ (FVロック) マークが表示されます。



5 構図を変更する



6 シャッターボタンを全押しして撮影する

• FVロック中は、被写体の露出を一定にしたまま複数のコマを撮影することができます。 必要に応じて手順5~6を繰り返してください。

7 FVロックを解除する

●もう一度Fnボタンを押すと、FVロックが解除され、ファインダー内表示の■が消灯します。

4

☑ 内蔵フラッシュのFV ロックについて

内蔵フラッシュだけを発光させてフラッシュ撮影を行う場合、FVロックはカスタムメニュー e3 [内蔵 フラッシュ発光] (□248) が [TTL モード] に設定されている場合のみ機能します。

🖉 別売スピードライトのFVロックについて

別売のスピードライトSB-900、SB-800、SB-700、SB-600、SB-400またはリモートスピードライト SB-R200使用時も、FVロックを行うことができます。この場合、SB-900、SB-800の発光モードをTTL またはAAIに、SB-700、SB-600の発光モードをTTLに設定してください(詳しくはそれぞれのスピード ライトの使用説明書をご覧ください)。FVロック中に、SB-900、SB-800、SB-700、SB-600のズーム 位置を変更しても、スピードライトの発光量が補正されることにより、FVロックは維持されます。カ スタムメニューe3 [内蔵フラッシュ発光](ロ248)を[コマンダーモード]にして、SB-900、SB-800、 SB-700、SB-600、SB-R200を補助灯として用いる場合、[コマンダーモード]の設定画面で次のいず れかを行うことによりFVロックを使用できます。

- 内蔵フラッシュ、A グループ、B グループのうち、いずれかの [発光モード] を [TTL] にする
- 補助灯がSB-900、SB-800のみで構成されているグループがある場合は、そのグループの [発光モー ド] を [TTL] または [AA] にする

🖉 別売スピードライトのFVロック時の測光エリアについて

別売スピードライトを使用したFVロック時の測光エリアは次のようになります。

撮影状態	発光モード	測光エリア
1.灯提影哄	i-TTLモード	画面中央 $\phi4mm相当$
「入」」取泉シロウ	絞り連動外部自動調光	スピードライトの外部測光エリア
	i-TTLモード	全画面
アドバンストワイヤレスライティング	絞り連動外部自動調光	
による増灯時	外部自動調光 (マスタースピードライト)	スピードライトの外部測光エリア

🖉 関連ページ

• プレビューボタンでFVロックをする → 🖉 f4 [プレビューボタンの機能](□257)

AE/AFロックボタンでFVロックをする → Ø f5 [AE/AFロックボタンの機能](□257)

4

撮影の便利な機能

基本的な機能を初期設定に戻す(ツーボタンリセット)

ツーボタンリセットにより、簡単にカメラの設定を 初期状態に戻すことができます。

QUAL(♥) ボタンと図ボタン(それぞれのボタン に緑色の●がついています)を2秒以上同時に押す と、一瞬表示パネルの表示が消え、カメラの機能が 次のように初期設定に戻ります。



m 89 画質モード NORMAL 画像サイズ サイズト 92 ホワイトバランス AUTO1 標準 125 微調整値 解除(0) 127 ISO感度 撮影 P、S、A、M以外 オート 105 モード P、S、A、M 100 ファインダー撮影時のAF AFŦード AF-A 95 AFエリアモード シングルポイント ♥、 ♀、 *1、 ぶ、 Hi Lo AF 撮影 ダイナミック *. 🖬 97 モード AF · 39点 オートエリア その他の 撮影モード AF ライブビュー /動画撮影時のAF シングルAF AFモード 50 サーボ AFエリアモード ワイドエリア 🔩 🖪 🖌 😽 🖌 X. H. Lo AF 撮影 ノーマルエリア 2. 11 50 モード AF

顔認識 A F

その他の

撮影モード

				\square
フォーカ	コスポイント※1	中央		99
測光モー	-ド	マル : 測光	チパターン	109
AEロッ: ホールト	クの [※] 状態	解除		100、 111
アクティ ング	゚ブD-ライティ	しない	<i>,</i>)	151
オートフ	ブラケティング	解除	(OFF)	115
[ピクチ ル] の調	ャーコントロー 整値*2	解除		143
フラッシュ調光補正		解除	(0.0)	160
露出補正		解除	(0.0)	113
フラッシ	ノュモード			
	₩0, <u>2</u> , <u>2</u> , ¥, ¥	通常	発光オート	
撮影	X	赤目	軽減オート	150
モード	T	通常到	能オート+	120
		スロ-	-シャッター	
	Ψ 1、 Ρ、 S、 A、 M	通常	発光	
FVロック		解除		161
多重露出		解除		166
プログラムシフト		解除		69
×1 ΔΕ Τ				

- ※1 AF エリアモードがオートエリア AF のときは フォーカスポイントは表示されません。
- ※2 現在選択中のピクチャーコントロールのみ解 除されます。

đ

1つの画像に重ねて写し込む (多重露出撮影)

撮影モードP、S、A、Mのみ

多重露出撮影は2~3コマまで重ねて写し込み、1つの画像として記録します。多重露出 は全ての画質モードで撮影できます。RAWデータを使用して合成するため、通常のア プリケーションソフトウェアなどで画像を合成する場合と比べ、階調特性に優れた画像 になります。

■多重露出の撮影方法

- 1 撮影メニューの [多重露出] を選ぶ
 - MENUボタンを押して、撮影メニューの [多重 露出] を選んで、マルチセレクターの▶を押 します。



- 2 [コマ数] (露光回数)を設定する
 - [コマ数]を選んで、▶を押します。
 - ▲または▼を押して露光回数を設定し、@ボタン を押します。



□ <u>多重露出</u>



2 1

0 N

đ

🖉 撮影間隔が長くなる場合について

- 多重露出撮影中に、何も操作しないで30秒経過すると、カメラが待機状態に入ります。撮影を中断 する前に撮影した画像は記録されます。
- 撮影間隔が長くなる場合は、再生メニューの[撮影直後の画像確認](□220)を[する]に設定して、カスタムメニュー c4 [液晶モニターのパワーオフ時間](□238)の[撮影直後の画像確認]を 長めに設定することをおすすめします。カメラが待機状態に入るまでの時間が、c4で設定した時間に30秒を加えたものに延長されます。

- 多重露出 自動ゲイン補正 しない 重ね合わせた画像の露出が適正になるように、露光回数に合わせて自動的に ゲイン(出力)を補正します。ただし、背景が暗いときは「しない]にする ことをおすすめします。 する • 各コマのゲインは、「1÷露光回数」となります。たとえば、露光回数が「2 コマ」の場合は1/2、「3コマ」の場合は1/3になります。 しない ゲインを補正せず、全ての露光結果をそのまま重ね合わせます。 4 [設定終了] を選ぶ 多重露出 ۵ 設定が終了したら、「設定終了」を選んで、のボ 設定終了 タンを押します。 ー、____ 自動ゲイン補正 ON ●多重露出の撮影待機状態になり、表示パネルに■ マークが点灯します。 77774 f5.8 (**F 5 8**) ●多重露出の設定を解除するには、「多重露出」で 多重露出 [設定解除] を選び、 ⁽⁹⁾ボタンを押してください。 設定解除 (OK 5 1回日の撮影をする F5.6 ・撮影を始めると、■マークが点滅します。 (**F 5 8**) 6 2回目以降の撮影をする 10000 12.5 F5.6 • 設定した回数分の撮影をすると、多重露出撮影が 1828 解除され、■マークが消灯します。 NORM
- 自動ゲイン補正の設定後、のボタンを押します。
- 3 [自動ゲイン補正]を設定する
 - 「自動ゲイン補正」を選んで、▶を押します。



▶ 多重露出

> 設定終了 コマ数 自動ゲイン補正

ON N



đ

▶ 多重露出撮影時のご注意

- 多重露出の撮影途中、画像の再生やメニュー画面の表示で液晶モニターを点灯した場合、液晶モニ ターが消灯してから操作のないまま30秒が経過すると、画像が記録されて多重露出が解除されます。
- 多重露出撮影中は、ライブビュー撮影ができません。
- 多重露出による撮影中は、SDカードを交換しないでください。
- レリーズモード(四79)をCLまたはCHに設定して撮影する場合は、シャッターボタンを押し続けると、多重露出で設定された撮影コマ数が終了した時点で画像が記録され、多重露出が解除されます。
- セルフタイマー撮影時(□82)には、シャッターボタンを全押しすると、カスタムメニューc3 [セルフタイマー]の[撮影コマ数](□237)で設定した撮影コマ数に関わらず、多重露出で設定した撮影コマ数の撮影が終了した時点で画像が記録され、多重露出が解除されます。
- 多重露出の撮影データ(撮影日時、測光モード、シャッタースピード、絞り値、撮影モード、露出補 正値、焦点距離、縦横位置情報など)は、1コマ目の内容になります。

🖉 多重露出とインターバルタイマー撮影の組み合わせについて

多重露出を設定してから1コマ目を撮影する前にインターバルタイマー撮影(四170)を設定すると、 設定されたインターバルで多重露出撮影ができます。この場合、[インターバルタイマー撮影]で設定 されたインターバルで1コマずつ撮影され、[多重露出]で設定されたコマ数の撮影が終了すると、多 重露出とインターバルタイマー撮影の両方が解除されます。多重露出を途中で解除した場合は、イン ターバルタイマー撮影も解除されます。

■多重露出撮影を中断するには

多重露出撮影中に、撮影メニューの〔**多重露出**〕を選ぶと、右 の画面が表示されます。この画面で〔**中断**〕を選んで@ボタン を押すと、多重露出撮影は途中で終了し、その時点までの露光 結果だけを重ね合わせた画像が記録されます(〔**自動ゲイン補** 正〕を〔**する**〕にしていたときは、露光回数に合わせてゲイン 補正が行われます)。多重露出撮影の設定も解除されるので、も



う一度多重露出撮影を行うには、[**多重露出**]の設定を最初からやり直してください。 このほか、次の場合も、多重露出は中断されます。

- ツーボタンリセット(凹165)を行ったとき
- ・カメラの電源をOFFにしたとき
- バッテリーの残量がなくなったとき
- 多重露出中に撮影した画像を削除したとき

🖉 多重露出撮影時に利用できない機能について

多重露出撮影中はSDカードの初期化はできません。また、一部のメニュー項目がグレーで表示されて 選択できません。

設定した間隔で撮影する (インターバルタイマー撮影)

このカメラは、設定した開始方法(即時または設定時刻)と時間間隔で自動的に撮影を 行う、インターバルタイマー撮影が可能です。つぼみがゆっくりと開く様子や、蝶が羽 化する様子などを記録したい場合などに便利です。インターバルタイマー撮影は、レ リーズモードをS、CL、CH、QまたはMUPに設定して撮影してください。

■インターバルタイマー撮影の開始

- 1 撮影メニューの [インターバルタイマー 撮影] を選ぶ
 - MENUボタンを押して、撮影メニューの[イン ターバルタイマー撮影]を選んでマルチセレ クターの▶を押します。[インターバルタイ マー撮影] 画面が表示されます。
- 2 [開始トリガー] (開始方法)を設定する
 - ・すぐに撮影する場合、[即時スタート] を選んで
 ▶を押します(手順4へ)。
 - 開始時間を決めて撮影する場合、[開始時刻設定]
 を選んで▶を押します(手順3へ)。
- 3 [開始時刻] を設定する
 - を押して時間、分を選び、▲または▼
 を押して数値を設定後、●を押します。
 - [開始トリガー] で [即時スタート] を選んだ場 合、この画面は表示されません。
- 4 [撮影間隔] (インターバル)を設定する
 - <
 を押して時間、分、秒を選び、▲または
 を押して数値を設定後、● を押します。
 - 撮影間隔は、想定されるシャッタースピードより
 も長い時間を設定してください。

▶ インターバルタイマー撮影を開始する前に

- 試し撮りをすることをおすすめします。
- あらかじめセットアップメニューの [地域と日時](□265)で日時が正確に設定されていることを 確認してください。
- カメラを三脚で固定することをおすすめします。
- 撮影中のバッテリー切れを防ぐため、充分に充電されたバッテリーをお使いください。

đ











5 [撮影回数×コマ数]を設定する



6 インターバルタイマー撮影を開始する

 • [開始] を選んで → ボタンを押します。[開始トリ ガー] で [即時スタート] を選んだ場合は、約3
 秒後に撮影を開始します。[開始時刻設定] を選ん だ場合は、設定した時刻に撮影を開始します。



- 設定した撮影間隔とコマ数で撮影を繰り返します。
- ●設定のみを行いたいときは、[終了]を選んで∞ボタンを押すと、撮影メニューに戻ります。

▶ インターバルタイマー撮影についてのご注意

- 実際のインターバルタイマー撮影には、インターバル時間の他、シャッタースピードやカメラが処理 を行う時間が含まれます。そのため、設定した撮影間隔で撮影できないことがあります。
- 設定した [開始時刻] が現在時刻後1分以内の場合や、シャッタースピードがなしこと (バルブ)の場合など、インターバルタイマー撮影を開始できないときには警告メッセージを表示します。
- SD カードのメモリー残量がない場合、撮影時刻ごとにカウントは進みますが、実際の撮影は行われません。メモリー残量のある SD カードに交換し、インターバルタイマー撮影を再開してください(ロ173)。
- ファインダーから顔を離して撮影するときは、ファインダーからの光が適正露出や画像に影響を与えることを防ぐため、付属のアイピースキャップDK-5を取り付けることをおすすめします(印83)。

🖉 オートブラケティングとインターバルタイマー撮影の組み合わせについて

- インターバルタイマー撮影とオートブラケティングを同時に行う場合は、オートブラケティングを先にセットしてからインターバルタイマーを設定してください。
- インターバルタイマー撮影時にAE・フラッシュブラケティング、AEブラケティング、フラッシュブ ラケティングまたはADLブラケティングを行う場合は、撮影時間ごとにオートブラケティングで設 定したコマ数が撮影されます。
- インターバルタイマー撮影時にWBブラケティングを行う場合は、撮影時間ごとに1コマ撮影し、オートブラケティングで設定したコマ数が記録されます。

🖉 インターバルタイマー撮影の待機状態について

インターバルタイマー撮影の待機状態では、表示パネルに WWW マークが 点滅します。撮影直前になるとシャッタースピード表示部に残りの撮影回 数を、絞り値表示部にその回の残りの撮影コマ数を、それぞれ表示します。

- ・ 待機状態でシャッターボタンを半押しすると、残りの撮影回数と撮影コマ数を表示します。
- 撮影メニューから [インターバルタイマー撮影] を選ぶと、液晶モニターのインターバル設定画面に撮影動作、開始時刻、撮影間隔、残りの 撮影回数と撮影コマ数が表示されます。ただし、[撮影動作] (次ページ 参照) 以外の設定変更はできません。





ď

■ インターバルタイマー撮影の一時停止と再開

次の場合はインターバルタイマー撮影が一時停止状態になります。

- [撮影動作] で [一時停止] を選んで、 @ ボタンを押したとき
- 電源をOFFにして、再度ONにしたとき(電源がOFFの間にバッテリーやSDカードを 交換しても、一時停止状態が持続します。)
- レリーズモードを切り換えたとき
- ライブビュースイッチを回したとき

インターバルタイマー撮影を再開する手順は次のとおりです:

1 [開始トリガー] (□170)を設定する

 ・[開始トリガー]を選んですぐに撮影する場合は
 [即時スタート]を、開始時刻を設定する場合は
 [開始時刻設定]を選んで▶を押します。



- [開始時刻設定] を選んだときは、開始時刻を設定 します。
- 2 インターバルタイマー撮影を再開する
 - [**再開**] を選んで ® ボタンを押すと撮影を再開します。
 - 撮影途中の回で停止状態になった場合、その回の 残りのコマはキャンセルされます。再開した場合 は、次の回の1コマ目から撮影されます。



■インターバルタイマー撮影の終了

次の場合はインターバルタイマー撮影が終了します。

- [撮影動作] で [終了] を選び、 ∞ ボタンを押したとき
- ツーボタンリセット(凹165)を行ったとき
- •[撮影メニューのリセット] (CL 223) を [する] にしたとき
- オートブラケティング(□115)を設定、または解除したとき
- ●多重露出を解除したとき(□169)
- バッテリーの残量がなくなったとき

インターバルタイマー撮影終了後は通常の撮影待機状態に戻ります。

■撮影のキャンセル

撮影開始予定時刻を8秒過ぎても次の状態にある場合は、その回の撮影をキャンセルし、 次の回の撮影時刻から撮影を再開します。

- 前の回のコマを撮影中
- •連続撮影可能コマ数が0のとき
- AFモードがAF-S、またはAF-Aで自動的にAF-Sが選ばれていて、被写体にピントが合わないとき(撮影ごとにピントを合わせます。)

🔽 レリーズモードについて

- レリーズモードに関係なく、1回の撮影ごとに設定された撮影コマ数が撮影されます。
- CHでは約6コマ/秒、SまたはCLではカスタムメニュー d6 [低速連続撮影速度] (□241) で設定された速度で、1回の撮影ごとに設定された撮影コマ数を撮影します。
- Qの場合、撮影時の動作音を抑えて撮影します。

▶ インターバルタイマー撮影待機中の各種設定について

インターバルタイマー撮影の待機中は、各種設定やメニュー画面の操作や、画像を再生することができます。ただし、メニュー画面や再生画面を表示している場合、撮影時刻の約4秒前に液晶モニターを 消灯して、撮影に入ります。

非CPUレンズを使う (レンズ情報手動設定)

レンズの情報をカメラに登録することにより、非CPUレンズ(CD303)を使って撮影するときに、次の機能が使用できます。

・焦点距離を設定して使用できる機能:

-別売のスピードライトSB-900、SB-800、SB-700、SB-600のオートパワーズーム -再生画面での焦点距離表示(焦点距離に*印が付きます)

- •開放絞り値(開放F値)を設定して使用できる機能:
 - -レンズで設定した絞り値表示(表示パネル、ファインダー内表示)
 - -スピードライトの絞り連動外部自動調光
 - -再生画面での絞り値表示(絞り値に*印が付きます)
- 焦点距離と開放絞り値の両方を設定して使用できる機能:
 - -RGB マルチパターン測光*
 - ※ レフレックスニッコールなど一部のレンズでは、 焦点距離と開放絞り値を設定してもRGBマ ルチパターン測光では充分な精度が得られない場合があります。 中央部重点測光またはス ポット測光に設定して撮影してください。
- ・焦点距離と開放絞り値の両方を設定すると精度が向上する機能:
 - -中央部重点測光
 - -スポット測光
 - --i-TTL調光

▶ ズームレンズまたはテレコンバーター使用時のご注意

- ズームレンズ使用時やテレコンバーター使用時など、一致する焦点距離が選択項目にないときは、装着レンズの焦点距離に最も近く、かつ大きい値を選んでください。
- テレコンバーターを使用した際の開放絞り値は、合成絞り値を設定してください。

đ

■レンズ情報の登録方法

- 1 セットアップメニューの [レンズ情報 手動設定]を選ぶ
 - MENUボタンを押して、セットアップメニュー の「レンズ情報手動設定」を選んで、マルチ セレクターの▶を押します。

2 「レンズNo.」を選ぶ

- ●または ●を押して、登録したいレンズNo.(1~ 9)を選びます。
- 3 「焦点距離 (mm)] を選ぶ
 - ◀または▶を押して、レンズの焦点距離(6~ 4000)を選びます。

4 [開放絞り値]を選ぶ

• ◀または▶を押して、レンズの開放絞り値(F1.2 ~F22)を選びます。

5 設定を終了する

- 「設定終了」を選んでのボタンを押します。
- レンズの設定が保存されて、セットアップメ ニュー画面に戻ります。





レンズ情報手動設定

レンズ情報手動設定

金設売

介绍完

設定終了 Ŷ レンズNo.

OK

OK

焦点距離(mm)

闇放絞り値 (3)移動

設定終了 レンズNo

住占距離(mm)

開放絞り値 ③移動





■手動設定済みレンズ情報の選択方法

- 1 カスタムメニュー f3 [Fnボタンの機能] (□255)を [手動設定済みレンズの選択] に設定する
 - •Fnボタンにレンズの選択機能が割り当てられます。
- 2 Fnボタンを押しながらメインコマ ンドダイヤルを回す





Fnボタン

•レンズNo.は表示パネルに表示されます。使用したいレンズの 番号が表示されるまでメインコマンドダイヤルを回します。



🖉 ズームレンズ装着時について

非CPUズームレンズを装着してズーミングをした場合、変化するレンズの焦点距離や開放絞り値とカ メラで設定されているレンズ情報は連動しません。ズーミングを行った場合は、もう一度レンズ情報 を設定してください。

🖉 関連ページ

プレビューボタンで手動設定済みレンズ情報を切り換える → *Q* f4 [プレビューボタンの機能] (□257)

ダイヤル

GPS情報を画像に記録する

このカメラは、アクセサリーターミナル(ロ3)に接続した別売のGPSユニットGP-1と 通信し、画像データに撮影時の緯度、経度、標高、UTC(協定世界時)を記録できます。

■GP-1との接続について

- カメラの電源をOFFにしてから、GP-1に付属のケーブルをアクセサリーターミナルに 接続します(ロ316)。詳しくはGP-1の使用説明書をご覧ください。
- GP-1と通信して撮影した画像には、再生時の画像情報に GPS データのページ (□186)が追加されます。

■GP-1と接続中のカメラの設定について

セットアップメニューの [**GPS**] で、GPS機器と接続時の半押しタイマー、取得した GPSデータの表示、GPSによる日時合わせを設定できます。

• [半押しタイマー] では、カメラとGP-1を接続しているときの半押しタイマーを設定 できます。

カメラを操作していないときは、カスタムメニュー c2 [**半押しタイマー**](ロ236)で 設定された時間でオフになります。

- 有効 カメラのバッテリーの消耗を少なくすることができます。
 - 電源をONにした直後または半押しタイマーがオンになった直後は、カメラがGPSデー タを取得できるまで半押しタイマーがさらに最大1分間延長されます。

無効 GP-1と接続中は、半押しタイマーがオフになりません。

•[情報表示]では、GP-1接続時に取得した情報を表示します。

 緯度
 緯度を表示

 経度
 経度を表示

 標高
 標高を表示

 UTC(協定世界時)を表示。UTC(Coordinated Universal Time =協定世界時)は、GPS機器と接続して取得された世界標準 時で、カメラで設定されている時刻とは別に記録されます。



• [GPS による日時合わせ]が [する] の場合、GP-1接続時に取得した日時の情報でカ メラの内蔵時計を合わせます。GP-1を使用して日時を合わせないときは、[しない] を選んでください。



đ



画像を1コマずつ再生する (1コマ表示モード)

▶ボタンを押すと、最後に撮影した画像が液晶 モニターに表示されます。

■ボタン





🖉 縦位置で撮影した画像の場合

再生メニューの [縦位置自動回転](ロ221)を [する]に設定すると、縦 位置で撮影された画像を、右のように縦位置で再生します。



✓ 撮影直後の画像確認について

- 再生メニューの[撮影直後の画像確認](□220)を[する]に設定すると、▶ボタンを押さなくても、撮影した画像を自動的に約4秒間液晶モニターに表示します。
- レリーズモードがCHやCLのときは、撮影終了後に、最初のコマから順次画像を表示します。
- 縦位置で撮影した状態のまま画像確認がしやすいように、再生メニューの [縦位置自動回転]を [する] に設定しても、撮影直後の画像確認時は自動回転しません。

►

■1コマ表示モードでの操作方法

前後の画像を見る		マルチセレクターの◀を押すと前の画像が、▶を押 すと次の画像が表示されます。
画像情報を表示する		表示中の画像についての詳しい情報が表示されます (四181)。
複数画像を一覧表示する	ବ୍	サムネイル表示モード (四188) に切り替わります。
画像を拡大する	⊕	表示中の画像を拡大表示します(凹191)。
画像を削除する	面	表示中の画像を削除します(□193)。
画像を保護する	?/о-п	表示中の画像にプロテクト(保護)を設定します(凹192)。
撮影に戻る	/ ►	液晶モニターが消灯し、すぐに撮影できます。
メニューに移る	MENU	メニューが表示されます(口215)。
画像編集メニューを 表示する		画像編集メニュー(□164、276)が表示されます。
動画を再生する		♥マークが表示されている画像の場合、動画を再生します(□163)。

🖉 SDカードスロットの切り換えについて

1コマ表示モードまたはサムネイル表示モードで**BKT**ボタンを押しなが らマルチセレクターの▲を押すと、[スロット/フォルダー指定メ ニュー] 画面が表示されます。

- スロットを選んで▶を押すと、選んだスロット内のフォルダーの一覧 が表示されます。フォルダーを選んで®ボタンを押すと、フォルダー 内の画像が表示されます。
- すでに撮影した画像のホワイトバランスデータをコピーするとき
 (□136)や、再生メニュー(□215)または画像編集メニュー(□276)で画像を選択するときも、同様の操作でスロットを切り換えられます。



🖉 関連ページ

液晶モニターの表示時間を変更する → Ø c4 [液晶モニターのパワーオフ時間] (□238)

画像情報を表示する

1コマ表示モードでは、画像についての詳しい情報を見ることができます。マルチセレ クターの▲または▼を押すと、次のように撮影情報の表示が切り替わります。



- ※1 GPS(□178)を使用して撮影した画像の場合のみ表示します。
- ※2 再生メニューの [**再生画面設定**](¹¹217)で設定している場合のみ表示します。 ※3 セットアップメニューの [著作権情報](11271)を設定して撮影した画像の場合のみ表示します。





- ※1 再生メニューの [**再生画面設定**] (□□217) で [**フォーカスポイント**] を設定している場合のみ表示します。 ※2 表示されるフォーカスポイントは、撮影時の設定により、次のように異なります。
 - ファインダー撮影時のAFモードがAF-S、またはAF-Aで自動的にAF-Sが選ばれた場合、最初に ロックしたフォーカスポイントを赤く表示します。
 - ファインダー撮影時のAFモードがAF-C、またはAF-Aで自動的にAF-Cが選ばれていて、AFエリアモード(¹⁰⁹⁷)がシングルポイントAF、ダイナミックAFまたは3D-トラッキングの場合、ピントが合ったときはフォーカスポイントを赤く表示し、ピントが合っていないときは表示しません。
 ファインダー撮影時のAFモードがAF-C、またはAF-Aで自動的にAF-Cが選ばれていて、オート
 - **エリアAFの場合、**フォーカスポイントを表示しません。

■ハイライト表示※1



1	プロテクト設定の有無	192
2	画像編集の有無	276
3	画像のハイライト部分を	
	各色ごとに点滅表示します**2	
4	フォルダー番号-コマ番号	224
5	ハイライト部分が点滅表示している色*2	
6	ハイライト表示	217

※1 再生メニューの [再生画面設定] (□217) で [ハイライト] を設定している場合のみ表示します。
※2 9 ボタンを押しながらマルチセレクターの ◀ または ▶ を押すと、 9日ボタン

次のように点滅表示するハイライト部分が切り替わります。





►

■RGBヒストグラム*1



4		
1	画像の八イフイト部分を	
	各色ごとに点滅表示します*2	
2	フォルダー番号-コマ番号	224
3	プロテクト設定の有無	192
4	画像編集の有無	276
5	ホワイトバランス	125
	ホワイトバランス色温度	130
	ホワイトバランス微調整	127
	プリセットマニュアル	131
6	ハイライト部分が点滅表示している色*2	
7	RGBのヒストグラム	
8	赤色(R)のヒストグラム	
9	緑色(G)のヒストグラム	
10	青色(B)のヒストグラム	

※1 再生メニューの [**再生画面設定**](^{[[]}217)で [**RGBヒストグラム**]を設定している場合のみ表示します。





🖉 ヒストグラムについて

ヒストグラムとは、画像の明るさ(輝度)の分布を表すグラフのことです。横軸は明るさ、縦軸は明 るさごとのピクセル数を示しています。

- いろいろな明るさの被写体が写っている画像では、グラフの 山が全体的に分布したヒストグラムになります。
- 暗い画像はヒストグラムの分布が左側に寄った形になります。
- 明るい画像はヒストグラムの分布が右側に寄った形になります。



露出補正を+側にすれば山が右側に寄り、-側にすれば山が左側に寄ります。 屋外などで周りが明るすぎて液晶モニターでは画像の明るさが確認しにくいときでも、ヒストグラム から画像全体の露出傾向を確認することができます。

🖉 D7000のヒストグラム表示について

- RGBヒストグラムは明るさ(輝度)を表示しています。
- D7000 のヒストグラム表示は、画像加工アプリケーションで表示されるヒストグラムと異なること があります。目安としてお使いください。

■ 撮影情報1※1

1 2 ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	4 5 6 7 8	撮影モード	67 105 113 236 307 175 102
NIKON D7000 100-1 12 13	9	フラッシュの _{程規}	308 250
1 プロテクト設定の有無	192 10	フラッシュモード	156
2 画像編集の有無	276 11	フラッシュ発光方式248、310、	311
3 測光モード シャッタースピード 絞り値	109 70、72 71、72 13	フラッシュ両ル柵正道 カメラ名 フォルダー番号-コマ番号	224

※1 再生メニューの [**再生画面設定**] (¹¹217) で [**撮影情報**] を設定している場合のみ表示します。 ※2 感度自動制御した画像の場合、ISO感度を赤く表示します。

※3カスタムメニューb5[基準露出レベルの調節](四236)を0以外に設定している場合のみ表示します。 ※4 VRレンズ装着時のみ表示します。





ホワイトバランス微調整127 プリセットマニュアル131

4	色空間	153
5	ピクチャーコントロール	141
6	クイック調整 ^{※2}	144
	元になったピクチャーコントロール*3	141
7	輪郭強調	144
8	コントラスト	144
9	明るさ	144
10	色の濃さ(彩度)* ⁴	144
	フィルター効果*5	144
11	色合い(色相) **4	144
	調色*5	144
12	カメラ名	
13	フォルダー番号-コマ番号	224

- ►
- ※1 再生メニューの [再生画面設定] (□217) で [撮影情報] を設定している場合のみ表示します。
 ※2 [スタンダード]、[ビビッド]、[ポートレート]、[風景] のとき表示します。
 ※3 [ニュートラル]、[モノクローム]、カスタムピクチャーコントロールのとき表示します。
 ※4 [モノクローム] や [モノクローム] を元にしたカスタムピクチャーコントロールの場合、表示しません。
- ※5 [モノクローム]や [モノクローム]を元にしたカスタムピクチャーコントロールのときのみ表示します。



■撮影情報4※

1 2		1	プロテクト設定の有無	
F	\sim	2	画像編集の有無	
3 NOISE REDUC. AHI 150	D. NORM	3	高感度ノイズ低減	227
4 ACT. D-LIGHT. : NORMAL	TINC		長秒時ノイズ低減	227
		4	アクティブD-ライティング	
		5	画像編集メニュー (印276) で行わ	れた画像編集
6 COMMENT	AAS COME SP		の内容が一覧表示されます。	
			複数の画像編集が行われた場合は、	順番に表示
	$\langle \rangle$		されます。	
NIKON D7000	100-1	б	画像コメント	
7	8	7	カメラ名	
		8	フォルダー番号-コマ番号	224

※再生メニューの [再生画面設定] (□217)で [撮影情報] を設定している場合のみ表示します。



1	プロテクト設定の有無	192
2	画像編集の有無	276
3	撮影者名	271
4	著作権者名	271
5	カメラ名	
6	フォルダー番号-コマ番号	224

※再生メニューの [**再生画面設定**] (□217) で [**撮影情報**] を設定していて、セットアップメニューの [**著作権情報**] (□271)を設定して撮影した画像の場合のみ表示します。





※GPS (□178)を使用して撮影した画像の場合のみ表示します。動画の場合は、動画撮影開始時に取得した情報を表示します。

■統合表示

		5	画像のヒストグラムを表示します(C) 軸は明るさ、縦軸は明るさごとのピク 表します。	コ184)。横 'セル数を
		б	ISO感度*1	105
16-	5	7	焦点距離	. 175、307
14-	6	8	GPSデータの有無	178
13 -	→ © P 1/8000, F4.8 150 100 35mm 7	9	画像コメントの有無	
12 -		10	フラッシュモード	156
11 -		11	フラッシュ調光補正値	
	2010/04/15 10:02:27		コマンダーモードの有無	
		12	露出補正値	113
1	コマ番号/フォルダー内全画像数	13	測光モード	
2	プロテクト設定の有無192	14	撮影モード	85、41、67
3	カメラ名	15	シャッタースピード	70、72
4	画像編集の有無276	16	絞り値	71、72

※1 感度自動制御された画像の場合、ISO感度を赤く表示します。



19	ファイル名	
20	画質モード	89
21	画像サイズ	
22	撮影時刻	
23	撮影日付	
24	スロット	
25	フォルダー名	
26	ホワイトバランス	125
	ホワイトバランス色温度	130
	ホワイトバランス微調整	
	プリセットマニュアル	131
27	色空間	153

►

複数の画像を一覧表示する(サムネイル表示モード)

1コマ表示モードのときに♀■ボタンを押すと、複数の縮小画像(サムネイル画像)を 表示する「サムネイル表示モード」に切り替わります。



■サムネイル表示モードでの操作方法

表示コマ数を増やす	ବ୍	1コマ表示時にボタンを押すと4コマ表示に、4コマ 表示時にボタンを押すと9コマ表示に、9コマ表示時 にボタンを押すと72コマ表示に切り替わります。
表示コマ数を減らす	¢	72コマ表示時にボタンを押すと9コマ表示に、9コマ 表示時にボタンを押すと4コマ表示に、4コマ表示時 にボタンを押すと1コマ表示に切り替わります。
画像を選ぶ		マルチセレクターを操作すると、黄色の枠(カーソ ル)が動いて、拡大表示(ロ191)や削除(ロ193)、 プロテクト(ロ192)の対象となる画像を選べます。
1コマ表示する		サムネイル表示モードを終了して、1コマ表示モード に戻ります。
画像を削除する	Ó	選んだ画像を削除します(□193)。
画像を保護する	? /~¬	選んだ画像にプロテクト(保護)を設定します (凹192)。
撮影に戻る		液晶モニターが消灯し、すぐに撮影できます。
メニューに移る	MENU	メニューが表示されます(印215)。

►

撮影した日付ごとに画像を表示する (カレンダー表示モード)

72コマ表示時(凹188)に900ボタンを押すと、撮影した日付ごとに縮小画像を表示する「カレンダー表示モード」に切り替わります。カレンダー表示モードは、選択している画像の撮影日付を表示します。



マルチセレクターで黄色の枠(カーソル)を動かして、「カレンダー表示」上の日付を 選びます。日付を選んでから**9**3ボタンを押すと、黄色の枠が右側の「撮影日サムネイ ル表示」に移動し、指定した日付に撮影した画像を選べます。



■カレンダー表示モードでの操作方法

表示を 切り換える 72コマ表示に 戻る/ 画像を拡大する	୍	 カレンダー表示時に Q ボタンを押すと、黄色い枠が撮影 日サムネイル表示に移動し、選択中の日付に撮影した画像 が選べます。 撮影日サムネイル表示時に Q ボタンを押すと、カレンダー 表示に戻り、日付を選べます。 カレンダー表示時は 72 コマ表示に切り替わります。 撮影日サムネイル表示時は、Q ボタンを押している間、拡 すま元をします
日付を選ぶ/ 画像を選ぶ		 ・カレンダー表示時は、マルチセレクターを操作すると黄色の枠(カーソル)が動いて、撮影した日付を選べます。 ・撮影日サムネイル表示時は、マルチセレクターの▲または ▼を押して1コマ表示(□179)や拡大表示(□191)、プロテクト(□192)、削除(□193)の対象となる画像を 選べます。
1コマ表示する		 カレンダー表示時は、選択した日付の最初の画像を1コマ 表示します。 撮影日サムネイル表示時は、選択した画像を1コマ表示し ます。
画像を削除する	Ú	 カレンダー表示時にボタンを押すと、選んだ日付の画像を 全て削除します。 撮影日サムネイル表示時にボタンを押すと、選んだ画像を 個別に削除します(ロ193)。
画像を保護する	? /o-n	撮影日サムネイル表示時にボタンを押すと、選んだ画像を個別にプロテクトします(凹192)。
撮影に戻る		液晶モニターが消灯し、すぐに撮影できます。
メニューに移る	MENU	メニューが表示されます(囗215)。

►

画像を拡大表示する

画像の再生中に**令**ボタンを押すと、拡大表示されます。拡大できる最大の大きさ(長さ 比)は、画像サイズがLの場合は約31倍、M では約23倍、Sでは約15倍です。拡大表 示中に人物の顔を認識した場合、最大35人までの顔を白枠で囲み、サブコマンドダイ ヤルを回して順次移動することができます。

■拡大表示中の操作方法

拡大率を上げる	æ	ボタンを押すごとに拡大率が 上がります。				
拡大率を下げる	୍	ボタンを押すごとに拡大率が 下がります。	拡大表示中に拡大率を操			
画面をスクロール (移動)させる		画面をスクロールさせて、見 たい部分に移動できます。マ ルチセレクターを押し続ける と、高速で移動します。	作すると、画面の右下にナ ビゲーションウィンドウ が表示され、拡大表示中の 部分が黄色い枠で囲んで 示されます。数秒すると消 えます。			
人物の顔へ 移動させる		拡大表示中に人物の顔を認識 すると、画面右下のナビゲー ションウィンドウに白枠が表 示されます。サブコマンドダ イヤルを回すと、認識した顔 に順次移動します。				
前後の画像を見る		メインコマンドダイヤルを回 ⁻ 示範囲で、前後の画像を表示	すと、そのままの拡大率と表 します。			
画像を保護する	? /~_	表示中の画像にプロテクト(係	髹護)を設定します(□192)。			
撮影に戻る		液晶モニターが消灯し、すぐに撮影できます。				
メニューに移る	MENU	メニューが表示されます(口215)。				

画像を保護する (プロテクト)

大切な画像を誤って削除しないために、画像にプロテクト(保護)を設定できます。ただし、SDカードを初期化(フォーマット:口31、264)すると、プロテクトを設定した画像も削除されますのでご注意ください。

1 プロテクトする画像を選ぶ

- ●1コマ表示モード/拡大表示の場合は、プロテクトする画像を 表示します。
- サムネイル表示モード/カレンダー表示モードの場合は、 プロテクトする画像をマルチセレクターで選びます。





2 ?//・ボタンを押す

- 📼 アイコン が表示されます。
- 画像のプロテクトを解除するには、解除する 画像を表示(選択)して、?/~ ボタンを押し ます。



?‰ボタン

►

🖉 プロテクトの一括解除について

画像の再生中に、**?/**mボタンと面ボタンを同時に2秒以上押し続けると、再生メニューの「**再生フォル** ダー設定」で設定されているフォルダー内の全ての画像のプロテクトを一括で解除できます。

画像を削除する

SDカードに記録された画像を削除します。削除した画像は元には戻せないのでご注意 ください。ただし、プロテクトを設定した画像は削除できません。

<u>再生中の画像を削除する</u>

血ボタンを押すと、再生中の画像を1コマ削除できます。

1 削除する画像を選ぶ

- •1コマ表示モードのときは、削除する画像を表示します。
- サムネイル表示モードまたはカレンダー表示モードのときは、削除する画像を選択します。

2 面ボタンを押す

- 削除確認の画面が表示されます。
- ■ボタンを押すと、画像の削除はキャンセルされます。









2010	4					2010/ 04/15	10°
			Wed	Thu	Fri	Sat	
						3	2.
	6) ۱	IR¢Í	. ≠ ∂	-712		dist.
	6	기량	JPOR C		16		0.0825
)はい	۱.
		C]+	ャン	セル		- 470
12	Q	3:	. +		0)拡メ	
71	`	1	Ť-	-‡		Ŧ	ード

(撮影日サムネイル表示)

3 もう一度面ボタンを押す

•表示中の画像が削除されます。





画像の削除後に表示される画像を変更する → ▶ [削除後の次再生画像] (□220)

複数の画像をまとめて削除する

再生メニューの [**削除**] では、複数の画像を一括して削除できます。たくさんの画像を 削除するときは、時間がかかることがあります。

	選択画像削除	選択した画像を削除します。			
DATE	日付選択	選択した日付に撮影した画像を一括で削除します(印195)。			
ALL	全画像削除	 「再生フォルダー設定」(□215)で設定したフォルダー内の全ての画像を削除します。 SDカードを2枚使用している場合は、画像を削除 するスロットを選択できます。 □ スロット 1 □ スロット 2 	Œ		

■選択画像削除

1 [選択画像削除]を選ぶ

• MENUボタンを押して再生メニューの [削除] で [選択画像削除] を選びます。マルチセレ クターの▶を押すと、削除画像の選択画面が 表示されます。 MENUボタン



2 削除する画像を選ぶ

- マルチセレクターを▲▼◀▶、ななめ方向に押し て画像を選びます。
- ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・
- BKTボタンを押しながら▲を押すと、[ス ロット/フォルダー指定メニュー] 画面が表 示され、スロットやフォルダーを切り換えら れます(□180)。
- ►

3 設定する

- ● ボタンを押して設定します。設定すると ・ ・ のアイコンが表示され、もう一度 ● ■ ボタン を押すと解除されます。
- 削除する画像全てに設定してください。







9■ボタン

4 設定を完了する

- 🐨 ボタンを押して、設定を終了します。
- ●確認画面で [はい] を選んで ◎ボタンを押すと、選択した画像 が全て削除されます。

■日付選択

2 日付を選ぶ

- ●日付を選んで▶を押すと、日付の横にチェック☑
 が入ります。もう一度▶を押すと解除されます。
- 削除する日付全てに設定してください。
- ● ボタンを押すと、選択している日付に撮影した画像をサムネイル表示して確認できます。もう一度 ボタンを押すと、日付選択画面に戻ります。
- サムネイル表示中に
 ペボタンを押すと、ボタンを押している間、選んだ画像を拡大表示します。

3 設定を完了する

- ● ボタンを押して、設定を終了します。
- ●確認画面で [はい] を選択し、 ∞ボタンを押す と、選択した日付の画像が全て削除されます。









□ **9**■ボタン

q∎ π⁄
^パソコン、プリンター、 テレビとの接続

画像をパソコンに転送する

このカメラでは、付属のUSBケーブルUC-E4をカメラに接続して、撮影した画像をパソ コンに転送できます。ここでは、転送時に必要な操作について説明します。

カメラとパソコンを接続する前に

付属のViewNX 2 CD-ROMを使って、お使いのパソコンにViewNX 2ソフトウェアをインストールします。ソフトウェアのインストール方法については、付属の簡単スタートガイドをご覧ください。

■付属のソフトウェアについて

付属のViewNX 2をインストールすると、画像の転送機能「Nikon Transfer 2」で、撮影した画像をパソコンに取り込めます。取り込んだ画像を表示したり、画像を選んで印刷したりできます。静止画や動画を編集する機能もあります。ソフトウェアの使い方については、ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

■対応OSについて※

付属のソフトウェアは、次のパソコンのOS(オペレーティングシステム)に対応して います。

	Windows 7 Home Premium/ Professional/ Enterprise/ Ultimate, Windows Vista Home Basic/ Home Premium/ Business/ Enterprise/ Ultimate (Service
Windows	Pack 2)、Windows XP Home Edition/ Professional (Service Pack 3)
	• 64bit版Windows 7およびWindows Vista上で使用する場合、32bitアプリケー
	ションとして動作します。
Macintosh	Mac OS X (version 10.4.11、10.5.8、10.6.4)

※対応OSに関する最新情報は、当社ホームページのサポート情報(ロxvi)でご確認ください。

\sim

✔ Windowsをお使いの場合

ViewNX 2 をインストールした後、[スタート] から [すべてのプログラム] → [Link to Nikon] の 順にクリックすると、当社のホームページにアクセスできます(インターネットに接続できる環境が 必要です)。

USB接続でパソコンに画像を転送する

付属のUSBケーブルUC-E4を使ってカメラとパソコンを接続します。カメラとパソコン が通信している間は、カメラの電源をOFFにしたり、USBケーブルを抜いたりしないで ください。

1 カメラの電源をOFFにする

2 パソコンを起動する

3 カメラとパソコンを接続する

• USBケーブルは、無理な力を加えず、端子にまっすぐに差し込んでください。



4 カメラの電源をONにする

5 画像を転送する

- お使いのOSにより接続が認識され、操作を選択 する画面が表示されます。画面の指示に従って Nikon Transfer 2を起動し、[転送開始]をクリッ クして画像を転送してください。
- Nikon Transfer 2の使い方については、
 ViewNX 2のヘルプをご覧ください。ヘルプは、
 Nikon Transfer 2またはViewNX 2を起動し、メニューバーの [ヘルプ] メニューから [ViewNX 2
 ヘルプ] を選んで表示してください。



[転送開始]

- 6 転送が終わったら、カメラの電源をOFFにして、USBケーブルを抜く
 - 転送が終わると、Nikon Transfer 2は自動的に終了します。

▶ パソコンとの接続時のご注意

- カメラとパソコンを接続するときは、充分に充電されたバッテリー EN-EL15、または別売のパワー コネクター EP-5BとACアダプター EH-5aを組み合わせてお使いになることをおすすめします。
- ケーブルを接続するときは、端子の挿入方向を確認して無理な力を加えずに、まっすぐに差し込んでください。端子を引き抜くときも、まっすぐに引き抜いてください。
- ケーブルを抜き差しするときは、必ずカメラの電源がOFFになっていることを確認してください。

☑ USBハブについて

USBハブに接続した場合の動作は保証しておりません。

🖉 端子カバーについて

使用しないときは、カメラの端子カバーを必ず閉じてください。ゴミなどが入ると、誤作動の原因となることがあります。

<u>ワイヤレストランスミッター WT-4を使って無線で</u> パソコンに画像を転送する

別売のワイヤレストランスミッター WT-4(ロ314)をカメラと接続して使うことにより、画像の転送や印刷を無線で行えます。また、イーサネットケーブルを接続することにより、有線でも同様の操作が可能です。

WT-4には次の4つの機能があります。

面俸洋信	SDカードに記録した画像や、撮影直後の画像をパソコンやFTPサー
四次后	バーに保存できます。
サルウイルセレクトエード	撮影した画像をパソコン画面で確認しながら、必要な画像だけを選ん
944110000Ft-F	でパソコンに保存できます。
	別売のCamera Control Pro 2で、カメラをコントロールしたり、撮
PCT-P	影した画像をパソコンに保存できます。
プリンク一体結	SDカード内のJPEG画像を送信して、パソコンに接続しているプリン
ノリノター接続	ターでプリントできます。

- •WT-4の使用方法などについては、WT-4の使用説明書をご覧ください。
- •WT-4のファームウェアや付属のソフトウェアは、必ず最新版にバージョンアップして お使いください。

☑ 画像送信モードでWT-4を使用する場合

WT-4をこのカメラに接続して使用する場合、画像送信モードで画像をパソコンに送信するには、1コマ表示モードで送信したい画像を表示してから、BKTボタンを押しながら®ボタンを押してください。

🔽 画像転送中の動画の記録・再生について

WT-4をこのカメラに接続して、画像転送状態のときは、動画の記録および再生はできません(画像転送状態とは、画像を転送中、または、転送予定の画像が残っている状態のことです)。

🖉 動画の転送について

WT-4をお使いの場合、動画は画像送信モードでパソコンに転送できます([**送信設定**]が[**撮影後自 動送信**]または[**フォルダー送信**]の場合を除く)。サムネイルセレクトモードでは、動画を転送でき ません。

🔽 サムネイルセレクトモードについて

このカメラをサムネイルセレクトモードで使用する場合、パソコンからカメラの設定を変更すること はできません。

🖉 別売のCamera Control Pro 2について

別売のCamera Control Pro 2(ロ 316)で、パソコンからカメラをコントロールできます。 Camera Control Pro 2で画像の記録先の設定が [**PC**] になっている場合、Camera Control Pro 2を 起動すると、表示パネルにPC接続中マーク**P**[が表示されます。

画像をプリンターで印刷する (ダイレクトプリント)

PictBridge(ピクトブリッジ:口358)対応プリンターをお使いの場合、パソコンを使わずに、カメラとプリンターを直接接続してSDカード内の画像をプリントできます(ダイレクトプリント)。ダイレクトプリントは、次の手順で行います。



次のページから、それぞれの手順について詳しく説明します。

☑ ダイレクトプリントの前に

- ダイレクトプリント時は、充分に充電されたバッテリー EN-EL15、または別売のパワーコネクター EP-5BとACアダプター EH-5aを組み合わせてお使いになることをおすすめします。
- 画像をダイレクトプリントする場合は、撮影の前に撮影メニューの [色空間] を [sRGB] に設定してください (ロ153)。

🗹 USBハブについて

USBハブに接続した場合の動作は保証しておりません。

 \sim

カメラとプリンターを接続する

付属のUSBケーブルUC-E4を使ってカメラとプリンターを接続します。

1 カメラの電源をOFFにしてからプリンターの電源をONにする

2 カメラとプリンターを接続する

• USBケーブルは、無理な力を加えず、端子にまっすぐ差し込んでください。



3 カメラの電源をONにする

•正しく接続されると、液晶モニターに①の画面が表示された後、②の画面が表示されます。



 \sim

<u>1コマだけプリントする</u>

- 1 プリントしたい画像を選ぶ
 - マルチセレクターの
 または
 を押してプリントしたい画像を選びます。
 - ●■ボタンを押して6コマ表示に切り換えて、画像を選ぶことができます。●(ボタンを押すと、1コマ表示に戻ります。)
 - •1コマ表示中に**役**を押すと、表示中の画像を拡大表示します(□191)。 ■ボタンを押 すと、1コマ表示に戻ります。
 - BKTボタンを押しながら▲を押すと、[スロット/フォルダー指定メニュー] 画面が表示され、スロットやフォルダーを切り換えられます(□180)。
 - •▲または▼を押すと、画像情報(□181)が表示されます。

2 プリント設定画面を表示する

・ Wボタンを押すとプリント設定画面が表示されます。

3 プリント設定の項目を設定する

▼または▲を押して設定したい項目を選んで▶を押すと、それぞれの設定画面が表示されます。

用紙設定	 ▼または▲を押して、プリントする用紙のサイズを選びます。 [プリンターの設定]、[Lサイズ]、[2Lサイズ]、[はがき]、 [100 × 150 mm]、[4×6 in.]、[203 × 254 mm]、 [Letter]、[A3サイズ]、[A4サイズ]のうち、プリンターが対応するサイズのみが表示されます。 (※ボタンを押すと、プリント設定画面に戻ります。 	 イ 用紙設定 ユブリンターの設定 ()派 しサイズ ユサイズ はがき A4サイズ
枚数指定	▼または▲を押して、プリントする枚数(1~99枚)を設 定します。 ❷ボタンを押すとプリント設定画面に戻ります。	秋数指定 3 0 0 3 0 1 ~99 枚 1



リント設定

മ

1

ല

굅 OFF

田紙設定

枚数指定

フチ設定

日付プリント

フチ設定	▼または▲を押して、[プリンターの設定](プリンターの 設定を優先)、[あり](フチありプリント)または [なし] (フチなしプリント)を選びます。 ☞ボタンを押すと、プリント設定画面に戻ります。	 イ フチ設定 ユブリンターの設定 (図) あり なし
日付 プリント	▼または▲を押して、[プリンターの設定](プリンターの 設定を優先)、[あり](日付を印刷する)または [なし](日 付を印刷しない)を選びます。 ☞ボタンを押すと、プリント設定画面に戻ります。	 イ 日付フリント ユブリンターの設定 (図) あり なし
	プリント範囲を指定します。 [する]を選んで、▶を押します。	
範囲指定	右のような画面が表示されます。 黄色の枠は、プリントされる範囲を示しています。	 ● 範囲指定 ● 範囲指定 ● ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	 • (配ボタンを押すと枠が小さく(プリント範囲が狭く)なり 大きく(プリント範囲が広く)なります。 ・マルチセレクターを操作すると、プリント範囲が移動しま ・ (のボタンを押すと、プリント設定画面に戻ります。 	0、 ዊ ボタンを押すと枠が す。

4 プリントを開始する

- [プリント実行]を選んで、 ⁽¹⁾ボタンを押すとプリントが始まります。
- プリントを中断したいときは、もう一度®ボタンを 押してください。

☑ ダイレクトプリントについてのご注意

• RAW画像(ロ89)はダイレクトプリントできません。RAW画像の場合は画像編集メニューの [**RAW** 現像] (ロ287)で作成したJPEG画像をプリントしてください。

1 ブリント中

1/3

7

()K)キャンヤル

• [**フチ設定**] と [範囲指定] は、接続したプリンターがそれぞれの機能に対応していない場合は、選 べません。なお、[範囲指定] で狭い範囲を大きくプリントした場合は、画像が粗くプリントされる 場合があります。

🖉 プリンターの設定を優先してプリントしたいときは

[用紙設定]、[フチ設定]、[日付プリント]の設定について、プリンターの設定を優先したいときは、 それぞれの設定時に[プリンターの設定]を選んでください。

<u>複数の画像をプリントする</u>

あらかじめカメラとプリンターを正しく接続してから(ロ202)、次の手順でプリントしてください。

1 右の画面でMENUボタンを押す





[プリント画像選択]、[日付選択] または [DPOFプリント] を選んでマルチセレク ターの▶を押す

事前に再生メニューの [プリント指定 (DPOF)]
 (ロ209)を行った場合、[DPOFプリント]を選ぶと、手順3の画面にプリント指定で設定したプリント枚数が反映されます。



マルチャレクターを操作してプリントする画像を

3 プリントする画像と枚数を設定する

選び、9²³ボタンを押しながら▲または▼を押し て、プリント枚数(99枚まで)を設定します。

[プリント画像選択] または [DPOFプリント] の場合:



- **♀**■ボタン
- プリントされる画像には、
 ユアイコンとプリント枚数が表示 されます。枚数を0にすると、
 ユアイコンが消え、その画像 はプリントされません。
- ・
 ペボタンを押している間は、選択中の画像が 拡大表示されます。
- BKTボタンを押しながら▲を押すと、[ス ロット/フォルダー指定メニュー] 画面が表 示され、スロットやフォルダーを切り換えら れます(□180)。





□ 2010/04/15

□ 2010/04/16 □ 2010/04/18 ▶設定

●画像と枚数を設定したら、◎ボタンを押します。

[日付選択] の場合:

- ▲または▼を押してプリントする日付を選び、▶を押して 設定します。
- プリントする枚数は設定できません。選択した日付の画像の 全てが1枚ずつプリントされます。
- ● ボタンを押すと、選択している日付に撮影した画像をサムネイル表示して確認できます。もう一度 ボタンを押すと、日付選択画面に戻ります。
- ・サムネイル表示中に
 ペボタンを押すと、ボタンを押している間、選んだ画像を拡大表示します。



日付を設定したら、
 ・
 ・
 日付を設定したら、
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・</li

4 プリント設定の項目を設定する

 ▼または▲を押して設定したい項目を選んで▶を押 すと、それぞれの設定画面が表示されます。



	▼または▲を押して、プリントする用紙のサイズを 🦷 🖽 🐯 🖉
	選びます。 超フリンターの設定
用紙設定	●ボタンを押すと、プリント設定画面に戻ります。 21サイス (サイス)
	表示される用紙サイズはプリンターによって異なり
	ます (四203)。
	▼または▲を押して、[プリンターの設定](プリンターの設定を優先)、[あ
フチ設定	り](フチありプリント)、[なし](フチなしプリント)を選びます。 😡 ボタ
	ンを押すとプリント設定画面に戻ります。
미산	▼または▲を押して、[プリンターの設定](プリンターの設定を優先)、[あ
	り](日付を印刷する)、[なし](日付を印刷しない)を選びます。 ❷ ボタン
7.52	を押すとプリント設定画面に戻ります。

5 プリントを開始する

• [プリント実行]を選んで®ボタンを押すと、プリントが始まります。プリントが終わると、手順2の画面に戻ります。



● プリントを中断したいときは、もう一度 ∞ ボタンを押してください。

ⅢINDEX(インデックス)プリントする

SDカード内の全てのJPEG画像(印89)が一覧できる「インデックス」をプリントできます。

- **1** [PictBridge] 画面(□205)で [INDEX プリント] を選ぶ
 - [INDEXプリント] を選んでマルチセレクターの
 ▶を押すと、[INDEXプリント] 画面が表示されます。
 - インデックスプリントできるのは256コマまでです。SDカード内に257コマ以上の画像がある場合は、印刷されない画像があります(確認画面が表示されます)。
- 2 プリント設定画面を表示する
 - 🐨 ボタンを押すと、プリント設定画面が表示されます。

3 プリント設定の項目を設定する

- ●「複数の画像をプリントする」(□ 205)の手順4と同様に、 プリント設定の項目を設定してから、プリントしてください。
- 用紙サイズによっては、インデックスプリントができない場 合があります(警告画面が表示されます)。



💉 PictBridge
フリント画像選択 DP0Fブリント INDEXプリント
NDEXプリント
<u>()</u> [2]
OK プリント

<u> プリントしたい画像を指定する(プリント指定)</u>

SDカードをプリンターのカードスロットに挿入して印刷するときや、プリントサービ ス店に持ち込んでプリントを依頼するとき、またはカメラとプリンターを直接接続して ダイレクトプリントするとき(¹¹201)に、どの画像を何枚プリントするかをあらかじ め指定できます(プリンターやプリントサービス店がDPOF規格に対応している必要が あります)。プリント指定の方法は次の通りです。

1 再生メニューの [プリント指定 (DPOF)] MENUボタン で [設定] を選ぶ

MENUボタンを押して、再生メニューの[プリント指定(DPOF)]で[設定]を選びます。
 マルチセレクターの▶を押すと、プリント画像の選択画面が表示されます。

2 プリントする画像と枚数を設定する

- マルチセレクターを操作してプリントする画像を選び、
 ペロボタンを押しながら▲または▼を押して、プリント枚数(99枚まで)を設定します。
- 設定した画像には、

 名アイコンとプリント枚数が表示されます。枚数を0にすると

 名アイコンが消え、その画像はプリントされません。
- BKTボタンを押しながら▲を押すと、[スロット/フォル ダー指定メニュー] 画面が表示され、スロットやフォル ダーを切り換えられます(□180)。
- MENUボタンを押すと、画像選択を中止して、再生メニューに戻ります。

3 プリント指定の項目を設定する

- ●撮影情報や日付を画像に写し込まない場合は、そのまま [設 定終了]を選んで∞ボタンを押してください。
- 指定した画像全てに撮影情報や日付をプリントしたい場合は、[撮影情報]または[日付]を選んで▶を押して□に✓ を入れてください。









4 プリント指定を終了する

• [設定終了] を選んで、 @ ボタンを押します。



▶ プリント指定についてのご注意

- ダイレクトプリント時には、[プリント指定 (DPOF)]の[撮影情報]、[日付]の設定は無効になり ます。ダイレクトプリントで日付をプリントしたい場合は、ダイレクトプリントの[日付プリント]
 を[あり]にしてください。
- SDカードの残量が充分にないときは、プリント指定ができない場合があります。
- RAW 画像(ロ89)は、プリント指定ができません。RAW 画像は画像編集メニューの[RAW現像] (ロ287)で作成したJPEG画像をプリントしてください。
- プリント指定を行ったSDカード内のデータを、このカメラ以外で削除しないでください。正しくプリントできなくなる場合があります。

🖉 設定したプリント指定を一括で解除したいときは

前ページの手順1の画面で [**一括解除**] を選ぶと、[プリント指定 (DPOF)] で設定した内容を全て解 除します。

画像をテレビで見る

カメラをテレビやビデオなどに接続して、撮影した画像をテレビ画面に表示したり、録 画したりできます。

<u>AVケーブルを使ってテレビと接続する</u>

カメラをテレビやビデオデッキに接続する手順を説明します。接続には付属のAVケーブルEG-D2をお使いください。

1 セットアップメニューの [ビデオ出力] を、テレビに合わせる(□264)

2 カメラの電源をOFFにする

• AVケーブルを抜き差しするときは、必ずカメラの電源をOFFにしてください。

3 カメラとテレビを接続する



4 テレビの入力をビデオ入力に切り換える

5 カメラの電源をONにして、 ▶ボタンを押す

•撮影した画像がテレビの画面に表示されます。カメラをテレビに接続している間、液 晶モニターは点灯します。

N

🖉 画像がテレビに映らないとき

AVケーブルでカメラとテレビを正しくつないでも、画像がテレビに映らないときは、セットアップメニューの [**ビデオ出力**](ロ264)がお使いのテレビに合っているかを確認してください。

🖉 テレビでの画像の再生について

- 画像の再生方法は、液晶モニターで再生するときと同じです。
- テレビ画面では、画像の周辺部が一部ケラレて表示される場合があります。
- テレビでの再生などでカメラを長時間使うときは、別売のパワーコネクター EP-5BとACアダプター EH-5aをお使いになることをおすすめします。

🖉 スライドショー

再生メニューの [スライドショー] (四222) では、撮影した画像を1コマずつ連続再生できます。

🖉 動画の音声について

- 動画撮影時にステレオ録音した音声は、AVケーブルでカメラとテレビをつないで動画を再生すると、 モノラル再生されます。HDMIケーブルでカメラとHDMIテレビをつないだときは、ステレオ再生されます。
- テレビで動画を再生するときは、音量をテレビ側で調節してください。カメラでは音量調節できません。

🖉 端子カバーについて

使用しないときは、カメラの端子カバーを必ず閉じてください。ゴミなどが入ると、誤作動の原因と なることがあります。

HDMIケーブルを使ってハイビジョンテレビと接続する

カメラをHDMI端子のあるハイビジョンテレビなどと接続できます。接続には市販の HDMIミニ端子用ケーブル(Type C)が必要です。別途お買い求めください。

1 カメラの電源をOFFにする

• HDMIケーブルを抜き差しするときは、必ずカメラの電源をOFFにしてください。

2 カメラとハイビジョンテレビを接続する



※使用する外部機器の端子に合ったケーブルをお使いください。

3 テレビの入力をHDMI入力に切り換える

- **4** カメラの電源をONにして、 ▶ボタンを押す
 - 撮影した画像がテレビの画面に表示されます。カメラをテレビに接続している間、液 晶モニターは消灯します。

N

HDMI機器との接続時の設定を変更する

セットアップメニューの [**HDMI**] で、HDMI対応機器への出力解像度を設定したり、 HDMI-CEC対応テレビのリモコンから制御できるように設定できます。

■出力解像度

HDMI対応機器への出力解像度を設定できます。

• [出力解像度] が [オート] の場合、出力先の映像信号形式を 自動的に検出します。



■ 機器制御

HDMI-CEC対応テレビのリモコンを使って、1コマ表示とスライドショー再生のカメラ 操作を行えます。

1 カメラとHDMI-CEC対応テレビを接続する

- **2** HDMI-CEC対応テレビとカメラの電源をONにする
 - [機器制御]が[する]の場合、HDMI-CEC対応テレビに右の画面が表示され、カメラのマルチセレクターや®ボタンの代わりにHDMI-CEC対応テレビのリモコンを使ってカメラを操作できるようになります。
 - [機器制御] が [しない] の場合は、HDMI-CEC対応 テレビのリモコンでカメラは動作しません。

再生	(OK	
スライドショー			

🖉 HDMI、HDMI-CECとは

「HDMI」とは、High-Definition Multimedia Interfaceの略で、マルチメディアインターフェースのひとつです。「HDMI-CEC」とは、HDMI-Consumer Electronics Controlの略で、対応機器間での連携動作を可能にします。

🖉 HDMI-CEC対応テレビとの接続時の表示

HDMI-CEC対応テレビとの接続時には、表示パネルの記録可能コマ数表示部に【ELが表示されます。

🖉 機器制御について

詳しくは、テレビの使用説明書などをご覧ください。

N

メニューガイド

▶ 再生メニュー:再生で使える便利な機能

MENUボタンを押して、タブの ▶ アイコンを選ぶと、再生メニューが表示されます。 MENUボタン



再生メニューの項目は、次の通りです。

メニュー項目		メニュー項目	
削除	194	撮影直後の画像確認	220
再生フォルダー設定	215	削除後の次再生画像	220
非表示設定	216	縦位置自動回転	221
再生画面設定	217	スライドショー	222
画像コピー	217	プリント指定(DPOF)	209

再生フォルダー設定

MENUボタン → ▶ 再生メニュー

画像はSDカード内のフォルダーに保存されます。 画像の再生(凹179)時に表示するフォルダーを設定します。

D7000	D7000で作成された全てのフォルダー内の画像を再生します。
全てのフォルダー	SDカード内の全てのフォルダーの画像を再生します。
記録中のフォルダー	画像の記録に実際に使われているフォルダーの画像を再生します。

⊞

非表示設定

非表示設定した画像は、非表示設定画面以外では表示されません。

設定	画像ごとに非表示設定します。		
日付選択	選択した日付に撮影した画像を一括で非表示設定します。 • 非表示設定したい日付を選択し、マルチセレクターの▶を押 すと、日付の左側のチェックボックスがオン☑になります。 • もう一度▶を押すと、チェックボックスがオフ□になります。 • ∞ボタンを押すと、設定を完了します。	> 日付選択 ○ 2010/04/15 ○ 2010/04/16 ○ 2010/04/18 ○ 2010/04/18 ○ 028 確認	<u>②</u> ◎ ◎ ③ ③ ③ ③
一括解除	非表示設定を一括で解除します。		

■■画像ごとに非表示設定する

- 1 [設定] を選ぶ
 - [設定] を選んでマルチセレクターの●を押すと、 画像の選択画面が表示されます。

2 非表示する画像を選ぶ

- マルチャレクターを操作して画像を選び、 Q■ボタンを押して設定します。設定すると Sが表示されます。もう一度Q■ボタンを押 すと、№が消えます。
- 非表示にする画像全てに設定してください。
- (ボタンを押している間、選んだ画像を拡大)
- BKTボタンを押しながら▲を押すと、「スロット/フォルダー指定メニュー] 画面が表 示され、スロットやフォルダーを切り換えられます(凹180)。

3 設定を完了する



▶ 非表示設定についてのご注意

- SDカードを初期化すると、非表示設定した画像も削除されますのでご注意ください。
- プロテクトと非表示の両方を設定した画像の非表示設定を解除すると、プロテクト設定も解除されま す。







再生画面設定

MENUボタン → ▶ 再生メニュー

画像情報(¹¹81)に、フォーカスポイント表示やハイライト表示、RGBヒストグラム 表示、撮影情報を追加できます。

1 項目を選ぶ

 ●画像情報に表示したい項目を選択し、マルチセレ クターの●を押すと、項目の左側のチェックボッ クスがオン図になります。



もう一度▶を押すと、チェックボックスがオフ□
 になります。

2 [設定終了] を選ぶ

 ●[設定終了]を選んで∞ボタンを押すと、設定を 完了します。



画像コピー

MENUボタン → ▶ 再生メニュー

SDカードを2枚使用しているときに、SDカード内の画像をもう一方のSDカードにコ ピーできます。

コピー元の選択	コピーしたい画像があるスロットを選びます。
コピー元画像の選択	コピーしたい画像を選択します。
コピー先フォルダーの選択	[コピー元の選択]で選ばなかったスロットにあるフォルダーを 画像のコピー先として選択します。
コピー実行	コピーを実行します。

■■画像のコピー方法

1 [コピー元の選択]を選ぶ

 ・[コピー元の選択]を選んでマルチセレクターの
 ▶を押すと、[コピー元の選択] 画面が表示されます。



:**:**

2 コピーしたい画像があるスロットを選ぶ

- コピーしたい画像が入っているカードのスロット を選んで®ボタンを押すと、[画像コピー] 画面 に戻ります。
- 3 [コピー元画像の選択]を選ぶ
 - [コピー元画像の選択]を選んでマルチセレクターの▶を押すと、[コピー元画像の選択] 画面が表示されます。
- 4 コピー元画像があるフォルダーを選ぶ
 - コピー元画像のあるフォルダーを選んで▶を押す と、[画像選択の初期状態] 画面が表示されます。

5 画像の選択方式を選ぶ

•コピー画像の選び方は、次の3通りがあります。

全画像非選択	フォルダー内全ての画像が選ばれていない状態で表示されます。
	 コピーする画像を1枚ずつ自分で選びたい場合に適しています。
全画像選択	フォルダー内の全ての画像が選ばれた状態で表示されます。
	 フォルダー内の全画像をコピーしたい場合に適しています。
プロテクト	フォルダー内のプロテクトされている画像だけが選ばれた状能で表示されます。
画像選択	ショルシードシンロノントとれている国家にいる医いれた状態で致死にれたす。

6 コピーする画像を選ぶ

- マルチセレクターで画像を選んで♥■ボタン
 を押すと、✓が表示されます。もう一度♥■
 ボタンを押すと、✓が消えます。
- **Q**ボタンを押している間、選択中の画像を拡 大表示します。
- コピーしたい全ての画像に✓を入れてから

 ボタンを押すと、[画像コピー] 画面に戻ります。

9■ボタン





🕞 画像コピー

コピー元の選択 コピー元画像の選択



全画像非選択 全画像選択 プロテクト画像選択



7 [コピー先 ・[コピー先 と、[コピ ます。	フォルダーの選択]を選ぶ フォルダーの選択]を選んで▶を押す ー先フォルダーの選択]画面が表示され		 画像コビー コビー元の選択 [1] コビー元の選択 100 コビー元画像の選択 102] コビー実行 2
8 コピー先: ・コピー先: ます。	フォルダーの選択方法を選ぶ フォルダーの選択方法を選んで▶を押し		 画像コピー ユピー先カルダーの選択 フォルダー番号指定 既存フォルダーから選択 2
フォルダー 番号指定	コピー先のフォルダー番号を入力して指 (皿224)。	定します	■ 画像コピー フォルダー番号指定 印刷 2 002 2 002 002 0002 100~999 ③移動 G設定 0(K)決定
既存フォルダー から選択	既存フォルダーの一覧表示から、コピー先フ を選択します。	7ォルダー	■ 画像コピー 数存フォルダーから選択 10007000 10107000 10207000 10307000 10307000

9 コピー先フォルダーを選ぶ

 それぞれの画面で、フォルダー番号を指定または選択して∞ボタンを押すと、コピー 先フォルダーを設定して [画像コピー] 画面に戻ります。

10[コピー実行]を選ぶ

• [コピー実行] を選んで ⁽¹⁾ ボタンを押すと、コ ピーの確認画面が表示されます。

■ <u>画像コピー</u> コピー元の選択 [1] コピー元の選択 100 ピークス149-の選択 102 ■ ピーテス行 [0]

① コピーしますか? 3 枚

OK

はい

いいえ

11[はい]を選ぶ

- [**コピーしますか?**] というメッセージと、コピー する枚数が表示されます。
- [はい] を選んで I ボタンを押すと、コピーを実行します。
- コピーが終了したら、もう一度®ボタンを押して コピーを完了します。

:=

▶ 画像コピーについてのご注意

- コピー先SDカードの残量がない場合、コピーできません。
- コピー先フォルダーに同じファイル番号が存在する場合、右のような画面が表示されます。このとき、[上書き]または [全て上書き]を選択すると、コピー元の画像に上書きされますのでご注意ください。ただし、コピー先の画像にプロテクトまたは非素が設定されている場合は、上書きできません。



ん。[**スキップ**]を選択すると、上書きせずに残りの画像のコピーを続けます。[**キャンセル**]を選択 すると、コピーを中止します。

- プロテクト設定はコピー先の画像に引き継がれます。
- [プリント指定 (DPOF)] (印209) で設定した情報は、コピー先画像には引き継がれません。
- 非表示設定した画像はコピーできません。
- 動画をコピーするときは、バッテリー切れを防ぐため、充分に充電されたバッテリーをお使いください。

撮影直後の画像確認

MENUボタン → ▶再生メニュー

▶ 撮影直後の画像確認

する

しない

撮影直後に画像を自動的に表示するかどうかを設定します。[**し** ない]を選択した場合に撮影画像を表示確認するには、▶ボタン を押してください。

削除後の次再生画像

MENUボタン → ▶ 再生メニュ-

画像を削除した後に表示する画像を設定できます。

	後ろのコマ	削除した画像の次に撮影した画像を表示します。
		最後の画像を削除した場合は、1つ前の画像を表示します。
▶⊟⊸	前のコマ	削除した画像の前に撮影した画像を表示します。
		最初の画像を削除した場合は、次に撮影した画像を表示します。
		• 直前のコマ送りが前の画像から後の画像の順番のときは、[後ろのコマ]と
Did	直前コマ送り	同じ動作になります。
	方向に従う	• 直前のコマ送りが後の画像から前の画像の順番のときは、[前のコマ]と
		同じ動作になります。

縦位置自動回転

MENUボタン → ▶ 再生メニュー

縦位置で撮影した画像を、自動的に回転して表示します。



▶ 縦位置自動回転についてのご注意

- [縦位置自動回転] を [する] に設定しても、セットアップメニューの [縦横位置情報の記録] (印267) を [しない] にして撮影した画像は、全て横位置で表示されます。
- 縦位置で撮影した状態のまま画像確認がしやすいように、[する] に設定しても、撮影直後の画像確 認時は自動回転しません。

スライドショー

MENUボタン → ▶ 再生メニュー

撮影した画像を記録された順番に1コマずつ連続再生します。[**再生フォルダー設定**] (¹¹215)で設定されたフォルダー内の画像が記録された順番で再生されます。ただし、 [**非表示設定**] (¹¹216) されている画像は再生されません。

開始	スライドショーを開始します。
インターバル設定	1コマの画像を表示する時間を設定します。

■スライドショーを再生する

[**開始**]を選んで
のボタンを押すと、スライドショーが始まります。スライドショーの再生中は、次の操作が可能です。



1コマ進む/戻る		◀を押すと前の画像が、▶を押すと次の画像が表示されます。
画像情報を表示する		表示中の画像についての詳しい情報が表示されます(四181)。
一時停止する/ 再開する		スライドショーが一時停止します。もう一度 ® ボタンを押すと 再開します。
再生メニューに戻る	MENU	スライドショーを中止して、再生メニューに戻ります。
通常再生に戻る	Þ	スライドショーを中止して、1 コマ表示モード(囗 179)また はサムネイル表示モード(囗 188)に戻ります。
撮影に戻る		シャッターボタンを半押しすると、すぐに撮影できます。

再生が終わると、右のような画面が表示されます。[**再開**]を選んで®ボタンを押すと、スライドショーが再開します。[**終了**]を選んで®ボタンを押すと、スライドショーが終了します。



::**:**

▲ 撮影メニュー:撮影で使える便利な機能

MENUボタンを押して、タブの▲アイコンを選ぶと、撮影メニューが表示されます。 MENUボタン



撮影メニューの項目は次の通りです。

メニュー項目	
撮影メニューのリセット	223
記録フォルダー設定	224
ファイル名設定	226
スロット2の機能	93
画質モード	89
画像サイズ	92
JPEG圧縮	91
RAW記録	91
ホワイトバランス	125
ピクチャーコントロール	141
カスタムピクチャーコントロール	146

メニュー項目	
自動ゆがみ補正	226
色空間	153
アクティブD-ライティング	151
長秒時ノイズ低減	227
高感度ノイズ低減	227
ISO感度設定	105
多重露出	166
動画の設定	61
インターバルタイマー撮影	170
リモコンモード設定	84

🖉 設定できない撮影メニュー項目について

- 撮影モードやカメラの状態によって、設定できないメニュー項目があります。この場合、その項目は グレーで表示されて選べません。
- 各撮影モードで設定できる撮影メニュー項目については、「撮影モード別:設定できる機能一覧」を ご覧ください(□326)。

撮影メニューのリセット

MENUボタン → 🗖 撮影メニュ-

撮影メニューをリセットして初期設定に戻します。



🖉 関連ページ

「撮影メニューの初期設定」(□332)

[i]

記録フォルダー設定

記録フォルダーの新規作成や既存フォルダーからの選択を行います。新規作成の場合は [フォルダー番号指定] でフォルダー番号を設定します。既存フォルダーから選択する 場合は [既存フォルダーから選択] を選びます。

■フォルダー番号指定

フォルダーを新規に作成します。

- 1 [フォルダー番号指定]を選ぶ
 - [フォルダー番号指定]を選んでマルチセレクターの
 の▶を押すと、[フォルダー番号指定] 画面が表示されます。



• [フォルダー番号指定] 画面の右上には、フォル ダーを作成するスロットが下線で強調されて表示 されます。フォルダーを作成するスロットは、[**スロット2の機能**](ロ93)の設定に よって異なります。

2 フォルダー番号の桁を選ぶ

- ●
 ◀または
 ▶を押して、フォルダー番号の変更したい桁を選びます。
- 3 フォルダー番号を変更する
 - ・▲または▼を押して、フォルダー番号の数値を変更します。

4 フォルダー番号を設定する

- 🞯 ボタンを押すと、新規フォルダーを作成して撮影メニュー画面に戻ります。
- 次に撮影する画像は、作成した新規フォルダーに保存します。
- 作成済みのフォルダー番号を指定すると、フォルダー番号の左にフォルダーマーク
 (□、□、□)が表示されます。
 □または□を選んで@ボタンを押すと、指定したフォルダーを記録フォルダーに設定して撮影メニューに戻ります。
- •キャンセルしたい場合は、MENUボタンを押すと撮影メニューに戻ります。

🖉 フォルダーマークについて

[フォルダー番号指定] 画面では、フォルダー番号の左に、画像の入っていないフォルダーのときはし、フォルダー内のファイル数が999 個またはファイル番号が9999に達しているフォルダーのときはし、その他のフォルダーのときはしのフォルダーマークが表示されます。目が表示されているフォルダーには、画像は記録できません。

■既存フォルダーから選択

既存のフォルダーから選択します。

- 1 [既存フォルダーから選択] を選ぶ
 - ・[既存フォルダーから選択]を選んでマルチセレク ターの▶を押すと、[既存フォルダーから選択] 画面が表示されます。

2 フォルダーを選ぶ

・▲または▼を押して、画像を記録するフォルダーを選びます。

3 画像を記録するフォルダーを設定する

- のボタンを押すと、設定が有効になり撮影メニュー画面に戻ります。
- •次に撮影する画像は、選んだフォルダーに保存します。

▶ フォルダー番号およびファイル番号についてのご注意

フォルダー番号が999に達しているときに、ファイル番号が9999に達するか、このフォルダー内のファ イル数が999個に達した場合は、それ以上フォルダーを作成できず、シャッターがきれなくなります。 ただし、次の場合、SDカードにまだ空き容量があれば、さらに撮影を続けられます。

- フォルダー番号が999以下で、その内のファイル数が999に達していないフォルダーを記録フォル ダーとして選んだ場合
- フォルダー番号が999以下のフォルダーを新規に作成し、それを記録フォルダーとして選んだ場合

🖉 大容量のSDカードを使用する場合

すでにたくさんのフォルダーや画像が記録されているSDカードを使用する場合、SDカードを挿入した ときや、カメラの電源をONにしたときなどに行われるファイル検索に時間がかかるため、撮影や再生 ができるまでに時間がかかることがあります。

記録フォルダー設定 既存フォルダーから<u>選択</u>

> 101D7000 102D7000

> 10307000

(OK)

ファイル名設定

このカメラで撮影した画像には、自動的にDSC_nnnn.xxxというファイル名が付きま す。[ファイル名設定]では、「DSC」の3文字を任意に変更できます。ファイル名の設 定方法は、「カスタムピクチャーコントロールを登録する」の手順6をご覧ください (□147)。

🖉 ファイル名について

- このカメラで撮影された画像にはDSC_nnnn.xxxという名称が付きます。 nnnnには0001~9999までの数字が入ります。xxxには選んだ画質モードによって、次の拡張子が 入ります。
 - NEF: RAWの場合
 - JPG: FINE/NORMAL/BASICの場合
 - MOV: 動画の場合
 - NDF:イメージダストオフデータの場合
- 撮影メニューの [色空間] で [Adobe RGB] (□153) を選んだ場合は_DSCnnnn.xxx という名称 が付きます。
- 同時記録されたRAW画像とJPEG画像のファイル名は同じですが、拡張子がそれぞれNEF、JPGになります。

自動ゆがみ補正

MENUボタン → 凸撮影メニュー

[自動ゆがみ補正]を [する] にすると、広角レンズ使用時のたる型のゆがみや、望遠レンズ使用時の糸巻き型のゆがみを補正して撮影します。

• [自動ゆがみ補正]は、Gタイプ・Dタイプレンズを装着した場合のみ機能します。ただし、PCレンズ、フィッシュアイレンズ、その他一部のレンズを装着した場合は機能しません。また、対応レンズ以外を装着した場合については、動作を保証しません。



- [自動ゆがみ補正] が [する] の場合、シャッターをきってから、記録が始まるまで時 間がかかる場合があります。
- •ゆがみを大きく補正するほど、画像周辺部は切り取られます。

🖉 関連ページ

撮影した画像のゆがみを補正する → 🗹 [ゆがみ補正] (□291)

:=

長秒時ノイズ低減

MENUボタン → 凸撮影メニュ-

低速シャッタースピードになったときに発生するノイズ(ざらつき、むら)を低減します。

する	シャッタースピードが1秒より低速になった場合に、長秒時ノイズの低減処理を 行います。
しない	長秒時ノイズの低減処理を行いません。

長秒時ノイズ低減処理は、撮影後に行われます。処理中は、表示パネルとファインダー内表示に**」のも っ**たが表示されます。 この表示が消えるまで、撮影はできません。

長秒時ノイズの低減処理を行う場合、画像を記録するまでの時間は、約1.5~2倍になります。



▶ 長秒時ノイズ低減についてのご注意

- 連続撮影速度は遅くなり、連続撮影可能コマ数も少なくなります。
- 処理中に電源をOFFにすると、処理は行われず、長秒時ノイズの低減処理を行う前の画像が保存されます。

高感度ノイズ低減

MENUボタン → 凸撮影メニュ-

感度が高くなるほど発生しやすいノイズ(ざらつき、むら、すじ)を低減します。

HIGH 強め	全てのISO感度で高感度ノイズの低減処理を行います。ISO感度が高くなるほ
NORM 標準	ど、効果的です。
LOW 弱め	● ノイズ低減の効果は、強い順に[強め]、[標準]、[弱め]になります。
	高感度ノイズ低減処理を行いません。ただし、ISO感度が1600以上の高感度
しない	になったときは、常にノイズ低減処理が行われます。この場合のノイズ低減
	効果は[弱め]よりもさらに弱くなります。

MENUボタンを押して、タブののアイコンを選ぶと、カスタムメニューが表示されます。 MENUボタン



<第2階層>

a オートフォーカス

a4フォーカスポイント照明 AUTO a5.7ォーカスポイント循環選択

۲

Ferrit

AF≣

OFF

AF30

a1AF-Cモード時の優先

▲ a2 AF-Sモード時の優先

a6 AF 点数切り換え

a3 AFロックオン

カメラの各種設定を撮影者の好みに合わせて変更 できます。カスタムメニュー画面は、2つの階層 で構成されています。



カスタムメニューの項目は次の通りです。

		メニュー項目	m
B	カフ	スタムメニューのリセット	230
а	オー	-トフォーカス	
	a1	AF-Cモード時の優先	230
	a2	AF-Sモード時の優先	231
	a3	AFロックオン	231
	a4	フォーカスポイント照明	231
	a5	フォーカスポイント循環選択	232
	aб	AF点数切り換え	232
	a7	内蔵AF補助光の照射設定	233
	a8	ライブビュー /動画撮影時のAF	234
b	露出	は・測光	
	b1	ISO感度設定ステップ幅	234
	b2	露出設定ステップ幅	234
	b3	露出補正簡易設定	235
	b4	中央部重点測光範囲	235
	b5	基準露出レベルの調節	236
c	AE	ロック・タイマー	
	c1	半押しAEロック	236
	c2	半押しタイマー	236
	c3	セルフタイマー	237
	c4	液晶モニターのパワーオフ時間	238
	c5	リモコン待機時間	238
d	撮景	ジ・記録・表示	
	d1	電子音設定	239
	d2	格子線の表示	239
	d3	ISO感度表示と簡易設定	240
	d4	ファインダー内警告表示	240
	d5	インフォ画面のガイド表示	240

		メニュー項目	
	d6	低速連続撮影速度	241
	d7	連続撮影コマ数	241
	d8	連番モード	242
	d9	インフォ画面の表示設定	243
	d10	イルミネーター点灯	243
	d11	露出ディレーモード	243
	d12	フラッシュ使用推奨表示	244
	d13	MB-D11電池設定	244
	d14	電池の使用順序	245
e	フラ	ッシュ・BKT撮影	
	e1	フラッシュ撮影同調速度	246
	e2	フラッシュ時シャッタースピード	247
		制限	2-17
	e3	内蔵フラッシュ発光	248
	e4	モデリング発光	253
	e5	オートブラケティングのセット	253
	eб	BKTの順序	253
f	操作	1	
	f1	♣スイッチの機能	254
	f2	OKボタンの機能(撮影モード)	254
	f3	Fnボタンの機能	255
	f4	プレビューボタンの機能	257
	f5	AE/AFロックボタンの機能	257
	f6	コマンドダイヤルの設定	258
	f7	ボタンのホールド設定	261
	f8	カードなし時レリーズ	261
	f9	インジケーター表示の+/-方向	261
	f10	MB-D11の日ボタンの機能	262

🖉 設定できないカスタムメニュー項目について

- 撮影モードやカメラの状態によって、設定できないメニュー項目があります。この場合、その項目はグレーで表示されて選べません。
- 各撮影モードで設定できるカスタムメニュー項目については、「撮影モード別:設定できる機能一覧」を ご覧ください(凹326)。



🖉 関連ページ

「カスタムメニューの初期設定」(0333)

a:オートフォーカス

a1:AF-Cモード時の優先

ファインダー撮影時の AF モードが AF-C のとき (四95) にシャッターボタンを押した場合の動作を 設定できます。



MENUボタン → Øカスタムメニュー

ダイヤル

۲	レリーズ	ピント状態に関係なく撮影優先でシャッターをきることができます。
6	7	ピントが合うまで、シャッターボタンを押してもシャッターをきること
[]	フォーリス	ができません。

 AFモードがAF-Cのときは、[AF-Cモード時の優先]の設定にかかわらず、ピント表 示(●)が点灯してもフォーカスロックは行われず、シャッターをきるまでピント合 わせの動作を続けます。

a2:AF-Sモード時の優先

MENUボタン → ⊘カスタムメニュー

ファインダー撮影時の AF モードが **AF-S** のとき (ロ95) にシャッターボタンを押した場合の動作を 設定できます。





AFモードボタン メインコマンド ダイヤル

۲	レリーズ	ピント状態に関係なく撮影優先でシャッターをきることができます。
[::::]	7	ピントが合うまで、シャッターボタンを押してもシャッターをきること
	73-77	ができません。

 AFモードがAF-Sのときは、[AF-Sモード時の優先]の設定にかかわらず、ピント表示
 (●)が点灯した状態でシャッターボタンの半押しを続けると、シャッターをきるまで フォーカスロックが行われます。

a3:AFロックオン

MENUボタン → Øカスタムメニュー

ファインダー撮影時のAFモードがAF-Cのときや、AF-Aに設定していて自動的にAF-C に切り替わったときに、被写体との距離が瞬時に大きく変わった場合のピント合わせの 動作について設定できます。

AF 5(強め)	被写体との距離が瞬時に大きく変わったとき、一定時間経過してから被
AF≣ 4	今後を追従9るヒノト合わせを行いま9。彼今後とガメフの間を障害物
	か横切るような撮影など、意図に反して障害物にビント合わせを行うこ
AF畫 3 (標準)	とを防止します。
AF≣ 2	• 被写体との距離が瞬時に大きく変わってから、追従するピント合わせ
AF <u>=</u> I(弱の)	[2]、[1(弱め)] になります。
	被写体との距離が瞬時に大きく変わったときは、すぐに追従するように
しない	ピント合わせを行います。距離の異なる複数の被写体を次々と撮影する
	ようなときに便利です。

a4:フォーカスポイント照明 MENUボタン→ Øカスタムメニュー

ファインダー内のフォーカスポイントの照明方法を設定できます。		
AUTO オート	被写体が暗いときは、自動的にフォーカスポイントを赤色に照明します。	
する	被写体の明るさにかかわらず常にフォーカスポイントが赤色に照明し	
	ます。背景が明るいときは、照明が見えづらい場合があります。	
しない	フォーカスポイントを照明しません。	

a5:フォーカスポイント循環選択 MENUボタン→ Øカスタムメニュー

フォーカスポイントをマルチセレクターで選ぶときに、上下左 右端で循環するように設定できます。

[する] を選んだ場合、一番端のフォーカスポイント(①)を 選んでいるときに、さらにマルチセレクターを同方向(右図 の場合は▶)に押すと、反対側の端のフォーカスポイント (②)に移動します。

a6:AF点数切り換え

手動で選べるフォーカスポイントの数を設定できます。

AF39 39点	39点全てのフォーカスポイントを選べます。	
AF11 11点	11 点のフォーカスポイントから選べます。 フォーカスポイントの位置をすばやく動かし たいときに便利です。	





MENUボタン → Øカスタムメニュー
a7:内蔵AF補助光の照射設定 MENUボタン→ @カスタムメニュー

被写体が暗いときなど、シャッターボタンを半押しすると、ピント合わせのためにAF補助光を自動的に照射します。 暗い場所でもAF補助光を自動的に照射させないように設定できます。



	ファインダー撮影時に、オートフォーカスでのピント合わせの際に、次の条件
する	が全て満たされた場合に、自動的にAF補助光を照射します。
	• 被写体が暗い場合
	● AFモードが AF-S 、または AF-A で自動的に AF-S が選ばれた場合(□ 95)
	 ・オートエリアAF以外のAFエリアモード(□97)で、中央のフォーカスポイ
	ントを選択したとき、またはオートエリアAFのとき
しない	AF補助光を照射しません。被写体が暗いときなどは、オートフォーカスでの
	ピント合わせはできなくなる場合があります。

🖉 AF補助光について

- 使用できるAFレンズの焦点距離は24~200mm、AF補助光が届く距離範囲の目安は約0.5~3mです。
- AF補助光使用時は、レンズフードを取り外してください。

🖉 関連ページ

- •「AF補助光撮影に制限のあるレンズについてのご注意」(□306)
- カスタムメニューa7 [内蔵AF補助光の照射設定]を設定できる撮影モード→「撮影モード別:設定できる機能一覧」(□326)

a8:ライブビュー/動画撮影時 ØAF

ライブビュー / 動画撮影時にオートフォーカスでピントを合わせるときのAFモードと AFエリアモードを設定します。

■AFモード

ライブビュー/動画撮影時のオートフォーカスでのピントの合 わせ方を、「シングルAFサーボ]または「常時AFサーボ]から 選びます。これらのAFモードについては、ロ50をご覧ください。

■AFエリアモード

ライブビュー /動画撮影時のオートフォーカスでピントを合わ せるフォーカスポイントの選び方を、「**顔認識AF**]、「**ワイドエ** リアAF¹、「ノーマルエリアAF¹、「ターゲット追尾AF¹から選 びます。これらのAFエリアモードについては、¹¹⁵⁰をご覧く ださい。

b:露出・測光

b1:ISO感度設定ステップ幅

ISO感度のステップ幅を設定できます。ISO感度のステップ幅を 変更したとき、設定されているISO感度が変更後のステップ幅に 存在しない場合は、最も近い値に変更されます。

b2:露出設定ステップ幅

シャッタースピード、絞り値、オートブラケティング補正量、露 出補正量、および調光補正量のステップ幅を設定できます。



a8ライフヒュー/動画撮影時のA AF Ŧ ー ド

AFSシングルAFサーボ AF-F 常時AFサーボ







b3:露出補正簡易設定

MENUボタン → Øカスタムメニュ-

☑ボタンを使用せずに、コマンドダイヤルだけで露出補正できるように設定を変更できます。 露出補正簡易設定を〔する(自動リセット)〕または〔する〕に設定すると、露出イン ジケーターの〔0〕が点滅します。

RECET	オス	コマンドダイヤルだけで露出補正値を設定できます。
REGET	(自動リセット)	• コマンドダイヤルだけを使って設定した露出補正値は、電源をOFFに
		するか、半押しタイマーがオフになると、リセットされます。
		コマンドダイヤルだけで露出補正値を設定できます。
	する	• 電源をOFFにしても、半押しタイマーがきれても、設定した露出補正
		値はリセットされません。
	しない	☑ボタンを押しながら、メインコマンドダイヤルを回して露出補正を設
		定します。

🖉 b3 [露出補正簡易設定] とf6 [メインとサブの入れ換え] の併用について

[露出補正簡易設定] とカスタムメニュー f6 [コマンドダイヤルの設定] (ロ258) の [メインとサブの入れ換え] との併用により、次の表で記載しているコマンドダイヤルで露出補正ができるようになります。

		カスタムメニュー f6→メインとサブの入れ換え		
		しないする		
	P	サブコマンドダイヤル	サブコマンドダイヤル	
堤影モード	S	サブコマンドダイヤル	メインコマンドダイヤル	
	A	メインコマンドダイヤル	サブコマンドダイヤル	
	Μ	機能し	ません	

✓ b3 [露出補正簡易設定] とd3 [ISO感度表示と簡易設定] の [感度表示と簡易 設定をする] について

b3 [露出補正簡易設定]の [する(自動リセット)] と [する] は、d3 [ISO感度表示と簡易設定]の [感度表示と簡易設定をする](□240)とは併用できません。メッセージが表示され、先に設定して いた内容が [しない] にリセットされます。

b4:中央部重点測光範囲

MENUボタン → ⊘カスタムメニュー

中央部重点測光は、ファインダー中央部を重点的に測光して、露出値を決定します。中 央部重点測光の範囲を変更できます。

- (•)6 *\$*6mm
- (•)8 *ø*8mm
- (•)10 ø10mm
- (•)13 *\phi*13mm
- ↔ Avg 画面全体の平均

非CPU レンズを装着している場合は、測光範囲は常に [**Ø8mm**] となります。

b5:基準露出レベルの調節

適正露出の基準を撮影者の好みに合わせ、測光モードごとに明 るめ(+側)または暗め(-側)に調節できます。1/6段ステッ プ幅で土1段の範囲で設定できます。初期設定は0です。

▶ 基準露出レベルの調節について

• カスタムメニュー b5「基準露出レベルの調節]を0以外に設定しても、図マークは表示されません のでご注意ください。設定した基準露出レベルは、カスタムメニューb5の画面でのみ確認できます。 基準露出レベルの調節の設定は、ツーボタンリセットでは解除できません。

c:AEロック・タイマー

c1:半押しAEロック

シャッターボタンを半押ししたときにAFロックを行うかどうか を設定できます。

c2:半押しタイマー

シャッターボタンを半押ししてから何も操作しないで一定時間 が過ぎると、待機状態に入ります。この待機状態になるまでの 時間を変更できます。

- 待機状態になると、表示パネルのシャッタースピードと絞り値 の表示とファインダー内の表示が消灯します。
- 半押しタイマーを延長すると、バッテリーの消耗が早くなり ます。



OK)





MENUボタン → Øカスタムメニュー

(3: セルン	/タイマー	MENUボタン →	⑦カスタムメニュー
セルフタイマー撮 てからシャッター 続撮影するときの	影時(印82)にシャッターボタン がきれるまでの時間と、撮影する 撮影間隔を設定できます。	νを全押しし 5コマ数、連	C3セルフタイマー Y 時間 図 撮影コマ数 1 2 連続撮影間隔 055
時間	シャッターがきれるまでの時間を選べ	べます。	3 セルフタイマー 時間 2 302522秒 205555秒 205622秒 205620秒 205920秒
撮影コマ数	マルチセレクターの▲または▼を押 9コマの間で設定できます。	して、1コマ~	a3セルフタイマー 掲載コマ数
連続撮影間隔	[撮影コマ数] を2コマ以上に設定し; 撮影するときの撮影間隔を選べます。	た場合に、連続	a3セルフタイマー 連続撮影問題 ✓ ✓ ● ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

c4:液晶モニターのパワーオフ 時間

液晶モニターが自動的に消灯するまでの時間を変更できます。

• [画像の再生]、[メニュー表示]、[インフォ画面表示]、[撮影 直後の画像確認]、[ライブビュー表示]で液晶モニターが自動 的に消灯するまでの時間を個別に設定できます。

	<u>c4液晶モニターのパワーオフ時間</u>	
•		
Ø	画像の再生	©10s ▶
۲	メニュー表示	©20s
8	インフォ画面表示	@10s
R	撮影直後の画像確認	í⊚4s
	ライブビュー表示	©10n
?		

- 初期設定は、[画像の再生] と[インフォ画面表示]の場合は 10秒、[メニュー表示]は20秒、[撮影直後の画像確認]は 4秒、[ライブビュー表示]は10分です。
- •液晶モニターの表示時間を延長すると、バッテリーの消耗が早くなります。

c5:リモコン待機時間

MENUボタン → Øカスタムメニュー

リモコンモード(凹84)に設定してから、カメラがリモコンからの信号を待ち受ける時間を設定します。

 リモコン待機時間を長くすると、カメラのバッテリーの消耗が 早くなります。



リモコンモードにしてから、リモコン撮影をしないままで受信
 待機時間が過ぎると、リモコンモードが解除され、半押しタイ
 マーがオフになります。リモコン待機状態に戻るには、シャッターボタンを半押しし
 てください。

d:撮影・記録・表示

d1:電子音設定

電子音の音の高さや音量を設定できます。

■音量

電子音の音量を設定できます。

•[電子音なし]を選ぶと、電子音は鳴りません。

■音の高さ

電子音の音の高さを〔高音〕と〔低音〕から選べます。

a1電子音設定 音量 ✔

電子音なし

(OV

MENUボタン → Øカスタムメニュ・



- [音量] を [電子音なし] 以外に設定すると、次の場合に電子音が鳴ります。
 - セルフタイマー作動中
 - 2秒リモコン撮影(凹84)の作動中
 - 瞬時リモコン撮影またはミラーアップリモコン撮影(印84)の完了時
 - オートフォーカスのピントが合ったとき(ただし、AFモード(ロ95)が**AF-C**のと き、または**AF-A**で自動的に**AF-C**が選ばれた場合、電子音は鳴りません)
 - 「LOCK」したSD カードをカメラに入れてシャッターをきろうとしたとき(叫32)
- ・レリーズモードが Q (□ 79)の場合 (□ 57)は、[電子音設定]の設定にかかわらず、ピントが合ったときの電子音は鳴りません。

🖉 電子音設定時の表示について

[音量]が[電子音なし]以外の場合は表示パネルとインフォ画面に♪(電子音あり)マークが表示されます。

d2:格子線の表示

MENUボタン → Øカスタムメニュー

ファインダー内に構図用格子線(¹¹9)を表示するかしないか を設定できます。



d3: ISO感度表示と簡易設定 MENUボタン

MENUボタン → Øカスタムメニュー

表示パネルやファインダー内表示の記録可能コマ数表示部に、ISO感度を表示できます。 [感度表示と簡易設定をする]を選ぶと、コマンドダイヤルの操作だけでISO感度を変更 できます。

ISO	感度を表示する	記録可能コマ数表示部にISO感度を表示します。
		記録可能コマ数表示部にISO感度を表示し、撮影モードがP、S、Aのとき
SOS 感度表示と		のみコマンドダイヤルでISO感度を変更できます。
	簡易設定をする	 撮影モードP、S:サブコマンドダイヤルでISO感度を変更します。
		● 撮影モードA:メインコマンドダイヤルでISO感度を変更します。
	しない	記録可能コマ数表示部にISO感度を表示しません。

d4:ファインダー内警告表示 MENUボタン→ Øカスタムメニュー

警告表示をファインダーに表示するかどうかを設定します。



	次の警告表示をファインダーに表示します。
	• B/W:撮影メニューの [ピクチャーコントロール] を [モノクローム] や [モ
する	ノクローム]を元にしたカスタムピクチャーコントロールに設定したときに
	表示されます。
	• 💶 : バッテリーの残量が少なくなると表示されます。
	• 幻 : カメラにSDカードが挿入されていないときに表示されます。
しない	ファインダーに警告を表示しません。

d5: インフォ画面のガイド表示 MENUボタン→ Øカスタムメニュー

インフォ画面で選んだ項目の文字表示ガイドを表示するかどう かを設定します。



d6:低速連続撮影速度

MENUボタン → Øカスタムメニュー

レリーズモードがCLのときの連続撮影速度を [5コマ/秒]~ [1コマ/秒]の間で設定できます。



🖉 連続撮影速度について

シャッタースピードが低速の場合、設定した連続撮影速度で撮影できないことがあります。

🖉 インターバルタイマー撮影速度について

レリーズモードを**S**に設定してインターバルタイマー撮影を行った場合、カスタムメニュー d6で設定 した連続撮影速度で撮影されます。

d7:連続撮影コマ数

MENUボタン → ⊘カスタムメニュー

連続撮影を最大何コマまで継続できるかを設定できます。マルチ セレクターの▲または▼を押して、1コマ~100コマの間で設定 します。



🖉 連続撮影コマ数について

カスタムメニュー d7 [連続撮影コマ数] で設定するコマ数は、連続撮影を継続できる最大のコマ数で す。ただし、連続撮影速度を維持したまま連続撮影できるコマ数には、画質モードなどによって上限 があります(¹¹360)。このコマ数を超えると、連続撮影速度は低下します。

d8:連番モード

ファイル名に使われるファイル番号の連番について設定できます。

する	SDカードを交換したり、画像を記録するフォルダーを変更しても、連 番でファイル番号を付けます。複数のカードを使って撮影してもファイ ル番号が重複しないため、撮影後の画像ファイルを管理しやすくなりま す。
しない	SDカードや画像を記録するフォルダーを変更するたびに、ファイル番 号が「0001」に戻ります。画像を記録するフォルダー内にすでに画像 ファイルがある場合は、次の番号からファイル番号が付きます。 ・連番モードを[する]から[しない]に変更しても、カメラはファイ ル番号を記憶しています。次に[する]に切り換えたときは、以前記 憶した番号からの連番でファイル名が付きます。
RESET リセット	[する]を設定したときのファイル番号をリセットします。リセットした後に撮影を行うと、現在選択中のフォルダーに画像ファイルがない場合は0001から連番で画像が記録されます。すでにファイルがある場合には、そのファイル番号の次の番号からファイル番号が付きます。

🖉 ファイル番号について

- ファイル番号が9999に達したときに撮影を行うと、自動的に新規フォルダーが作成され、ファイル 番号が0001番に戻ります。
- フォルダー番号が 999 に達しているときにファイル番号が 9999 に達するか、このフォルダー内の ファイル数が999 個に達すると、それ以上フォルダーを作成できず、シャッターがきれなくなります。この場合は、カスタムメニュー d8 [連番モード]を[リセット]した後、SDカードを初期化す るか、交換してください。

▶ フォルダーの自動作成について

- 撮影中に記録フォルダー内に999個のファイルが記録された場合、SDカード内に存在する最大フォルダー番号+1という番号のフォルダーを自動的に作成して、記録フォルダーとしてそのフォルダーを選びます。
- 撮影中にファイル番号が9999となった場合、SDカード内に存在する最大フォルダー番号+1の番号のフォルダーを自動的に作成して、記録フォルダーとしてそのフォルダーを選びます。

明るい場所や暗い場所で液晶モニターが見づらいときにインフォ画面(Q10)の見え 方を設定できます。

P_ <u>1258_</u> 5.8	P <u>1258 F</u> S	<u>5</u>
		9774 9774
] 刻
● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	白文字表示	

 AUTO 自動
 インフォ画面の表示を見やすくするように、カメラが自動的に白黒反転しま す。明るい場所では黒文字表示に、暗い場所では明るさを抑えた白文字表示 に切り替わります。

 手動でインフォ画面の表示を切り換えます。
 手動でインフォ画面の表示を切り換えます。

 ● 黒文字
 明るい場所で撮影するときにインフォ画面が見やすいよう に、液晶モニターが点灯し、文字を黒く表示します。

 W 白文字
 暗い場所で撮影するときにインフォ画面が見やすいように、 液晶モニターの明るさを抑え、文字を白く表示します。

d10:イルミネーター点灯

d9:インフォ画面の表示設定

MENUボタン → ⊘カスタムメニュー

[しない] に設定すると、電源スイッチを学に合わせたときだけ 表示パネルのイルミネーター(照明)が点灯します(ロ254)。 [する] に設定すると、電源スイッチを学に合わせなくても、半 押しタイマー(ロ39)の作動中には表示パネルのイルミネー ター(照明)を常に点灯します。ただし、バッテリーの消耗は早 くなります。



d11:露出ディレーモード

顕微鏡撮影時などのカメラブレを最小限に抑えるため、シャッ ターボタンを押すと最初にミラーが作動し、約1秒後にシャッ ターがきれるように変更できます。



:=

d12:フラッシュ使用推奨表示 MENUボタン→ @カスタムメニュー

被写体が暗いときや逆光など、フラッシュが必要な撮影条件でフラッシュを使わずに撮影しようとした場合に、ファインダー内のレディーライトなが点滅してフラッシュの使用をおすすめします。[**しない**]を選ぶと、撮影状況にかかわらず、なは点滅しません。

d13:MB-D11電池設定

MENUボタン → Øカスタムメニュー

別売のマルチパワーバッテリーパックMB-D11に単3形電池(6本)を入れて使用する ときに、カメラが電池残量をより正確に表示できるように、電池の種類を指定してくだ さい。ただし、Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL15を使用する場合は、設定す る必要がありません。

MB-D11で使える市販の単3形電池は、アルカリ電池、ニッケル水素充電池、リチウム 電池です。次の表に合わせて正しく設定してください。

• 電池設定を正しく設定していない場合、カメラが正常に作動しないおそれがあります。

	対応する電池
山R6 アルカリ単3形電池	アルカリ単3形電池
INH Ni-MH単3形充電池	ニッケル水素単3形充電池
自FR6 リチウム単3形電池	リチウム単3形電池

🖉 単3形電池の使用について

別売のマルチパワーバッテリーパックMB-D11に単3形電池(アルカリ電池、ニッケル水素充電池、リチウム電池)を電源として使用するときは、次のことにご注意ください。

- アルカリ電池を電源として使用した場合、他の電源を使用した場合と比較して撮影できるコマ数が極端に減少します。通常の撮影では他の電源を使用し、アルカリ電池は緊急用として使用してください。
- 電池のメーカーや銘柄によっては、撮影できるコマ数が少なかったり、使用できない場合があります。
- 周囲の温度が20℃よりも低い環境では、撮影できるコマ数が極端に減少する場合があります。
- 電池の使用推奨期間内であっても、保管状態によっては撮影できるコマ数が減少したり、使用できない場合があります。
- 単3形電池を使っているときは、表示パネルとファインダー内の電池残量表示は次のようになります。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	バッテリーけ去分に従っています		衣示ハイル
「」 「」 バッテリーが残り少なくなりました。バッテリー交換の2 してください。 してください。	バップリーはパリに残りていより。	表示なし	(7 ///A)
してください。	バッテリーが残り少なくなりました。バッテリー交換の準備を		
	してください。	• 	4 <u>7</u>
	「「「「「」」「」」「「」「」「」「」「」」「」」「」」「」」		
(点滅)(「点滅)」(「点滅)」(「「」」、「「」」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、	御家できません。バッチリーを父授してください。	(点滅)	(点滅)

:=

:=

d14:電池の使用順序

別売のマルチパワーバッテリーパック MB-D11 装着時に、 MB-D11に入っている電池から使用するか、カメラに入ってい るバッテリーから使用するかを設定します。

• MB-D11側のバッテリーを使用しているときのみ、表示パネルに@ア イコンが表示されます。

 マルチパワーバッ ・ 別売のマルチパワーバッ インフォ画面のMB-D11 リーにより、次のように 	テリーパックMB-D11について テリーパックMB-D11をカメラに装着すると、 のバッテリー種別表示は、使用しているバッテ 変わります。	
MB-D11の	MB-D11で使用しているバッラ	-11-
バッテリー種別表示		
E L 13 d 7/////	Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL15	
LR6/AA)c	単3形電池	
 別売のパワーコネクター EP-5BとACアダプター EH-5aをMB-D11に接続している場合は、カスタムメニュー d14 [電池の使用順序]の設定に関わらず、常にACアダプターを使用します。 		





MENUボタン → ⊘カスタムメニュー

e:フラッシュ・BKT撮影

e1:フラッシュ撮影同調速度

MENUボタン → ⊘カスタムメニュー

フラッシュ撮影時の同調速度を設定できます。

	フラッシュ撮影時の同調速度を、1/320秒に設定します。別売のスピード
1/320秒	ライトSB-900、SB-800、SB-700、SB-600またはリモートスピードライ
(オートFP)	トSB-R200使用時は1/320秒より速いシャッタースピードでは自動的に
	FP発光に切り替わります。※
	フラッシュ撮影時の同調速度を1/250秒に設定します。別売のスピードラ
1/250秒	イトSB-900、SB-800、SB-700、SB-600またはリモートスピードライト
(オートFP)	SB-R200使用時は1/250秒より速いシャッタースピードでは自動的にFP
	発光に切り替わります。※
1/250秒	
1/200秒	
1/160秒	
1/125秒	フラッシュ撮影時の同調速度を、1/250~1/60秒の範囲で設定できます。
1/100秒	
1/80秒	
1/60秒	

※撮影モードPまたはAで、表示パネルまたはファインダー内表示のシャッタースピードがカスタムメニュー e1 [フラッシュ撮影同調速度] で設定した同調速度を示す場合、実際に制御されるシャッタースピードが同調速度よりわずかでも高速側であれば、FP発光に切り替わります。

🖉 シャッタースピードの同調速度を固定するには

撮影モードSまたはMのときに、シャッタースピードの同調速度をカスタムメニューe1 [フラッシュ撮影同調速度] で設定した値に固定するには、最も低速側(30秒またはbulb)の次の位置を選んでください。表示パネルとファインダー内表示にX(フラッシュシンクロマーク)と設定した同調速度が表示されます。

■[1/320秒 (オートFP)] 時の調光について

カスタムメニュー e1 [フラッシュ撮影同調速度](ロ246)を [1/320秒(オートFP)] に設定すると、内蔵フラッシュや別売のスピードライト(SB-900、SB-800、SB-700、 SB-600、SB-R200)を使って1/320秒までフラッシュ同調ができます。また、別売のス ピードライト使用時にシャッタースピードが1/320秒より速くなると、自動的にFP発光 に切り替わります。

シャックー	1/320秒	(オートFP)	1/250秒	(オートFP)	1/250秒		
フレード	内蔵	スピードライト	内蔵	スピードライト	内蔵	スピードライト	
	フラッシュ	(別売)	フラッシュ	(別売)	フラッシュ	(別売)	
1/8000~		ED帶米		ED発光			
1/320秒		119576		11 2676			
1/320~	フラッシュ	フラッシュ		ED祭業			
1/250秒	同調 ※	同調 ※		下无儿			
1/250~	フラッシュ	フラッシュ	フラッシュ	フラッシュ	フラッシュ	フラッシュ	
30秒	同調	同調	同調	同調	同調	同調	

※ガイドナンバーは、シャッタースピードが速くなるほど小さくなりますが、FP発光時よりは大きくなります。

▶ 露出不足のときの警告表示について

[**1/320秒(オートFP)**]時は、スピードライトがフル発光して露出不足のおそれがある場合でも、ス ピードライト側のレディーライトは点滅警告しません。ファインダー内のレディーライトで確認して ください。

🖉 FP発光について

スピードライト撮影時のシャッタースピードをカメラの最高速度まで設定できます(凹158)。[**1/320 秒 (オートFP)**] や [**1/250秒 (オートFP)**] に設定すると、シャッタースピードがフラッシュ撮影同 調速度よりも高速側になった場合、自動的にFP発光に切り替わります。日中でも、レンズの絞りを開 いて背景をぼかした撮影ができます。

• FP 発光に切り替わると、インフォ画面のフラッシュモードに「FP」が表示されます(ロ313)。

e2:フラッシュ時シャッター スピード制限

MENUボタン → ⊘カスタムメニュー

撮影モードがPまたはAの場合のフラッシュ撮影時のシャッター スピードの低速側の制限を、[1/60秒]~[30秒]から設定で きます。

スローシンクロモード、後幕シンクロモード、赤目軽減スローシンクロモード時や撮影モードがSまたはMの場合には、シャッタースピードの低速側の制限が自動的に30秒まで延長されます。



e3:内蔵フラッシュ発光

内蔵フラッシュの発光方式を設定できます。

TTL\$	TTLモード	内蔵フラッシュの光量は、撮影状況に応じて自動的に調節されます。
M\$	マニュアル	指定した発光量で内蔵フラッシュが発光します。モニター発光は行いま
	発光モード	せん。
DDT4	リピーティング 発光モード	1回の露光中に、内蔵フラッシュを繰り返し連続発光させます。被写体
nr i ≠		の連続的な動きを分解写真のように写し込みます。詳しくは0249を
		ご覧ください。
CMD\$	コマンダーモード	内蔵フラッシュを、カメラから離れた別売のスピードライト(SB-900
		など)をワイヤレス制御するためのコマンダーとして利用します。詳し
		くは四250をご覧ください。

🖉 内蔵フラッシュの発光方式について

内蔵フラッシュの発光方式は、インフォ画面のフラッシュモードで確認で きます(ロ157)。

🖉 調光補正マークの表示について

[マニュアル発光モード]、[リピーティング発光モード]にすると、表示パネルとファインダー内表示に日2マークが点滅します。

☑ 別売スピードライトSB-400を装着している場合について

別売スピードライトSB-400を装着してスピードライトの電源をONにする と、カスタムメニューe3 [内蔵フラッシュ発光] がe3 [外付けフラッシュ 発光]に変わり、SB-400の発光方式を [TTLモード] または [マニュアル 発光モード] に設定できます。[リピーティング発光モード] と [コマン ダーモード] は選択できません。



125

£5.8

■マニュアル発光モード

[Full] (フル発光)のほか、「1/1.3」~「1/128」から発光量を選べます。

• [Full」(フル発光)に設定した場合、内蔵フラッシュのガイドナンバーは約 12(ISO 100・m、20℃)となります。

■リピーティング発光モード

[**リピーティング発光モード**]を選ぶと、右のような画面が表示 されます。



マルチセレクターの◀または▶で [**発光量**]、[**回数**]、[間隔]の各設定項目を切り換

え、▲または▼で数値を設定してください。

発光量	1回あたりの発光量を設定します。発光量は、1/4~1/128で設定できます。
同業	1回の露光中に発光する回数を設定します。設定できる発光回数は、発光量に
凹釵	よって変わります。
88.73	発光間隔を、Hz(ヘルツ:1秒あたりの発光回数)単位で設定します。設定で
同時	きる発光間隔は1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、20、30、40、50Hzのいずれかです。

🖉 リピーティング発光モードの発光回数について

- [回数] で設定する数値は、最大の発光回数です。シャッタースピードを高速にしたり、発光間隔を 長くすると、実際の発光回数は設定よりも少なくなることがあります。
- 設定できる発光回数は、[発光量]によって次のように変わります。

恋业早	回数													
光 兀重	2	3	4	5	6	7	8	9	10	15	20	25	30	35
1/4	0													
1/8	0	0	0	0										
1/16	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
1/32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
1/64	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
1/128	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

■コマンダーモード

内蔵フラッシュを主灯(マスターフラッシュ)として、カメラから離れた別売のスピードライトSB-900、SB-800、SB-700、SB-600、リモートスピードライトSB-R200 で構成される補助灯グループを、ワイヤレス(アドバンストワイヤレスライティング)で制御するためのモードです。

内蔵フラッシュ、2つの補助灯グループスピードライトのそれぞれに、発光モードと、 調光補正量(または発光量)を設定できます。

[コマンダーモード]を選ぶと、右のような画面が表示されます。



マルチセレクターの◀または▶で項目を切り換え、▲または▼で発光モードや補正量 (または発光量)を設定してください。

発光モード	内容					
тті	内蔵フラッシュは、i-TTL調光を行います。右側の[補正量]欄で、内					
116	蔵フラッシュの調光補正量を設定(1/3 段ステップで±3 段)します。					
	内蔵フラッシュはマニュアル調光を行います。右側の[補正量]欄で、					
М	内蔵フラッシュの発光量を [1/1] (フル発光)、または [1/1.3] ~ [1/					
	128] から選びます。					
	内蔵フラッシュは発光せず、補助灯だけが発光します。ただし、撮影時					
	にモニター発光を行えるよう、なボタンを押して内蔵フラッシュを上げ					
	ておいてください。					
	A グループの全ての補助灯が、i-TTL調光を行います。右側の[補正量]					
TTL	欄で、Aグループの補助灯の調光補正量を設定(1/3 段ステップで±3					
	段)します。					
	Aグループの全ての補助灯が、絞り連動外部自動調光を行います。右側					
AA*	の[補正量]欄で、A グループの補助灯の調光補正量を設定(1/3 段ス					
	テップで±3段)します。					
	Aグループの全ての補助灯が、マニュアル調光を行います。右側の「補					
М	正量]欄で、A グループの補助灯の発光量を [1/1] (フル発光)、また					
	は [1/1.3] ~ [1/128] から選びます。					
	A グループの補助灯は発光しません。					
Bグループの	補助灯について、A グループと同様の設定を行います。					
補助灯と通信	言を行うためのチャンネルを、1~4のいずれかに設定します。全ての補					
助灯のチャンネルを、ここで設定したチャンネルに合わせる必要があります。						
	発光モード TTL M TTL AA** M Bグループの 補助灯と通信 助灯のチャン					

※SB-900、SB-800の場合のみ発光します。

[i]

コマンダーモードでの撮影手順は、次のとおりです。

- **1** 右の画面で、[内蔵フラッシュ]の[発光モード]と 「補正量]を設定する
 - ●発光モードを「---](非発光)にした場合は、「補正量」が設 定できません。
- **2** 同様に [A グループ] の [発光モード] と [補正量] を設定する
- 3 Bグループの補助灯を使用する場合は、同様に [Bグ ループ]の[発光モード]と[補正量]を設定する
- 4 「チャンネル」を設定する

約10 m以内

- 5 のボタンを押して設定を有効にする
- 6 構図を決め、カメラと補助灯(別売のスピードライト)を配置する

約5 m以内

カメラ

約5 m以内

(内蔵フラッシュ)

補助灯は下図の範囲内に配置してください。

30°以内

30°以内

6

A

60°以内



③内蔵フラッシュ発光 コマンダーモード 発光モード 補正量 内蔵フラッシュ TTL +0.7 A グループ TTL -0.7 B グループ М 1/4

チャンネル 3 ÷ CH 介接計 ())設定 **のR**決定

③内蔵フラッシュ発光 コマンダーモード 発光モード 補正量 内蔵フラッシュ TTL +0. A /11-7 TTI -0 B グループ TTL チャンネル 1 CH

e3内蔵フラッシュ発光 コマンダーモード 1 発光E-F 補正量 内蔵フラッシュ TTL +0.7 A 516-7 TTL R グループ TTL チャンネル 1 CH 介接動 ③設定 0K決定



発光モード 補正量

TTI +0

TTI -0.

М 1/

1 CH ③設定 010決定

③内蔵フラッシュ発光 コマンダーモード

内蔵フラッシュ

Δ グループ

R グループ

チャンネル

補助灯のワイヤレスリモートヤン

サー窓をカメラ側に向けて設定し

てください。

①移動

7 使用する全ての補助灯の電源をON にし、グループとチャンネルを設定する

- •補助灯の設定方法については、スピードライトの使用説明書をご覧ください。
- 補助灯のチャンネルは、必ずカメラで設定したものと同じチャンネル(1~4)に設定してください。

8 4ボタンを押して、内蔵フラッシュを上げる

• 内蔵フラッシュの [発光モード] を [--] に設定した場合も、撮影時にモニター発光 を行えるよう、内蔵フラッシュを上げておいてください。

9 カメラのファインダー内表示と全ての補助灯でレディーライトが点灯していることを確認し、ピントを合わせて撮影する

• コマンダーモードはFV ロック(凹161) と組み合わせて撮影することもできます。

🖉 内蔵フラッシュを発光させない場合の表示について

手順1で [内蔵フラッシュ]の [発光モード]を [--] にして内蔵フラッシュを上げると、表示パネルのフラッシュモード表示からもが消灯します。

🖉 コマンダーモード時の調光補正と表示について

- コマンダーモード時に、四2(\$)ボタンとサブコマンドダイヤルで調光補正を行うと、「内蔵フラッシュ」、「A グループ」、「B グループ」のそれぞれの「補正量」に加算されます。
- [内蔵フラッシュ]を[TTL]にして、[補正量]を0以外に設定すると、表示パネルとファインダー 内表示に222が点灯します。
- [内蔵フラッシュ]を [M] に設定すると、表示パネルとファインダー内表示に四2が点滅します。

🔽 コマンダーモードについてのご注意

- 補助灯は、内蔵フラッシュのモニター発光の光がセンサー窓に入る位置(通常はカメラより被写体に 近い位置)に置きます。特に、手持ちで撮影するときは、モニター発光の光が確実にセンサー窓に入 るように、補助灯はカメラより前に構えてください。
- 補助灯の直接光または強い反射光が、カメラの撮影レンズ([TTL] 設定時)や他の補助灯の外部自動調光用受光窓([AA] 設定時)に入らないようにしてください。光が入ると、適正露出が得られません。
- 同時に使用できる補助灯の台数に制限はありません。しかし、センサーに他の補助灯の強い光が入ると、正常動作できない場合があるため、実用上は3台程度が限度です。
- [内蔵フラッシュ]の[発光モード]を[--]にした場合でも、補助灯の発光タイミングを合わせるため、モニター発光とは別に、撮影中に内蔵フラッシュが少量発光を行います。近距離撮影を行う場合、この少量発光が画像に写り込む場合があります。画像への影響を防ぐには、低いISO感度、または小さい絞り(大きい絞り値)で撮影するか、別売の内蔵フラッシュ用赤外パネルSG-3IRをお使いください。少量発光の光量が大きくなる後幕シンクロ撮影では、内蔵フラッシュ用赤外パネルSG-3IRをお使いください。
- 撮影準備と配置が終わったら、必ずテスト撮影を行って、画像を確認してください。

e4:モデリング発光

MENUボタン → Øカスタムメニュー

内蔵フラッシュ、別売のスピードライトSB-900、SB-800、SB-700、 SB-600またはリモートスピードライトSB-R200使用時にカメラ のプレビューボタンを押したときに、陰影の状況を把握するため のモデリング発光を行わないように設定できます。



e5:オートブラケティングの セット

オートブラケティング(凹115)の種類を設定できます。

AE\$	AE・フラッシュ ブラケティング	露出値(AE)とフラッシュの発光量を変えながら撮影します。
AE	AEブラケティング	露出値を変えながら撮影します。
\$	フラッシュ ブラケティング	フラッシュの発光量を変えながら撮影します。
WB	WBブラケティング (四119)	1回の撮影でホワイトバランス(WB)を変えた画像を記録します。複数の光源が混在しているなど、ホワイトバランスを決めにくいときや、微妙な白の色味を好みで選びたいときなどに便利です。RAW画像を含む画質モードを設定したときは、WBブラケティングは使用できません。
БЦ.	ADLブラケティング (四122)	アクティブD-ライティング (凹151) の効果の度合いを変えながら撮 影します。

e6:BKTの順序

MENUボタン → Øカスタムメニュー

オートブラケティングの補正順序を変更できます。

Ν	[0] → [−]	→	[+]	「補正なし」→「-側に補正」→「+側に補正」の順になります。
-⇒+	[−] → [0]	-	[+]	「−側に補正」→「補正なし」→「+側に補正」の順になります。

 カスタムメニュー e5 [オートブラケティングのセット] が [ADLブラケティング] の場合、e6 の設定を変更しても補正順序は変わりません。

f:操作

MENUボタン → ⊘カスタムメニュー

電源ス	ヽイッチを … マークの	方向に回したときの機能を設定できます。
: . :	🔆の点灯/消灯	表示パネルのイルミネーターを約6秒間点灯します。
: . info	⋮とインフォ画面の 点灯/消灯	表示パネルのイルミネーターとインフォ画面の表示を行います。

f2:OKボタンの機能 (撮影モード)

MENUボタン → ⊘カスタムメニュー

撮影時にのボタンを押したときの機能を設定できます。

RESET	フォーカスポイント 中央リセット	☞ボタンを押すと、中央のフォーカスポイントが選ばれます。
-jenj:	選択フォーカス ポイント表示	
	使用しない	・ ボタンは撮影時には機能しません。

f3:Fnボタンの機能

MENUボタン → Øカスタムメニュー

Fnボタンに割り当てる機能を設定できます。



๎๎฿	プレビュー	レンズの絞り羽根が絞り込まれ、被写界深度が確認できます(印71)。
ŧL	FV-L	内蔵フラッシュ、別売のスピードライトSB-900、SB-800、SB-700、 SB-600、SB-400、またはリモートスピードライトSB-R200使用時は、 FVロック(ロ161)を行い、もう一度 Fn ボタンを押すと解除します。
æ	AE-L/AF-L	Fnボタンを押している間、AEロックとフォーカスロックを同時に行い ます。
Æ	AE-L	Fnボタンを押している間、AEロックを行います。
A O	AE-L (ホールド)	1回押すとAEロックを行い、AEロック状態が維持されます。シャッターをきってもAEロックは解除されません。ただし、もう一度Fnボタンを押すか、半押しタイマーがオフになると、解除されます。
AF	AF-L	Fnボタンを押している間、フォーカスロックを行います。
٤	フラッシュ 発光禁止	Fnボタンを押している間、フラッシュは発光禁止になります。
BKT	BKT自動連写	カスタムメニュー e5 [オートブラケティングのセット] が [WBブラ ケティング] 以外の場合でレリーズモードがCHまたはCLのときは、Fn ボタンを押しながらシャッターボタンを全押ししている間、1回分のブ ラケティング設定コマ数を撮影し終えた後も、引き続きブラケティング 撮影をします。また、レリーズモードがSまたはQのときは、Fnボタン を押しながらシャッターボタンを全押しし続けると、1回分のブラケ ティング設定コマ数を連続撮影します(レリーズモードがSの場合は、 約6コマ/秒)。 [オートブラケティングのセット] が [WBブラケティング] の場合は、 Fnボタンを押しながらシャッターボタンを全押ししている間連続撮影 して、各コマに対してWBブラケティングを行います。
et i	アクティブ D-ライティング 設定	Fnボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すと、アクティブ D-ライティング(□151)が切り替わります。
+[<u>RAW]</u>	プラスRAW記録	画質モードがJPEG (FINE)、JPEG (NORMAL)、JPEG (BASIC)の場 合、Fnボタンを押すと表示パネルの画質モードに「RAW」が表示され、 押してから1回の撮影のみRAW画像がJPEG画像と同時に記録されま す。撮影後シャッターボタンから指を放すか、もう一度Fnボタンを押 すと[プラスRAW記録]を解除します。
	マルチパターン 測光簡易設定	Fnボタンを押している間、測光モードがマルチパターン測光になります。

.....

۲	中央部重点測光 簡易設定	Fnボタンを押している間、測光モードが中央部重点測光になります。
·	スポット測光 簡易設定	Fnボタンを押している間、測光モードがスポット測光になります。
Ħ	格子線表示/	Fnボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すと、ファインダー
	非表示切り換え	の格子線の表示と非表示を切り換えます(🕮 9)。
Ô	ファインダー内	1回押すと、ファインダー内表示に水準器インジケーターを表示します
	水準器	(印256)。もう一度 Fn ボタンを押すと、水準器表示を終了します。
侸	マイメニューの	マイメニューの最上位に登録してある項目へジャンプします。よく使う
	トップ項目先へ	メニュー項目をマイメニューの最上位に登録して、この機能を使うと便
	ジャンプ	利です。
		カスタムメニューb2 [露出設定ステップ幅] の設定にかかわらず、
		シャッタースピードまたは絞り値を1段ステップで設定できます。
♦	シャッター・	• 撮影モードがSまたはMのとき、Fnボタンを押しながらメインコマンド
	絞り値1段選択	ダイヤルを回すと、シャッタースピードを1段ステップで設定します。
		• 撮影モードがAまたはMのとき、Fnボタンを押しながらサブコマンド
		ダイヤルを回すと、絞り値を1段ステップで設定します。
N CDU	工制现合这つ	Fnボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、現在使用中のレン
NON-PLO	<u>十期設に</u> 済め	ズの情報を、セットアップメニューの [レンズ情報手動設定](四175)
	レノスの迭折	で設定したレンズNo.のものに切り換えます。
	市生	Fnボタンに Eボタンと同じ機能を割り当てます。望遠レンズなどを使
	円土	用していて、 ボタンを 左手で 操作で きない ときに 便利です。
•DEO	まれてあっミコクヨリヨカム	ライブビュー表示中に Fn ボタンを押すと、動画の撮影(ロ57)を開始
• KEU	ച 一記球開始	します。

🖉 ファインダー内水準器

カスタムメニュー f3 [Fnボタンの機能]を [ファインダー内水準器]に設定してFnボタンを押すと、 カメラに内蔵している傾斜センサーを使って、ファインダー内表示に水準器インジケーターを表示し ます。この「ファインダー内水準器」の見方は次の通りです。

	カメラが時計回りに	カメラが正位置の場合	カメラが反時計回りに	
	傾いている場合	(傾いていない場合)	傾いている場合	
ファインダー内	0	· · · · 0 · · · ·	· · · 0	
表示	∢iiiiil		· · · 1,ii,iii∍	
 カメラを前または後ろに大きく傾けると、水準器の誤差が大きくなりますのでご注意ください。 				

f4:プレビューボタンの機能 MENU

MENUボタン → Øカスタムメニュー

プレビューボタンに割り当てる機能を設定できます。 プレビューボタンに割り当てられる機能は、カスタムメニュー f3 [**Fnボタンの機能**](ロ255)と同じです。ただし、初期設 定は [**プレビュー**]です。



f5:AE/AFロックボタンの機能 MENUボタン→ Øカスタムメニュー

AE/AFロックボタンを押したときの機能を設定できます。



A	AE-L/AF-L	AE/AFロックボタンを押すと、AEロックとフォーカスロックが同時に行わ
		れます。
Ā	AE-L	AE/AFロックボタンを押すと、AEロックだけが行われます。
ĀF	AF-L	AE/AFロックボタンを押すと、フォーカスロックだけが行われます。
	AE-L (ホールド)	AE/AFロックボタンを押すと、カメラの半押しタイマーがオフになるか、も
AB 🖲		う一度AE/AFロックボタンを押すまで、AEロックが維持されます。シャッ
		ターをきってもAEロックは解除されません。
AF-ON	AF-ON	AE/AF ロックボタンを押すと、オートフォーカスが作動します。この場合、
		シャッターボタンの半押しではオートフォーカスは作動しません。
ŧL	FV-L	内蔵フラッシュ、別売のスピードライトSB-900、SB-800、SB-700、SB-600、
		SB-400、またはリモートスピードライトSB-R200使用時は、1回押すとFV
		ロック(印161)を行い、もう一度AE/AFロックボタンを押すと解除します。

f6:コマンドダイヤルの設定

MENUボタン → ⊘カスタムメニュー

メインコマンドダイヤルとサブコマンドダイヤルの機能を変更できます。

■回転方向の変更

メインコマンドダイヤルとサブコマンドダイヤルの回転方向を 逆方向に変更できます。

•別売のマルチパワーバッテリーパック MB-D11のコマンドダ イヤルの回転方向も、同時に変更されます。

■メインとサブの入れ換え

シャッタースピードを設定するメインコマンドダイヤルと、絞り値を設定するサブコマンドダイヤルの機能を入れ換えられます。



f6コマンドダイヤルの設定



	する	メインコマンドダイヤルで絞り値を、サブコマンドダイヤルでシャッ タースピードを設定します。
R	する(Aモード)	撮影モードがAのときのみ、メインコマンドダイヤルで絞り値を設定できます。
	しない	メインコマンドダイヤルでシャッタースピードを、サブコマンドダイヤ ルで絞り値を設定します。

別売のマルチパワーバッテリーパックMB-D11のコマンドダイヤルの機能も入れ替わります。

■絞り値の設定方法

CPUレンズの装着時に、撮影モードAまたはMでレンズの絞りリングを使って絞り値を 設定できるように変更できます。

サブコマンド	サブコマンドダイヤルで絞り値をセットします([メインとサブの入れ換え]
ダイヤル	を [する] に設定した場合は、メインコマンドダイヤルでセットします)。
尓りいいげ	レンズの絞りリングで絞り値をセットします。絞りリングによる中間絞りの設
取りリンク	定は可能ですが、絞り値の表示は1段ステップになります。

- ・
 絞りリングのないレンズ(Gタイプレンズ)装着時は、
 [
 絞り値の設定方法]
 での設定
 にかかわらず、
 絞り値はサブコマンドダイヤルで
 設定します。
- •非 CPU レンズ装着時は、[絞り値の設定方法] での設定にかかわらず、絞り値はレンズの絞りリングで設定します。

🖉 ライブビュー撮影をする場合のご注意

サブコマンドダイヤルで絞り値を設定する場合は、ライブビュー開始前に絞り値を設定してください。 ライブビュー中は、サブコマンドダイヤルでの絞り値の操作ができません(PC-E NIKKORシリーズの 場合を除く)。

■再生/メニュー画面で使用

画像のコマ送りやメニュー操作を、マルチセレクターでの操作から、メインコマンドダ イヤルとサブコマンドダイヤルの操作でも行えるように変更できます。

		再生時:
		•1コマ表示時には、メインコマンドダイヤルで撮影画像をコマ送
		りします。サブコマンドダイヤルで画像情報の表示ページを切り
		換えます。
		 サムネイル表示時には、メインコマンドダイヤルを回すと、黄色
	する	の枠(カーソル)が左右に移動し、サブコマンドダイヤルを回す
		と、上下に移動します。
		メニュー画面表示時※:
		メインコマンドダイヤルで選択項目を切り換えます。サブコマン
		ドダイヤルを時計方向に回すと、サブメニューに移動します。反
		時計回りに回すと、前の画面に戻ります。
nna	する	「すろ」と同じ内容ですが 撮影直後の画像確認時は壜作できません
UNG	(撮影後確認時を除く)	
		再生時の表示画像の切り換え、画像の選択、およびメニュー画面
		での項目の選択は、マルチセレクターを操作して行います。

※ サブコマンドダイヤルでは項目を決定することはできません。項目を決定するには、 [®] ボタン かマルチセレクターの ▶を押してください。

:=

f7:ボタンのホールド設定

MENUボタン → ⊘カスタムメニュ-

ボタンを押しながらコマンドダイヤルを操作するときに、指を放しても設定できる状態 が維持できます。

[ボタンのホールド設定]の対象ボタンは、⊠ボタン、∮ボタン、ISO(Q型)ボタン、 QUAL((Q)ボタン、WB(?~)ボタン、AFモードボタン、ひボタンおよびBKTボタ ンです。また、カスタムメニューf3 [Fnボタンの機能]またはf4 [プレビューボタン の機能]でFnボタンまたはプレビューボタンに [アクティブD-ライティング設定]が 割り当てられている場合も、[ボタンのホールド設定]の対象になります。

+7	1回ボタンを押すと、ボタンを放しても設定できる状態が維持され、コマンド ダイヤルで設定できます。もう一度ボタンを押すか、シャッターボタンを半押
9 ବ	 ・カスタムメニュー c2 [半押しタイマー] が [制限なし] に設定されている場合は、自動的に解除されません。
しない	ボタンを押し続けている間のみ設定できる状態となります。

f8:カードなし時レリーズ

MENUボタン → Øカスタムメニュー

カメラにSDカードを入れていないときのレリーズ操作を設定できます。

LOCK	レリーズ禁止	SDカードを入れていないときは、シャッターはきれません。
OK	レリーブ許可	SDカードを入れていないときでも、シャッターがきれます。再生時に
UN		は[デモモード]と表示され、画像は記録できません。

f9:インジケーター表示の +/-方向

MENUボタン → ②カスタムメニュー

ファインダー内表示およびインフォ画面(MM)での露出、露出補正、オートブラケティングのインジケーターの+と-方向を入れ換えることができます。

+0-	+_:::::::::::::::::::::::::::::::::::::	インジケーターの+側を左に、	-側を右に表示します。
-0+	- _ii_+	インジケーターの-側を左に、	+側を右に表示します。

:=

f10:MB-D11の圏ボタンの 機能

MENUボタン → Øカスタムメニュー

別売のマルチパワーバッテリーパックMB-D11のAE/ AFロックボタンの機能を設定します。



Â	AE-L/AF-L	AE/AFロックボタンを押している間、AEロックとフォーカスロックを
		同時に行います。
Ā	AE-L	AE/AFロックボタンを押している間、AEロックを行います。
ĀF	AF-L	AE/AFロックボタンを押している間、フォーカスロックを行います。
		1回押すとAEロックを行い、AEロック状態を維持します。シャッター
ā:	AE-L	をきってもAEロックを解除しません。ただし、もう一度AE/AFロック
	(ホールド)	ボタンを押すか、半押しタイマーがオフになると、AEロックを解除し
		ます。
AE-ON	AF-ON	AE/AFロックボタンを押すと、オートフォーカスが作動します。この場
AI UN		合、シャッターボタンの半押しではオートフォーカスは作動しません。
		内蔵フラッシュ、別売のスピードライトSB-900、SB-800、SB-700、
61		SB-600、SB-400、またはリモートスピードライトSB-R200使用時は、
₹L	FV-L	1回押すとFVロック(凹161)を行い、もう一度AE/AFロックボタンを
		押すと解除します。
Fn	Fnボタンと同じ	Fnボタンと同じ機能になります(□255)。

🖉 レンズのVR機能について

VRレンズを使用している場合、カメラまたはMB-D11のAE/AFロックボタンに[AF-ON]機能を設定 してピント合わせを行うときは、VR(手ブレ補正)機能は作動しません。

★ セットアップメニュー: カメラを使いやすくする基本設定

MENUボタンを押して、タブの♥アイコンを選ぶと、セットアップメニューが表示されます。 MENUボタン



セットアップメニューの項目は次の通りです。

メニュー項目		メニュー項目	
カードの初期化(フォーマット)	264	縦横位置情報の記録	267
ユーザーセッティングの登録	77	イメージダストオフデータ取得	268
ユーザーセッティングのリセット	78	電池チェック	270
液晶モニターの明るさ	264	ワイヤレストランスミッター	200
イメージセンサークリーニング	319	著作権情報	271
クリーニングミラーアップ*1	321	カメラ設定の保存と読み込み	272
ビデオ出力	264	GPS	178
HDMI	214	水準器表示	273
フリッカー低減	265	レンズ情報手動設定	175
地域と日時	265	AF微調節	273
言語(Language)	266	Eye-Fi送信機能※2	275
画像コメント	266	ファームウェアバージョン	275

※1 バッテリー残量表示が 2000 以下のときは選べません。

※2 この機能に対応したEye-Fiカードを挿入したときのみ表示されます(ロ275)。

:=

カードの初期化(フォーマット) MENUボタン→Y セットアップメニュー

SDカードを初期化(フォーマット)します。初期化したいス ロットを選んで [はい] を選ぶと、選んだスロットのSDカード を初期化します。初期化すると、カード内のデータは全て削除 されます。カード内に必要なデータが残っている場合は、初期 化の前にパソコンなどに保存してください。



-3~+3

▶ カードの初期化についてのご注意

[カードの初期化(フォーマット)中です。]のメッセージが液晶モニターに表示されている間は、電源をOFFにしたり、SDカードを取り出さないでください。

🖉 ボタン操作による初期化

┉ボタン(●ボタンと♥#ボタンの2つ)を2秒以上同時に押して初期化することもできます(□31)。

液晶モニターの明るさ

MENUボタン → Y セットアップメニュー

液晶モニターの明るさを、マルチセレクターの▲または▼を押 して調整できます。+にすると明るく、- にすると暗くなります。

☑ ライブビュー /動画撮影時の液晶モニターの明るさ調整について

ライブビュー/動画撮影時の明るさは、ライブビュー表示中に調整してください(凹49)。

ビデオ出力

MENUボタン → Y セットアップメニュー

テレビやビデオなどに接続する場合のビデオ出力方式を設定します。

NTSC	NTSC方式のテレビやビデオに接続する場合に使います。通常、日本国内で 使いの場合は、こちらを選択します。	Ð
PAL	PAL方式のテレビやビデオに接続する場合に使います。	

フリッカー低減

蛍光灯や水銀灯などの光源下で、ライブビュー表示中(□149) や動画撮影時(□157)に画面にちらつきや横縞が生じる「フ リッカー現象」を低減できます。お使いの地域の電源周波数に 応じて、[50 Hz] と [60 Hz] から選びます。東日本など電源 周波数が50 Hzの地域では [50 Hz] を選び、西日本など電源周 波数が60 Hzの地域では [60 Hz] を選んでください。



MENUボタン → ¥セットアップメニュー

🖉 フリッカー低減についてのご注意

- 電源周波数がわからない場合は、設定を切り換えて試し撮りをすることをおすすめします。
- 被写体が非常に明るい場合、フリッカー低減効果が得られない場合があります。撮影モードAまたは Mで、ライブビュー開始前に絞りを絞り込んで(より大きい数値にして)ください。
- ・撮影メニュー [動画の設定]の (動画のマニュアル設定]が [する] で、撮影モードがMの場合、フ リッカー低減は機能しません (□62)。

地域と日時

MENUボタン → Y セットアップメニュー

現在地と日時、年月日の表示順を設定します。

現在地の設定	現在地のタイムゾーンを選びます。現在地のタイム ゾーンを変更すると、[日時の設定] で設定された日 時が、時差に合わせて自動的に更新されます。	日 日本地の股定 Totayo, Secul UTC+9 2010/04/15 10:00:05 ♀ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
日時の設定	[現在地の設定]で選ばれているタイムゾーンの時刻 を設定します。	 地域と日時 日時の設定 年月日 2010.02.16 62.16 63.10 63.10
日付の表示順	液晶モニターに表示される、日付の年、月、日の表示 順を、[年/月/日]、[月/日/年]、[日/月/年] から選 びます。	12 地域と日時 日付の表示順 12 1 12 1 10 107年/月/日 10 107月/月 2 1007月/年 2 1007月/年
夏時間の設定	現在地で夏時間(サマータイム制)が実施されている 場合は [する] に、そうでない場合は [しない] に設 定します。[する] にすると、時刻が1時間進みます。 初期設定は [しない] です。	■ 地域と日時 夏時間の設定 ♥ する □ しない 00

•日時が設定されていない場合、表示パネルに時刻未設定マーク moss が 点滅して 警告します。

言語 (Language)

MENUボタン **→ 丫** セットアップメニュー

メニュー画面やメッセージの表示言語を、次の中から選べます。

Čeština	チェコ語	Português	ポルトガル語
Dansk	デンマーク語	Русский	ロシア語
Deutsch	ドイツ語	Suomi	フィンランド語
English	英語	Svenska	スウェーデン語
Español	スペイン語	Türkçe	トルコ語
Français	フランス語	عربي	アラビア語
Indonesia	インドネシア語	中文(繁體)	繁体中国語
Italiano	イタリア語	中文(简体)	簡体中国語
Nederlands	オランダ語	日本語	日本語
Norsk	ノルウェー語	한글	韓国語
Polski	ポーランド語	ภาษาไทย	タイ語

画像コメント

MENUボタン → Y セットアップメニュー

あらかじめコメントを登録しておき、撮影する画像に添付できます。添付されたコメントは、付属のViewNX 2や別売のCapture NX 2 (ロ316)のメタデータで確認できます。

■コメント入力

36文字までのコメントを登録できます。[コメント入力]を選んで▶を押すと表示され る入力画面でコメントを入力します。

入力画面での文字の入力方法については、「カスタムピクチャーコントロールを登録する」の手順6をご覧ください(ロ147)。

■コメント添付

登録したコメントを画像に添付したいときは、[コメント添付] を選んでマルチセレクターの▶を押し、チェックボックスをオ ン☑にします。[設定終了]を選んで[®]ボタンを押すと、設定 が有効になり、その後撮影した画像には全てコメントが添付さ れます。



☑ 画像情報に表示される画像コメントについて 入力・添付された画像コメントは、「撮影情報3」の「画像コメント」に表示されます(□186)。

縦横位置情報の記録

撮影時のカメラの縦横位置情報を画像に記録できます。



▶ 縦横位置情報記録についてのご注意

カメラを上向きまたは下向きにして撮影したり流し撮りすると、縦横位置情報が正しく得られない場 合があります。

🖉 再生メニュー [縦位置自動回転]

再生メニューの [縦位置自動回転](ロ221)では、[縦横位置情報の記録]を [する] に設定して縦 位置で撮影された画像を、液晶モニターに縦位置で表示するように変更できます。ただし、撮影直後 の画像確認時は、縦位置で撮影した状態のまま画像確認がしやすいように、自動回転しません。

イメージダストオフデータ取得 MENUボタン→Y セットアップメニュー

別売のCapture NX 2 (□316)の「イメージダストオフ機能」を使うためのデータを取得します。イメージダストオフとは、カメラの撮像素子の前面にあるローパスフィルター に付いたゴミの写り込みをRAW画像から取り除く機能です。イメージダストオフ機能については、Capture NX 2 の使用説明書をご覧ください。

■イメージダストオフデータ取得の手順

1 イメージダストオフデータの取得方法を選ぶ

- [開始] を選んで (Wボタンを押すと、[イメージ ダストオフデータ取得] 画面が表示されます。
- [イメージセンサークリーニング後開始]を選ん で®ボタンを押すと、すぐにイメージセンサー クリーニングを実行します。イメージセンサーク リーニングの実行後に、[イメージダストオフ データ取得]画面が表示されます。
- 表示パネルとファインダー内表示には、右のよう に表示されます。
- データ取得を取り消したいときは、MENUボタンを 押してください。



- 2 レンズ先端から10cm 程度離れた、明るく白い無地の被写体を画面いっぱ いにとらえ、シャッターボタンを半押しする
 - オートフォーカスのときは、カメラが自動的に無限遠にピントを合わせます。
 - •マニュアルフォーカスのときは、手動で無限遠に合わせてください。

3 シャッターボタンを全押しして撮影する

- •シャッターボタンを押すと、液晶モニターが消灯します。
- 被写体が暗いとき、ノイズ低減が自動的に実行される場合があります。その場合、 SDカードへの記録に時間がかかることがあります。
- ・被写体が明るすぎ、または暗すぎたために、データが取得できなかった場合は、液晶モニターに右の画面が表示され、手順1の状態に戻ります。被写体の明るさを変えて、もう一度撮影してください。


🖉 イメージセンサークリーニングについてのご注意

イメージセンサークリーニングを実行する前に取得したイメージダストオフデータは、クリーニング 実行後に撮影した画像とゴミの位置が一致しなくなるため、Capture NX 2のイメージダストオフ機能 を使用できません。イメージセンサークリーニング機能とイメージダストオフ機能を併用する場合は、 [イメージセンサークリーニング後開始]を選択後に撮影することをおすすめします。

▶ イメージダストオフデータ取得についてのご注意

- 非CPUレンズをお使いの場合は、[イメージダストオフデータ取得]を選べません。
- お使いになるCPUレンズは、焦点距離が50mm以上のものをおすすめします(ロ301)。
- ズームレンズは望遠側にしてください。
- 取得したイメージダストオフデータは、データ取得後にレンズや絞り値を変更して撮影した画像にも 適用できます。
- イメージダストオフデータは画像処理ソフトウェアなどで開けません。
- イメージダストオフデータをカメラで再生すると、右の画面が表示されます。



電池チェック

MENUボタン → Y セットアップメニュー

カメラに装着中のバッテリーの情報を表示します。



残容量	バッテリーの残量を1%単位で表示します。	
撮影回数	充電後にシャッターをきった回数を表示します。	
	バッテリーの劣化度合いが5 段階のバーグラフで表示されます。	
少化府	● バーグラフが「0」(100)のときは、バッテリーは劣化していません。	
为旧皮	• バーグラフが「4」(€)のときは、バッテリーの寿命です。新しい	
	バッテリーと交換してください。	

▶ 撮影回数について

[撮影回数] に表示される回数は、シャッターをきった回数です。ホワイトバランスのプリセットマニュアルデータ取得など、実際に画像がSDカードに記録されない場合でも、シャッターをきるごとに1ずつ加算されます。

▶ 低温で充電した場合の劣化度表示について

一般的な電池特性として、周囲の温度が下がるにつれ、バッテリーに充電できる容量は少なくなりま す。新品のバッテリーでも、約5℃以下の低温で充電した場合、[**電池チェック**] で劣化度が「1」と表 示されることがありますが、約20℃以上で再充電すると劣化度の表示は「0」に戻ります。

🖉 マルチパワーバッテリーパックMB-D11装着時の表示について

別売のマルチパワーバッテリーパックMB-D11を装着している場合、 MB-D11に入れたバッテリーがLi-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL15のときは、カメラに装着したバッテリーと同様に表示されま す。単3 形電池を使用している場合は、残容量にバッテリー残量表示の アイコンが表示され、その他の項目は表示されません。



著作権情報

撮影した画像に著作権情報を添付することができます。撮影者名を36文字まで、著作 権者名を54文字まで登録できます。添付された著作権情報は、付属のViewNX 2や別売 のCapture NX 2(ロ316)のメタデータで確認できます。

■撮影者名入力、著作権者名入力

撮影者名、著作権者名を登録するには、[撮影者名入力]または [著作権者名入力]を 選んでマルチセレクターの▶を押すと表示される入力画面で名前を入力します。

入力画面での文字の入力方法については、「カスタムピクチャーコントロールを登録する」の手順6をご覧ください(ロ147)。

■著作権情報添付

登録した著作権情報を画像に添付したいときは、[著作権情報添付]を選んでマルチセレクターの▶を押し、チェックボックスをオン☑にします。[設定終了]を選んで∞ボタンを押すと、設定が有効になり、その後撮影した画像には全て著作権情報が添付されます。



▶ 著作権情報に関するご注意

- カメラを貸したり譲渡したりする場合は、撮影者名や著作権者名の違法な使用を防ぐため、「著作権 情報添付」の設定を必ず解除してください。また、撮影者名と著作権者名は空欄にしてください。
- [著作権情報] の使用によって生じたトラブルや損害など、当社は一切責任を負いません。

🖉 画像情報に表示される著作権情報について

入力・添付された著作権情報は、「撮影情報4」に表示されます(□186)。

カメラ設定の保存と読み込み

カメラの各機能の設定データをSDカードに保存できます。また、SDカードに保存され ている設定データをカメラで読み込むこともできるので、複数のD7000を同じ設定で使 う場合などに便利です。カメラ設定の保存と読み込みに使用するSDカードは、スロッ ト1に入れてください。

設定を保存、読み込みできる機能は次の通りです。

	再生画面設定	カスタム	[カスタムメニューのリセット]を
再生	撮影直後の画像確認	メニュー	除く全メニュー
メニュー	削除後の次再生画像		イメージセンサークリーニング
	縦位置自動回転		ビデオ出力
	ファイル名設定		HDMI
	スロット2の機能		フリッカー低減
	画質モード	セット	地域と日時(日時の設定を除く)
	画像サイズ	セクト	言語 (Language)
	JPEG圧縮	アッフ	画像コメント
撮影	RAW記録	×	縦横位置情報の記録
	ホワイトバランス(微調整量、		著作権情報
	プリセットマニュアルデータ)		GPS
	ピクチャーコントロール		レンズ情報手動設定
~	自動ゆがみ補正		Eye-Fi送信機能
	色空間	マイ	マイメニューに登録した
· · ·	アクティブD-ライティング	メニュー /	メニュー項目
	長秒時ノイズ低減	最近設定	最近設定したメニュー項目
	高感度ノイズ低減	した項目	このタブの機能変更
	ISO感度設定		
	動画の設定		
	リモコンモード設定		

■保存

カメラの設定データをSDカードに保存します。SDカードに空き容量がない場合は、エ ラーメッセージが表示され、設定データは保存されません。保存された設定データは他 機種のカメラとの互換性はありません。

■読み込み

SDカードからカメラの設定データを読み込みます。SDカードが装着されていないときや、SDカードに設定データが記録されていないときは、[読み込み]は選べません。

▶ 設定データについてのご注意

SDカードに保存したカメラの設定データのファイル名は「NCSETUP7」です。ファイル名を変更すると、設定データを読み込めなくなるためご注意ください。

水準器表示

MENUボタン → Y セットアップメニュー

カメラに内蔵している傾斜センサーを使って、液晶モニターに 右図のような水準器を表示します。

カメラが水平や垂直になると、水準器表示の基準線が緑色に変わります。



基準線

▶ 水準器の精度について

カメラを前または後ろに大きく傾けると、水準器の誤差が大きくなりますのでご注意ください。測定 できない状態までカメラを傾けると、水準器の目盛が消灯します。

🖉 ファインダー内水準器

カスタムメニュー f3 [Fnボタンの機能] またはf4 [プレビューボタンの機能] を [ファインダー内水 準器] に設定して、Fnボタンまたはプレビューボタンを押すと、ファインダー内表示に水準器インジ ケーターを表示します (ロ256)。

🖉 関連ページ

ライブビュー表示中に水準器を表示する→「ライブビュー/動画撮影中の情報表示について」(□53)

AF微調節

MENUボタン → ¥ セットアップメニュー

装着したレンズごとに最適なピント合わせを行いたいときに、自分でピント位置を調節 できます。通常はAF微調節を行う必要はありません。必要な場合のみ調節を行ってく ださい。正常なレンズを調整すると、ピントが合わなくなる場合がありますのでご注意 ください。

AF微調節	する	AF微調節の設定が有効になります。		
(する/しない)	しない	AF微調節を行いません。		
個別レンズ の登録	装着している ます。マル: て、+20~ 12種類のレ ・非CPUレ: と同じ種类	るCPUレンズの微調節値を登録でき チセレクターの▲または▼を押し - 20の範囲で調節できます。最大 ンズを登録できます。 ンズや、すでに登録してあるレンズ 頂のレンズは登録できません。	今回の 没 微調節値 <u>AF税調節</u> 18-105m 18-105m 18-105m	ピントが合う位 質がカメラから 遠ざかります。
その他レンズ の登録	[個別レンス ンズを装着 設定します。 - 20の範囲	【の登録】で登録していないCPUレ したときに、一律で微調節する値を ・▲または▼を押して、+20~ で調節できます。	¥ ^{63.9-3.6} W ● 「 ● ○ 個整 0 前回設定した – 微調節値	■ ■ ピントが 合う位置が カメラに近 づきます。

[個別レンズの登録] で登録したレンズを一覧表示しま す。現在装着しているレンズには、レンズ名の左側に ■が表示されます。登録リストからレンズを選んで▶を 押すと、右の画面が表示されます。



(個別レンズ・
 (識別番号入力) 画面では、レンズの識別番号を変更できます。▲または▼を押して識別番号を選んで、
 (●ボタンを押します。[個別レンズの登録] は同じ種

類のレンズを複数登録できないため、たとえば、同じレンズを数本所有してい るときに登録したレンズのシリアル番号の末尾2桁などを設定しておくと、ど のレンズで登録したかを識別できるので便利です。

✔ AF微調節設定時のご注意

AF微調節を行うと、レンズの無限遠側または至近側で、ピントが合わなくなる場合がありますのでご注意ください。

▼ ライブビュー撮影時のAF微調節について

ライブビュー撮影時にオートフォーカスでピント合わせを行うときは、[AF微調節] で設定した 微調節値は適用されません。

🖉 個別レンズの登録について

同じ種類のレンズは複数登録できませんが、テレコンバーターを装着した場合は違うレンズとして個 別登録できます。

🖉 登録したレンズを削除するには

[個別レンズの登録] で登録したレンズを削除するには、[個別レンズ登録リスト] 画面の一覧表示か ら削除したいレンズを選んで、 **6**ボタンを押します。

Eye-Fi送信機能

MENUボタン → Y セットアップメニュー

このメニューは、市販のEye-Fiカードをカメラに挿入したときのみ、表示されます。

有効	カメラで作成した画像を、あらかじめ設定した保存先へ送信します。
無効	Eye-Fi送信機能を使用しません。

- 電波の状態が悪い場合、[有効] に設定していても送信できないことがあります。
- •電波の出力が禁止されている場所では、設定を [無効] にしてください。

🖉 Eye-Fiカード使用時の表示について

カメラ内のEye-Fiカードの通信状態は、インフォ画面のEye-Fi通信マークで 確認できます。

- 🛜 (点滅): 画像の送信中です。
- 중:未送信の画像がありません。
- ☎:エラーが発生しました。Eye-Fiカードをコントロールできません。
 - 表示パネルとファインダー内表示の記録可能コマ数表示部で**[유・d**が点滅している場合は、⁽¹⁾346 をご覧ください。
 - **【***界*・**d**が点滅していない場合は、続けて撮影できます。ただし、Eye-Fi 送信機能の設定を変更できないことがあります。

🖉 使用できるEye-Fiカードについて

このカメラでは、次のEye-Fiカードをお使いいただけます(2010年6月現在)。Eye-Fiカードのファームウェアを最新版にバージョンアップしてお使いください。

• Eye-Fi Explore Video SDHC 4GB

Eye-Fi Connect X2 SDHC 4GB

Eye-Fi Explore X2 SDHC 8GB

Eye-Fi Pro X2 SDHC 8GB

- Eye-Fi Share 2GB
- Eye-Fi Home 2GB
- Eye-Fi Explore 2GB
- Eye-Fi Anniversary SDHC 4GB
- Eye-Fi Share Video SDHC 4GB
- ▼ Eve-Fiカードを使用するときのご注意
- Eye-Fiカードの使用方法はEye-Fiカードの使用説明書をご覧ください。Eye-Fiカードに関する不具合は、カードメーカーにお問い合わせください。
- このカメラにはEye-Fiカードの通信機能をON/OFFする機能がありますが、Eye-Fiカードの全ての機能を保障するものではありません。
- Eye-Fiカードは、ご購入された国でのみ使用が認められています(2010年6月現在)。使用する国の 法律に従ってお使いください。

🖉 Eye-Fi送信機能が無効のときの警告表示について

[無効]に設定しているときでも、電波が出力される場合があります。液晶モニターに警告表示(口346)が表示された場合は、カメラの電源をOFFにしてEye-Fiカードを取り出してください。

ファームウェアバージョン

MENUボタン → ¥ セットアップメニュー

カメラを制御する「ファームウェア」のバージョンを表示します。



:=

◎ 画像編集メニュー:撮影した画像に行う編集機能

MENUボタンを押して、タブのCTアイコンを選ぶと、画像編集メニューが表示されます。 MENUボタン



画像編集メニューでは、SDカード内の撮影済み画像を編集することができます。編集 された画像は、元の画像とは別に、新しい画像として記録されます。[動画編集]を選 ぶと、動画も編集できます。画像編集メニューの項目は次の通りです。

カメラに SD カードが入っていない場合や SD カードに画像が記録されていない場合は、画像編集メニューは表示されません。

メニュー項目		メニュー項目	
🔁 D-ライティング	279	/■ 傾き補正	291
⑦ 赤目補正	280	・・・ ゆがみ補正	291
₩ トリミング	281	四 魚眼効果	292
□ モノトーン	282	G∕ 塗り絵	292
⑦ フィルター効果	283	₨ カラースケッチ	293
ೄ∥ カラーカスタマイズ	284	▲ アオリ効果	294
一 画像合成 ^{※1}	284	(1) ミニチュア効果	295
RAW現像	287	口: 動画編集	64
📔 リサイズ	288	■+□ 編集前後の画像表示※2	296
∟*、簡単レタッチ	290		

※1 MENUボタンを押して、タブのCTアイコンを選んだときのみ表示されます。

※2編集前または編集後の画像を1コマ表示して@ボタンを押したときのみ表示されます。

■■ 画像編集の操作方法

1 画像編集メニューでメニュー項目を選ぶ

マルチセレクターの▲または▼でメニュー項目を 選び、▶を押します。

2 画像を選ぶ

- ▲▼◀▶を押して画像を選び、[®]ボタンを押します。
- (ボタンを押している間、選んだ画像を拡大表示 します。
- BKTボタンを押しながら▲を押すと、[スロット/ フォルダー指定メニュー] 画面が表示され、スロットやフォルダーを切り換えられます(□180)。

3 画像を編集する

- 画像の編集方法については、各項目の説明をご覧 ください。
- 画像編集を途中でやめるには、MENUボタンを押し てください。画像編集メニューに戻ります。

4 編集した画像を記録する

- ・ (W)ボタンを押すと、編集した画像が記録されます。

🖉 1コマ表示モードで選んだ画像を編集する

1コマ表示モード(凹179)で静止画を選んでから@ボタンを押すと、画像編集メニューが表示され、 選んだ画像を編集できます。





đ



j像編集メニュ ライティング 8 6 v タマイフ

🖉 画像編集について

- このカメラ以外で撮影または編集した画像やパソコンで編集した画像は、このカメラでは再生または 編集できないことがあります。
- 画像編集中に何も操作しないまま20 秒経過すると、液晶モニターが消灯し、編集中の画像は保存されません。カスタムメニュー c4 [液晶モニターのパワーオフ時間](□238)の [メニュー表示]の時間を長く設定することをおすすめします。

▶ 繰り返し画像編集する場合のご注意

- 画像編集によって作成した画像に、さらに画像編集を行うこともできますが、画像が粗くなったり、 退色したりする場合があります。
- 同じ画像編集を繰り返し行うことはできません(「画像合成]、「動画編集]の「始点の設定」と「終 点の設定」を除く)。
- 画像編集の組み合わせによっては繰り返し編集できないものもあります。
- 選択中の画像に使用できない画像編集項目は、画像編集メニューでグレーで表示されて選べません。

🖉 画質モードと画像サイズについて

[D-ライティング]、[赤目補正]、[モノトーン]、[フィルター効果]、[カラーカスタマイズ]、[簡単レ タッチ]、[傾き補正]、[ゆがみ補正]、[魚眼効果]、[塗り絵]、[カラースケッチ]、[アオリ効果]、[ミ ニチュア効果] で作成した画像は、元画像と同じ画質モードと画像サイズで記録します。ただし、元 画像がRAWを含む画質モードで撮影された画像の場合、[画質モード] が [FINE]、[画像サイズ] が [サイズL] のJPEG 画像を作成します。また、どの画質モードで撮影した画像も、[JPEG圧縮] は [サ イズ優先] になります。

D-ライティング

MENUボタン → 🗹 画像編集メニュ・

D-ライティングでは、画像の暗い部分を明るく補正できます。逆光で撮影したために顔 の部分だけが暗くなった画像や、フラッシュの光量不足で暗くなった画像などに効果的 です。



編集画面では、D-ライティング効果の適用前と適用後のプレビュー画像を表示します。

マルチセレクターの▲または▼を押して、効果の度合いを[強め]、[標準]、[弱め]の3段階から選びます。効果の度合いは、設定画面のプレビュー画像で確認できます。



• ●ボタンを押すと、編集した画像が記録されます。

:=

赤目補正

MENUボタン → 🗹 画像編集メニュ-

国キャンセ

フラッシュ撮影時の「赤目現象」によって人物の瞳の部分が赤く なってしまった画像を補正できます。

- •フラッシュを発光しないで撮影した画像は選べません。
- カメラが赤目現象を検出できない画像は補正されません。
 編集画面では、プレビュー画像が表示され、次の操作ができます。

拡大率を上げる	⊕ (역 ボタンを押すごとにプレビュー画 像の拡大率が上がります。	赤目袖正
拡大率を下げる	ବ୍	ブレビュー画像の拡大再生中は、♀■ ボタンを押すごとに、プレビュー画 像の拡大率が下がります。	
画面をスクロール (移動)する		プレビュー画像の拡大再生中は、画 面をスクロールして、見たい部分に 移動できます。マルチセレクターを 押し続けると、高速で移動します。	拡大表示中にこれらの操作 を行うと、画面の右下に画像 全体が表示され、拡大部分が 黄色い枠で囲んで示されま す。数秒すると消えますが、 もう一度操作すると表示さ れます。
拡大表示を 終了する		拡大表示中に∞ボタンを押すと、拡	大表示を終了します。
画像を保存する		補正した画像を記録します。	

▶ 赤目補正についてのご注意

赤目補正を行う場合は、次のことにご注意ください。

- 画像によっては、望ましい結果が得られないことがあります。
- ごくまれに赤目以外の部分が補正されることがあります。

赤目補正を行う場合は、画像を保存する前に、プレビュー画像で効果をよく確認してください。

:

トリミング

画像の必要な部分だけを切り抜きます。 編集画面では、トリミング範囲の黄色い枠が表示され、次の操 作ができます。



切り抜く範囲を狭くする	ବ୍	Q■ボタンを押すごとにトリミングで切り抜かれる範囲は狭くなります。
切り抜く範囲を広くする	€	 令 ボタンを押すごとにトリミングで切り抜かれる範囲は広くなります。
画像のアスペクト比 (縦横比)を変更する	•	メインコマンドダイヤルを回すと、縦横比を3:2、4: 3、5:4、1:1、16:9に変更できます。
画面をスクロール (移動)する		トリミングで切り抜く範囲を移動します。画面をスク ロールさせて、切り抜きたい部分をプレビュー画像に表 示します。
トリミングを実行して 画像を保存する		トリミングした画像を記録します。

💋 トリミング画像の画質モードと画像サイズについて

- トリミング画像の画質モード(ロ89)は、元画像の画質モードがRAW を含む画質モードのときは[FINE]になり、[FINE]、[NORMAL]、 [BASIC]のときは元画像と同じ画質モードになります。
- トリミング画像の画像サイズは編集画面の左上に表示されます。画像サイズは、トリミング時の拡大率とアスペクト比により変わります。



▶ トリミング画像についてのご注意

トリミング画像は、拡大表示できないことがあります。



モノトーン

白黒

セピア クール

モノトーンの画像(1種類の色の明暗のみで構成される画像)を 作成します。

[モノトーン] を選ぶと、右のメニューが表示され、次の色調を 選ぶことができます。

白黒	モノクロになります。
セピア	セピア色(褐色)のモノトーンになります。
クール	ブル一系のモノトーンになります。

編集画面では、プレビュー画像を表示します。

 [セピア] または [クール] を選んだ場合は、マルチ セレクターで色の濃さを調整できます。▲を押すと
 色が濃くなり、▼を押すと色が薄くなります。調整
 した色の濃さはプレビュー画像に反映されます。



• ●ボタンを押すと、編集した画像が記録されます。

フィルター効果

画像全体の色調を演出できます。

スカイ ライト	スカイライトフィルターのように、画 像の青みを抑える効果があります。	スカイライト
ウォーム トーン	画像を暖色にする効果があります。	(D)キャンセル 000 保存 編集画面では、プレビュー画像を表示します。
赤強調	赤色が強調されます。	赤弦調
緑強調	緑色が強調されます。	(□==++ンセル) ○濃く ○薄く 080保存
青強調	青色が強調されます。	マルチセレクターで強調の度合い(色の濃 さ)を調整できます。▲を押すと色が濃く なり、▼を押すと色が薄くなります。
クロス スクリーン	クロスフィルターのように、太陽の反 射や街灯などの光源から、放射状に光 の筋が伸びる効果があります。 • [光線の本数]:光線の本数を、3種類 から選べます。 • [クロスの量]:クロスフィルターがか かる光源の量を3段階から選べます。 • [光線の傾き]:光線の傾きを3段階か ら選べます。 • [光線の長さ]:放射状に伸びる光の 長さを3段階から選べます。	2023200-2 光線の本数 240 2004++>セル (2015年) 2004++>セル (2015年) 2004++>セル (2015年) 2004++>セル (2015年) 2004++>セル (2015年) 2004++>セル (2015年) 2005年) 2
ソフト	ソフトフィルターのように、画像をソ フトな雰囲気に仕上げます。	

• ●ボタンを押すと、編集した画像が記録されます。

iii

カラーカスタマイズ

画像全体の色調を調整できます。

右のような画面が表示され、マルチセレクターで画像全体の色調を調整できます。▲▼◀ ▶を押すたびに、画 面全体の色調が次のように変わります。



マゼンタが強くなる



色調を操作すると、プレビュー画像 と画面右側のRGBヒストグラム(色 の分布図:¹¹¹183)に反映されます。

• ●ボタンを押すと、編集した画像が記録されます。

🖉 プレビュー画像の拡大表示について

調整画面で^Qボタンを押すと、プレビュー画像を拡大表示し、拡大領域の ヒストグラムを表示することができます。拡大表示中に**%**,ボタンを押す と、色調の調整と拡大表示の操作を切り換えられます。拡大表示中にマル チセレクターを▲▼◀▶またはななめ方向に押すと画面をスクロールし て、見たい部分に移動できます。Q^{Q2}ボタンを押すと画像を縮小表示しま す。



画像合成

MENUボタン → 🗹 画像編集メニュ-

SDカードに記録されているRAW 画像2コマを重ね合わせて1コマの画像に合成できま す。RAWデータを使用して合成するため、通常のアプリケーションソフトウェアなど で画像を合成する場合と比べ、階調特性に優れた画像になります。



 ●合成画像の画質モード(□289)と画像サイズ(□92)は、合成時のカメラの設定と 同じになります。画像合成をする前に、これらの設定を確認してください。合成した 画像をさらに別のRAW 画像と合成したいときは、画質モードをRAWに設定してくだ さい。

:=

- 1 「画像合成] を選んでマルチセレクターの▶ を押す
 - ●画像編集メニュー画面で「画像合成]を選んで● を押すと、右のような画面が表示され、「画像1] 欄がハイライト表示されます。

2 合成する画像の1コマ目を選ぶ

- Mボタンを押すと表示されるRAW画像のサムネイ ルー覧から、1コマ目の画像を選びます。
- (ボタンを押している間、選択中の画像を拡大表) 示します。
- BKTボタンを押しながら▲を押すと「スロット/フォルダー指定メニュー」画面が表 示され、スロットやフォルダーを切り換えられます(四180)。

3 1コマ目の画像を決定する

 ● ● ボタンを押すと、選んだ画像が1コマ目に設定 され、「画像1]欄にプレビューが表示されます。

4 2コマ日の画像を選ぶ

 ●を押して「画像2]を選び、手順2~3と同じ手 順で2コマ目の画像を選びます。

5 ゲインを調節する

- プレビュー欄に「**画像1**] と「**画像2**] を合成した 画像が表示されます。プレビュー欄で確認しなが ら、合成画像の明るさが適正になるように、 [画像 1] または [**画像2**] を選んでから▲または▼を 押してゲイン(出力)を設定します。
- ゲインは0.1~2.0の範囲で、0.1ステップで設定できます。
- •各数値は初期設定の1.0(補正なし)を基準にした比率です。たとえば0.5にするとゲ インは約半分になります。





画像合成

71.12-



回拡大



6 「プレビュー」欄に移動する

- を押して、プレビュー欄に移動します。
- 合成画像を確認せずに画像を保存したいときは、 [保存]を選んでのボタンを押してください。

7 合成画像を確認する

- 「**合成**」を選び、 (%) ボタンを押すと、合成画像の 確認画面が表示されます。
- ・設定をやり直したいときは、Q■を押してくださ い。手順5の画面に戻ります。

8 合成画像を保存する

 もう一度のボタンを押すと、合成画像が保存さ れ、合成画像が表示されます。

▶ 画像合成についてのご注意

- ・合成できる画像は、このカメラで撮影したRAW 画像だけです。
 、機種の異なるカメラやRAW 以外の
 画質モードで撮影した画像は選べません。
- [記録ビットモード] が同じRAW画像のみ合成できます。
- 非表示設定されている画像は選べません。
- 合成時にRAWを含む画質モードが選ばれている場合、元画像と同じ記録ビットモードになります。ま た、記録方式は合成時のカメラの設定になります。
- 合成時の画質モードがJPEGの場合、[JPEG圧縮]は[サイズ優先]になります。
- ・合成画像のホワイトバランス、撮影データ(撮影日時、測光モード、シャッタースピード、絞り値、
 撮影モード、露出補正値、焦点距離、縦横位置情報など)は、「**画像1**] で選んだ画像の内容を引き 継ぎます。ただし、著作権情報は引き継ぎません。また、合成された画像には、画像合成時にカメラ に設定されている画像コメントが添付されます。









RAW現像 (パソコンを使わずにRAW画像

MENUボタン → 🗹 画像編集メニュ·

をJPEG画像に変換する)

画質モード [**RAW**] または [**RAW+FINE**] 、[**RAW+NORMAL**] 、[**RAW+BASIC**] (ロ89) で記録したRAW画像を、カメラでRAW現像してJPEG画像を作成できます。

- [RAW現像]を選んでマルチセレクターの
 ▶を押す
 - ●画像編集メニュー画面で [RAW現像] を選んで
 ▶を押すと、RAW画像がサムネイル表示されます。

2 RAW現像する画像を選ぶ

- マルチセレクターを操作してRAW現像する画像を 選んで®ボタンを押します。
- ♥ボタンを押している間、選択中の画像を拡大表示します。



赤月補正

DAWT目俟

OK

画像編集メニュ ライティング

勾一効果

スタマイズ

8

⊚ % ∎

a

- BKTボタンを押しながら▲を押すと[スロット/ フォルダー指定メニュー] 画面が表示され、スロットやフォルダーを切り換えられます(□180)。
- 3 [画質モード] (□89)、[画像サイズ] (□92)、[ホワイトバランス] (□125)、[露出補正] (□113)、[ピクチャーコントロール] (□141)、 [高感度ノイズ低減] (□227)、[色空間] (□153)、[D-ライティング] (□279) をそれぞれ設定する



4 RAW現像する

- [現像] を選んで @ ボタンを押すと、JPEG 画像を 保存します。
- RAW現像後のJPEG画像が保存されます。
- キャンセルして画像編集メニューに戻るときは、
 MENUボタンを押してください。

✔ RAW現像についてのご注意

- RAW現像できる画像は、このカメラで撮影したRAW画像だけです。機種の異なるカメラで撮影した RAW画像やRAW以外の画質モードで撮影した画像は選べません。
- [ホワイトバランス] で [AUTO] を選んだ場合、撮影時の [AUTO] の設定([AUTO1標準] もし くは [AUTO2電球色を残す] のいずれか) になります(ロ126)。
- 多重露出撮影した画像や[画像合成] で編集した画像の場合、[ホワイトバランス] を選べません。
- [露出補正] で設定できる明るさ(-2~+2)は、通常の露出補正の段数とは異なります。
- RAW現像の [ピクチャーコントロール] では、調整時のグリッド表示はできません(ロ145)。

リサイズ

MENUボタン → 🗹 画像編集メニュ-

サイズの小さい画像を作成します。SDカードを2枚使用している場合は、記録先のスロットも指定できます。

■複数の画像を選んでリサイズ画像を作成する

MENUボタンを押して画像編集メニューを選んだ場合、複数の画像のリサイズ画像を一度 に作成できます。

[リサイズ]を選んでマルチセレクターの▶
 を押す



- 2 SDカードを2枚使用している場合は、[記録 先スロットの選択]を選んで▶を押す
 - SDカードが1枚しか入っていない場合は、[記録先 スロットの選択]を選べません。手順4に進んで ください。



3 記録先のスロットを選ぶ

 ▲または▼を押してスロットを選んで®ボタンを 押します。

	□ ● 記録	ナイズ 録先スロットの選	択
>	// Y 101	スロット 1	OK
	12 12	スロット 2	

4 [画像サイズの設定]を選んで▶を押す

5 作成したいサイズを選ぶ

画像サイズのピクセルはそれぞれ次のようになります。

画像サイズ	ピクセル
2.5м	1920×1280
1.1м	1280×856
0.6м	960×640
0.3м	640×424
0.1м	320×216



リサイズ

画像選択 記録先スロットの選択 画像サイズの設定

・▲または▼で、画像サイズを選んで@ボタンを押します。

6 [画像選択] を選ぶ

 • [画像選択] を選んで▶を押すと、画像の選択画 面が表示されます。



7 リサイズしたい画像を選ぶ

- マルチセレクターを操作して、リサイズしたい画 像を選びます。
- ・

 ・
 ペ
 ボタンを押している間、選んだ画像を拡大表示します。
 します。



 BKTボタンを押しながら▲を押すと[スロット/ フォルダー指定メニュー]画面が表示され、スロットやフォルダーを切り換えられます(□180)。

8 設定する

- ● ボタンを押して設定します、設定すると
 が表示されます。もう一度 ボタンを押すと、
 が消えます。
- リサイズする画像全てに設定したら、 Wボ タンを押します。

9 リサイズ画像を作成する

• ▲または▼で、[はい]を選んで@ボタンを押すと、リサイズ画像が保存されます。

▶ リサイズ画像についてのご注意

- リサイズ画像は、拡大表示できないことがあります。
- リサイズ画像の画質モード(□39)は、元画像の画質モードがRAWを含む画質モードのときは[FINE] になり、[FINE]、[NORMAL]、[BASIC]のときは元画像と同じ画質モードになります。

簡単レタッチ

MENUボタン →

ど

画像編集メニュー

コントラストと色の鮮やかさを高めた画像を簡単に作成できます。 カメラがD-ライティングの機能を使って、画像の暗い部分を明 るく補正したり、コントラストと彩度(色の鮮やかさ)を高め たりします。

- マルチセレクターの▲または▼を押すと、効果の度合いを [強め]、[標準]、[弱め] から選べます。効果の度合いは、設定画面のプレビュー画面で確認できます。
- ・ のボタンを押すと、編集した画像が記録されます。







傾き補正

画像の傾きを±5°の範囲(約0.25°ステップ)で補正できます。 補正する傾きが大きくなるほど、画像周辺部は切り取られます。





ゆがみ補正

MENUボタン →

広角レンズ使用時のたる型のゆがみや、望遠レンズ使用時の糸 巻き型のゆがみを補正できます。[オート]を選ぶと選択した画 像のゆがみを自動的に判別して補正しますが、好みに応じて微 調整することもできます。[マニュアル]を選ぶと自分でゆがみ を補正できます。



- [オート] は、Gタイプ・Dタイプレンズで撮影した画像のみ機 能します。ただし、PCレンズ、フィッシュアイレンズ、その他一部のレンズで撮影し た画像には機能しません。また、対応レンズ以外で撮影した画像については、動作を 保証しません。
- [自動ゆがみ補正] (印226)を行った画像の場合、[マニュアル] のみ選べます。
- 補正するゆがみが大きくなるほど、画像周辺部は切り取られます。

ゆがみを補正する	 たる型のゆがみを補正するには、マルチセレクターの▶を 押します。 糸巻き型のゆがみを補正するには、◀を押します。
キャンセルする	編集中の画像を保存せずに、画像の再生に戻ります。
ゆがみ補正を実行して 画像を保存する	ゆがみ補正した画像が記録されます。

魚眼効果

フィッシュアイ(魚眼)レンズで撮影したような画像になりま す。魚眼効果が大きくなるほど、画像周辺部は切り取られます。





塗り絵

MENUボタン → 🗹 画像編集メニュー

- 輪郭を抽出して塗り絵の原画風の画像を作成できます。
- •編集画面では、プレビュー画像を表示します。
- 🐨 ボタンを押すと、編集した画像が記録されます。



塗り絵処理前



塗り絵処理後



カラースケッチ

MENUボタン →

輪郭を抽出して色をつけることで、スケッチ風の画像を作成で きます。



色の濃さを変える		マルチセレクターの▲または▼を押して [色の濃さ]を選 んでから、▶を押すと色が濃くなり、 ▲ を押すと薄くなりま す。
線の濃さを変える		▲または▼を押して[線の濃さ]を選んでから、▶を押す と線が濃くなり、 ◀ を押すと薄くなります。
キャンセルする	►	編集中の画像を保存せずに、画像の再生に戻ります。
カラースケッチ画像を 保存する		カラースケッチ画像が記録されます。

アオリ効果

MENUボタン →

高層ビルを見上げて撮影したときなどに生じる、遠近感による 被写体のゆがみを補正します。

•編集画面では、プレビュー画像を表示します。

•アオリ効果が大きくなるほど、画像周辺部は切り取られます。







アオリ効果処理前



アオリ効果処理後

ミニチュア効果

MENUボタン → ☑ 画像編集メニュー

ミニチュア(模型)を接写したように加工します。ミニチュア効果には、高いところか ら見下ろして撮影した画像が適しています。

ぼかさない範囲を 決める		横位置で撮影した画像の場合、マルチ セレクターの▲または▼を押して枠を 動かし、ぼかさないではっきりと見せ る範囲を選びます。	ミニチュア効果 回キャンセル ぼかさない範囲
		縦位置で撮影した画像(□ 267)の場 合、◀または▶を押して枠を動かし、 ぼかさないではっきりと見せる範囲を 選びます。	ミニチュア効果 (D)キャンセル ぼかさない範囲
プレビューを 表示する	¢	プレビューが表示され、効果を確認でき	ます。
キャンセルする	►	編集中の画像を保存せずに、1コマ表示	モードに戻ります。
ミニチュア効果を実行 して画像を保存する		ミニチュア効果の画像が記録されます。	

≣

編集前後の画像表示

画像編集を行った画像を、編集元の画像と並べて表示して、画像編集の効果を確認できます。このメニュー項目は、編集元または編集後の画像を1コマ表示してのボタンを押したときのみ表示されます。

■編集前後の画像表示方法

1 1コマ表示モードで画像を選ぶ

- ●画像編集で作成した画像(図が表示されている画像)または画像編集の元画像のみを選べます。
- ●画像を選んで
 ・●ボタンを押すと、画像編集メニュー項目を表示します。
- 2 [編集前後の画像表示] を選ぶ
 - •[編集前後の画像表示]を選んで®ボタンを押す と、[編集前後の画像表示]画面を表示します。

3 編集前と編集後の画像を比較する

- 編集前の画像を左側、編集後の画像を右側に表示します。
- 画像編集の内容は、2つの画像の上に表示されます。
- マルチセレクターの
 ● マルチセレクターの
 ● または
 ● で、編集前/編集後の
 の画像を切り換えられます。
- 画像合成の元画像の場合、▲または▼で2枚の元 画像を切り換えられます。
- ♥ボタンを押している間、選択中の画像を拡大表示します。
- ●ボタンを押すと、黄色の枠で選択中の画像を1コマ表示モードで再生します。
- ▶ボタンを押すと、再生画面に戻ります。

▶ 編集前後の画像表示についてのご注意

次の画像を編集した場合、編集前の画像は表示されません。
 -プロテクト(皿192)が設定されている画像

-書き込み禁止スイッチがロックされているSDカード(凹32)内の画像

編集元の画像を削除した場合や非表示設定(ロ216)にした場合、画像の入ったカードが画像編集時とは違うスロットに入っている場合も、編集前の画像には表示されません。

画像編集の内容 ■





ゆがみ補正

🗟 マイメニュー / 🗐 最近設定した項目

MENUボタンを押して、タブの協アイコンを選ぶと、[マイメニュー]画面が表示されます。 MENUボタン



再生、撮影、カスタム、セットアップ、画像編集の各メニューから、よく使う項目だけ を選んで、20項目までマイメニューに登録できます。登録した項目は、削除したり、表 示順序を変えたりできます。

■マイメニューを登録する



4 登録する項目の表示位置を選ぶ

▲または▼で登録する項目の表示位置を選んで、
 ◎ボタンを押します。



FG开编

5 マイメニューに表示したい全ての項目を登録する

 が表示されている項目は、すでにマイメニュー に登録済みです。



録項目の削除

画質モート JPEG圧縮

ロ f3Fnボタンの機能

登録項目の削除

画質モード JPEG圧縮

□ f3Fnボタンの機能

थ □ RAW記録

▶設定

- ・
 左横に

 が表示されている項目は、マイメニュー に登録できません。
- 手順1~4を繰り返して、マイメニューに表示したい項目を登録し∞ボタンを押すと、 マイメニューに一覧表示されます。

■登録した項目を削除する

- 1 [③マイメニュー] 画面で [登録項目の削除] を選ぶ
 - [登録項目の削除] を選び、マルチセレクターの▶を押します。

2 削除したいメニュー項目を選ぶ

- ●を押すと、項目の左側のチェックボックスが になります。
- 削除したい全ての項目に ✓ を入れます。

3 [選択終了] を選ぶ

● [選択終了] を選んで № ボタンを押すと、確認画 面が表示されます。

4 選んだ項目を削除する

• ●ボタンを押すと、選択した項目が削除されます。



✓ ボタン操作で登録した項目を削除するには [協マイメニュー] 画面で削除したい項目を選んで●ボタンを押すと、確認画面が表示されます。もう 一度●ボタンを押すと、選択した項目を削除します。

1

■登録した項目の表示順序を変える

1 [保マイメニュー] 画面で [登録項目の順序変更] を選ぶ

「登録項目の順序変更」を選び、マルチセレクターの▶を押します。

2 順番を変えたい項目を選ぶ

 ●順番を変えたい項目を選んで、○●ボタンを押しま す。

3 選んだ項目を移動したい位置を選ぶ

- ▲または▼で移動したい位置を選んで、のボタン
 ●
 ▲または▼で移動したい位置を選んで、のボタン
 を押すと、マイメニューの中で位置が変わります。
- ●必要に応じて手順2~3を繰り返します。

4 [限マイメニュー] 画面に戻る MENUボタンを押すと、「
・
・
同マイメニュー
〕
画面 に戻ります。

■「マイメニュー」	を	[最近設定した項目]	に変更する

- 1 [マイメニュー] 画面で [このタブの機能変 更]を選ぶ
 - [このタブの機能変更] を選び、マルチセレクター の▶を押します。

2 「最近設定した項目」を選ぶ

- •「このタブの機能変更」画面で「最近設定した項 目]を選んで、Wボタンを押します。
- •[マイメニュー]が[最近設定した項目]に切り替 わります。
- ●「最近設定した項目」の設定方法は、□ 300をご覧く ださい。



録項目の順序変員

٤L

RAW

۰.





画質モ・

IPFG开编

RAW記録

調査日の削除 登録項日の順序変更



登録項目の順序変更



MENUボタン **V**

VENU

Ö

司 最近設定した項目:最近設定したメニューをたどる

■「最近設定した項目」の設定方法

メニューを設定するたびに「最近設定した項目」に追加されま す。最大20項目まで登録されます。



🖉 最近設定した項目を削除するには

[最近設定した項目] 画面で削除したい項目を選んで面ボタンを押すと、確認画面が表示されます。もう一度面ボタンを押すと、選択した項目を削除します。

🖉 「最近設定した項目」から「マイメニュー」に戻すには

「最近設定した項目」の**このタブの機能変更**」を選択すると、「このタブの機能変更」画面が表示されます。「マイメニュー」を選んで®ボタンを押すと、「マイメニュー」に切り替わります。



このカメラで使えるアクセサリーやカメラの主な仕様など、カメラを使うときに役立つ 情報を記載しています。また、カメラの動作がおかしいときや警告メッセージが表示さ れたときの対処方法についても説明しています。

使用できるレンズ

CPUレンズ(IXニッコールを除く)をおすすめします。とくにGタイプ・Dタイプレンズは、カメラの機能を最大限に引き出すことができます。

使用できるCPUレンズ一覧※1

ד –۴	フ	撮影モード		測光モード				
	AF (オート	フォーカス	M (マニュアル	M以外	м	マルチパターン 測光		中央部 重点測光/
レンズ*2	フォーカス)	111	フォーカス)			3D-RGB	RGB	スポット測光
Gタイプレンズ、Dタイプレンズ、 AF-Iレンズ、AF-Sレンズ	0	0	0	0	0	0	×	○*3
PC-E NIKKOR シリーズ	×	○*4	0	○*4	○*4	○*4	×	○*3、4
PCマイクロ 85mm F2.8D*5	×	○*4	0	×	0	0	×	○*3、4
AF-S/AF-Iテレコンバーター*6	○*7	○*7	0	0	0	0	×	○*3
Gタイプ・Dタイプ以外のAFレンズ (F3AF用を除く)	○*8	○*8	0	0	0	×	0	○*3
AI-Pニッコール	×	○*9	0	0	0	×	0	○*3

※1 IXレンズは装着できません。

※2 このカメラはVRレンズのVR(手ブレ補正)機能に対応しています。

※3 フォーカスポイントの選択によりスポット測光エリアの移動が可能(ロ109)。

※4 アオリ操作をしていない場合のみ可能。

- ※5 カメラの測光モード、および調光制御機能は、アオリ操作(シフトまたはティルト)をしているとき、または開放絞り以外に絞り値が設定されているときには、正しく機能しません。
- ※6 AF-Sレンズ、AF-Iレンズ専用。
- ※7 合成絞り値がF5.6以上明るい場合に使用可能。
- ※8 AF80-200mm f/2.8S、AF35-70mm f/2.8S、AF28-85mm f/3.5-4.5S (New)、AF28-85mm f/3.5-4.5Sレンズを使用し、ズームの望遠側かつ至近距離で撮影した場合、ファインダースクリーンのマット 面の像とオートフォーカスのピント表示が合致しない場合があります。このような場合は、マニュアル フォーカスによりファインダースクリーンのマット面を利用してピントを合わせて撮影してください。
- ※9 開放F値がF5.6以上明るいレンズのみ使用可能。

🖉 CPUレンズ、Gタイプレンズ、Dタイプレンズの見分け方

CPUレンズにはCPU 信号接点があります。Gタイプレンズには「G」マークが付いており、絞りリン グがありません。Dタイプレンズには「D」マークが付いています。



🖉 AF-S/AF-Iテレコンバーターについて

AF-S/AF-Iテレコンバーターは、AF-SレンズとAF-Iレンズ専用のテレコンバーターです。使用できるレ ンズは、次の通りです。 AE-S VR FD 70-200mm f/2.8G AF-S NIKKOR 400mm f/2.8G FD VR AF-S NIKKOR 70-200mm f/2 8G FD VR II AE-S ED 400mm f/2 8D AE-S FD 80-200mm f/2 8D AF-S FD 400mm f/2 8D II AF-S VR マイクロFD 105mm f/2.8G *1 AF-I FD 400mm f/2.8D AF-S VR ED 200mm f/2G AF-S NIKKOR 500mm f/4G ED VR*2 AE-S VR FD 200-400mm f/4G *2 AF-S FD 500mm f/4D *2 AF-S NIKKOR 200–400mm f/4G FD VR II *2 AF-S FD 500mm f/4D II *2 AE-S VR ED 300mm f/2 8G AF-I FD 500mm f/4D *2 AE-S ED 300mm f/2 8D AF-S NIKKOR 600mm f/4G FD VR*2 AF-S FD 300mm f/2.8D II AF-S FD 600mm f/4D *2 AE-I FD 300mm f/2 8D AE-S ED 600mm f/4D II *2 AE-S ED 300mm f/4D *2 AF-I FD 600mm f/4D *2

※1 AF撮影はできません。 ※2 AF-SテレコンバーターTC-17E II/TC-20E II/TC-20E III との組み合わせでは、AF撮影はできません。

🖉 レンズの開放F値とは

レンズの明るさを示す数値で、そのレンズで最も絞りを開いたときの絞り値を意味します。レンズ名称の最後のほうに「f/2.8」「f/3.5-5.6」などと記されています。

使用できる非CPUレンズ一覧※1

非CPUレンズは、マニュアルフォーカスレンズなどCPUを内蔵していないレンズです。

モード	フォーカスモード			撮影 ⁻	Eード	測光モード			
	AF (オート フォーカス)	フォーカス エイド	M (マニュアル フォーカス)	A、M 以外	A M	マルチパターン 測光		中央部 重点測光/	
レンズ						3D-RGB	RGB	スポット測光	
AI-S、AI、AI改造レンズ、 シリーズEレンズ* ²	×	○*3	0	×	○*4	×	○*5	○*6	
メディカル120mm f/4	×	0	0	×	○*7	×	×	×	
レフレックスレンズ	×	×	0	×	○*4	×	×	○*6	
PCニッコール	×	○*8	0	×	0*9	×	×	0	
AI-S、AIテレコンバーター*10	×	○*11	0	×	○*4	×	○*5	○*6	
ベローズPB-6 *12	×	○*11	0	×	○*13	×	×	0	
オート接写リング (PK-11A、12、13、PN-11)	×	○*11	0	×	○*4	×	×	0	

※1 一部装着不可能なレンズ(□304)があります。

※2 AI ED80-200mm f/2.85の三脚座を回転するとカメラと干渉するため、回転方向に制限があります。AI ED200-400mm f/4Sをカメラに装着したままでのフィルター交換はできません。

※3 開放F値がF5.6以上明るいレンズのみ使用可能。

※4 レンズ情報手動設定(ロ175)でレンズの開放絞り値を設定することにより表示パネル、ファインダー内 表示に絞り値が表示されます。

- ※5 レンズ情報手動設定(ロ175)でレンズの焦点距離、開放絞り値を設定することにより可能です。一部の レンズでは焦点距離と開放絞り値を設定しても充分な精度が得られない場合があります。この場合は中央 部重点測光またはスポット測光を選択して撮影してください。
- ※6 レンズ情報手動設定(四175)で焦点距離、開放絞り値を設定することにより、測光の精度が向上します。
- ※7 撮影モードがMでフラッシュ同調シャッタースピードより1段以上低速のシャッタースピードのときに使 えます。
- ※8 アオリ操作をしていない場合のみ可能。
- ※9 絞り込み測光で使用します。撮影モードがAの場合はレンズ側で絞りプリセットを行い、AEロック後アオリ を行ってください。撮影モードがMの場合はレンズ側で絞りプリセットを行い、あおる前に測光して露出を 決定してください。
- ※10 AI 28-85mm f/3.5-4.55、AI 35-105mm f/3.5-4.55、AI 35-135mm f/3.5-4.55、AF-S 80-200mm f/2.8D レンズの組み合わせによっては、露出補正を行う必要があります。詳細はテレコンバーターの使用説明書 をご覧ください。
- ※11 合成絞り値がF5.6 以上明るい場合に使用可能。
- ※12 オート接写リングPK-12またはPK-13を併用すると装着できます。カメラの姿勢、位置によりPB-6Dが必要です。
- ※13 絞り込み測光で使用可能、撮影モードが A の場合はベローズ側で絞り込みを行い、測光後撮影してください。
- 複写装置PF-4へはカメラアダプター PA-4を併用すると装備できます。

🔽 使用できないレンズ

次の非CPUレンズは使用できません。無理に装着しようとすると、カメラやレンズを破損しますので ご注意ください。

- AFテレコンバーター TC-16AS
- AI改造をしていないレンズ(AI方式以前の連動爪を使用するタイプ)
- フォーカシングユニットAU-1を必要とするレンズ (400mm f/4.5、600mm f/5.6、800mm f/8、1200mm f/11)
- フィッシュアイ (6mm f/5.6、7.5mm f/5.6、8mm f/8、OP10mm f/5.6)
- 2.1cm f/4
- K2リング
- ED180-600mm f/8 (製品No.174041~174180)
- ED360-1200mm f/11 (製品 No.174031~174127)
- 200-600mm f/9.5 (製品 No.280001~300490)
- F3AF用 (AF80mm f/2.8、AF ED200mm f/3.5、テレコンバーター TC-16S)
- PC28mm f/4 (製品 No.180900以前の製品)
- PC35 mm f/2.8 (製品 No.851001~906200)
- 旧PC35 mm f/3.5
- 旧レフレックス1000mm f/6.3
- ・レフレックス1000mm f/11 (製品 No.142361~143000)
- ・レフレックス2000mm f/11 (製品 No.200111~200310)

🖉 非CPUレンズを使用する場合は

非CPUレンズは、撮影モードがAまたはMのときのみ使用できます。非CPUレンズを使用する場合は、 セットアップメニューの[レンズ情報手動設定](ロ175)でレンズの焦点距離と開放絞り値を設定す ることによって、絞り値表示、RGBマルチパターン測光などが使用できるようになります。レンズの 焦点距離と開放絞り値を設定しない場合、測光モードを図に設定しても、自動的に中央部重点測光に なります。

また、絞り値はレンズの絞りリングでのみ設定できます。[**レンズ情報手動設定**]でレンズの開放絞り 値を設定しない場合、表示パネルとファインダー内表示の絞り値表示が開放からの絞り込み段数表示 となりますので、絞り値は、レンズの絞りリングで確認してください。

M
▶ 内蔵フラッシュ撮影に制限のあるレンズについてのご注意

内蔵フラッシュには、16mmから300mmまでのCPUレンズが使用できます。
 -ケラレを防止するため、レンズフードは取り外して使用してください。
 -撮影距離0.6m未満では使用できません。
 -マクロ付きズームレンズはマクロ領域では使用できません。

-次のAFレンズではフラッシュの光がさえぎられるため、焦点距離や撮影距離に制限があります。

レンズ	ケラレなく撮影できる焦点距離と撮影距離
AE-S DX NIKKOB 10-24mm f/3 5-4 5G ED	● 焦点距離18mmでは撮影距離1.0m以上
AI-5 DA MIRKON 10-2411111/5.5-4.50 ED	● 焦点距離20mm以上は制限なし
AES DV Zoom Nikkor 12, 24mm f/4C IE ED	● 焦点距離18mmでは撮影距離1m以上
	● 焦点距離20mm以上は制限なし
	● 焦点距離24mmでは撮影距離2m以上
AF-S NIKKOR 16–35mm f/4G ED VR	● 焦点距離28mmでは撮影距離1m以上
	● 焦点距離35mmでは制約なし
AE S Zoom Nikkor 17, 35mm f/28D IE-ED	● 焦点距離20mm以上では撮影距離2m以上
AI -5 20011-101001 17-551111172.00 11-ED	● 焦点距離24mm以上は制限なし
AF S DY Zoom Nikkor 17 FEmm f/28C IF FD	● 焦点距離24mmでは撮影距離1m以上
AI -5 DA 20011-NIRKOI 17-551111172.00 II -ED	● 焦点距離28mm以上は制限なし
AE Zoom Nikkor 18, 35mm f/3,5, 4,5D IE-ED	● 焦点距離18mmでは撮影距離1m以上
AI ZOOTI-NIKKOI 18-3311111/3.3-4.30 II-ED	● 焦点距離24mm以上は制限なし
AF-S DX VR Zoom-Nikkor 18–200mm f/3.5–5.6G IF-ED	● 焦点距離18mmでは撮影距離1m以上
AF-S DX NIKKOR 18–200mm f/3.5–5.6G ED VR II	● 焦点距離24mm以上は制限なし
AF S NIKKOP 24 ZOmm f/28C FD	● 焦点距離28mmでは撮影距離1.5m以上
AF-3 NIKKOK 24-70111111/2.8G ED	● 焦点距離35mm以上は制限なし
AF & Zoom Nikker 28, Zomm f/28D IF FD	● 焦点距離28mmでは撮影距離1m以上
AF-3 20011-NIKKUI 20-7011111 1/2.00 IF-ED	● 焦点距離35mm以上は制限なし
PC-E NIKKOR 24mm f/3.5 ED	● アオリ操作をしていない状態では制限なし
-AF-S NIKKOR 14-24mm f/2.8G ED使用時は、全ての	D撮影距離でケラレが発生します。

• 内蔵フラッシュ撮影時に使用可能な非CPUレンズは、16mmから300mm までのニッコール(AI-S、 AI、改造AI)、ニコンレンズシリーズEが使用できます。ただし、次のレンズは使用に制限があります。

レンズ	ケラレなく撮影できる焦点距離と撮影距離
AI 50–300mm f/4.5	
AI改 50–300mm f/4.5	焦点距離135mm 以上は制限なし
AI-S ED 50–300mm f/4.5	
AI ED 50–300mm f/4.5	焦点距離105mm 以上は制限なし

▶ 赤目軽減モードについてのご注意

レンズの種類によっては、赤目軽減ランプの光がさえぎられ、フラッシュ撮影時に充分な赤目軽減効 果が得られない場合があります。

☑ AF 補助光撮影に制限のあるレンズについてのご注意

AF補助光を使用できるレンズの焦点距離は24~200mmです。このうち、AF補助光撮影に制限のある レンズは次の通りです。

AF補助光を使ってオートフォーカス撮影ができないレンズ

AF-S NIKKOR 14–24mm f/2.8G ED	
AF-S VR Zoom-Nikkor 70–200mm f/2.8G IF-ED	
AF-S NIKKOR 70–200mm f/2.8G ED VR II	
Ai AF Zoom-Nikkor 80–200mm f/2.8D ED	
AF-S Zoom-Nikkor 80–200mm f/2.8D IF-ED	
Ai AF VR Zoom-Nikkor 80–400mm f/4.5–5.6D ED	
AF-S VR Nikkor 200mm f/2G IF-ED	
AF-S VR Zoom-Nikkor 200–400mm f/4G IF-ED	
AF-S NIKKOR 200–400mm f/4G ED VR II	
撮影距離によってAF補助光を使ったオートフォーカ	ス撮影に制限のあるレンズ
AF-S Zoom-Nikkor 17–35mm f/2.8D IF-ED	
AF-S DX Zoom-Nikkor 17–55mm f/2.8G IF-ED	
AF-S DX VR Zoom-Nikkor 18–200mm f/3.5–5.6G IF-ED	
AF-S DX NIKKOR 18–200mm f/3.5–5.6G ED VR II	
AF-S NIKKOR 24–70mm f/2.8G ED	
Ai AF Zoom Nikkor 24–120mm F3.5–5.6D (IF)	
AF-S VR Zoom-Nikkor 24–120mm f/3.5–5.6G IF-ED	フォーカス海影はとさよせん。
AF-S Zoom-Nikkor 28–70mm f/2.8D IF-ED	
AF-S NIKKOR 28–300mm f/3.5–5.6G ED VR	
AF Zoom-Micro Nikkor 70–180mm f/4.5–5.6D ED	
Ai AF Micro-Nikkor 200mm f/4D IF-ED	

Z

🖉 レンズの画角と焦点距離について

D7000ではさまざまなニコンー眼レフカメラ用レンズが使用できます。ただし、これらのレンズを D7000に装着したときの画角は、レンズに表記されている焦点距離の1.5倍のレンズに相当する画角に なります。これは35mm判力メラの撮影画面サイズ(36×24mm)に対して、D7000の撮影画面(約 23.6×15.6mm)が小さいためです。

例:D7000に24 mmのレンズを装着した場合の画角は、35mm 判力メラ換算でおおよそ36 mmの焦 点距離となります。



使用できるスピードライト(別売フラッシュ)

このカメラは、ニコンクリエイティブライティングシステム対応スピードライトとの組 み合わせで、さまざまな機能が利用できます。

<u>別売スピードライトをカメラに装着するには</u>

1 アクセサリーシューカバーを取り外す



2 別売のスピードライトをアクセサリーシューに取り 付ける

• SB-900、SB-800、SB-700、SB-600、SB-400などのセーフ ティーロックピン付きのスピードライトを取り付けると、ス ピードライトが不用意に外れるのを防止できます。



 スピードライトの取り付け方は、お使いになる各スピードラ イトの使用説明書をご覧ください。

🖉 ホットシューアダプター AS-15

別売のホットシューアダプター AS-15を装着すると、シンクロターミナルが利用できます。

▶ 他社製フラッシュについてのご注意

他社製のフラッシュ(カメラのX接点に250V以上の電圧がかかるものや、アクセサリーシュー部の接 点をショートさせてしまうもの)を使用しないでください。カメラの正常な機能が発揮できないだけ でなく、カメラおよびフラッシュのシンクロ回路を破損することがあります。

M

<u>ニコンクリエイティブライティングシステム(CLS)</u> <u>について</u>

ニコンクリエイティブライティングシステム(CLS)は、ニコンのスピードライトとカ メラのデータ通信方式を改良したシステムで、スピードライト撮影に新たな可能性を開 く、様々な機能を提供します。

ニコンクリエイティブライティングシステム対応スピードライト

■ SB-900、SB-800、SB-700、SB-600、SB-400、SB-R200 の主な仕様

	SB-900*1	SB-800	SB-700	SB-600	SB-400	SB-R200*2
ガイドナンバー (ISO 100・m/ ISO 200・m、20℃)	34/48 (照射角35mm、 スタンダード 配光時)	38/53 (照射角 35mm時)	28/39 (照射角35mm、 スタンダード 配光時)	30/42 (照射角 35mm時)	21/30	10/14

※1 カメラのホワイトバランスを AUTO (オート) または (フラッシュ) に設定し、SB-900 用カラー フィルターを装着して撮影すると、カメラが自動的にフィルターを識別し、最適なホワイトバラン スを設定します。

※2 リモート発光用スピードライトSB-R200を使用するには、内蔵フラッシュをコマンダーモードに設定するか、SB-900、SB-800、SB-700、またはワイヤレススピードライトコマンダー SU-800が必要です。

SU-800

ワイヤレススピードライトコマンダー SU-800は、ワイヤレスでSB-900、SB-800、 SB-700、SB-600、SB-R200を制御するコマンダーです。スピードライトを3つのグルー プに分けて制御できます。SU-800には発光機能はありません。

🖉 ガイドナンバーとは

フラッシュの光量を示す値で、大きいほど光が遠くまで届きます。「ガイドナンバー = 絞り値×撮影距離(m)」(ISO感度が100の場合)という関係があります。SB-800 はガイドナンバーが38 (照射角35mm、ISO感度100、20℃)なので、ISO 感度が100 で絞り値がF5.6 なら、38 ÷ 5.6 = 約6.8mまでフラッシュの光が届くことになります。また、実効ガイドナンバーはISO感度が2倍になると約1.4 倍 ($\sqrt{2}$ 倍)になります。たとえば、このカメラでISO感度200 でSB-800 を使用すると、絞り値がF5.6 なら38 ÷ 5.6 × 1.4 = 約9.5mまで光が届きます。

SB-900、SB-800、SB-700、SB-600、SB-400、SB-R200との組 み合わせで使用できる機能

スピードライトSB-900、SB-800、SB-700、SB-600、SB-400、SB-R200 を使用する場合、スピードライトとレンズの組み合わせによって次の機能が使用できます。

			1灯のみで使用		アドバンストワイヤレスライティング				ング			
			「別ののて使用			主灯として使用			補助灯として使用			
		スピードライト	SB-900 SB-800	SB-700	SB-600	SB-400	SB-900 SB-800	SB-700	SU-800*1	SB-900 SB-800	SB-700 SB-600	SB-R200
	i_TTI	i-TTL-BL調光	○*2	○*2	○*2	○*2	0	0	0	0	0	0
		スタンダードi-TTL調光	○*3	0	○*3	0						
<u>۲</u>	AA	絞り連動外部自動調光	○*4				○*5		○*5	○*5		
μ̈́	Α	外部自動調光	○*4				○*5			○*5		
発光	GN	距離優先マニュアル発光	0	0								
	М	マニュアル発光	0	0	0	○*6	0	0	0	0	0	0
	RPT	リピーティングフラッシュ	0				0		0	0	0	
		オートFPハイスピード シンクロ*7	0	0	0		0	0	0	0	0	0
		FVロック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
र्गत		マルチエリアAF補助光*8	0	0	0		0	0	0			
戁		発光色温度情報伝達	0	0	0	0	0	0				
	REAR	後幕シンクロ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	۲	赤目軽減発光	0	0	0	0	0	0				
		オートパワーズーム	0	0	0		0	0				

- ※1 SU-800本体に発光機能はありません。表中の○は、SU-800がコマンダーとして補助灯を制御でき る機能です。
- ※2 スポット測光時は設定できません。
- ※3 SB-900、SB-800、SB-600の場合は、スピードライト側でも設定できます。
- ※4 AAモードとAモードの選択は、SB-900、SB-800のカスタム設定で行います。
- ※5 SB-900、SB-800のカスタム設定にかかわらず、優先的にAAモードになります。
- ※6 カメラ側で設定できます。
- ※7 カスタムメニューe1 [フラッシュ撮影同調速度](□246)を [1/320秒(オートFP)] または [1/ 250秒(オートFP)] に設定してください。
- ※8 非CPUレンズ装着時は機能しません。

🖉 AAモードとAモード

AAモード設定時でも、非CPUレンズを装着し、セットアップメニューの[レンズ情報手動設定]でレンズの開放絞り値と焦点距離を設定していない場合は、自動的にAモードになります。

V

その他のスピードライトとの組み合わせで利用できる機能

次のスピードライトを使用する場合、外部自動調光(A)あるいはマニュアル発光撮影 となります。TTLにセットすると、カメラのシャッターボタンはロックされ、撮影でき ません。装着レンズによって機能が変わることはありません。

	スピ	ードライト	SB-80DX SB-28DX	SB-50DX≋¹	SB-28 SB-26 SB-25 SB-24	SB-30 SB-27*2 SB-22S SB-22 SB-20 SB-16B SB-15	SB-23 SB-29*3 SB-21B*3 SB-29S*3
	Α	外部自動調光	0		0	0	
尔	М	マニュアル発光	0	0	0	0	0
\mathbb{X}	555	マルチフラッシュ	0		0		
	REAR*4	後幕シンクロ	0	0	0	0	0

- ※1 撮影モードを P、S、A、Mに設定し、内蔵フラッシュを収納した状態にして内蔵フラッシュが光らないようにしてください。内蔵フラッシュが自動的に上がって光ることがあるため、その他の撮影モードは使用しないでください。
- ※2 D7000とSB-27を組み合わせると自動的にTTLモードになりますが、TTLモードでは使えません。 SB-27をAモードに設定し直してください。
- ※3 SB-29・21B・29Sでオートフォーカスができるレンズは、AF-S VR マイクロニッコール ED 105mm F2.8GレンズとAF-S Micro NIKKOR 60mm F2.8G EDのみです。
- ※4 カメラ側のフラッシュモードで設定してください。

▶ スピードライト使用時のご注意

- 詳細はお使いになる各スピードライトの使用説明書をご覧ください。
- ニコンクリエイティブライティングシステム対応のスピードライトの使用説明書にカメラ分類表が 記載されている場合は、ニコンクリエイティブライティングシステム対応デジタルー眼レフに該当す る箇所をお読みください。なお、このカメラはSB-80DX、SB-28DX、SB-50DXの使用説明書に記載 のデジタルー眼レフカメラには該当しません。
- フラッシュモード (四157)のAUTO(オート:自動発光)機能は解除され、常に外付けのスピード ライトが発光します。
- スピードライトを使うと、③を除く全ての撮影モードでフラッシュ撮影できます。
- i-TTLや外部自動調光モードにおいて、フル発光でも露出アンダーになる可能性のある場合には、発 光直後にレディーライト↓が約3秒間点滅し、露出アンダー警告を行います。
- i-TTL モード時のISO 感度連動範囲はISO 100~6400 相当です。
- ISO感度を6400よりも増感した場合には、距離や絞り値によっては適正な発光量にならない場合があります。
- スピードライトSB-900、SB-800、SB-700、SB-600、SB-400の使用時に、フラッシュモードが赤目
 軽減、赤目軽減スローシンクロモードの場合は、スピードライト側で赤目軽減発光が行われます。

V

- スピードライト SB-900、SB-800、SB-700、SB-600、ワイヤレススピードライトコマンダー SU-800 の使用時に、AF補助光の照射条件が満たされると、スピードライト側のAF補助光を自動的に照射します。
- スピードライトSB-900のAF補助光は、17~135mmまでのAFレンズに対応しています。各焦点距離ですべてのフォーカスポイントを照射しますが、オートフォーカス可能なフォーカスポイントは、次の図の通りです(他のフォーカスポイントが選ばれたときもAF補助光は照射しますが、十分に照射されない場合があります)。

17~19 mmの場合	20~105 mmの場合	106~135mmの場合

 スピードライトSB-800、SB-600、ワイヤレススピードライトコマンダー SU-800のAF補助光は、24 ~105mmまでのAFレンズに対応しています。各焦点距離で照射とオートフォーカス可能なフォー カスポイントは、次の図の通りです。

24~34mmの場合	35~49 mmの場合	50~105mmの場合

スピードライトSB-700のAF補助光は、24~135mmまでのAFレンズに対応しています。各焦点距離ですべてのフォーカスポイントを照射しますが、オートフォーカス可能なフォーカスポイントは、次の図の通りです(他のフォーカスポイントが選ばれたときもAF補助光は照射しますが、十分に照射されない場合があります)。

24~135mmの場合

0000000000

- i-TTLモード時に、調光コードSC-17、SC-28、SC-29を使用してカメラからスピードライトを離して 撮影する場合、スタンダードi-TTL調光以外では適正露出を得られない場合があります。この場合は、 スタンダードi-TTL調光に切り換えて撮影してください。また、あらかじめテスト撮影を行ってくだ さい。
- i-TTLモード時に、発光面に内蔵パネルまたは付属のバウンスアダプター以外の部材(拡散板など)を 装着しないでください。カメラ内の演算に誤差が生じ、適正露出とならない場合があります。

M

🖉 インフォ画面のフラッシュモード表示について

インフォ画面のフラッシュモードでは、別売のスピードライト使用時の発光方式が、次のように 表示されます。

	通常発光	FP発光(□ 247)
i-TTL-BL調光 スタンダードi-TTL調光		
絞り連動外部自動調光(AA)*		AA FP
外部自動調光(A)		↓ A FP
距離優先マニュアル発光(GN)		GN FP
マニュアル発光		¥ ⇒¶ M FP
リピーティング発光		_
アドバンストワイヤレスライティング		ÇMD FP
※ SB-900、SB-800使用時のみ		

使用できるアクセサリー

D7000には撮影領域を拡げるさまざまなアクセサリーが用意されています。詳しくは最 新のカタログや当社のホームページなどでご確認ください。

	• Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL15 (ロ22、24)
	ニコンデジタルカメラD7000用のバッテリーです。
	• バッテリーチャージャー MH-25(皿22)
	Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL15用のチャージャーです。
	•マルチパワーバッテリーパックMB-D11
	MB-D11には縦位置シャッターボタンとメインコマンドダイヤル、サブコマンドダイ
	ヤル、マルチセレクター、AE/AFロックボタンが装備されているので、縦位置での撮
	影に便利です。カメラ本体のMB-D11用接点カバーを取り外して装着します。
	●パワーコネクター EP-5B、ACアダプター EH-5a※
雷源	ACアダプターを使用すると、長時間カメラを使用するときに安定して電源を供給で
-544	きます。
	- このカメラは、カメラ本体とACアダプターを接続するためにパワーコネクターEP-5B
	が必要です。カメラとパワーコネクター、ACアダプターを接続する方法については、
	「カメラとパワーコネクター、ACアダプターの接続方法」(四317)をご覧ください。
	- EH-5aの代わりにACアタブター EH-5も使えます。
	-マルチバリーバッテリーバックMB-D11をカメラに装着してACアタフターを使用す
	る場合、EP-5Bは、刀メフビはなくMB-DITIに入れてください。なめ、刀メフと MB D11の両右にED 5Pを1 わて使用したいでください
	※日本国内専用電源コード(AC 100V対応)付属。日本国外でお使いになるには、別売
	で転送したり、別志のCamera Control Pro 2を使ってパソコンからカメラを遠隔堤
	作できます。また、イーサネットケーブルを接続することにより有線でも通信でき
無線LAN	ます。
アダプター	- WT-4 には、カメラ本体とは別に電源が必要です。別売の Li-ion リチャージャブル
	バッテリー EN-EL3eまたはACアダプター EH-6をお使いください。
	- WT-4をお使いいただく場合は、無線LANの知識および環境が必要です。
	-WT-4に付属のソフトウェアは、必ず最新版にバージョンアップしてお使いください。

V

・ 接眼補助レンズDK-20C

遠視、近視の方のための補助レンズで、接眼部に差し込むだけで簡単に取り換えるこ とができます。-5、-4、-3、-2、0、+0.5、+1、+2、+3m⁻¹の9種類が 用意されていますが、いずれもこのカメラの視度調節ダイヤルが基準位置(-1m⁻¹) の場合の値です。視度補正は個人差が大きいので店頭で実際に取り付けてお選びくだ さい。このカメラには視度調節機能がついています(-3~+1m⁻¹)ので、この範 囲外の視度補正が必要なときにお使いください。なお、接眼補助レンズを使用してい る場合は、接眼目当ては使用できません。

ファインダー用 **アクセサリー** ・マグニファイングアイピースDK-21M このカメラのファインダー倍率を約1.17倍(50 mm F 1.4レンズ使用時・∞・-1.0 m⁻¹ のとき)に拡大します。

マグニファイヤー DG-2 ファインダー中央部の像を拡大します。より厳密なピント合わせが必要なときに使用します。

• アイピースアダプター DK-22

上記DG-2を取り付けるためのアダプターです。

• 角窓用変倍アングルファインダー DR-6

カメラの接眼部に取り付けると、撮影レンズと直角の方向(水平方向に向けたカメラ の真上など)からファインダー内の画像を確認できます。

- •フィルターをレンズ保護のために常用する場合は、NCフィルターをお使いください。
- •カメラ測光系の特性上、従来の偏光フィルター(Polar)は使用できません。円偏光 フィルター(C-PL、C-PL Ⅱ)をお使いください。
- ・逆光撮影や、輝度の高い光源を画面に入れて撮影する場合は、フィルターによって画像上にゴーストが発生するおそれがあります。このような場合は、フィルターを外して撮影することをおすすめします。
- アィルター
 ・露出倍数のかかるフィルター(Y44、Y48、Y52、O56、R60、X0、X1、C-PL(円偏 光フィルター)、ND25、ND45、ND4、ND85、ND8、ND400、A2、A12、B2、B8、 B12)を使用する場合、RGBマルチパターン測光、または3D-RGBマルチパターン測 光の効果が得られない場合がありますので、測光モードを中央部重点測光に切り換え て撮影することをおすすめします。詳しくは、各フィルターの使用説明書をご覧くだ さい。
 - 特殊フィルターなどを使用する場合は、オートフォーカスやフォーカスエイドが行えないことがありますのでご注意ください。

Å

	• Capture NX 2 * 画像を詳細に編集できる、画像編集用ソフトウェアです。ホワイトバランス調整やカ ラーコントロールポイントなどさまざまな機能を備えています。
ニコンデジタル カメラ専用 ソフトウェア	• Camera Control Pro 2 * パソコンからカメラを操作して静止画や動画を撮影したり、撮影した画像を直接ハー ドディスクなどへ保存したりできる、カメラコントロール用ソフトウェアです。
シントウエア	※ 必ず最新版にバージョンアップしてお使いください。お使いのパソコンがインターネットに接続されていれば、ソフトウェアの起動時にニコンメッセージセンター(Nikon Message Center)が自動的に更新情報をチェックします。
	 ・対応OSについては、当社ホームページのサポート情報(□xvi)でご確認ください。
ボディー キャップ	 ボディーキャップBF-1B、BF-1A レンズを取り外したカメラボディーに取り付けることにより、ゴミやほこりの付着を 防ぎ、カメラ内部を保護します。
	 ・リモコンML-L3 ワイヤレスでシャッターをきることができ、記念写真などに便利です。また、手ブレを防止するケーブルレリーズの代わりとしても利用できます。 リモコン用電池(CR2025型3Vリチウム電池)の交換方法
リモコン (□184)	
	電池室のノブを右側に押しながら(①)、隙間に爪などを差し込んで手前に引き出し て(②)ください。リチウム電池を入れる際は、「+」と「-」の向きをよくご確認 ください(④)。
	アクセサリーターミナルに次のアクセサリーを接続することにより、遠隔撮影やGPS データの取得ができます。
	・リモートコードMC-DC2(□□74)
	・GPSユニットGP-1 (□□178)
アクセサリー ターミナル	図のようにアクセサリーターミナルのトマークとコネク ターの dマークを合わせて、コネクターをアクセサリー ターミナルに接続します。
	使用しないときは、カメラの端子カバーを必ず閉じてください。ゴミ等が入ると、誤 作動の原因となることがあります。

Ø

カメラとパワーコネクター、ACアダプターの接続方法

カメラとパワーコネクター、ACアダプターを接続する前に、カメラ本体の電源がOFF になっていることを確認してください。

 カメラのバッテリー室カバー(①)とパワー コネクターカバー(②)を開ける

2 パワーコネクター EP-5Bを入れる

- パワーコネクターは、接点の向きに注意しながら入れてください。
- オレンジ色のバッテリーロックレバーをパワーコネクター側 面で押しながら、パワーコネクターを奥まで入れると、バッ テリーロックレバーがパワーコネクターに掛かり、パワーコ ネクターがロックされます。
- 3 カメラのバッテリー室カバーを閉じる
 - パワーコネクターのコードがパワーコネクターカ バーを開けた部分から出るように注意して、バッ テリー室カバーを閉じます。



4 パワーコネクターとACアダプターを接続する

- 電源コードのACプラグを、ACアダプターのACプラグ差し込み口に差し込みます(③)。
- パワーコネクターのDCプラグコネクターにACアダプターのDCプラグを差し込みます(④)。
- ・パワーコネクターとACアダプターの使用時には、液晶モニター上のバッテリー残量 表示が凹に変わります。





X

カメラのお手入れについて

保管について

長期間カメラを使用しないときは、必ずバッテリーを取り出してください。バッテリーを取り出す前には、カメラの電源がOFFになっていることを確認してください。 カメラを保管するときは、下記の場所は避けてください。

- •換気の悪い場所や湿度が60%をこえる場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の周辺
- ・温度が50℃以上、または-10℃以下の場所

<u>クリーニングについて</u>

	ほこりや糸くずをブロアーで払い、柔らかい乾いた布で軽く拭きます。海辺でカ
	メラを使用した後は、砂や塩を真水で湿らせた布で軽く拭き取り、よく乾かしま
カメラ本体	ਰੇ 。
	ご注意:カメラ内部にゴミ、ほこりや砂などが入りこむと故障の原因となります。
	この場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。
	ガラスは傷つきやすいので、ほこりや糸くずをブロアーで払います。スプレー缶
レンズ・	タイプのブロアーは、缶を傾けずにお使いください(中の液体が気化されずに吹
ミラー・	き出し、レンズ・ミラー・ファインダーを傷つけることがあります)。指紋や油
ファインダー	脂などの汚れは、柔らかい布にレンズクリーナーを少量付けて、ガラスを傷つけ
	ないように注意して拭きます。
	ほこりや糸くずをブロアーで払います。指紋や油脂などの汚れは、表面を柔らか
液晶モニター	い布かセーム革で軽く拭き取ります。強く拭くと、破損や故障の原因となること
	がありますのでご注意ください。

アルコール、シンナーなど揮発性の薬品はお使いにならないでください。

▶ 定期点検、オーバーホールのおすすめ

カメラは精密機械ですので、1~2年に1度は定期点検を、3~5年に1度はオーバーホールすることを おすすめします(有料)。

- とくに業務用にお使いの場合は、早めに点検整備を受けてください。
- より安心してご愛用いただけるよう、お使いのレンズやスピードライトなども併せて点検依頼される ことをおすすめします。

M

<u>ローパスフィルターを自動で掃除する</u> (イメージセンサークリーニング)

レンズを取り付けるときなどに、撮像素子の前面にあるローパスフィルターにゴミやほ こりが付くと、画像に影が写り込むことがあります。イメージセンサークリーニングを 作動させると、ローパスフィルターを振動させてゴミをふるい落とすことができます。 イメージセンサークリーニングは、メニューから操作する方法と、電源のON/OFF時に 自動的に行う方法があります。

■セットアップメニューの【イメージセンサークリーニング】 から操作する

- 1 カメラを右図のように正位置に置く

 ・効果的にゴミをふるい落とせるように、正位置(カメラを横位置で構えるときの向き)にしてイメージセンサークリーニングを行ってください。
- 【イメージセンサークリーニング】を 選ぶ

MENUボタンを押して、セットアップメニューの[イメージセンサークリーニング]を選びます。マルチセレクターの●を押すと、「イメージセンサークリーニング]画面が表示されます。

MENUボタン



- 3 [実行] を選ぶ
 - ・
 「実行]を選んで
 ・
 ・
 ボタンを押すと、右の画面が 表示され、イメージセンサークリーニングを開始 します。





イメージセンサークリーニングが完了すると、右の画面が表示されます。



ÔON	電源ONで実行	電源ONと同時にイメージセンサークリーニングが作動します。
ÔOFF	電源OFFで実行	電源OFFと同時にイメージセンサークリーニングが作動します。
ON	電源ONとOFFで 実行	電源ON、OFFと同時にイメージセンサークリーニングが作動します。
8	実行しない	電源ON、OFFしてもイメージセンサークリーニングは作動しません。

- 1 [イメージセンサークリーニング] 画面で [電源スイッチに連動] を選ぶ
 - 「電源スイッチに連動」を選んでマルチセレクターの
 の▶を押すと、「電源スイッチに連動」画面が表示されます。
- 2 イメージセンサークリーニングの方法を選ぶ
 - ・ Wボタンを押して設定します。



9 宇行

電源スイッチに連動

終了しました。

🔽 イメージセンサークリーニングについてのご注意

- イメージセンサークリーニング作動中にカメラを操作すると、イメージセンサークリーニングは中断 します。
- カメラの電源ON時に内蔵フラッシュの充電が行われるときは、カメラの電源ONと同時にイメージ センサークリーニングが作動する設定になっていても、イメージセンサークリーニングを行わないこ とがあります。
- 完全にゴミを取り除けないことがあります。そのときは、ローパスフィルターを市販のブロアーで掃除する(ロ321)か、ニコンサービス機関にご相談ください。
- イメージセンサークリーニングを連続して行うと、内部の回路を保護するため、一時的に作動しなくなる場合があります。少し時間をおくと再び作動するようになります。

M

ローパスフィルターをブロアーで掃除する

イメージセンサークリーニング(00319)でゴミやほこりを取りきれないときは、ローパスフィルターを次の手順でクリーニングできます。ただし、ローパスフィルターは非常に傷つきやすいため、ニコンサービス機関にクリーニングをお申し付けくださることをおすすめします。

作業中のバッテリー切れを防ぐため、フル充電したバッテリー、または別売のパワーコ ネクター EP-5BとACアダプター EH-5aをお使いください。

1 カメラの電源をOFFにしてからレンズを取り外す

レンズを取り外したら、カメラの電源をONにしてください。

- セットアップメニューで [クリーニン グミラーアップ] ※を選ぶ
 - MENUボタンを押して、セットアップメニューの[クリーニングミラーアップ]を選んでマルチセレクターの▶を押します。
 ※バッテリー残量表示が (m)(60%)以下の

場合、このメニュー項目は操作できません。

3 ◎ ボタンを押す

- クリーニングミラーアップの待機状態になります。
- 液晶モニター、表示パネル、ファインダー内表示に右のように表示されます。
- ローパスフィルターのお手入れを止めるには、カメラの電源をOFFにしてください。





4 シャッターボタンを全押しする

- ミラーが上がり、シャッターが開いた状態になります。
- このとき、表示パネルは右のような点滅表示になります。ファインダー内の表示は消灯します。



5 ローパスフィルターに光が当たるようにカメラを 持ち、ゴミやほこりが付いていないかどうかを点検 する

- •ゴミやほこりが付いていない場合は、手順7にお進みください。
- 6 ローパスフィルターに付いたゴミやほこりをブロ アーで払う
 - ブラシの付いていないブロアーをお使いください。ブラシで ローパスフィルターの表面に傷が付くことがあります。
 - ブロアーで取り除けない汚れがある場合は、ニコンサービス 機関にクリーニングをお申し付けください。絶対に、手でこ すったり、布で拭き取ったりしないでください。
- 7 カメラの電源をOFFにし、付属のボディーキャップを付ける
 - ミラーがダウンしてシャッター幕が閉じます。

🔽 作業中のシャッター幕の破損を防ぐために

カメラのシャッター幕は非常に破損しやすい部品です。シャッター幕はカメラに電源の供給がなくなると、自動的に閉じる構造になっています。作業中に不意にシャッター幕が閉じて破損することを防 ぐために、次の点にご注意ください。

- 作業中に電源をOFFにしないでください。
- 作業中にバッテリーやACアダプターを取り外さないでください。
- ミラーアップ中にバッテリー残量が少なくなった場合、電子音が鳴り、セルフタイマーランプが点滅してお知らせします。約2分経過するとシャッター幕が閉じてミラーがダウンするので、ただちに作業を終了してください。

🔽 ローパスフィルター上のゴミ付着について

ニコンデジタルカメラは撮像素子の前面にあるローパスフィルターに付着するゴミについて、当社の 品質基準に基づいて製造しています。しかし、このカメラはレンズ交換方式のため、レンズ交換の際 にカメラ内にゴミが入り込むことがあり、撮影条件によっては、撮像素子の前面のローパスフィルター に付着したゴミが写り込む場合があります。カメラ内へのゴミの侵入を防止するため、ほこりの多い 場所でのレンズ交換は避け、レンズを外してカメラを保管するときは、必ず付属のボディーキャップ を装着してください。その際、ボディーキャップのゴミも必ず除去してください。ローパスフィルター に付着したゴミを、イメージセンサークリーニング(口319)で取り除ききれないときは、上記の手 順でクリーニングしていただくか、ニコンサービス機関にクリーニングをお申し付けください。なお、 ゴミの写り込みは、別売のCapture NX 2 (口316) や画像加工アプリケーションなどで修正できます。





カメラとバッテリーの取り扱い上のご注意

<u>カメラの取り扱い上のご注意</u>

● 強いショックを与えない

カメラやレンズを落としたり、ぶつけたりしないようにご注意ください。強い衝撃や振動を加えると、破 損したり精密に調整された部分に悪影響を及ぼします。

● 水にぬらさない

カメラは水にぬらさないようにご注意ください。カメラ内部に水滴が入ったりすると部品がさびついて しまい、修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

● 急激な温度変化を与えない

極端に温度差のある場所に急にカメラを持ち込むと、カメラ内外に水滴が生じ、故障の原因となります。 カメラをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてからお使いください。

● 強い電波や磁気の発生する場所で撮影しない

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲や、強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、撮 影画像へのノイズ混入等、カメラが正常に機能しないことがあります。

● 長時間、太陽に向けて撮影または放置しない

太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでください。過度の光照射 は撮像素子の褪色・焼き付きを起こすおそれがあります。また、その際撮影された画像に、真っ白くに じみが生じることがあります。

● カメラ本体のお手入れについて

カメラ本体のお手入れの際は、ブロアーでゴミやほこりを軽く吹き払ってから、乾いた柔らかい布で軽 く拭いてください。特に、海辺で使った後は、真水を数滴たらした柔らかい清潔な布で塩分を拭き取っ てから、乾いた柔らかい布で軽く拭いて乾かしてください。まれに、ブラシなどで表示パネルを拭いた 場合に、静電気で表示パネルが点灯したり、黒く変色したりすることがありますが、故障ではありませ ん。しばらくすると元に戻ります。

● ミラーやレンズの手入れ方法について

ミラーやレンズは傷が付きやすいので、ゴミやほこりが付いているときは、ブロアーで軽く吹き払う程度にしてください。なお、スプレー缶タイプのブロアーの場合、スプレー缶を傾けずにお使いください (中の液体が気化されずに吹き出し、ミラーやレンズを傷つける場合があります)。レンズに万一指紋な どが付いてしまった場合は、柔らかい清潔な布に市販のレンズクリーナーを少量湿らせて、軽く拭き取っ てください。

● ローパスフィルターの手入れ方法について

撮像素子の前面にあるローパスフィルターのクリーニングの方法については 四319、321ページをご覧 ください。

● シャッター幕に触れない

シャッター幕は非常に薄いため、押さえたり、突いたり、ブロアーなどで強く吹くなどは、絶対にしな いでください。傷や変形、破損などの原因となります。

M

● 風通しのよい場所に保管する

カビや故障などを防ぐため、風通しのよい乾燥した場所を選んでカメラを保管してください。ナフタリンや樟脳の入ったタンスの中、磁気を発生する器具のそば、高温となる夏季の車内、使用しているストーブの前などにカメラを置かないでください。故障の原因になります。

● 長期間使用しないときは、バッテリーを取り出し、乾燥剤と一緒に保管する

カメラを長期間使用しないときは、バッテリーの液もれなどからカメラを保護するために、必ずカメラ からバッテリーを取り出しておいてください。保管する際は、カメラをポリエチレン袋などに乾燥剤と ー緒に入れておくとより安全です。ただし、皮ケースをビニール袋に入れると、変質することがありま すので避けてください。バッテリーは高温、多湿となる場所を避けて保管してください。乾燥剤(シリ カゲル)は湿気を吸うと効力がなくなるので、ときどき交換してください。カメラを長期間使用しない まま放置しておくと、カビや故障の原因となることがあるので、月に一度を目安にバッテリーを入れ、カ メラを操作することをおすすめします。

● バッテリーやACアダプターを取り外すときは、必ずカメラの電源をOFFにする

カメラの電源がONの状態で、バッテリーを取り出したり、ACアダプターを取り外すと、故障の原因となります。特に撮影中や記録データの削除中に前記の操作は行わないでください。

● 液晶モニターについて

- 液晶モニターの特性上、常時点灯あるいは非点灯の画素が一部存在することがありますが、故障ではありません。あらかじめご了承ください。また、記録される画像には影響ありません。
- •屋外では日差しの加減で液晶モニターが見えにくい場合があります。
- 液晶モニター表面を強くこすったり、強く押したりしないでください。液晶モニターの故障やトラブルの原因になります。もしゴミやほこり等が付着した場合は、ブロアーで吹き払ってください。汚れがひどいときは、柔らかい布やセーム革等で軽く拭き取ってください。万一、液晶モニターが破損した場合、ガラスの破片などでケガをするおそれがあるので充分ご注意ください。中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないよう、充分ご注意ください。
- カメラをお使いにならない場合や持ち運ぶ場合は、汚れ、傷を防ぐため液晶モニターに付属のモニター カバーを取り付けてください。

<u>バッテリーの取り扱いについて</u>

● 使用上のご注意

バッテリーの使用方法を誤ると液もれにより製品が腐食したり、バッテリーが破裂したりするおそれが あります。次の使用上の注意をお守りください。

- ・バッテリーはカメラの電源をOFFにしてから入れる。
- バッテリーを長時間使用した後は、バッテリーが発熱していることがあるので注意する。
- バッテリーの端子は、汚さないように注意する。
- 必ず指定のバッテリーを使う。
- バッテリーを火の中に投入したり、ショートさせたり、分解したりしない。
- •カメラやチャージャーから取り外したバッテリーには、必ず端子カバーを付ける。

● 撮影前にバッテリーをあらかじめ充電する

撮影前にバッテリーを充電してください。付属のバッテリーは、ご購入時にはフル充電されていません。

● 予備バッテリーを用意する

撮影の際は、充電された予備のバッテリーをご用意ください。特に、海外の地域によってはバッテリー の入手が困難な場合があるので、ご注意ください。

● 低温時にはフル充電したバッテリーを使用し、予備のバッテリーを用意する

低温時に消耗したバッテリーを使用すると、カメラが作動しないことがあります。低温時にはフル充電 したバッテリーを使用し、保温した予備のバッテリーを用意して暖めながら交互に使用してください。低 温のために一時的に性能が低下して使えなかったバッテリーでも、常温に戻ると使えることがあります。

● バッテリーの残量について

電池残量がなくなったバッテリーをカメラに入れたまま、何度も電源のON/OFFを繰り返すと、バッテ リーの寿命に影響を及ぼすおそれがあります。電池残量がなくなったバッテリーは、充電してお使いく ださい。

● 充電が完了したバッテリーを続けて再充電しない

バッテリー性能が劣化します。

● 小型充電式電池のリサイクル

不要になった充電式電池は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイ クル協力店へお持ちください。



数字の有無と 数値は、電池 によって異な ります。

撮影モード別:設定できる機能一覧

それぞれの撮影モードごとに、設定できる機能とできない機能をまとめています。表の 見方は次の通りです。

- :設定できます。ツーボタンリセット(□165)で初期設定に戻ります。
- ◎ :設定できます。カスタムメニュー [**カスタムメニューのリセット**] (□230) で 初期設定に戻ります。
- :設定できます。撮影モードを切り換えると、初期設定に戻ります。
- △ :設定できます。撮影メニュー [**撮影メニューのリセット**] (□ 223) で初期設定 に戻ります。
- :設定できません。

💵 撮影モード習、②、P、S、A、M、之、 🖬 、 🧟 、 🔍 、 🕲 、

		AUTO	٢	P	S	A	Μ	ž		:	•; *		
	記録フォルダー設定	\bigtriangleup	\triangle	\bigtriangleup	\triangle	\bigtriangleup		\triangle	\bigtriangleup	\triangle	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\triangle
	ファイル名設定	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\triangle	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup
	スロット2の機能	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup
	画質モード	$\stackrel{\bullet}{\vartriangle}$	$\stackrel{\bullet}{\vartriangle}$	$\bigcirc \\ \bigtriangleup$	$\stackrel{\bullet}{\vartriangle}$	$\stackrel{\bullet}{\vartriangle}$	$\stackrel{\bullet}{\vartriangle}$	$\bigcirc \\ \bigtriangleup$	$\stackrel{\bullet}{\vartriangle}$	$\stackrel{\bullet}{\vartriangle}$	$\stackrel{\bullet}{\bigtriangleup}$	$\bigcirc \\ \bigtriangleup$	$\stackrel{\bullet}{\vartriangle}$
	画像サイズ	$\stackrel{\bullet}{\bigtriangleup}$		$\stackrel{\bullet}{\vartriangle}$					$\stackrel{\bullet}{\bigtriangleup}$		$\stackrel{\bullet}{\vartriangle}$	$\stackrel{\bullet}{\vartriangle}$	$\stackrel{\bullet}{\vartriangle}$
	JPEG圧縮	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\triangle	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup
	RAW記録	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup
I	ホワイトバランス	-	-	$\stackrel{\bullet}{\bigtriangleup}$				_	-	-	-	-	-
Ч	ピクチャーコントロール	—	—	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	—	—	—	-	—	—
X	自動ゆがみ補正	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\triangle	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup
影	色空間	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\triangle	\triangle	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup
蜇	アクティブD-ライティング	- *	- *	$\bigcirc \\ \bigtriangleup$		$\stackrel{\bullet}{\bigtriangleup}$		- *	- *	- *	- *	- *	- *
	長秒時ノイズ低減	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\triangle	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup
	高感度ノイズ低減	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\triangle	\triangle	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup
	ISO感度設定	$\stackrel{\bullet}{\bigtriangleup}$		$\stackrel{\bullet}{\bigtriangleup}$		$\stackrel{\bullet}{\bigtriangleup}$			$\stackrel{\bullet}{\bigtriangleup}$		$\stackrel{\bullet}{\bigtriangleup}$	$\stackrel{\bullet}{\bigtriangleup}$	$\stackrel{\bullet}{\bigtriangleup}$
	多重露出	_	-					_	_	-	-	_	-
	動画の設定	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\triangle	\triangle	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup
	インターバルタイマー撮影	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\triangle	\triangle	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup
	リモコンモード設定	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\triangle	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup

※アクティブD-ライティングは、常に [**オート**] になります。

		AUTO	٤	Р	S	A	М	ž		<u>ي</u> :	°,	Ÿ	<u>•</u> *
	ファインダー撮影時のAFモード	0	0	•	•	•	•	•	0	0	•	•	0
	ファインダー撮影時の	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	
	ライブビュー /動画撮影時の	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•
	AFE-F	0	0				_	0	0	0	0	0	0
り設定	ライフヒュー /動画撮影時の AFエリアモード	\bigcirc	0	•	•	•	•	0	0	0	0	0	\bigcirc
画	AEロックのホールド状態	۲	•	•	•	•	•	•			•	•	
影	プログラムシフト	—	—		—	—	—	—	—	—	—	—	-
闄	測光モード	—	_	٠	\bullet	\bullet	\bullet	—	_	_	_	_	-
	露出補正	_	_	\bullet	\bullet			_	_	_	_	_	-
	オートブラケティング	-	_					_	_	_	_	-	-
	フラッシュモード	\bigcirc	_	•	•	•	•	0	_	0	_	0	\bigcirc
	調光補正	—	—	\bullet	•	•	\bullet	—	—	—	—	—	-
	FVロック	۲	—						_		—		
	a1:AF-Cモード時の優先	O	O	O	O	O	O	O	0	0	O	0	O
	a2:AF-Sモード時の優先	\bigcirc	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O
	a3:AFロックオン	O	O	O	O	O	O	O	0	0	O	0	O
	a4:フォーカスポイント照明	\bigcirc	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	O
	a5:フォーカスポイント循環選択	O	O	O	O	O	O	O	0	0	O	0	O
	a6:AF点数切り換え	\bigcirc	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	O
	a7:内蔵AF補助光の照射設定	O	O	0	O	0	O	O	—	O	—	0	O
Ц I	a8:ライブビュー/動画撮影時の AF	•		0	0	0	0						
X		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Ž	b2:露出設定ステップ幅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
K V	b3:露出補正簡易設定	_	_	0	0	0	0	_	_	_	_	_	_
R	b4:中央部重点測光範囲	_	_	0	0	0	0	_	_	_	_	_	_
	b5:基準露出レベルの調節	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	c1:半押しAEロック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	c2:半押しタイマー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	c3:セルフタイマー	O	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	O
	c4:液晶モニターの パワーオフ時間	O	O	O	0	O	O	O	0	0	O	O	0
	c5:リモコン待機時間	\bigcirc	O	O	O	0	O	O	O	O	O	O	0

		AUTO	٢	P	S	A	Μ	ž		<u>ي</u>	ંત	*	<u>o</u> *
	d1:電子音設定	O	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	d2:格子線の表示	\bigcirc	0	0	O	O	0	O	0	0	O	O	0
	d3:ISO感度表示と簡易設定	\bigcirc	0	0	O	O	0	O	0	0	O	O	0
	d4:ファインダー内警告表示	\bigcirc	0	0	0	0	0	0	0	0	O	O	O
	d5:インフォ画面のガイド表示	\bigcirc	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O
	d6:低速連続撮影速度	\bigcirc	0	0	0	0	0	0	0	0	O	O	O
	d7:連続撮影コマ数	\bigcirc	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O
	d8:連番モード	\bigcirc	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O
	d9:インフォ画面の表示設定	\bigcirc	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O
	d10:イルミネーター点灯	\bigcirc	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O
	d11:露出ディレーモード	\bigcirc	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O
	d12:フラッシュ使用推奨表示	—	-	O	O	O	O	—	—	-	-	-	-
	d13:MB-D11電池設定	\bigcirc	0	0	O	O	O	O	O	0	O	O	0
	d14:電池の使用順序	\bigcirc	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O
	e1:フラッシュ撮影同調速度	\bigcirc	0	0	O	O	O	O	O	0	0	0	O
1	e2:フラッシュ時シャッター	_	_	0			0	_	_	_	_	_	_
Ϋ́	スピード制限												
7	e3:内蔵フラッシュ発光/	_	_	0	0	0	0	_	_	_	_	_	_
<	外付けフラッシュ発光												
7	e4:モデリング発光	-	-	O	O	O	O	-	-	-	-	-	_
	e5:オートブラケティングの	_	_	0	0	0	0	_	_	_	_	_	_
	セット												
	e6:BKTの順序	—	-	0	O	O	O	-	-	-	-	-	_
	f1: 🔆 スイッチの機能	\bigcirc	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	f2:OKボタンの機能(撮影モード)	\bigcirc	O	O	O	O	O	O	O	0	O	O	0
	f3:Fnボタンの機能	\bigcirc	O	O	O	O	O	O	O	0	O	O	0
	f4:プレビューボタンの機能	\bigcirc	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O
	f5:AE/AFロックボタンの機能	\bigcirc	O	O	O	O	O	0	O	0	O	O	0
	f6:コマンドダイヤルの設定	\bigcirc	O	0	O	O	0	0	0	0	0	0	0
	f7:ボタンのホールド設定	\bigcirc	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	f8:カードなし時レリーズ	\bigcirc	0	0	O	O	O	0	O	0	0	0	0
	f9:インジケーター表示の	\bigcirc	0	0	0	0	0	\bigcirc	0	\bigcirc	O	O	\bigcirc
	+/一方向												
	f10:MB-D11の日ボタンの機能	\bigcirc	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O

トーメックアイ

Ø

■撮影モー	ド記、	×.)/8 .	ا	ا	₩,	٥.	Ø,	Ģ ,	. 41.	<u>.</u>	HI 🗸	Lo
-------	-----	----	--------------	---	---	----	----	----	------------	-------	----------	------	----

		.	X]/8	ä	ä	*	4	9	Ģ	۳٩	ã	Hi	Lo
	記録フォルダー設定	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\triangle		\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\triangle	\triangle	\bigtriangleup
	ファイル名設定	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup
	スロット2の機能	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup
	画質モード					$\stackrel{\bullet}{\vartriangle}$			$\stackrel{\bullet}{\vartriangle}$			$\stackrel{\bullet}{\vartriangle}$		
	画像サイズ													
	JPEG圧縮	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup
	RAW記録	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\triangle	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\triangle	\triangle	\bigtriangleup	\bigtriangleup
L.	ホワイトバランス	-	-	—	-	-	—	—	—	-	-	-	—	-
Ч	ピクチャーコントロール	-	-	—	—	-	—	—	-	-	-	-	-	-
X	自動ゆがみ補正	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\triangle	\triangle	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\triangle	\triangle	\triangle	\bigtriangleup
憲憲	色空間	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\triangle	\triangle	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\triangle	\triangle	\triangle	\bigtriangleup
	アクティブD-ライティング	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	-	—	-
	長秒時ノイズ低減	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup
	高感度ノイズ低減	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\triangle	\triangle	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup
	ISO感度設定													
	多重露出	-	-	—	_	—	—	—	—	-	—	—	—	-
	動画の設定	\triangle	\triangle	\bigtriangleup		\triangle	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\triangle	\triangle	\bigtriangleup		\triangle
	インターバルタイマー撮影	\triangle	\triangle	\bigtriangleup		\triangle	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\triangle	\triangle	\bigtriangleup		\triangle
	リモコンモード設定	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\triangle	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\bigtriangleup	\triangle	\triangle	\bigtriangleup	\bigtriangleup
	ファインダー撮影時のAFモード	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•
	ファインダー撮影時の AFエリアモード	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•
	ライブビュー /動画撮影時の AFモード	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•
り設定	ライブビュー /動画撮影時の AFエリアモード	\bigcirc	•	•	\bigcirc	•	•	•	•	•	•	•	•	•
画	AEロックのホールド状態		\bullet	\bullet	\bullet		\bullet	\bullet	۲	\bullet		۲		\bullet
影関	プログラムシフト	-	-	—	-	-	—	—	-	-	-	-	—	-
撮馬	測光モード	-	-	—	-	-	—	—	—	-	-	-	-	-
	露出補正	-	-	—	-	-	—	—	-	-	-	-	-	-
	オートブラケティング	-	-	—	-	-	—	—	-	-	-	-	-	-
	フラッシュモード	-	•	_	_	_	\bigcirc	_	_	-	•	_	_	-
	調光補正	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	FVロック	-	\bullet	-	-	-		-	-	-		-	-	-
	1													

※アクティブD-ライティングは、常に [オート] になります。

V

			*)/8		÷	**	4	Ģ	Ģ	۳٩	2	HI	Lo
-	a1:AF-Cモード時の優先	\bigcirc	O	0	\bigcirc	O	0	O	\bigcirc	\bigcirc	O	O	0	0
	a2:AF-Sモード時の優先	\bigcirc	O	O	\bigcirc	O	O	O	\bigcirc	\bigcirc	O	O	0	0
	a3:AFロックオン	\bigcirc	O	O	\bigcirc	O	O	O	\bigcirc	\bigcirc	O	O	0	0
	a4:フォーカスポイント照明	\bigcirc	\bigcirc	O	\bigcirc	O	O	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	O	O
	a5:フォーカスポイント循環選択	\bigcirc	\bigcirc	O	\bigcirc	O	O	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	O	O
	a6:AF点数切り換え	\bigcirc	\bigcirc	O	\bigcirc	\bigcirc	O	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	O	\bigcirc
	a7:内蔵AF補助光の照射設定	—	\bigcirc	_	—	—	_	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	O	\bigcirc
	a8:ライブビュー / 動画撮影時の AF								\odot	\odot				
	b1:ISO感度設定ステップ幅	\bigcirc	\bigcirc	O	\bigcirc	\bigcirc	O	O	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	0	O
	b2:露出設定ステップ幅	\bigcirc	\bigcirc	O	\bigcirc	\bigcirc	O	O	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	O	0
	b3:露出補正簡易設定	-	—	—	-	-	—	—	-	—	—	—	—	_
	b4:中央部重点測光範囲	—	—	-	—	—	-	—	-	-	-	—	—	_
	b5:基準露出レベルの調節	\bigcirc	O	O	\bigcirc	O	O	O	\bigcirc	\bigcirc	O	O	0	O
l	c1:半押しAEロック	\bigcirc	\bigcirc	O	\bigcirc	\bigcirc	O	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	O	\bigcirc
	c2:半押しタイマー	\bigcirc	\bigcirc	O	\bigcirc	\bigcirc	O	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	O	\bigcirc
X	c3:セルフタイマー	\bigcirc	\bigcirc	O	\bigcirc	\bigcirc	O	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	O	\bigcirc
スタ1	c4:液晶モニターの パワーオフ時間	\bigcirc	O	O	\bigcirc	O	O	O	O	O	O	O	O	O
Ł	c5:リモコン待機時間	O	O	0	O	0	0	O	0	0	O	O	0	0
	d1:電子音設定	\bigcirc	O	0	\bigcirc	0	0	O	\bigcirc	\bigcirc	O	O	0	0
	d2:格子線の表示	\bigcirc	Ô	0	\bigcirc	O	0	O	\bigcirc	\bigcirc	O	Ô	0	0
	d3:ISO感度表示と簡易設定	\bigcirc	O	0	\bigcirc	O	0	O	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	O	0	0
	d4:ファインダー内警告表示	\bigcirc	\bigcirc	0	\bigcirc	O	0	O	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	0	0
	d5:インフォ画面のガイド表示	\bigcirc	\bigcirc	0	\bigcirc	O	0	O	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	0	0
	d6:低速連続撮影速度	\bigcirc	\bigcirc	O	\bigcirc	\bigcirc	O	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	O	0
	d7:連続撮影コマ数	\bigcirc	\bigcirc	O	\bigcirc	\bigcirc	O	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	O	0
	d8:連番モード	\bigcirc	O	O	\bigcirc	O	O	O	\bigcirc	\bigcirc	O	O	O	0
	d9:インフォ画面の表示設定	\bigcirc	O	O	\bigcirc	O	O	O	\bigcirc	\bigcirc	O	O	0	O
	d10:イルミネーター点灯	\bigcirc	O	O	\bigcirc	O	O	O	\bigcirc	\bigcirc	O	O	O	0
	d11:露出ディレーモード	\bigcirc	\bigcirc	O	\bigcirc	O	O	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	O	\bigcirc
	d12:フラッシュ使用推奨表示	_	—	-	_	-	-	_	-	-	_	—	_	
	d13:MB-D11電池設定	0	0	O	0	O	O	O	\bigcirc	O	O	0	O	O
	d14:電池の使用順序	\bigcirc	\bigcirc	O	\bigcirc	\bigcirc	O	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	O	\bigcirc

レイント

U

	≞	*)/8		:	**	4	9	Ģ	۳٩	2	Ht	Lo
e1:フラッシュ撮影同調速度	O	O	O	O	O	O	O	O	0	0	O	0	0
e2:フラッシュ時シャッター スピード制限	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
e3:内蔵フラッシュ発光/ 外付けフラッシュ発光	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
e4:モデリング発光	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	-
e5:オートブラケティングの	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
セット													
e6:BKTの順序	—	—	—	—	—	—	—	—	-	—	—	-	-
f1: 🔆 スイッチの機能	O	O	O	O	O	O	O	O	0	O	O	0	0
f2:OKボタンの機能(撮影モード)	O	\bigcirc	\bigcirc	O	O	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	O	O	O	O	O
f3:Fnボタンの機能	0	0	O	0	0	O	0	0	0	0	0	0	0
f4:プレビューボタンの機能	O	\bigcirc	\bigcirc	O	O	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	O	O	O	O	O
f5:AE/AFロックボタンの機能	O	O	O	O	O	O	O	O	O	0	O	O	O
f6:コマンドダイヤルの設定	0	0	O	0	0	O	0	0	0	0	0	0	0
f7:ボタンのホールド設定	O	O	O	O	O	O	O	O	O	0	O	O	O
f8:カードなし時レリーズ	O	\bigcirc	O	O	O	O	\bigcirc	\bigcirc	O	O	O	O	O
f9:インジケーター表示の +/-方向	O	0	O	O	O	O	0	O	O	O	O	O	0
f10:MB-D11の日ボタンの機能	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O

Ľ

初期設定一覧

再生、撮影、カスタム、セットアップの各メニューの初期設定は次の通りです。ツーボ タンリセット(凹165)、撮影メニュー[撮影メニューのリセット](凹223)、または カスタムメニュー [カスタムメニューのリセット](凹230)を行うと、それぞれ別の 項目の設定をリセットできます。ツーボタンリセットで初期設定に戻る項目について は、「基本的な機能を初期設定に戻す(ツーボタンリセット)」(凹165)をご覧ください。

■■再生メニューの初期設定

再生メニュー項目	初期設定
[再生フォルダー設定](□215)	D7000
[撮影直後の画像確認] (□220)	しない
[削除後の次再生画像] (□220)	後ろのコマ
[縦位置自動回転] (□221)	しない
[スライドショー] (皿222)	
[インターバル設定](ロ222)	2 秒

■撮影メニューの初期設定

ご購入時の設定に戻すには、撮影メニューの[**撮影メニューのリセット**]を行います (ロ223)。

撮影メニュー項目	初期設定
[ファイル名設定](凹226)	DSC
[スロット2の機能] (印93)	順次記録
[画質モード](□189)	NORMAL
[画像サイズ](□192)	サイズL
[JPEG圧縮](□191)	サイズ優先
[RAW記録] (四91)	
[記録方式] (□191)	ロスレス圧縮RAW
[記録ビットモード] (□191)	14ビット記録
[ホワイトバランス] (印125)	オート:標準
微調整値(囗127)	解除
色温度設定(口130)	5000K
[ピクチャーコントロール] (□141)	スタンダード
[自動ゆがみ補正](□226)	しない
[色空間] (□153)	sRGB
[アクティブD-ライティング](印152)	しない
[長秒時ノイズ低減](□227)	しない
[高感度ノイズ低減](□227)	標準
[ISO感度設定](□105)	
	100
その他のモード	オート
[感度自動制御] (□107)	しない

V

[多重	露出] (□166)	設定解除*1
〔動匪	の設定](□161)	
	[動画の画質] (印61)	1920×1080 24fps 高画質
	[録音設定](□161)	マイク感度 オート(A)
	[動画記録先] (□ 62)	スロット1
	[動画のマニュアル設定](□162)	しない
「イン	/ターバルタイマー撮影](□170)	設定解除*2
[IJŦ	コンモード設定](□284)	2秒リモコン

※1 [撮影メニューのリセット]を行うと、全ての撮影メニューで初期状態(解除、コマ数:2、自動ゲイン補正:する)にリセットされます。なお、多重露出撮影中は、1コマ目を撮影してから解除されるまで[撮影メニューのリセット]を選択できません。

※2[撮影メニューのリセット]を行うと、実行中のインターバルタイマー撮影は終了します。全ての撮影メニューで初期状態(開始トリガー:即時スタート、時間間隔:1分、設定:1回×1コマ、撮影動作:開始しない)にリセットされます。

■カスタムメニューの初期設定

ご購入時の設定に戻すには、カスタムメニューの [**カスタムメニューのリセット**]を行います(ロ230)。

	カスタムメニ	ュー項目	初期設定
a1	[AF-Cモード時の優先](<u> </u>	レリーズ
a2	[AF-Sモード時の優先](m 231)	フォーカス
a3	[AFロックオン] (ロ231)	3(標準)
a4	[フォーカスポイント照明] (\$\mu231)	オート
a5	[フォーカスポイント循環	選択](□232)	しない
аб	[AF点数切り換え] (凹2	32)	39点
a7	「内蔵AF補助光の照射設定	Ĕ] (\$\$\$233)	する
	[ライブビュー /動画撮影	時のAF]	
	[AFモード] (皿23	4)	シングルAFサーボ
a8		💐 🖬 🖌 🚀 🗸 🕅 🕻 🚺	ワイドエリアAF
		SU 11	ノーマルエリアAF
		その他の撮影モード	顔認識AF
b1	[ISO感度設定ステップ幅] (\$\mu234)	1/3 段
b2	[露出設定ステップ幅] ([D 234)	1/3 段
b3	[露出補正簡易設定] (口)	235)	しない
b4	[中央部重点測光範囲] ([D 235)	Ø 8 mm
	[基準露出レベルの調節]	(🖽 236)	
h5	[マルチパターン測)	ť]	0
05	[中央部重点測光]		0
	[スポット測光]		0

M

	カスタムメニュー項目	初期設定
с1	[半押しAEロック](ロ236)	しない
c2	[半押しタイマー](□236)	6 秒
	[セルフタイマー] (印237)	
c3	[時間]	10 秒
	[撮影コマ数]	1
	[連続撮影間隔]	0.5秒
c4	[液晶モニターのパワーオフ時間] (□238)	
	[画像の再生]	10 秒
	[メニュー表示]	20 秒
	[インフォ画面表示]	10 秒
	[撮影直後の画像確認]	4 秒
	[ライブビュー表示]	10分
c5	[リモコン待機時間] (□238)	1分
	[電子音設定] (印239)	
d1	[音量]	電子音なし
	[音の高さ]	高音
d2	[格子線の表示] (ロ239)	しない
d3	[ISO感度表示と簡易設定] (□ 240)	しない
d4	[ファインダー内警告表示] (印240)	する
d5	[インフォ画面のガイド表示] (□1240)	ガイド表示する
d6	[低速連続撮影速度] (□ 241)	3コマ/秒
d7	[連続撮影コマ数] (□1241)	100
d8	[連番モード](□242)	する
d9	[インフォ画面の表示設定] (□243)	自動
d10	[イルミネーター点灯] (□243)	しない
d11	[露出ディレーモード](□243)	しない
d12	[フラッシュ使用推奨表示] (印244)	する
d13	[MB-D11電池設定] (口244)	アルカリ単3形電池
d14	[電池の使用順序] (□245)	MB-D11から
e1	[フラッシュ撮影同調速度] (印246)	1/250 秒
e2	【 フラッシュ時シャッタースピード制限 】(印247)	1/60 秒
e3	[内蔵フラッシュ発光] / [外付けフラッシュ発光] (口 248)	TTLモード
e4	[モデリング発光] (□253)	する
e5	[オートブラケティングのセット](□253)	AE・フラッシュブラケティング
еб	[BKTの順序] (□253)	[0]→[−]→[+]

334

	カスタムメニュー項目	初期設定
f1	[☆スイッチの機能](□ 254)	
f2	[OKボタンの機能(撮影モード)](ロ254)	フォーカスポイント中央リセット
f3	[Fnボタンの機能](□255)	FV-L
f4	[プレビューボタンの機能] (印257)	プレビュー
f5	[AE/AFロックボタンの機能] (印257)	AE-L/AF-L
	[コマンドダイヤルの設定](□258)	
	[回転方向の変更] (□258)	しない
f6	[メインとサブの入れ換え] (印258)	しない
	[絞り値の設定方法] (□1259)	サブコマンドダイヤル
	[再生/メニュー画面で使用](□260)	しない
f7	[ボタンのホールド設定] (□1261)	しない
f8	[カードなし時レリーズ](口261)	レリーズ許可
f9	[インジケーター表示の+/-方向](□261)	+_hininîninih ⊳ −
f10	[MB-D11の圖ボタンの機能] (□262)	AE-L/AF-L

■セットアップメニューの初期設定

セットアップメニュー項目	初期設定		
[ユーザーセッティングの登録] (印77)			
[U1]	撮影モード P の初期設定		
[U2]	撮影モードPの初期設定		
[液晶モニターの明るさ](□1264)	0		
[イメージセンサークリーニング] (印319)			
[電源スイッチに連動] (□1320)	電源ONとOFFで実行		
[HDMI] (CC214)			
[出力解像度] (□1214)	オート		
[機器制御] (□214)	する		
[地域と日時] (□265)			
[夏時間の設定] (CD 265)	しない		
[縦横位置情報の記録] (□1267)	する		
[GPS] (□178)			
[半押しタイマー] (四178)	有効		
[GPSによる日時合わせ](□178)	する		
[Eye-Fi送信機能] (□ 275)	有効		

撮影モードP(プログラムオート)の プログラム線図

次のグラフは、撮影モードが**P**のとき(ロ69)の露出制御プログラム(ISO 100の場合) を表しています。



- 測光範囲により、EV値の両端に制限があります。
- マルチパターン測光では、ISO 100の場合16 1/3を超えるEV値では、全て16 1/3として制御されます。

故障かな?と思ったら

カメラの動作がおかしいときは、ご購入店やニコンサービス機関にお問い合わせになる 前に、次の項目をご確認ください。

表示関連

● ファインダー内がはっきり見えない

視度調節ダイヤルで調節してください。調節後も見え方が不充分な場合は、別売の接眼補助レンズをお使いください(四33、315)。

ファインダー内が暗い
 バッテリー残量は充分ですか? バッテリーが入っていない場合や、入っていても残量が無い
 場合は、ファインダー内が暗く表示される場合があります(ロ22、35)。

 ファインダー内や表示バネル、液晶モニターの表示が、すぐに消えてしまう

カスタムメニュー c2[**半押しタイマー**]やc4[**液晶モニターのパワーオフ時間**]で、表示が消 えるまでの時間を設定できます(印 236、238)。

● 表示パネルに異常な表示が点灯したまま、カメラが作動しない

下記の「デジタルカメラの特性について」をご覧ください。

表示パネルやファインダー内の表示が薄い、表示が遅い
 低温や高温のときは液晶表示の濃度が変わったり、応答速度が遅くなることがあります。
 ファインダー内に線や模様が見える

液晶の特性上、フォーカスポイントなどから外側に延びる細い線が見えたり、フォーカスポイ ントを照明するときにファインダー内が赤くなることがありますが、いずれも故障ではありま せん。

🖉 デジタルカメラの特性について

きわめてまれに、液晶モニターに異常な表示が点灯したまま、カメラが作動しなくなることがありま す。原因として、外部から強力な静電気が電子回路に侵入したことが考えられます。万一このような 状態になった場合は、電源をOFFにしてバッテリーを入れ直し(ACアダプター使用時はいったん外し てから付け直し)、もう一度電源をONにしてください。このときバッテリーが熱くなっていることが あるので、取り扱いには充分にご注意ください。さらに不具合が続く場合は、ニコンサービス機関に お問い合わせください。

撮影関連(全撮影モード共通)

● 電源をONにしてから、撮影できる状態になるまでに時間がかかる

SDカード内にフォルダーや画像が大量にあるときは、ファイル検索のため時間がかかる場合があります。

● シャッターがきれない

- 残量のあるSDカードが入っていますか? (凹29、36)
- SDカードがロックされていませんか? (□32)
- 内蔵フラッシュの充電中はシャッターがきれません(凹158)。
- ピント表示(●)は点灯していますか?
- G タイプレンズ以外の CPU レンズを装着している場合は、レンズの絞りリングを最小絞り (もっとも大きい数値)に設定しないとシャッターがきれません。表示パネルにF**E E**と表示さ れている場合、カスタムメニュー f6 [コマンドダイヤルの設定]の〔絞り値の設定方法〕を [絞りリング]に設定すると、レンズの絞りリングで絞り値を設定できます(¹¹²59)。
- CPUレンズが装着されていますか? 非CPUレンズは撮影モードAまたはM以外ではお使いに なれません(ロ304)。

● リモコンの送信ボタンを押しても撮影できない

- •リモコンの電池残量はありますか? (四316)
- リモコンモードに設定されていますか? (印84)
- •フラッシュの充電中は、シャッターがきれません(凹158)。
- ・送信ボタンを押す前にカスタムメニュー c5 [リモコン待機時間]を過ぎると、リモコンモードはリセットされます(ロ238)。シャッターボタンを半押ししてください。
- •極端な逆光状態などでは、リモコン撮影ができない場合があります。

● 連続撮影できない

内蔵フラッシュが上がっているときは、連続撮影できません(四156)。

● ピントが合わない

- マニュアルフォーカスになっていませんか? オートフォーカスで撮影するには、フォーカ スモードセレクトダイヤルをAFに合わせてください(凹95)。
- 次のような被写体では、オートフォーカスではピントが合わせづらい場合があります。マニュアルフォーカス、フォーカスロックを利用して撮影してください(ロ100、102)。
 明暗差がはっきりしない/遠くのものと近くのものが混在する/連続した繰り返しパターン/輝度差が著しく異なる/背景に対して主要被写体が小さい/絵柄が細かい)

● シャッターボタンを半押ししても、フォーカスロックされない

AFモードがAF-CまたはAF-Aで自動的にAF-Cが選ばれたときは、AE/AFロックボタンを押し てフォーカスをロックしてください(¹¹⁹⁵)。

● フォーカスポイントを選べない

- •フォーカスポイントロックレバーがL(ロック)の位置になっていませんか?(ロ99)
- AFエリアモードがオートエリアAFのときは、選べません(0097)。
- AFエリアモードを

 ④(顔認識AF)にしてライブビュー撮影を行っている場合は、選べません
 (□50)。
- 画像の再生時またはメニューの操作時には、フォーカスポイントを選べません(ロ179、215)。
- 半押しタイマーがオフになっていませんか?フォーカスポイントを選択するには、シャッターボタンを半押しして半押しタイマーをオンにしてください(ロ39)。

● ライブビュー /動画撮影時のAFエリアモードで [ターゲット追尾AF] が選べない [ピクチャーコントロール] が [モノクローム] のときは、[ターゲット追尾AF] を選べません。

● AFエリアモードを変更できない

フォーカスモードセレクトダイヤルがM(マニュアルフォーカス)になっていませんか?(¹¹⁰²)

● 画像サイズを変更できない

[画質モード] が [RAW] のときは、画像サイズを変更できません (ロ90)。

- 画像の記録に時間がかかる
 - 撮影メニュー [長秒時ノイズ低減] が [する] になっていませんか? (ロ227)

● 画像がざらつく

- ISO感度が高くなっていませんか? ISO 800以上の高感度で撮影する場合、撮影メニュー[高 感度ノイズ低減]を[強め]、[標準]、[弱め]のいずれかに設定すれば、ざらつきを低減で きます(口227)。
- シャッタースピードが1秒より低速な場合は、ざらつきが発生しやすくなります。撮影メニュー
 [長秒時ノイズ低減]を[する]にして撮影すると、ざらつきを低減できます(ロ227)。

● AF補助光ランプが光らない

- •次の場合、AF補助光を照射しません。
 - ファインダー撮影時のAFモードがAF-CまたはAF-Aで自動的にAF-Cが選ばれたとき(1195)
 - ライブビュー/動画撮影時
- オートエリアAF以外のAFエリアモードで中央以外のフォーカスポイントが選択された場合 (¹¹97、99)
- カスタムメニューa7 [内蔵AF補助光の照射設定] が [しない] になっていませんか?(ロ233)
- AF補助光ランプを連続して使うと、保護機能が働いて一時的に照射が制限されます。少し時間をおくと再び照射するようになります。また、短時間に何回も使うと、AF補助光ランプが熱くなることがあるのでご注意ください。

● 電子音が鳴らない

- カスタムメニューd1 [電子音設定] の [音量] が [電子音なし] になっていませんか?(□239)
- ▶ レリーズモードがQになっていませんか?(□79)
- フォーカスモードセレクトダイヤルがM(マニュアルフォーカス)になっていませんか?(□102)
- AFモードが**AF-C**になっていませんか? (ロ95)
- •カスタムメニューa2 [AF-Sモード時の優先] が [レリーズ] になっていませんか?(ロ231)
- 動画撮影中ではありませんか? (ロ57)

● 画像にゴミが写り込む

- •レンズの前面または背面(マウント側)が汚れていませんか?
- 撮像素子の前面にあるローパスフィルターにゴミが付着していませんか?イメージセンサークリーニングを行ってください(四319)。

● 動画に音声が録音されない

撮影メニュー [動画の設定]の [録音設定] が [録音しない] になっていませんか?

ライブビュー表示中の液晶モニターに表示された明るさと、撮影した画像の明るさ(露出)が違う 次の条件で撮影した場合、液晶モニターに表示された明るさと、撮影した画像の明るさが異な ることがあります。

- 測光モードが、中央部重点測光またはスポット測光(□109)のとき
- 撮影モードがMのとき
- 被写体が明るすぎるまたは暗すぎるとき
- •アクティブD-ライティング設定時(凹151)
- バルブ撮影時(凹74)
- •フラッシュ撮影時(凹155)

Å

● ライブビュー表示中や動画撮影時に画面にちらつきや横縞が生じる

セットアップメニュー [**フリッカー低減**] の設定を、カメラをお使いになる地域の電源周波数に 合わせてください(ロ265)。

● ライブビュー表示中や動画撮影時に横帯状の明るい部分が生じる

撮影している周囲でスピードライトやフラッシュなどが発光された場合には、画面の上部や下 部が明るくなったり、明るい横帯が発生することがあります。

● 選択または設定できないメニュー項目がある 撮影モードによっては、設定できない機能があります。この場合、その項目は選択できません(□326)。

<u>撮影関連(撮影モードP、S、A、M)</u>

● シャッターがきれない

- CPUレンズが装着されていますか? 非CPUレンズはA、M以外の撮影モードではお使いになれません(ロ301)。
- •撮影モードMでシャッタースピードをbuibに設定し、そのまま撮影モードをSに変更した場合は、シャッタースピードを再設定してから撮影してください(ロ70)。

シャッターがきれるのが遅い

カスタムメニュー d11 [露出ディレーモード] を [しない] にしてください (印243)。

- 設定できるシャッタースピードの範囲が狭い
 - フラッシュ撮影時は、シャッタースピードが制限されます。フラッシュ撮影時の同調シャッタースピードは、カスタムメニューe1 [フラッシュ撮影同調速度] で、1/320~1/60秒の範囲で設定できます。[1/320秒(オートFP)]または[1/250秒(オートFP)]に設定して、別売のスピードライトSB-900、SB-800、SB-700、SB-600、SB-R200を使用すると、全シャッタースピードに同調可能なオートFP ハイスピードシンクロが可能です(ロ246)。
 - 撮影メニュー [動画の設定]の (動画のマニュアル設定]が [する]のときは、1/8000~ 1/30秒の範囲でシャッタースピードを設定できます(□162)。
- 画像の色合いがおかしい
 - •ホワイトバランスは正しく設定されていますか? (ロ125)
 - •撮影メニュー [ピクチャーコントロール] は正しく設定されていますか? (四141)
- ホワイトバランスのプリセットマニュアルのデータが取得できない
 - 被写体が明るすぎるか、暗すぎます(凹133)。
- ホワイトバランスのプリセットマニュアルのデータとして設定できない画像がある

この機種以外のカメラで撮影した画像は、プリセットマニュアルデータとして設定することはできません(ロ136)。

● ホワイトバランス (WB) ブラケティング撮影ができない

- RAWまたはRAWを含む画質モードの場合、ホワイトバランスブラケティング撮影はできません(四89、119)。
- ホワイトバランスブラケティングと多重露出による撮影を同時に行うことはできません (四169)。

● [ピクチャーコントロール] の効果が安定しない

[ピクチャーコントロール]、[カスタムピクチャーコントロール]の調整画面で、[輪郭強調]、 [コントラスト]、[色の濃さ(彩度)]のいずれかが [A](オート)に設定されています。ピク チャーコントロールの効果を一定にするには、これらの項目を [A](オート)以外に設定して ください(ロ145)。

V
● 測光モードが変更できない

AEロック中は、測光モードを変更できません(□112)。

● 露出補正ができない

撮影モードがMの場合、露出補正を行っても、露出インジケーターの表示が変化するだけで、 シャッタースピードと絞り値は変化しません(印113)。

● 画像の一部が赤っぽくなる

シャッタースピードを**bulb**にした場合など、長時間露出で撮影すると、画像の一部が赤っぽ くなることがあります。この現象は、撮影メニュー [**長秒時ノイズ低減**]を [**する**] に設定す ることで低減できます (ロ227)。

● 画像にむらが出る

シャッタースピードを**bu : b**にした場合など、長時間露出で撮影すると、画像の一部にむらが 出ることがあります。この現象は、撮影メニュー [**長秒時ノイズ低減**]を [**する**] に設定する ことで低減できます (ロ227)。

再生関連

画像情報の設定が撮影情報表示になっています(□181、217)。

● グラフが表示される

画像情報の設定がRGBヒストグラム表示になっています(ロ181、217)。

● RAW画像が表示されない

[**画質モード**] を [**RAW+FINE**]、[**RAW+NORMAL**]、[**RAW+BASIC**] にして撮影した画 像は、JPEG画像しか再生されません(ロ90)。

● 他のカメラで撮影した画像が表示されない

この機種以外のカメラで撮影した画像は、正常に表示されないことがあります。

● 全ての画像が表示されない

再生メニュー [再生フォルダー設定]を [全てのフォルダー] にしてください (印215)。

- 画像の縦位置・横位置が正しく表示されない
 - 再生メニュー [縦位置自動回転] が [しない] になっていませんか? (□221)
 - セットアップメニュー [縦横位置情報の記録] が [しない] になっていませんか? (ロ267)
 - ●撮影直後の画像確認では自動回転はしません(□220)。
 - カメラを上向き・下向きにして撮影すると、姿勢情報が正しく得られない場合があります
 (□267)。

● 画像が削除できない

- SDカードがロックされていませんか? (□32)
- 画像にプロテクトが設定されていませんか? (凹192)

● 画像が編集できない

このカメラでは編集できない画像です(0278)。

● [撮影画像がありません] と表示される

SDカードの交換直後に画像を再生するときは、再生メニュー[**再生フォルダー設定**]を[全てのフォルダー]にしてください(ロ215)。

● プリント指定ができない

- SDカードがロックされていませんか? (□32)
- SDカードの空き容量が不足していませんか? (□36)
- ダイレクトプリントができない
 - RAW画像はダイレクトプリントできません (凹204)。
- RAW画像をプリントできない
 - ・画像編集メニューの[RAW現像]などでRAW画像からJPEG画像を作成してからプリントしてください(ロ287)。
 - RAW 画像はパソコンに転送してから、付属ソフトウェアや別売のCapture NX 2などのソフト ウェアを使ってプリントしてください(口316)。
- 画像がテレビに映らない セットアップメニュー「ビデオ出力」が正しく設定されていますか?(□264)
- **画像がHDMI機器で再生できない** 市販のHDMIケーブルが正しく接続されているか確認してください(□213)。
- HDMI-CEC対応機器のリモコンから制御できない
 - セットアップメニューの [HDMI] の [機器制御] が [する] になっているか確認してください (□214)。
 - テレビ側のHDMI-CECの設定については、テレビの使用説明書などをご覧ください。
- 画像をパソコンに転送できない

お使いのパソコンのOSによっては、カメラをパソコンに接続して画像を転送できないことがあります(ロ197)。カードリーダーなどの機器を使って、SDカードの画像をパソコンに保存してください。

● Capture NX 2で画像が表示されない

ソフトウェアのバージョンが最新になっていますか?(ロ316)

● Capture NX 2でイメージダストオフ機能が動作しない

- 次の場合は、イメージセンサークリーニングにより、ローパスフィルター表面のゴミの位置が 変わってしまうため、イメージダストオフ機能を使用できません。
- イメージセンサークリーニングを実行する前に撮影した画像に対して、クリーニング後に取得したイメージダストオフデータを使ってゴミの写り込みを取り除こうとしたとき
- イメージセンサークリーニングを実行する前に取得したイメージダストオフデータを使って、 クリーニング後に撮影した画像に対してゴミの写り込みを取り除こうとしたとき(ロ268)
- [ピクチャーコントロール]、[アクティブD-ライティング]の効果がパソコンで確認できない RAW画像で記録した場合、ニコン製ソフトウェア以外では機能しません。RAW画像の現像は 付属のViewNX 2や、別売のCapture NX 2をお使いください。

<u>その他</u>

● 撮影日時が正しく表示されない

カメラの内蔵時計は合っていますか? カメラの内蔵時計は腕時計などの一般的な時計ほど精 度は高くないので、定期的に日時設定を行うことをおすすめします(ロ28、265)。

● 表示されているメニュー項目が選択できない

• SDカードをカメラに挿入していないときは、選択できない項目があります。

- 一部のメニュー項目は、カメラの設定状況によって選択できない場合があります。
- セットアップメニュー [電池チェック]は、電源に別売のパワーコネクター EP-5BとACアダプター EH-5aを使用している場合は選択できません(ロ270)。

M

警告メッセージ

表示パネル、ファインダー、液晶モニターに表示される警告メッセージの意味は次の通りです。

こんなとき				
表示パネル	ファインダー 内表示	原因	対処方法	
FE E	FE E	レンズの絞りリングが最小絞	レンズの絞りリングを最小絞り	27
(点滅)	(点滅)	りになっていません。	(最も大きい値)にしてください。	21
۹۹		バッテリー残量は残りわずか です。	バッテリー交換の準備をしてくだ さい。	35
	a	 ・バッテリーが消耗しています。 ・バッテリーとの情報通信ができません。 ・別売のマルチパワーバッテリーパックMB-D11装着時 	 ・バッテリーを交換してください。 ・バッテリーを充電してください。 ・このバッテリーは使用できません。ニコンサービス機関にご相談ください。 ・極端に消耗したバッテリーを使用している場合は、充電してくだ 	24 22 370 22
(点滅)	(点滅)	に、極端に消耗している Li-ion リチャージャブル バッテリー EN-EL15、また はカメラと通信できない バッテリーをカメラか MB-D11のいずれかで使用 しています。	さい。 • カメラと通信できないバッテ リーを使用している場合は、ニコ ン純正品のバッテリーと交換し てください。	xvi, 25, 314
CLOCK (点滅)		内蔵時計の日時が設定されて いません。	日時を設定してください。	28
۵F	۵F	開放絞りからの絞り段数が表示されています。非CPUレンズが装着されているか、またはレンズが装着されていない状態で、レンズの開放絞り値が設定されていません。	レンズの開放絞り値を設定すると、 レンズの絞り値が表示されます。	175
F (点滅)	F (点滅)	レンズが装着されていない か、非CPUレンズが装着され ています。	 CPU レンズを装着してください。 すでにCPUレンズを装着している場合は、一度レンズを取り外してから、レンズを装着し直してください。 非CPUレンズを装着しているときは、撮影モードAまたはMで撮影してください。 	26、 301 303
_	● (点滅)	オートフォーカスでピント合 わせができません。	構図を変えるか、マニュアル(手 動)でピント合わせを行ってくだ さい。	102

V

こんなとき				
表示パタル	ファインダー	原因	対処方法	\square
10/1/1/1/	内表示			
ж і	× 1	被写体が明るすぎてカメラの 制御範囲を超えています。	 ISO感度を低くしてください。 撮影モードがPのときは市販の NDフィルター(光量調節用)を 使用してください(S、Aのとき に下記の操作を行っても警告表 示が消えない場合も同様に対応 してください)。 撮影モードがSのときはシャッ タースピードをより高速側に セットしてください。 撮影モードがAのときは絞りを絞 り込んで(より大きい数値にし て)ください) 	105 315 70 71
Lo	ίo	被写体が暗すぎて、カメラの 制御範囲を超えています。	 ・) くんとい。 ・) ISO感度を高くしてください。 ・撮影モードがPのときはフラッシュを使用してください(S、Aのときに下記の操作を行っても警告表示が消えない場合も同様に対応してください)。 ・撮影モードがSのときはシャッタースピードをより低速側にセットしてください。 ・撮影モードがAのときは絞りを開いて(より小さい数値にして)ください。 	105 155 70 71
ちぃとち (点滅)	ひぃとひ (点滅)	撮影モードがSのときにシャッ タースピードが bu L b に セットされています。	 シャッタースピードを変えてく ださい。 撮影モードMで撮影してください。 	70 、 72
 (点滅)	 (点滅)	撮影モードがSのときにシャッ タースピードが - ・にセット されています。	 シャッタースピードを変えてく ださい。 撮影モードMで撮影してください。 	70 、 72
↓ (点滅)	↓ (点滅)	i-TTL対応していないスピー ドライト(別売)をTTLモー ドにセットしています。	TTLモード以外のモードにセットし てください。	311
_	~ (点滅)	フラッシュがフル発光しまし た。	撮影に必要な光量が不足している 可能性があります。撮影距離、 絞り値、調光範囲、ISO 感度など をご確認ください。	159

Ľ

こんなとき				
まテパクル	ファインダー	原因	対処方法	
衣小ハイル	内表示			
Full (点滅)	Fut (点滅)	 ・画像を記録する空き容量がありません。 ・カメラが扱えるファイル数をオーバーしています。 	 SDカードに記録されている画像 を削除して、SDカードに画像 ファイルが保存可能な状態にし てください。必要な画像はパソ コンなどに転送してバックアッ プしてください。 新しいSDカードに交換してくだ 	193 29
			さい。	
E<i>r r</i> (点滅)	E<i>r r</i> (点滅)	撮影中に何らかの異常を検出 しました。	もう一度シャッターボタンを押し てください。警告表示が解除され ない場合や、頻繁に警告が表示さ れる場合は、ニコンサービス機関 にご相談ください。	370

こんなとき		百田	动机方注	m
液晶モニター	表示パネル	尿四	刘元门立	
メモリーカードが入って いません。	(- E -)	SDカードが入って いないか、正しく セットされていませ ん。	SDカードを正しくセットして ください。	29
		 SDカードへのアク セス異常です。 	 このカメラ用のSDカードで あるかどうかを確認してくだ さい。 	359
このメモリーカードは			 SDカードが壊れている可能 性があります。ニコンサービス機関にご連絡願います。 	370
壊れている可能性がある ため、使用できません。 カードを交換して ください。	[Я r d 、 E r r (点滅)	 新規フォルダーが 作成できません。 	 SDカードに記録されている 画像を削除して、SDカード に画像ファイルが保存可能な 状態にしてください。必要な 画像はパソコンなどに転送し てバックアップしてくださ い。 	193
			 新しいSDカードに交換して ください。 	29
			 Eye-Fiカードのファームウェ アが最新版になっているか確 認してください。 	275
8	[Я r d、 E r r (点滅)	Eye-Fiカードをコン トロールできませ ん。	 新しいSDカードに交換する か、必要な画像をパソコンな どに転送してバックアップし た後、カメラでEye-Fiカード をフォーマットしてからご使 用ください。 	29
メモリーカードが書き込み 禁止になっています。	[Я - 	SDカードの書き込み 禁止スイッチがロッ クされています。	SDカードのロックを解除して ください。	32
Eye-Fiカードは書き込み 禁止の状態では使用でき ません。	[Я r d 、 E r r (点滅)	SDカードの書き込み 禁止スイッチがロッ クされています。	Eye-Fiカードのロックを解除 してください。	32
このメモリーカードは			 SDカードを初期化してくだ 	31.
初期化 (フォーマット)さ れていません。 フォーマットして ください。	(For) (点滅)	SDガートか正しく 初期化されていません。	 正しく初期化されたSDカードに交換してください。 	264 29
接続中のスピードライト はバージョンアップに失 敗しているため使用でき ません。サービス機関に お問い合わせください。		バージョンアップに 失敗したスピードラ イトがカメラに装着 されています。	接続中のスピードライトは バージョンアップに失敗して いるため使用できません。 ニコンサービス機関にご相談 ください。	370

Ľ

こんなとき		F	动机专注	m
液晶モニター	表示パネル	原囚	刘処万法	
撮影画像が ありません。	_	 撮影画像がありません。 再生するフォルダーの指定に問題があります。 	 ・画像が記録されているSDカードを入れてください。 ・再生メニューの[再生フォルダー設定]で、表示可能な画像があるフォルダーを選択してください。 	29 215
全ての画像が非表示に 設定されています。		記録されている画像 が非表示設定されて いるために表示され ません。	再生メニューの[非表示設定] で、画像の非表示設定を解除 してください。	216
このファイルは表示 できません。	_	 パソコンで編集した画像など、DCF規格外の画像ファイルのため再生できません。 画像ファイルに異常があるため再生できません。 	パソコンで編集された画像を 上書き保存しないでください。	_
このファイルは選択 できません。		編集できない画像 です。	このカメラで撮影または編集 した画像しか画像編集できま せん。	278
この動画は編集 できません。	_	編集できない動画 です。	 このカメラで撮影した動画し か編集できません。 2 秒未満の動画は編集できま せん。 	65 65
プリンターの状態を確認 してください。*	_	プリンターに異常が あります。	用紙切れなどエラーの原因を 取り除いた後、[継続] を選ん で [®] ボタンを押すと、プリン トが再開されます(エラー内 容によっては、[継続] を選べ ない場合があります)。	201
用紙を確認して ください。*		指定したサイズの用 紙がセットされてい ません。	指定したサイズの用紙をセットした後、[継続] を選んで ・の ボタンを押して、プリントを再開してください。	201
紙詰まりです。*		用紙が詰まりました。	詰まった用紙を取り除いた後、 [継続]を選んで ∞ ボタンを 押して、プリントを再開して ください。	201
用紙がありません。※	_	用紙がセットされて いません。	指定したサイズの用紙をセッ トした後、[継続] を選んで ☞ ボタンを押して、プリント を再開してください。	201

347

Ľ

こんなとき		百田	动机方法	m
液晶モニター	表示パネル	赤凶		
インクを確認して		インクに異党があり	インクを確認した後、[継続]	
インノで唯応して ノださい ※		インノに共市がのり	を選んで 🞯 ボタンを押して、	201
		σ9°	プリントを再開してください。	
		ノンクジャノナのキ	インクを交換した後、[継続]	
インクがありません。*		1 22 20 4 2 5	を選んで 🞯 ボタンを押して、	201
		U/Co	プリントを再開してください。	

※プリンターの使用説明書もあわせてご覧ください。

Ø

主な仕様

<u>ニコンデジタルカメラ D7000</u>

型式	
型式	レンズ交換式一眼レフレックスタイプデジタルカメラ
レンズマウント	ニコンFマウント(AFカップリング、AF接点付)
実撮影画角	レンズの焦点距離の約1.5倍に相当、ニコンDXフォーマット
有効画素数	
有効画素数	16.2メガピクセル
撮像素子	
方式	23.6×15.6mmサイズCMOSセンサー
総画素数	16.9 メガピクセル
ダスト低減機能	イメージセンサークリーニング、イメージダストオフデータ取得 (別売
	Capture NX 2必要)
記録形式	
	● 4928 × 3264 ピクセル (サイズL)
記録画素数	●3696×2448 ピクセル (サイズM)
	•2464×1632ピクセル(サイズS)
	● RAW 12ビット/14ビット (ロスレス圧縮、圧縮)
	• JPEG-Baseline準拠、圧縮率(約): FINE (1/4)、NORMAL (1/8)、BASIC
画質モート	(1/16) サイズ優先時、画質優先選択可能
	• BAWと IPEGの同時記録可能
ピクチャー	スタンダード、ニュートラル、ビビッド、モノクローム、ポートレート、岡昌、
コントロールシステム	いずわも調整可能、カスタんピクチャーコントロール登録可能
記録媒体	SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカード対応
ダブルスロット	順次記録、同時記録、RAW+JPEG分割記録ならびにカード間コピー
	DCF 2.0 (Design rule for Camera File system),
	DPOF (Digital Print Order Format)
对心规格	Exif 2.3 (Exchangeable image file format for digital still cameras),
	PictBridge
ファインダー	
ファインダー	アイレベル式ペンタプリズム使用一眼レフレックス式ファインダー
視野率	上下左右とも約100%(対実画面)
倍率	約0.94倍(50mm f/1.4レンズ使用、∞、–1.0 m ⁻¹ のとき)
アイポイント	19.5 mm (–1.0 m ⁻¹ のとき)
視度調節範囲	$-3 \sim +1 \text{ m}^{-1}$
ファインダー	R型クリアマットスクリーンⅡ(ΔFエリアフレーム付 構図田格子線表示可能)
スクリーン	
ミラー	クイックリターン式
プレビュー	プレビューボタンによる絞り込み可能、撮影モードA、Mでは設定絞り値まで絞
	り込み可能、その他の撮影モードでは制御絞り値まで絞り込み可能
レンズ絞り	瞬間復元式、電子制御式

V

l	レンズ	
		 DXレンズ:フル機能使用可 GまたはDタイプレンズ(IXニッコールを除く):フル機能使用可(PCマイク)
-		ロニッコールを除く) • GまたはDタイブ以外のAFリンズ (F3AF 田を除く): 3D-RGBマルチパターン
	交換レンズ	測光 を除く機能使用可
		• Pタイプレンズ : 3D-RGBマルチパターン測光 を除く機能使用可
		• 非CPUレンズ:撮影モードA、Mで可、レンズ情報手動設定でRGBマルチパター ン測光、絞り値表示など使用可(非AIレンズは使用不可)
		• 開放F値がF5.6以上明るいレンズ:フォーカスエイド可能
	シャッター	
	型式	電子制御上下走行式フォーカルプレーンシャッター
	シャッタースピード	1/8000~30秒(1/3、1/2ステップ)、Bulb、Time(別売のリモコンML-L3使 用)、X250
	フラッシュ同調	X=1/250秒、1/320秒以下の低速シャッタースピードで同調(1/250~1/320秒
	シャッタースピード	はガイドナンバーが減少)
I	レリーズ機能	
	レリーズモード	S: 単与、CL: 低速連続撮影、CH: 高速連続撮影、Q: 静音撮影、
		CL:約1~5コマ/秒※
	連続撮影速度	
		※CIPAガイドライン準拠 (た動は思い) 5 10 2010 相影 フラック・1 0 2010
	セルフタイマー	1作動时间・2、5、10、20秒、掫影コイ数・1~9コイ、連続掫影间隔・0.5、1、2、3秒 2秒11モコン/ 瞬時11モコン/ ミラーアップ11モコン/
5		
1	留山前崎 測光方式	2016分割BGBセンサーによるTTL開放測光方式
	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	<ul> <li>マルチパターン測光: 3D-RGBマルチパターン測光II (GまたはDタイプレンズ)</li> </ul>
		使用時)、RGBマルチパターン測光II(その他のCPUレンズ使用時)、RGBマルチ
		パターン測光(非CPUレンズのレンズ情報手動設定時)
		<ul> <li>         ・中央部重点測光:         ・         ・         ・</li></ul>
	測元モート	
		(非CPUレンズ使用時は Ø 8 mmに固定)
		• スポット測光 : 約 φ 3.5 mm相当(全画面の約2.5%)を測光、フォーカスポイ
		ントに連動して測光位置可動(非CPUレンズ使用時は中央に固定)
	測光範囲	<ul> <li>マルチパターン測光、中央部重点測光:0~20 EV</li> </ul>
		•スポット測光:2~20 EV(ISO 100、f /1.4レンズ使用時、常温20℃)
	露出計連動	CPU連動方式、AI方式併用

Ø

露出制御	
	🎬:オート、 🏵:発光禁止オート、 🤶:ポートレート、 📓:風景、 🙅:こども
	スナップ、◆:スポーツ、◆:クローズアップ、図:夜景ポートレート、圖:
	夜景、💥:パーティー、🍓:海・雪、🚔:夕焼け、當:トワイライト、 🖬:ペッ
撮影モード	ト、❹:キャンドルライト、❹:桜、♥:紅葉、Ħ:料理、益:シルエット、圖:
	ハイキー、🔟:ローキー、P:プログラムオート(プログラムシフト可能)、S:
	シャッター優先オート、A: 絞り優先オート、M:マニュアル、ユーザーセッティ
	ングU1、U2に登録可能
露出補正	範囲:±5段、補正ステップ:1/3、1/2ステップ
	<ul> <li>AE、フラッシュブラケティング時、撮影コマ数:2~3コマ、補正ステップ:</li> </ul>
	1/3、1/2、2/3、1、2ステップ
	• ホワイトバランスブラケティング時、撮影コマ数:2~3コマ、補正ステップ:
オートブラケティング	1~3ステップ
	● ●アクティブD-ライティングブラケティング時、撮影コマ数:2 ~3コマ、撮影
	コマ数が2 コマの場合のみアクティブD-ライティングの効果の度合いを撮影
	メニューの「 <b>アクティブD-ライティング</b> ]で選択可能
AEロック	AE/AFロックボタンによる輝度値ロック方式
ISO感度	ISO 100~6400 (1/3、1/2ステップ)、ISO 6400に対し約0.3、0.5、0.7、1、2
(推奨露光指数)	段(ISO 25600相当)の増感、感度自動制御が可能
アクティブ	
D-ライティング	オート、より強め、強め、標準、弱め、しない
オートフォーカス	
	TTL 位相差検出方式:フォーカスポイント39点(うち、クロスタイプセンサー
方式	9点)、マルチCAM4800DXオートフォーカスセンサーモジュールで検出、AF微
	調節可能、AF補助光(約0.5~3 m)付
検出範囲	-1~+19 EV(ISO 100、常温(20℃))
	•オートフォーカス(AF):シングルAFサーボ(AF-S)、コンティニュアスAF
レンブサーボ	サーボ(AF-C)、AFサーボモード自動切り換え(AF-A)を選択可能、被写体
	条件により自動的に予測駆動フォーカスに移行
	• <b>マニュアルフォーカス(M)</b> :フォーカスエイド可能
フューカフポノント	• AF39点設定時: 39点のフォーカスポイントから1点を選択
	• AF11点設定時: 11点のフォーカスポイントから1点を選択
	シングルポイントAF モード、ダイナミックAF モード(9点、21点、39点)、
AFTD/ T-P	3D-トラッキング、オートエリアAFモード
フォーカフロック	AE/AFロックボタン、またはシングルAFサーボ (AF-S) 時にシャッターボタン
フォーカスロック	半押し

V

フラッシュ	
	🖀 🗶 🧟 🗳 💆 🧏 🦋 🖓 時:オートポップアップ方式による自動発光
中華フニッシー	P、S、A、M、H時:押しボタン操作による手動ポップアップ方式
内蔵ノフッシュ	ガイドナンバー:
	<ul> <li>約12(マニュアルフル発光時約12)(ISO 100・m、20℃)</li> </ul>
	2016分割RGBセンサーによる以下のTTL調光制御:
	•内蔵フラッシュ、SB-900、SB-800、SB-700、SB-600またはSB-400と、マル
	チパターン測光または中央部重点測光の組み合わせ時に、i-TTL-BL調光可能
	•内蔵フラッシュ、SB-900、SB-800、SB-700、SB-600またはSB-400と、スポッ
調光方式	ト測光の組み合わせ時に、スタンダードi-TTL調光可能
	<b>絞り連動外部自動調光 (AA)</b> : SB-900、SB-800とCPUレンズとの組み合わせ時
	<b>外部自動調光(A)</b> : SB-900、SB-800、SB-28、SB-27、SB-22Sなどとの組み合
	わせ時
	距離優先マニュアル発光 (GN): SB-900、SB-800、SB-700との組み合わせ時
	🖀、 🧝、 🗳、 💥、 🚀 モード時:
	<ul> <li>内蔵フラッシュ使用時に通常発光オート、赤目軽減オート、発光禁止</li> </ul>
	<ul> <li>別売スピードライト使用時に通常発光、赤目軽減</li> </ul>
	▲モード時:
	• 内蔵フラッシュ使用時に通常発光オート+スローシャッター、赤目軽減オート
	+スローシャッター、発光禁止
フラッシュモード	<ul> <li>別売スピードライト使用時に通常発光+スローシャッター、赤目軽減+スロー</li> </ul>
	シャッター
	■、 ◆、 ■、 論、 當、 當、 ♀、 ♀、 益、 圖、 圖 モード時:別売スピードライト装
	着時に通常発光、赤目軽減
	┃1モード時:通常発光
	P、Aモード時:通常発光、通常発光+スローシャッター、赤目軽減発光、赤目軽
	減発光+スローシャッター、後幕発光+スローシャッター
	<b>S、M</b> モード時:通常発光、赤目軽減発光、後幕発光
調光補止	「範囲:-3~+1段、補止人ナッノ:1/3、1/2人ナッノ 内芸フラッシュ CP 000 CP 200 CP 700 CP 600 SP 400tr どは田時に去
レディーライト	r jiev クラクラム、30-300、30-300、30-700、30-400なと使用時にル 雷完了で占灯、フル発光による露出警告時は占減
	ホットシュー(ISO 518)装備:シンクロ接点、通信接点、セーフティーロッ
アクセサリーシュー	ク機構(ロック穴)付
	•SB-900、SB-800、SB-700、SB-600、SB-R200 との組み合わせでアドバンス
ニコンクリエイティブ	トワイヤレスライティング (SB-600、SB-R200 はリモートのみ)可能。コマ
ライティングシフテル	ンダーモード設定時は、内蔵フラッシュを主灯として制御可能
	●オートFPハイスピードシンクロ、発光色温度情報伝達、モデリング発光、FV
	ロックに対応(SB-400は発光色温度情報伝達、FVロックのみ対応)
シンクロターミナル	ホットンユーアダノダー A5-15(別売)
ホワイトバランズ	
ホワイトバランフ	スート、(Z性)、电球、虫元)、(/性)、明天、ノノツンユ、雲天、明天口层、ノ リセットマニュア川(5件登録可)
	シビシー・キーユノノル(3件豆球リノ、巴畑反政ル(2300N・~10000N)、いりれも 微調整可能

# V

	ライブビュー機能	
		•オートフォーカス (AF):シングルAFサーボ (AF-S)、常時AFサーボ (AF-F)
	レンスサーホ	•マニュアルフォーカス(M)
	AFエリアモード	顔認識AF、ワイドエリアAF、ノーマルエリアAF、ターゲット追尾AF
	7. 47	コントラストAF方式、全画面の任意の位置でAF可能(顔認識AFまたはターゲッ
	フォーカス	ト追尾AFのときは、カメラが決めた位置でAF可能)
	動画機能	
	測光方式	撮像素子によるTTL測光方式
	測光モード	マルチパターン測光
		• [ビデオ出力] が [NTSC] の場合
		-1920×1080 (24p (23.976fps))
		-1280 × 720 (30p (29.97fps))
		$-1280 \times 720 (24 \text{ p} (23.976 \text{ fms}))$
		$-640 \times 424$ (30n (2997fns))
	記録画素数/	
	フレームレート	
		-1920 × 1080 (24p (23.9/6fps))
		-1280 × 720 (25p (25tps))
		-1280×720 (24p (23.976fps))
		-640×424 (25p (25fps))
		※標準/高画質選択可能
	最長記録時間	約20分
	ファイル形式	MOV
	映像圧縮方式	H.264/MPEG-4 AVC
	音声記録方式	U_PPCM
	録音	内蔵モノラルマイク、外部マイク使用可能(ステレオ録音)、マイク感度設定可能
7	夜晶モニター	
	液晶モニター	3型低温ポリシリコンTFT液晶、約92万ドット(VGA)、視野角170°、視野率
		100%、明るさ調整可能
Ŧ	再生機能	
		1コマ再生、サムネイル(4、9、72分割またはカレンダーモード)、拡大再生、
	再生機能	動画再生、スライドショー、ヒストグラム表示、ハイライト表示、撮影画像の
		縦位置自動回転、画像コメント入力可能(英数字36文字まで)
•	インターフェース	
	USB	Hi-Speed USB
	ビデオ出力	NISC、PAL、ビデオ出力と液晶モニターの同時再生可能
		HDMIミニ端子 (Type C) 装備、HDMI出力と液晶モニターの同時再生不可
	アクセサリー	<ul> <li>リモート」ート・MC-DC2(別元)</li> </ul>
	ターミナル	• GPSユニット:GP-1(別売)
	外部マイク入力	ステレオミニジャック(Ø3.5mm)
ALL .	表示言語	
		チェコ語、デンマーク語、ドイツ語、英語、スペイン語、フランス語、インド
	表示言語	ネシア語、イタリア語、オランダ語、ノルウェー語、ポーランド語、ポルトガ
	20100	ル語、ロシア語、フィンランド語、スウェーデン語、トルコ語、アラビア語、繁
1		体中国語、簡体中国語、日本語、韓国語、タイ語

U

電源	
使用電池	Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL15(1個使用)
	マルチパワーバッテリーパックMB-D11 (別売):Li-ion リチャージャブルバッ
バッテリーパック	テリー EN-EL15 1 個使用。単3形電池(アルカリ電池、ニッケル水素充電池、リ
	チウム電池)6本使用
ACアダプター	ACアダプター EH-5a(パワーコネクター EP-5Bと組み合わせて使用)(別売)
三脚ネジ穴	
三脚ネジ穴	1/4 (ISO 1222)
大きさ・質量	
大きさ(W×H×D)	約132×105×77 mm
	約780g(バッテリーおよびSDメモリーカードを含む、ボディーキャップを除
質量	<)
	約690g(本体のみ)
動作環境	
温度	0~40℃
湿度	85%以下(結露しないこと)

・仕様中のデータは特に記載のある場合を除き、全て常温(20℃)フル充電バッテリー使用時のものです。

• 仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

• 使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。

バッテリーチャージャー	- MH-25	
電源	AC 100 ~ 240 V、50/60 Hz、0.23~0.12 A	
定格入力容量	21~28 VA	
充電出力	DC 8.4 V、1.2 A	
適応電池	Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL15	
充電時間	約2時間35分 ※残量のない状態からの充電時間(周囲温度25℃)	
使用温度	0~40 ℃	
寸法(W×H×D)	約91.5 × 33.5 × 71 mm (突起部除く)	
電源コード	長さ約1.8 m、日本国内専用AC 100V対応	
質量	約110g(電源コードおよび電源プラグ(直付け型)を除く)	
Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL15		
形式	リチウムイオン充電池	

1720	
定格容量	7.0 V、1900 mAh
寸法(W×H×D)	約40 × 56 × 20.5 mm
質量	約88g(端子カバーを除く)

### レンズ AF-S DX NIKKOR 18–105 mm f/3.5–5.6G ED VR

型式	ニコンFマウントCPU内蔵Gタイプ、AF-S DXニッコールズームレンズ(ニコ ンデジタル一眼レフカメラ[ニコンDXフォーマット]専用)
焦点距離	18 mm–105 mm
最大口径比	1:3.5–5.6
レンズ構成	11群15枚(非球面レンズ1枚、EDレンズ1枚)
画角	76° – 15° 20′
焦点距離目盛	18、24、35、50、70、105 mm
撮影距離情報	カメラへの撮影距離情報出力可能
ズーミング	ズームリングによる回転式
	IF(ニコン内焦)方式、超音波モーターによるオートフォーカス、マニュアル フォーカス可能
ピント合わせ	このレンズは、A-M切り換えスイッチがAの位置でもマニュアルフォーカス撮 影ができます。カメラのAFモードをAF-Sにして、オートフォーカスでピント が合ってから、シャッターボタンを半押しのままでフォーカスリングを回転 させると、ピントを調整できます。オートフォーカスの作動中には、フォー カスリングを回転させないでください。
手ブレ補正	ボイスコイルモーター(VCM)によるレンズシフト方式
最短撮影距離	0.45 m(ズーム全域)
絞り羽根枚数	7枚(円形絞り)
絞り方式	自動絞り
絞りの範囲	焦点距離18 mm時 f/3.5–22、105 mm時 f/5.6–38
測光方式	開放測光
アタッチメントサイズ	67 mm (P=0.75 mm)
寸法	約76 mm(最大径)×89 mm(バヨネットマウント基準面からレンズ先端 まで)
質量	約420g

 ・仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。使用説明書の誤りなどに
 ついての補償はご容赦ください。

## ■ AF-S DX NIKKOR 18-105mm f/3.5-5.6G ED VRについて

- DXフォーマットのニコンデジタルー眼レフカメラ専用です。
- ニコン独自の ED (特殊低分散) ガラスによる色収差の補正とともに、非球面レンズや良好なボ ケ味を再現する円形絞りの採用によりすぐれた光学性能、描写性能を発揮します。
- •手ブレ補正使用時、AF作動(AF-ON)ボタンのあるカメラで、AF作動ボタンを押しても、手ブ レ補正は作動しません。

#### ▶ カメラの内蔵フラッシュ使用時のご注意

- •撮影距離0.6 m以上で使用してください。
- ケラレを防止するために、レンズのフードは取り外して使用してください。

※カメラの内蔵フラッシュのケラレとは、フラッシュの光がレンズの先端でさえぎられて影になり、写 真に映り込む現象です。

デジタル一眼レフカメラ	ケラレなく撮影できる焦点距離と撮影距離
D5000/D3100/D3000	<ul> <li>焦点距離18mmでは撮影距離2.5m以上。</li> </ul>
23000, 23100, 23000	• 焦点距離24mmでは撮影距離1.0m以上。
D700/D7000/D300シリーズ/D200/D100/D80	すべての焦点距離で、ケラレは発生しません。
	• 焦点距離18mmでは撮影距離1.5m以上。
090/07029	• 焦点距離24mm以上は制約なし。
 D50	<ul> <li>焦点距離18mmでは撮影距離1.0m以上。</li> </ul>
650	• 焦点距離24mm以上は制約なし。
	<ul> <li>焦点距離18mmでは撮影距離2.5m以上。</li> </ul>
D60/D40シリーズ	• 焦点距離24mmでは撮影距離1.0m以上。
	• 焦点距離35mm以上は制約なし。

 D100/D70の内蔵フラッシュは、20 mmレンズの画角をカバーする照射角なので、焦点距離18 mm では周辺が暗くなります。

#### 🔽 レンズのお手入れと取り扱い上のご注意

- CPU信号接点は汚さないようにご注意ください。
- レンズ面の清掃は、ほこりを拭う程度にしてください。指紋がついたときは、柔らかい清潔な木綿の 布に無水アルコール(エタノール)または市販のレンズクリーナーを少量湿らせ、レンズの中心から 外周へ渦巻状に、拭きムラ、拭き残りのないように注意して拭いてください。
- シンナーやベンジンなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。
- レンズ表面の汚れや傷を防ぐためには、NCフィルターをお使いいただけます。また、レンズのフードも役立ちます。
- レンズをケースに入れるときは、必ずレンズキャップと裏ぶたを取り付けてください。
- フードをレンズに装着した状態で、フードだけを持たないでください。
- レンズを長期間使用しないときは、カビやサビを防ぐために、高温多湿のところを避けて風通しのよい場所に保管してください。また、直射日光のあたるところ、ナフタリンや樟脳のあるところも避けてください。
- レンズを水に濡らすと、部品がサビつくなどして故障の原因となりますのでご注意ください。
- ストーブの前など、高温になるところに置かないでください。極端に温度が高くなると、外観の一部 に使用している強化プラスチックが変形することがあります。

M

### 🖉 付属アクセサリー

- 67mmスプリング式レンズキャップ LC-67
- 裏ぶた
- ソフトケース CL-1018
- バヨネットフード HB-32
  - レンズフードの取り付け方







### 🖉 使用できるアクセサリー

- 67mmネジ込み式フィルター
- 裏ぶた LF-1、LF-4

### 🖉 広角・超広角レンズのオートフォーカス撮影について

広角・超広角レンズでは、標準クラスのレンズと比べ、下記のような撮影条件になりやすく、オート フォーカス撮影時には注意が必要です。

以下をお読みになって、オートフォーカス撮影にお役立てください。

#### 1フォーカスポイントに対して主要な被写体が小さい場合

図のように、フォーカスポイント内に遠くの建物と近くの人物が混在するような被写体になると、背景にピントが合い、人物のピント精度が低下する場合があります。



〈人物〉

### 2絵柄がこまかな場合

図のように、被写体が小さいか、明暗差が少ない被写体になると、オート フォーカスにとっては苦手な被写体になります。



#### このような時には・・・

1、2のような被写体条件でオートフォーカスが上手く働かない場合、主要被写体とほぼ同じ距離にある被写体でフォーカスロックし、構図を元に戻して撮影する方法が有効です。

また、マニュアルフォーカスに切り換えて、マニュアルでピントを合わせて撮影する方法もあります。

#### その他

「オートフォーカスが苦手な被写体」の説明も参照してください(凹101)。

### 🖉 このカメラの準拠規格

- Design rule for Camera File system (DCF) Version 2.0: 各社のデジタルカメラで記録された画像ファイルを相互に利用し合うための記録形式です。
- DPOF (Digital Print Order Format): デジタルカメラで撮影した画像をプリントショップや家庭 用プリンターで自動プリントするための記録フォーマットです。
- Exif Version 2.3: (Exif = Exchangeable image file format for digital still cameras): デジタルカ メラとプリンターの連携を強化し、高品質なプリント出力を簡単に得ることを目指した規格です。こ の規格に対応したプリンターをお使いになると、撮影時のカメラ情報をいかして最適なプリント出力 を得ることができます。詳しくはプリンターの使用説明書をご覧ください。
- PictBridge:デジタルカメラとプリンターメーカーの各社が相互接続を保証するもので、デジタル カメラの画像をパソコンを介さずプリンターで直接印刷するための標準規格です。
- HDMI (High-Definition Multimedia Interface) :家庭用電化製品およびAV機器用のマルチメ ディアインターフェース規格です。1本のケーブルをつなぐだけで、画像、音声、制御信号をHDMI 対応機器に送信できます。

### 🖉 商標説明

- PictBridgeロゴは商標です。
- SDロゴ、SDHCロゴ、およびSDXCロゴは、SD-3C, LLC.の商標です。
- Microsoft、Windows およびWindows Vistaは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国 における登録商標です。
- Macintosh、Mac OS、QuickTime は米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標 または登録商標です。

### ноті

• その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

# 推奨SDカード

次のSDカードの動作を確認しています。

		SDメモリーカード	SDHC メモリーカード*2	SDXC メモリーカード** ³	
SanDisk製		1 GB、2 GB*1	4 GB、8 GB、16 GB、 32 GB	64 GB	
東芝製		1 GB、2 GB*1	4 GB、8 GB、16 GB、 32 GB	64 GB	
Panasonic製		1 GB、2 GB*1	4 GB、6 GB、8 GB、 12 GB、16 GB、32 GB	48 GB、64 GB	
LEX	KAR MEDIA社製	1 GB、2 GB*1	4 GB、8 GB		
	プラチナⅡシリーズ	1 GB、2 GB*1	4 GB、8 GB、16 GB、 32 GB	_	
	プロフェッショナル シリーズ	1 GB、2 GB*1	4 GB、8 GB、16 GB、 32 GB	_	

※1 カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器が2 GBのSDカードに対応している必要があります。

- 格に対応しています。
- ※3 SDXC規格に対応しています。カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの **S S S** 機器がSDXC規格に対応している必要があります。このカメラは、UHS-I規格 **X X X I** に対応しています。
- 動画の撮影には、SDスピードクラスがClass 6以上のカードをおすすめします。転送 速度が遅いカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。
- 上記SDカードの機能、動作の詳細、動作保証などについては、SDカードメーカーに ご相談ください。その他のメーカー製のSDカードにつきましては、動作の保証はいた しかねます。

# 記録可能コマ数と連続撮影可能コマ数

画質モード(□ 89)と画像サイズ(□ 92)の組み合わせによって、8GBのSDカードに記録できるコマ数、および連続撮影できるコマ数は、次のようになります*1。ただし、カードの種類や撮影条件によって、コマ数は増減することがあります。

画質モード	画像	1コマあたりの	記録可能	連続撮影可能
		ファイルサイズ	コマ数	コマ数※2
RAW(ロスレス圧縮RAW/12ビット記録)	—	約15.5 MB	291그マ	11コマ
RAW(ロスレス圧縮RAW/14ビット記録)	—	約19.4 MB	223コマ	10그マ
RAW(圧縮RAW/12ビット記録)	—	約13.6 MB	398그マ	15그マ
RAW(圧縮RAW/14ビット記録)	—	約16.7 MB	330コマ	12コマ
	L	約7.8 MB	813그マ	31コマ
FINE*3	М	約4.4 MB	1400コマ	100그マ
		約2.0 MB	3100コマ	100그マ
		約3.9 MB	1600コマ	100コマ
NORMAL* ³	М	約2.2 MB	2800コマ	100그マ
		約1.0 MB	6000コマ	100그マ
	L	約2.0 MB	3100コマ	100コマ
BASIC* ³	М	約1.1 MB	5500コマ	100コマ
	S	約0.5 MB	11000コマ	100コマ

※1 SanDisk社製8GBのExtreme SDHCメモリーカードを使用した場合。

- ※2 ISO 感度がISO 100の場合の、連続撮影速度を維持して撮影できるコマ数です。次のような場合、連 続撮影可能コマ数は減少します。
  - ・[JPEG圧縮]を[画質優先]に設定してJPEG画像を撮影した場合
  - [自動ゆがみ補正] (ロ226) を [する] に設定した場合
  - [長秒時ノイズ低減] (□ 227) を [する] に設定した場合
- ※31コマあたりのファイルサイズおよび記録可能コマ数は、[JPEG圧縮](ロ91)が [サイズ優先]に 設定されている場合です。[JPEG圧縮]を[画質優先]に設定した場合、記録可能コマ数は減少します。

#### 🖉 カスタムメニュー d7 [連続撮影コマ数](🕮 241)

カスタムメニュー d7 [**連続撮影コマ数**]では、連続撮影時の連続撮影コマ数を1~100コマの範囲で 設定できます。

M

# 撮影可能コマ数(電池寿命)について

カメラ単体または別売のマルチパワーバッテリーパックMB-D11装着時の撮影可能コマ数(電池寿命)は、次の通りです。

#### • [CIPA基準準拠*1]

約1050コマ(カメラ本体でLi-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL15使用時) 約1050コマ(MB-D11を装着してEN-EL15使用時) 約650コマ(MB-D11を装着してアルカリ単3形電池使用時) 約2100コマ(MB-D11を装着してEN-EL15を2個使用時)

#### • [当社試験条件*2]

約4500コマ(カメラ本体でEN-EL15使用時)

約4500コマ(MB-D11を装着してEN-EL15使用時)

約1700コマ(MB-D11を装着してアルカリ単3形電池使用時)

約9000コマ(MB-D11を装着してEN-EL15を2個使用時)

- ※1 初期設定条件で30秒間隔ごとに撮影レンズを無限遠から至近に1往復フォーカシング動作をさ せて1 コマ撮影する。ライブビュー撮影なし。レリーズ2 回につき1 回内蔵フラッシュを発光 させる。装着レンズAF-S DX NIKKOR 18-105mm f/3.5-5.6G ED VR、温度23(±2)℃。
- ※2 画質モードBASIC、画像サイズM、シャッタースピード1/250秒、シャターの半押しを3 秒間 持続後、撮影レンズを無限遠から至近間を3往復フォーカシング動作させ6回連続レリーズし た後、液晶モニターを5秒間点灯させ、消灯後半押しタイマーがオフになるまで放置。以後同 じ動作を繰り返す。装着レンズAF-S NIKKOR 70-200mm f/2.8G ED VR II、温度20℃。
- ※バッテリーの充電状態、使用環境によって電池寿命が異なります。また、単3形電池使用時は、 銘柄や保管状態により撮影可能コマ数が減少することがあります。単3形電池は、銘柄によって は使用できないこともあります。

次の場合はバッテリーの消耗が早くなります。

- ライブビュー撮影などで液晶モニターを使用した場合
- シャッターボタンの半押しを続けた場合
- •オートフォーカスのレンズ駆動を繰り返し行った場合
- 画質モードをRAWに設定して撮影した場合
- 低速シャッタースピードで撮影した場合
- ワイヤレストランスミッター WT-4を使用した場合
- GPSユニットGP-1を使用した場合
- VRレンズ使用時にVR(手ブレ補正)機能をONにした場合

Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL15の性能を最大限に発揮させるため、次のことに注意してください。

- バッテリーの端子を汚さないでください。端子が汚れていると、充分な性能が発揮できません。
- 充電が完了したバッテリーは、なるべく早いうちにお使いください。使用しないまま放置していると、自己放電によって、バッテリー残量が減ってしまいます。

# マーク・英数字

<b>S</b> (1コマ撮影)	7, 79
CL (低速連続撮影)	7, 79, 80, 241
Сн (高速連続撮影)	7, 79, 80
Q (静音撮影)	7, 79
	7, 79, 82
■ (リモコン撮影)	7, 79, 84
<b>MUP</b> (ミラーアップ撮影)	7, 79, 87
☆ (オート)	6, 35
③ (発光禁止オート)	6, 35
SCENE (シーン)	41
▲ (風景)	
🔮 (こどもスナップ)	
💐 (スポーツ)	
🕏 (クローズアップ)	
▶ (夜景ポートレート)	43
☑ (夜景)	
🕱 (パーティー)	43
╊ (海·雪)	
🚔 (夕焼け)	
當 (トワイライト)	
₩ (ペット)	
\$ (キャンドルライト)	45
♀ (桜)	45
♀ (紅葉)	45
¶(料理)	45
盋(シルエット)	
圖 (ハイキー)	
[] (□−≠−)	
P (プログラムオート)	69
S (シャッター優先オート)	70
A (絞り優先オート)	71
M (マニュアル)	
「2」(旗認識AF)	
記 (リイドエリアAF)	
(ターケット追尾AF)	
■ (マルナハターノ測元)	
(中大印里黒測九)	
L・」 (スハツト測元)	
<b>FN</b> (ノアノソンヨノ) 小ツノ  <b>F</b> = (ファンクション) ボタンの機能	2, 102, 177, 255
FII (ファノンンヨノ) 小ツノの機能 PVT (オートゴラケニッシバ) ギク	
DNI (オートノフクティブク) 小ダ 11	ン 16 110 122 180
	0, 112, 122, 100

▶ (ライブビュー撮影)	
? (ヘルプ)	
┍ (連続撮影可能コマ数)	81, 360
AUTO (フラッシュモード)	156, 157
REAR (フラッシュモード)	
SLOW (フラッシュモード)	157
↓ (レディーライト)	
┍ (連続撮影可能コマ数)	
12ビット記録	91
14ビット記録	91
1コマ撮影	7, 79
1コマ表示	
2016分割RGBセンサー	350, 352
2秒リモコン	
3D-RGBマルチパターン測光II	
3D-トラッキング	
ACアダプター	314, 317
ADLブラケティング(オートブラケティ	ングの
セット)	122, 253
Adobe RGB(色空間)	153
AE/AFロックボタンの機能	
AEブラケティング(オートブラケティン	グの
セット)	115, 253
AFDWA	111
AE・フラッシュブラケティング	
AE・フラッシュブラケティング (オートブラケティングのセット)	115, 253
AE・フラッシュブラケティング (オートブラケティングのセット) AF-A(AFサーボモード自動切り換え)…	115, 253 95
AE・フラッシュブラケティング (オートブラケティングのセット) AF-A(AFサーボモード自動切り換え)… AF-C(コンティニュアスAFサーボ)	115, 253 95 95, 230
AE・フラッシュブラケティング (オートブラケティングのセット) AF-A(AFサーボモード自動切り換え)… AF-C(コンティニュアスAFサーボ) AF-Cモード時の優先	115, 253 95 95, 230 230
AE・フラッシュブラケティング (オートブラケティングのセット) AF-A(AFサーボモード自動切り換え)… AF-C(コンティニュアスAFサーボ) AF-Cモード時の優先 AF-F(常時AFサーボ)	115, 253 
AE・フラッシュブラケティング (オートブラケティングのセット) AF-A(AFサーボモード自動切り換え) AF-C(コンティニュアスAFサーボ) AF-Cモード時の優先 AF-F(常時AFサーボ) AF-S(シングルAFサーボ)	115, 253 95, 230 
AE・フラッシュブラケティング (オートブラケティングのセット) AF-A (AFサーボモード自動切り換え) AF-C (コンティニュアスAFサーボ) AF-Cモード時の優先 AF-F (常時AFサーボ) AF-S (シングルAFサーボ) AF-Sモード時の優先	115, 253 
AE・フラッシュブラケティング (オートブラケティングのセット) AF-A (AFサーボモード自動切り換え) AF-C (コンティニュアスAFサーボ) AF-Cモード時の優先 AF-F (常時AFサーボ) AF-S (シングルAFサーボ) AF-Sモード時の優先 AFエリアフレーム	115, 253 95, 230 95, 230 50 .50, 95, 231 231 
AE・フラッシュブラケティング (オートブラケティングのセット) AF-A (AFサーボモード自動切り換え) AF-C (コンティニュアスAFサーボ) AF-Cモード時の優先 AF-F (常時AFサーボ) AF-S (シングルAFサーボ) AF-Sモード時の優先 AFエリアフレーム AFエリアモード	115, 253 95, 230 95, 230 50, 50, 95, 231 231 33, 37 50, 97
AE・フラッシュブラケティング (オートブラケティングのセット) AF-A (AFサーボモード自動切り換え) AF-C (コンティニュアスAFサーボ) AF-Cモード時の優先 AF-F (常時AFサーボ) AF-S (シングルAFサーボ) AF-Sモード時の優先 AFエリアフレーム AFエリアモード AFサーボモード自動切り換え (AF-A)	115, 253 95, 230 95, 230 50, 50, 95, 231 231 33, 37 50, 97 95
AE・フラッシュブラケティング (オートブラケティングのセット) AF-A (AFサーボモード自動切り換え) AF-C (コンティニュアスAFサーボ) AF-Cモード時の優先 AF-F (常時AFサーボ) AF-S (シングルAFサーボ) AF-Sモード時の優先 AFエリアフレーム AFエリアモード AFサーボモード自動切り換え (AF-A) AF点数切り換え	115, 253 95, 230 95, 230 95, 230 50, 95, 231 33, 37 50, 97 95 95
AE・フラッシュブラケティング (オートブラケティングのセット) AF-A (AFサーボモード自動切り換え) AF-C (コンティニュアスAFサーボ) AF-Cモード時の優先 AF-F (常時AFサーボ) AF-S (シングルAFサーボ) AF-Sモード時の優先 AFエリアフレーム AFエリアモード AFサーボモード自動切り換え (AF-A) AF点数切り換え AF微調節	115, 253 95, 230 95, 230 95, 230 95, 231 33, 37 50, 97 95 95 95 
AE・フラッシュブラケティング (オートブラケティングのセット) AF-A (AFサーボモード自動切り換え) AF-C (コンティニュアスAFサーボ) AF-C (コンティニュアスAFサーボ) AF-Cモード時の優先 AF-F (常時AFサーボ) AF-S (シングルAFサーボ) AF-Sモード時の優先 AFエリアフレーム AFエリアフレーム AFサーボモード自動切り換え (AF-A) AF点数切り換え AF補助光	115, 253 95, 230 95, 230 95, 230 95, 231 33, 37 50, 97 95 95 95 232 273 233, 306
AE・フラッシュブラケティング (オートブラケティングのセット) AF-A (AFサーボモード自動切り換え) AF-C (コンティニュアスAFサーボ) AF-C (コンティニュアスAFサーボ) AF-Cモード時の優先 AF-F (常時AFサーボ) AF-S (シングルAFサーボ) AF-Sモード時の優先. AFエリアフレーム. AFエリアフレーム. AFエリアアレート AFサーボモード自動切り換え (AF-A) AF点数切り換え AF微調節 AF補助光 AFモード	115, 253 95, 230 95, 230 95, 230 95, 231 231 33, 37 50, 97 95 95 95 
AE・フラッシュブラケティング (オートブラケティングのセット) AF-A(AFサーボモード自動切り換え) AF-C(コンティニュアスAFサーボ) AF-C(コンティニュアスAFサーボ) AF-Cモード時の優先 AF-S(シングルAFサーボ) AF-Sモード時の優先 AFエリアフレーム AFエリアフレーム AFエリアモード AFサーボモード自動切り換え(AF-A) AF点数切り換え AF微調節 AF補助光 AFモード AFモードボタン	115, 253 95, 230 95, 230 95, 230 95, 231 231 33, 37 95, 97 95 95 95 95 95 95 95 95 95 95 95
AE・フラッシュブラケティング (オートブラケティングのセット) AF-A (AFサーボモード自動切り換え) AF-C (コンティニュアスAFサーボ) AF-C (コンティニュアスAFサーボ) AF-C (ジングルAFサーボ) AF-S (シングルAFサーボ) AF-S (シングルAFサーボ) AF-Sモード時の優先  AFエリアフレーム AFエリアフレーム AFエリアアモード AFサーボモード自動切り換え (AF-A) AF点数切り換え AF微調節  AF補助光  AFモード AFモードボタン AFロックオン	115, 253 95, 230 95, 230 95, 230 50 50, 95, 231 231 33, 37 50, 97 95 95 
AE・フラッシュブラケティング (オートブラケティングのセット) AF-A (AFサーボモード自動切り換え) AF-C (コンティニュアスAFサーボ) AF-C (コンティニュアスAFサーボ) AF-C (ジングルAFサーボ) AF-S (シングルAFサーボ) AF-S (シングルAFサーボ) AF-Sモード時の優先  AFエリアフレーム AFエリアフレーム AFエリアモード AFサーボモード自動切り換え (AF-A) AF点数切り換え AF微調節  AFモード AFモードボタン AFロックオン AFUの換えスイッチ	115, 253 95, 230 95, 230 95, 230 50 50, 95, 231 231 33, 37 50, 97 95 95 
AE・フラッシュブラケティング (オートブラケティングのセット) AF-A (AFサーボモード自動切り換え) AF-C (コンティニュアスAFサーボ) AF-C (コンティニュアスAFサーボ) AF-C (ジングルAFサーボ) AF-S (シングルAFサーボ) AF-S (シングルAFサーボ) AF-Sモード時の優先  AFエリアフレーム AFエリアアモード AFサーボモード自動切り換え (AF-A) AF点数切り換え AF微調節  AF電助光  AFモードボタン AFロックオン AFロックオン AUTO1 標準	115, 253 95, 230 95, 230 95, 230 50 50, 95, 231 231 33, 37 50, 97 95 33, 306 95 95 95 95 95 
AE・フラッシュブラケティング (オートブラケティングのセット) AF-A(AFサーボモード自動切り換え) AF-C(コンティニュアスAFサーボ) AF-C(コンティニュアスAFサーボ) AF-Cモード時の優先 AF-S(シングルAFサーボ) AF-Sモード時の優先 AF-Sモード時の優先 AFエリアフレーム AFエリアフレーム AFエリアモード AFサーボモード自動切り換え(AF-A) AF点数切り換え AF微調節 AF補助光 AFモード AFモードボタン AFモードボタン AFロックオン AFロックオン AUTO1 標準 AUTO2 電球色を残す	115, 253 95, 230 95, 230 95, 230 50 50, 95, 231 231 231 33, 37 50, 97 95 33, 306 95 95 231 233, 306 95 231 26 26 26 25, 126 25, 126
AE・フラッシュブラケティング (オートブラケティングのセット) AF-A(AFサーボモード自動切り換え) AF-C(コンティニュアスAFサーボ) AF-C(コンティニュアスAFサーボ) AF-Cモード時の優先 AF-S(シングルAFサーボ) AF-Sモード時の優先 AF-Sモード時の優先 AFエリアフレーム AFエリアフレーム AFエリアモード AFサーボモード自動切り換え(AF-A) AF点数切り換え AF微調節  AFモード AFモード AFモードボタン AFモードボタン AFロックオン AFロックオン AUTO1 標準 AUTO2 電球色を残す AVケーブル	115, 253 95, 230 95, 230 50 50, 95, 231 231 231 33, 37 50, 97 95 95 95 

	89
BKTの順序	
Bulb (バルブ撮影)	74
B型クリアマットスクリーンII	
Camera Control Pro 2	.200, 316
Capture NX 290, 149,	268, 316
CEC	
CPU信号接点	
CPUレンズ	
DCF Version 2.0.	
DPOFプリント (PictBridge)	
DPOF (Digital Print Order Format)	209 358
Dタイプレンズ	302
D-ライティング	279
Exif Version 2.3	358
Fvp-Fi关信機能	275
FINE	2, <u>5</u> 89
FD杂坐	246 247
「一元」C F\/ロック	161 255
GPS	178 186
	106, 100
	170 216
	. 170, 510 202
	212 250
	۵۵۵, ۲۱۵. ۱۸
	+1 ∠
	£ )
	face)
	face) .213, 358
Hi (ISO感度)	face) .213, 358 105
Hi (ISO感度)	face) .213, 358 105 
Hi (ISO感度) H.264 INDEXプリント (PictBridge)	face) .213, 358 105 353 208
Hi (ISO感度) H.264 INDEXプリント (PictBridge) ISO感度	face) .213, 358 353 353 208 105
Hi (ISO感度) H.264 INDEXプリント (PictBridge) ISO感度 ISO感度設定	face) 213, 358 105 353 208 105 .105, 107
Hi (ISO感度) H.264 INDEXプリント (PictBridge) ISO感度 ISO感度設定 ISO感度設定ステップ幅	face) 213, 358 105 353 208 105 .105, 107 234
Hi (ISO感度) H.264 INDEXプリント (PictBridge) ISO感度 ISO感度設定 ISO感度設定ステップ幅 ISO感度表示と簡易設定	face) 213, 358 105 208 105 .105, 107 234 240
Hi (ISO感度) H.264 INDEXプリント (PictBridge) ISO感度 ISO感度設定 ISO感度設定ステップ幅 ISO感度表示と簡易設定 i-TTL-BL調光	face) .213, 358 105 353 208 105 .105, 107 234 240 .158, 310
Hi (ISO感度) H.264 INDEXプリント (PictBridge) ISO感度 ISO感度設定 ISO感度設定ステップ幅 ISO感度表示と簡易設定 i-TTL-BL調光 i-TTL調光	face) 213, 358 105 208 105 .105, 107 234 240 .158, 310 158
Hi (ISO感度) H.264 INDEXプリント (PictBridge) ISO感度 ISO感度設定 ISO感度設定ステップ幅 ISO感度表示と簡易設定 i-TTL-BL調光 i-TTL-BL調光 JPEG	face) 213, 358 105 353 208 105 .105, 107 234 240 240 240 158 89, 91
Hi (ISO感度) H.264 INDEXプリント (PictBridge) ISO感度設定 ISO感度設定ステップ幅 ISO感度設定ステップ幅 ISO感度表示と簡易設定 i-TTL-BL調光 JPEG. JPEG圧縮	face) 213, 358 105 353 208 105 .105, 107 234 240 .158, 310 158 89, 91 91
Hi (ISO感度) H.264 INDEXプリント (PictBridge) ISO感度 ISO感度設定 ISO感度設定ステップ幅 ISO感度設定ステップ幅 ISO感度表示と簡易設定 i-TTL-BL調光 j-TTL-BL調光 JPEG. JPEG圧縮 L (画像サイズ)	face) 213, 358 105 353 208 105 .105, 107 234 240 .158, 310 158 158 91 91 91
Hi (ISO感度)         H.264         INDEXプリント (PictBridge)         ISO感度         ISO感度設定         ISO感度設定ステップ幅         ISO感度設定ステップ幅         ISO感度表示と簡易設定         i-TTL-BL調光         jPEG         JPEG圧縮         L (画像サイズ)         Li-ion リチャージャブルバッテリー	face) 213, 358 105 353 208 105 .105, 107 234 240 .158, 310 158 158 91 91 
Hi (ISO感度)         H.264         INDEXプリント (PictBridge)         ISO感度         ISO感度設定         ISO感度設定         ISO感度設定         ISO感度設定         ISO感度         ISO感度         ISO感度         ISO感度         ISO感度         ISO感度         I-TL-BL調光         I-TLIB光         JPEG         JPEGE         I-ion リチャージャブルバッテリー         M (マニュアルフォーカス)	face) 213, 358 105 353 208 208 240 240 240 158, 310 158 89, 91 91 92 
Hi (ISO感度)         H.264         INDEXプリント (PictBridge)         ISO感度         ISO感度設定         ISO感度設定         ISO感度設定         ISO感度設定         ISO感度         ISO感度         ISO感度         ISO感度         ISO感度         ISO感度         I-TL-BL調光         I-TLIB光         JPEG         JPEGE         I-ion リチャージャブルバッテリー         M (回像サイズ)         M (画像サイズ)	face) 213, 358 105 353 208 208 240 240 240 158, 310 158 158 91 
Hi (ISO感度)         H.264         INDEXプリント (PictBridge)         ISO感度         ISO感度設定         ISO感度設定         ISO感度設定         ISO感度設定         ISO感度設定         ISO感度         ISO感度         ISO感度         ISO感度         ISO感度         I-TL-BL調光         I-TLIB光         JPEG         JPEGEE縮         L (画像サイズ)         Li-ion リチャージャブルバッテリー         M (画像サイズ)         MB-D11	face) 213, 358 105 208 208 208 208 2105 .105, 107 234 240 .158, 310 158 99 91 92 
Hi (ISO感度)         H.264         INDEXプリント (PictBridge)         ISO感度         ISO感度設定         ISO感度設定ステップ幅         ISO感度設定ステップ幅         ISO感度表示と簡易設定         i-TTL-BL調光         i-TTLB混光         JPEG         JPEGE圧縮         L (画像サイズ)         Li-ionリチャージャブルバッテリー         M (画像サイズ)         MB-D11         244, 245,	face) 213, 358 105 353 208 208 240 158, 310 158 91 92 92 92 
Hi (ISO感度)         H.264         INDEXプリント (PictBridge)         ISO感度         ISO感度設定         ISO感度設定         ISO感度設定         ISO感度設定         ISO感度設定         ISO感度         ISO感度         ISO感度         ISO感度         ISO感度         ISO感度         ISO感度         ISO         ISO         ISO         ISO         IFTL-BL調光         I-TTL-BL調光         JPEG         JPEG         JPEGEL縮         L (画像サイズ)         Li-ion リチャージャブルバッテリー         M (画像サイズ)         MB-D11         244, 245,         MB-D11         MB-D11         MB-D110         AE/AF         US         MB-D110         AE/AF	face) 213, 358 105 353 208 208 240 240 158, 310 158 91 92 92 92 92 
Hi (ISO感度)         H.264         INDEXプリント (PictBridge)         ISO感度         ISO感度設定         ISO感度設定         ISO感度設定         ISO感度設定         ISO感度設定         ISO感度         ISO感度         ISO感度         ISO感度         ISO感度         ISO感度         ISO感度         I-TTL-BL調光         I-TTLB光         JPEG         JPEG         JPEGEL縮         L (画像サイズ)         Li-ion リチャージャブルバッテリー         M (画像サイズ)         MB-D11         244, 245,         MB-D11のAE/AFロックボタンの機能         MOV	face) 213, 358 105 208 208 208 208 2105 .105, 107 234 240 158, 310 158 92 92 92 
Hi (ISO感度)         H.264         INDEXプリント (PictBridge)         ISO感度         ISO感度設定         ISO感度設定         ISO感度設定         ISO感度設定         ISO感度設定         ISO感度         ISO感度         ISO感度         ISO感度設定         ISO感度設定         ISO感度設定         ISO感度設定         ISO感度設定         IFTL-BL調光         I-TTL-BL調光         JPEG         JPEG         JPEGE圧縮         L (画像サイズ)         Li-ion リチャージャブルバッテリー         M (画像サイズ)         MB-D11         244, 245,         MB-D11のAE/AFロックボタンの機能         MOV         NEF	face) 213, 358 105 208 208 208 208 2105 .105, 107 234 240 158, 310 158 92 92 225, 102 92 262, 314 244 262 
Hi (ISO感度)         H.264         INDEXプリント (PictBridge)         ISO感度         ISO感度設定         I-TTL-BL調光         I-TTL-BL調光         I-TTLB光         JPEG         JPEG         JPEGE圧縮         L (画像サイズ)         M(画像サイズ)         MB-D11         244, 245,         MB-D11のAE/AFロックボタンの機能         MOV         NEF         Nikon Transfer 2	face) 213, 358 105 208 208 208 208 2105 .105, 107 234 240 158, 310 158 92 92 225, 102 92 262, 314 244 262 353 

NTSC	
OKボタンの機能(撮影モード)	254
PAL	
PictBridge (ピクトブリッジ)	. 201, 358
PRE (プリセットマニュアル)	. 125, 131
RAW	89, 90, 91
RAW+JPEG分割記録(スロット2の機能).	
RAW記録	
RAW現像	
RGBヒストグラム表示	
RGBマルチパターン測光	110
S (画像サイズ)	
SDカード	, 264, 359
SDスロット	62
sRGB (色空間)	153
USBケーブル	. 198, 202
UTC	. 178, 186
ViewNX 2	. 266, 267
WBブラケティング(WB-BKT)	. 119, 253
WT-4	. 200, 314

# ア

アイピース	83, 315
アイピースキャップ	
青強調(フィルター効果)	
アオリ効果	
赤強調 (フィルター効果)	
赤目軽減発光(フラッシュモード)	
赤目補正	
明るさ (ピクチャーコントロール)	
アクヤサリー (使用できるアクヤサリー)	314
アクヤサリーシュー	308
アクヤサリーターミナル	178 316
アクティブロ-ライティング	1, 0, 310
アクティブロ-ライティングブラケティング	122
F縮RAW/	
後墓発光(フラッシュモード)	
アンバー	127 284
イメージャンサークリー ^ー ング	319
イメージダストオフ	268
イメージダストオフ機能(Capture NX 2)	200
	268.342
イメージダフトオフデー々取得	200, 312
イン シンハースシン シ取得	200 2/13
イルミネークーム灯	243 2/13
(日ルミネ・ノ 二次) (6年)(6年)(ピクチャーコントロール)	243 111
名辺府 125 121 121 121 121 121 121 121 121 121	126 120
<ul> <li>C/皿皮</li></ul>	120, 130
ビ畑反以た (ハノイトハノノヘ)	123, 130
巴工囘	155

色の濃さ(彩度)(ピクチャーコントロール)	144
印刷 (プリント)	201
インジケーター表示の+/-方向	261
インターバル設定 (スライドショー)	222
インターバルタイマー撮影	170
インフォ画面のガイド表示	240
インフォ画面の表示設定	243
ウォームトーン (フィルター効果)	
裏ぶた	
液晶モニター	
液晶モニターの明るさ	264
液晶モニターのパワーオフ時間	238
オーディオビデオケーブル	211
オート (撮影モード)	6, 35
オート (ホワイトバランス)	125
オートFPハイスピードシンクロ	246, 247
オートエリアAF	97, 98
オートフォーカス	100, 101
オートブラケティング	115, 253
オートブラケティングのセット	253

# カ

カードなし時レリーズ	
カードの初期化(フォーマット)	
外部マイク	
外部マイク入力端子	
開放F値	.103, 175, 302
開放絞り	.103, 175, 302
開放絞り値の設定	175
顔認識AF	
画角	
拡大表示	191
画質モード	
画質優先 (JPEG圧縮)	91
カスタムピクチャーコントロール	146
カスタムメニュー	228
カスタムメニューのリセット	230
画像合成	
画像コピー	217
画像コメント	
画像サイズ	
画像情報	181
画像ファイル	92, 242
画像編集メニュー	276
画像をテレビで見る	211
画像をパソコンに転送する	197
傾き補正	291
カメラ設定の保存と読み込み	272
カラーカスタマイズ	

カラースケッチ	
カレンダー表示	
簡単レタッチ	
感度	105, 227
感度自動制御	
基準露出レベルの調節	
魚眼効果	
距離基準マーク	
距離情報	110, 158
記録可能コマ数	
記録ビットモード (RAW記録)	91
記録フォルダー設定	
記録方式 (RAW記録)	91
クイック調整	
クール (モノトーン)	
クリーニングミラーアップ	
クリエイティブライティングシステム	
クロススクリーン (フィルター効果)	
蛍光灯 (ホワイトバランス)	125
言語 (Language)	
現在地の設定(地域と日時)	
高感度ノイズ低減	
高感度(Hi)	
格子線の表示	239
高速連続撮影	7, 79, 80
コマ送り63	, 220, 260
コマンダーモード	
コマンドダイヤル	13
コマンドダイヤルの設定	
コンティニュアスAFサーボ (AF-C)	95, 230
コントラスト (ピクチャーコントロール).	144

## サ

最近設定した項目	
最小絞り	
サイズ	
サイズ優先 (JPEG圧縮)	91
再生	47, 63, 179, 211
再生画面設定	217
再生フォルダー	215
再生フォルダー設定	215
再生メニュー	215
先幕発光(フラッシュモード)	
削除	
削除後の次再生画像	
撮影画面サイズ	
撮影コマ数	
撮影した画像を確認する	
撮影情報	185, 186, 187

撮影直後の画像確認	179, 220
撮影メニュー	
撮影メニューのリセット	
撮影モードダイヤル	6
サマータイム (夏時間)	
サムネイル表示	
シーンモード	6, 41
自動ゆがみ補正	
視度調節機能	33, 315
視度調節ダイヤル	
絞り値	, 72, 259
絞り優先オート	
シャッタースピード6	8, 70, 72
シャッターボタン	111, 161
シャッターボタンの半押し	
シャッター優先オート	70
順次記録(スロット2の機能)	
瞬時リモコン	
常時AFサーボ (AF-F)	
使用できるスピードライト	
使用できるレンズ	
焦点距離の設定	
焦点距離目盛	
焦点距離目感指標	
情報表示 (GPS)	
初期化 (フォーマット)	31, 264
初期化(フォーマット) 初期設定一覧	31, 264 165, 332
初期化(フォーマット) 初期設定一覧 白黒(モノトーン)	31, 264 165, 332 282
初期化(フォーマット) 初期設定一覧 白黒(モノトーン) シングルAFサーポ(AF-S)50	31, 264 165, 332 282 0, 95, 231
初期化 (フォーマット) 初期設定一覧 白黒 (モノトーン) シングルAFサーボ (AF-S)5C シングルポイントAF	31, 264 165, 332 282 ), 95, 231 97, 98
初期化 (フォーマット) 初期設定一覧 白黒 (モノトーン) シングルAFサーボ (AF-S)5C シングルポイントAF シンクロターミナル	31, 264 165, 332 282 0, 95, 231 97, 98 308
初期化 (フォーマット) 初期設定一覧 白黒 (モノトーン) シングルAFサーボ (AF-S)50 シングルポイントAF シンクロターミナル 水準器表示	31, 264 165, 332 282 ), 95, 231 97, 98 308 273
初期化 (フォーマット) 初期設定一覧 白黒 (モノトーン) シングルAFサーボ (AF-S)50 シングルポイントAF シンクロターミナル 水準器表示 推奨SDカード	31, 264 165, 332 282 ), 95, 231 97, 98 308 273 359
初期化 (フォーマット) 初期設定一覧 白黒 (モノトーン) シングルAFサーボ (AF-S)50 シングルポイントAF シンクロターミナル 水準器表示 推奨SDカード スカイライト (フィルター効果).	31, 264 165, 332 282 0, 95, 231 97, 98 308 273 359 283
初期化(フォーマット) 初期設定一覧 白黒(モノトーン) シングルAFサーボ(AF-S)50 シングルポイントAF シンクロターミナル 水準器表示 推奨SDカード スカイライト(フィルター効果) スタンダード(ピクチャーコントロール)	31, 264 165, 332 282 0, 95, 231 97, 98 97, 98 273 273 283 283 
初期化 (フォーマット) 初期設定一覧 白黒 (モノトーン) シングルAFサーボ (AF-S)50 シングルポイントAF シンクロターミナル 水準器表示 推奨SDカード スカイライト (フィルター効果) スタンダード (ピクチャーコントロール) スタンダード (ピクチャーコントロール)	31, 264 165, 332 282 0, 95, 231 97, 98 97, 98 308 359 283 141 158, 310
初期化 (フォーマット) 初期設定一覧 白黒 (モノトーン) シングルAFサーボ (AF-S)50 シングルポイントAF シンクロターミナル 水準器表示 推奨SDカード スカイライト (フィルター効果) スタンダード (ピクチャーコントロール) スタンダード (ピクチャーコントロール) スタンダードi-TTL調光 スピードライト	31, 264 165, 332 282 0, 95, 231 97, 98 308 273 283 141 158, 310 248, 308
初期化 (フォーマット) 初期設定一覧 白黒 (モノトーン) シングルAFサーボ (AF-S)50 シングロターミナル 水準器表示 推奨SDカード スカイライト (フィルター効果) スタンダード (ピクチャーコントロール) スタンダード (ピクチャーコントロール) スタンダード (ピクチャーコントロール) スタンダード (ピクチャーコントロール) スタンダード, (エL調光 スピードライト スポット測光.	31, 264 165, 332 282 9, 95, 231 97, 98 308 273 359 283 141 158, 310 248, 308 109
初期化 (フォーマット) 初期設定一覧 白黒 (モノトーン) シングルAFサーボ (AF-S)50 シングロターミナル 水準器表示 推奨SDカード スカイライト (フィルター効果) スタンダード (ピクチャーコントロール) スタンダード (ピクチャーコントロール) スタンダード (ピクチャーコントロール) スタンダード (ピクチャーコントロール) スタンダード (ピクチャーコントロール) スタンダード (ピクチャーコントロール) スタンダード (ピクチャーコントロール) スタンダード (ピクチャーコントロール) スタンダード (ピクチャーコントロール)	31, 264 165, 332 282 9, 95, 231 97, 98 308 273 359 283 141 158, 310 248, 308 109 222
初期化 (フォーマット) 初期設定一覧 白黒 (モノトーン) シングルAFサーボ (AF-S)50 シングロターミナル 水準器表示 推奨SDカード スカイライト (フィルター効果) スタンダード (ピクチャーコントロール) スタンダード (ピクチャーコントロール) スタンダード (ピクチャーコントロール) スタンダード (ピクチャーコントロール) スタンダード (ピクチャーコントロール) スタンダード (ピクチャーコントロール) スタンダード (ピクチャーコントロール) スタンダード (ピクチャーコントロール) スタンダード (ピクチャーコントロール) スタンダード (ピクチャーコントロール)	31, 264 165, 332 282 9, 95, 231 97, 98 308 273 141 158, 310 248, 308 109 222 157
初期化 (フォーマット) 初期設定一覧 白黒 (モノトーン) シングルAFサーボ (AF-S)50 シングロターミナル 水準器表示 推奨SDカード スカイライト (フィルター効果) スタンダード (ピクチャーコントロール) スタンダード (ファッシュモード) スローシャッター (フラッシュモード) スロット2の機能	31, 264 165, 332 282 9, 95, 231 97, 98 308 273 141 158, 310 248, 308 109 222 157 93
初期化 (フォーマット) 初期設定一覧 白黒 (モノトーン) シングルAFサーボ (AF-S)50 シングロターミナル 水準器表示 推奨SDカード スカイライト (フィルター効果) スタンダード (ピクチャーコントロール) スタンダード (ピクチャーコントロール)	31, 264 165, 332 282 9, 95, 231 97, 98 308 273 141 158, 310 248, 308 109 222 157 93 180
<ul> <li>初期化(フォーマット)</li> <li>初期設定一覧</li> <li>白黒(モノトーン)</li></ul>	31, 264 165, 332 282 9, 95, 231 97, 98 308 273 359 283 141 158, 310 248, 308 109 222 157 93 93 180 
<ul> <li>初期化(フォーマット)</li> <li>初期設定一覧</li> <li>白黒(モノトーン)</li></ul>	31, 264 165, 332 282 9, 95, 231 97, 98 308 273 359 283 141 158, 310 248, 308 109 222 157 93 180 107 
<ul> <li>初期化(フォーマット)</li> <li>初期設定一覧</li> <li>白黒(モノトーン)</li></ul>	31, 264 165, 332 282 9, 95, 231 97, 98 308 273 359 283 141 158, 310 248, 308 109 222 157 93 180 107 125 125
<ul> <li>初期化(フォーマット)</li> <li>初期設定一覧</li> <li>白黒(モノトーン)</li></ul>	31, 264 165, 332 282 9, 95, 231 97, 98 308 273 141 158, 310 248, 308 109 222 157 93 180 107 125 125 125
初期化 (フォーマット) 初期設定一覧	31, 264 165, 332 282 9, 95, 231 97, 98 308 273 359 359 283 141 158, 310 248, 308 109 222 157 93 180 107 125 125 125 
初期化 (フォーマット)	31, 264 165, 332 282 9, 95, 231 97, 98 308 273 359 283 141 158, 310 248, 308 109 222 157 93 180 107 125 125 125 
初期化 (フォーマット) 初期設定一覧	31, 264 165, 332 282 9, 95, 231 97, 98 308 273 359 283 141 158, 310 248, 308 109 222 157 93 180 107 125 125 125 

セピア (モノトーン)	
セルフタイマー	237
セルフタイマー撮影	7, 79, 82
全押し (シャッターボタン)	38, 39
全画像削除	194
選択画像削除	194
測光モード	109
外付けフラッシュ発光	248
ソフト (フィルター効果)	

# タ

ターゲット追尾AF	50
ダイナミックAF	
タイマー (セルフタイマー)	
タイム撮影 (長時間露出)	74
ダイレクトプリント	201
多重露出	
縦位置自動回転	
縦横位置情報の記録	
地域と日時	28, 265
チャージャー	
着脱指標	
中央部重点測光	109, 235
中央部重点測光範囲	235
調光範囲	159
調光補正	
長時間露出 (バルブ)	74
調色 (ピクチャーコントロール)	144, 145
長秒時ノイズ低減	
著作権情報	
通常発光オート(フラッシュモード)	157
ツーボタンリセット	165
低速限界設定(感度自動制御)	107
低速連続撮影7,	79, 80, 241
低速連続撮影速度	241
手ブレ補正	27
手ブレ補正スイッチ	26, 27
デモモード	
テレビ	211
電球 (ホワイトバランス)	125
電源コード	23
電子音設定	239
電池チェック	270
電池の使用順序	245
動画	63, 64
動画記録先	62
動画撮影ボタン	5, 58
動画の画質	61
動画の設定	61

動画のマニュアル設定	62
動画編集	64
統合表示	187
同調シャッタースピード	246, 247
登録項目の削除(マイメニュー)	
登録項目の順序変更(マイメニュー)	
時計用電池	
トリミング	
曇天(ホワイトバランス)	

## ナ

内蔵AF補助光の照射設定	233
内蔵フラッシュ発光	248
夏時間の設定(地域と日時)	265
ニコンクリエイティブライティングシステム	309
日時の設定(地域と日時)28	3, 265
ニュートラル (ピクチャーコントロール)	141
塗り絵	292
ノイズ低減	227
ノーマルエリアAF	50

# Л

ハイビジョンテレビと接続する213
ハイライト表示
パソコン197
バックアップ記録(スロット2の機能)
発光禁止(フラッシュモード)157
発光禁止オート(撮影モード)6,35
バッテリー
バッテリーパック
バッテリーをカメラに入れる
バッテリーを充電する22
バルブ撮影 (長時間露出)74
パワーオフ時間238
パワーコネクター
範囲指定 (PictBridge)
半押しAEロック236
半押しタイマー
半押し (シャッターボタン)
非CPUレンズ175,303
ピクチャーコントロール141
ピクチャーコントロールユーティリティー149
被写界深度71
ヒストグラム表示
日付と時刻を設定する28
日付の表示順(地域と日時)265
日付プリント (PictBridge) 204, 207
ビデオ出力264

ビビッド (ピクチャーコントロール)		141
非表示設定		216
表示中の画像を削除する		48
表示パネル		8
標準表示		182
ピント		38
ピント表示		38
ファームウェアバージョン		275
ファイル名設定		226
ファインダー内警告表示		240
ファインダー (視度調節)	33,	315
フィルター効果		283
フィルター効果(ピクチャーコントロール)		
	144,	145
風景(ピクチャーコントロール)		141
フォーカスエイド103,	301,	303
フォーカスポイント 38, 51, 99, 2	231,	232
フォーカスポイント循環選択		232
フォーカスポイント照明		231
フォーカスモード 50, 102, 2	230,	231
フォーカスモード切り換えスイッチ		26
フォーカスモードセレクトダイヤル		95
フォーカスリング	26,	102
フォーカスロック (AFロック)		100
フォーマット (カードの初期化)	31,	264
フチ設定 (PictBridge)	204,	207
ブラケティング115, 119,	122,	253
プラスRAW記録		255
フラッシュ		155
フラッシュ (ホワイトバランス)		125
フラッシュ撮影同調速度		246
フラッシュ使用推奨表示		244
フラッシュ時シャッタースピード制限		247
フラッシュブラケティング		
(オートブラケティングのセット)	115,	253
フラッシュモード		156
フランジバック		103
プリセットマニュアル(ホワイトバランス)		
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	125,	131
フリッカー低減		265
プリント		201
プリント画像選択 (PictBridge)		205
プリント実行 (PictBridge)	204,	207
プリント指定 (DPOF)		209
プリント設定 (PictBridge)	203,	207
		257
プレビューボタンの機能		257
プログラムオート		69
プログラムシフト		69
プログラム線図		336

プロテクト	192
ヘルプ	19
編集前後の画像表示	296
ポートレート (ピクチャーコントロール)	141
ボタンのホールド設定	261
ボディーキャップ	4, 26
ホワイトバランス	125
ホワイトバランスの微調整	127
ホワイトバランスブラケティング	
(WBブラケティング)	119

## マ

マイク	61
枚数指定(PictBridge)	203
マイメニュー	297
マイメニューのトップ項目先へジャンプ.	256
マイメニュー登録 (マイメニュー)	297
マゼンタ	127, 284
マニュアル (露出)	72
マニュアル発光モード	248
マニュアルフォーカス	55, 102
マルチパターン測光	109
マルチプログラムオート	69
緑強調(フィルター効果)	
ミニチュア効果	295
ミラーアップ撮影	7, 79, 87
ミラーアップリモコン	
ミレッド	128
無線LAN	
メモリーカード	
モデリング発光	253
モニターカバー	18, 324
モニター発光 15	8, 162, 248
モノクローム(ピクチャーコントロール)	141
モノトーン	

# ヤ

ユーザーセッティング	77
ユーザーセッティングの登録	77
ユーザーセッティングのリセット	78
ゆがみ補正	
用紙設定(PictBridge)	203, 207
予測駆動フォーカス	

## ラ

ライブビュー	49–55, 57–58
ライブビュー / 動画撮影時のAF	50, 234
ライブビュースイッチ	49, 57

リサイズ	
リセット	165, 223, 230
リピーティング発光モード	249
リモートコード	
リモコン	
リモコン撮影	7, 79, 84
リモコン待機時間	238
リモコンモード設定	
輪郭強調	144
レディーライト	40, 252, 311
レリーズモード	79, 80
レリーズモードダイヤル	7
レリーズモードダイヤルロックボタン	7
連写	7
レンズキャップ	
レンズ情報手動設定	
レンズ着脱指標	
レンズの取り付け	
レンズの取り外し	27
レンズマウント	
レンズ (使用できるレンズ)	
連続撮影	79, 80
連続撮影コマ数	241
連番モード	242
ローパスフィルター	
ローパスフィルターを自動で掃除する	
ローパスフィルターをブロアーで掃除す	する321
録音設定	61
露出	111, 113, 115
露出インジケーター	73
露出設定ステップ幅	234
露出ディレーモード	243
露出補正	113
露出補正簡易設定	235
露出補正值	113
ロスレス圧縮RAW	91

## ワ

ワイドエリアAF		50
ワイヤレストランスミッター	. 200,	314



ره	

# アフターサービスについて

### ■この製品の操作方法や修理についてのお問い合わせは

この製品の操作方法や修理について、さらにご質問がございましたらニコンカスタマーサポートセン ターまでお問い合わせください。

•ニコンカスタマーサポートセンターにつきましては、使用説明書裏面をご参照ください。

#### ●お願い

- お問い合わせいただく場合には、次ページの「お問い合わせ承り書」の内容をご確認の上お問い合わせください。
- より正確、迅速にお答えするために、ご面倒でも次ページの「お問い合わせ承り書」の所定の項目にご記入いただき、FAXまたは郵送でお送りください。「お問い合わせ承り書」は、コピーしていただくと、繰り返しお使いいただけます。

### ■修理を依頼される場合は

この製品の修理を依頼される場合は、ご購入店、またはニコンサービス機関にご依頼ください。

- ニコンサービス機関につきましては、「ニコン サービス機関のご案内」をご覧ください。
- ご転居、ご贈答品などでご購入店に修理を依頼することができない場合は最寄りの販売店、または ニコンサービス機関にご相談ください。
- カメラを修理に出される場合は、SDカードをカメラから取り出してください。

### ■補修用性能部品について

このカメラの補修用性能部品(その製品の機能を維持するために必要な部品)の保有年数は、製造打 ち切り後7年を目安としています。

 修理可能期間は、部品保有期間内とさせていただきます。なお、部品保有期間経過後も、修理可能 な場合もありますので、ご購入店、またはニコンサービス機関へお問い合わせください。水没、火 災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、修理が不可能となります。なお、この故障または破損の程度の判定は、ニコンサービス機関にお任せください。

## ■インターネットご利用の方へ

ソフトウェアのアップデート、使用上のヒントなど、最新の製品テクニカル情報を次の当社Webサイトでご覧いただくことができます。

http://www.nikon-image.com/support/

製品をより有効にご利用いただくため定期的にアクセスされることをおすすめします。

ニコンカスタマーサポートセンター 行 FAX:03-5977-7499

## 【お問い合わせ承り書】 太枠内のみご記入ください

お問い合わせ日: な	∓ 月 日
お買い上げ日: 4	₹ 月 日
製品名: シリアル	番号:
お名前:	
連絡先ご住所:□自宅 □会社	
Ŧ	
TEL:	
FAX:	
ご使用のパソコンの機種名:	
メモリー容量: ハードディスクの3	空き容量:
OS のバージョン:	
ご使用の当社ソフトウェアの名称およびバージョン名:	
ご使用のアプリケーションソフト名:	
ー 問題が発生した時の症状、表示されたメッセーシ	、症状の発生頻度:
(おわかりになる範囲で結構ですので、できるだけ詳しくお	書きください)
- ※ このページはコピーしてお使いください。     ※ 整理	·····································



### ■製品の使い方に関するお問い合わせ」

<ニコン カスタマーサポートセンター>

全国共通のナビダイヤルにお電話ください。





営業時間:9:30~18:00(年末年始、夏期休業日等を除く毎日) ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03)6702-0577 におかけくだ さい。ファクシミリでのご相談は、(03) 5977-7499 にお送りください。

### ●修理サービスのご案内

#### 修理品のお引き取りを依頼される場合は

#### くニコン ピックアップサービス>

下記のフリーダイヤルでお申し込みいただくと、ニコン指定の配送業者(ヤマト運輸)が、梱包資材のお届け・修 理品のお引き取り、修理後のお届け・集金までを一括して提供するサービスです。全国一律の料金にて承ります。 ※宅配便で扱える大きさや重さには制限があるため、取り扱いできない製品もございます。

20-02-8155 営業時間:9:00~18:00(年末年始12/29~1/4を除く毎日)

※上記のフリーダイヤルはピックアップサービス専用です。ニコン指定の配送業者(ヤマト運輸)にて承ります。 製品や修理に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンター、または修理センターへお願いいたします。

修理品を宅配便などでお送りいただく場合の送り先と修理に関するお問い合わせは

<(株)ニコンイメージングジャパン 修理センター>

230-0052 横浜市鶴見区生麦2-2-26



営業時間:9:30~18:00(土曜日、日曜日、祝日、年末年始、 夏期休業日など弊社定休日を除く毎日) ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03) 6702-0577 におかけください。

●修理センターには、ご来所の方の窓口がございません。宅配便のみお受けします。ご了承ください。

### ■インターネットご利用の方へ

#### <ニコンイメージング/サポートページ>

#### http://www.nikon-image.com/support/

最新の製品テクニカル情報や、ソフトウェアのアップデートに関する情報がご覧いただけます。 ※製品をより有効にご利用いただくために、定期的にアクセスされるようおすすめします。

#### http://www.nikon-image.com/support/repair/

「ニコン ピックアップサービス」のお申し込みや修理見積もり金額の確認、インターネットを利用して修理 を申し込まれた場合の修理状況や納期の確認などがご覧いただけます。

※お問い合わせや修理を依頼をされるときには、裏面の「アフターサービスについて」も参照ください。



Printed in Thailand

6MB10010-09